

地方厚生（支）局医療課長
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）長
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）長

） 殿

厚生労働省保険局医療課長
(公 印 省 略)

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の
一部改正等に伴う実施上の留意事項について

標記については、本日、厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部を改正する件（令和2年厚生労働省告示第81号。以下「算定告示」という。）が公布され、令和2年4月1日より適用されることとなったところであるが、実施上の留意事項は下記のとおりであるので、その取扱いに遺漏のないよう貴管下の保険医療機関及び審査支払機関等に対し、周知徹底を図られたい。

なお、本通知は、令和2年4月1日から適用することとし、従前の「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」は、令和2年3月31日限り廃止する。

記

第1 DPC対象患者について

- 1 DPC対象患者は、算定告示に定める診断群分類点数表に掲げる分類区分（以下「診断群分類区分」という。）に該当する入院患者とする。
- 2 1にかかわらず、次に掲げる患者に係る療養の給付に要する費用の額は、診療報酬の算定方法（平成20年厚生労働省告示第59号）別表第一医科診療報酬点数表（以下「医科点数表」という。）若しくは別表第二歯科診療報酬点数表（以下「歯科点数表」という。）、入院時食事療養

に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準（平成 18 年厚生労働省告示第 99 号）又は保険外併用療養費に係る療養についての費用の額の算定方法（平成 18 年厚生労働省告示第 496 号）により算定する。

- (1) 当該病院に入院した後 24 時間以内に死亡した患者又は生後 1 週間以内に死亡した新生児
- (2) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養（平成 18 年厚生労働省告示第 495 号）第 1 条に規定する評価療養又は第 1 条の 2 に規定する患者申出療養を受ける患者
- (3) 臓器移植を受ける患者であって、医科点数表のうち次の区分番号の点数を算定するもの
 - ア K014 皮膚移植術（生体・培養）
 - イ K014-2 皮膚移植術（死体）
 - ウ K514-4 同種死体肺移植術
 - エ K514-6 生体部分肺移植術
 - オ K605-2 同種心移植術
 - カ K605-4 同種心肺移植術
 - キ K697-5 生体部分肝移植術
 - ク K697-7 同種死体肝移植術
 - ケ K709-3 同種死体膵移植術
 - コ K709-5 同種死体膵腎移植術
 - サ K709-6 同種死体膵島移植術
 - シ K716-4 生体部分小腸移植術
 - ス K716-6 同種死体小腸移植術
 - セ K780 同種死体腎移植術
 - ソ K780-2 生体腎移植術
 - タ K922 造血幹細胞移植
- (4) 医科点数表のうち次の区分番号の点数を算定する患者
 - ア A106 障害者施設等入院基本料
 - イ A306 特殊疾患入院医療管理料
 - ウ A308 回復期リハビリテーション病棟入院料
 - エ A308-3 地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 まで及び地域包括ケア入院医療管理料 1 から 4 までを算定する直前に療養に要する費用の額を算定告示別表により算定していた患者を除く。）
 - オ A309 特殊疾患病棟入院料
 - カ A310 緩和ケア病棟入院料
 - キ A400 短期滞在手術等基本料（1 に限る。）
- (5) 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者（平成 24 年厚生労働省告示第 140 号。以下「五号告示」という。）に該当する患者
- (6) 算定告示第 4 項の規定に基づき以下のいずれかに該当する病院の病棟に入院する患者
 - ア 月平均の入院患者数が、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）の規定に基づき許可を受け、若しくは届出をし、又は承認を受けた病床数に 100 分の 105 を乗じて得た数以上の病院
 - イ 医師又は歯科医師の員数が医療法第 21 条第 1 項第 1 号又は第 22 条の 2 第 1 号の規定によ

り有しなければならないこととされている員数に 100 分の 70 を乗じて得た数以下の病院

- 3 診断群分類区分に該当しない患者の診療報酬は、医科点数表若しくは歯科点数表、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準又は保険外併用療養費に係る療養についての費用の額の算定方法により算定する。

第2 診断群分類区分等について

1 診断群分類区分の適用の考え方

- (1) 入院患者に対する診断群分類区分の該当の有無は、厚生労働大臣が定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名（平成 20 年厚生労働省告示第 95 号。以下「定義告示」という。）に定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名等から、診断群分類定義樹形図（別添 1。以下「ツリー図」という。）及び診断群分類定義表（別添 2。以下「定義テーブル」という。）に基づき主治医が判断すること。

ツリー図は、定義テーブルに定める診断群分類ごとに、手術、処置等又は定義副傷病の有無等に応じた分岐及び当該分岐ごとに設定された 14 桁のコード（以下「DPCコード」という。）で構成され、DPCコードのうち、診断群分類区分に該当する分岐の 14 桁のコード（診断群分類点数表に定める診断群分類番号を指す。）を実線で、診断群分類区分に該当しない分岐の 14 桁コード（以下「医科点数表算定コード」という。）を点線で表したものであり、主治医はこれに基づき適切なDPCコードを選択するものとする。

なお、診断群分類区分に該当しないと判断された患者等、診断群分類点数表により診療報酬を算定しない患者については、医科点数表に基づき算定することとなった理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載し、当該患者のうち以下に該当するものに限り、併せてDPCコードを記載すること。

- ① 五号告示第二号に該当した患者
- ② 診断群分類点数表に定める入院日Ⅲを超えた患者
- ③ 医科点数表算定コードに該当した患者
- ④ 地域包括ケア病棟入院料を届け出る病棟に転棟した患者

- (2) 「傷病名」は、入院期間において治療の対象となった傷病のうち医療資源を最も投入した傷病（医療資源を最も投入した傷病が確定していない場合は入院の契機となった傷病をいう。）について、主治医が疾病及び関連保健問題の国際統計分類 ICD-10（2013 年版）に準拠した平成 27 年総務省告示第 35 号（統計法第 28 条第 1 項の規定に基づく疾病、傷害及び死因に関する分類の「（1）基本分類表」（以下「ICD-10」という。）から選択すること。

ただし、ICD-10 のうち以下のものについては、選択しないこと。

- ・ 詳細不明の寄生虫症（B89）
- ・ 他章に分類される疾患の原因である連鎖球菌及びブドウ球菌（B95）からその他及び詳細不明の感染症（B99）
- ・ 心拍の異常（R00）からその他の診断名不明確及び原因不明の死亡（R99）まで（ただし、鼻出血（R04.0）、咯血（R04.2）、気道のその他の部位からの出血（R04.8）、気道からの出血、詳細不明（R04.9）、熱性けいれん＜痙攣＞（R56.0）、限局性発汗過多＜多汗＞（症）（R61.0）、全身性発汗過多＜多汗＞（症）（R61.1）、発汗過多＜多汗＞（症）、詳細不明（R61.9）及びブドウ糖負荷試験異常（R73.0）を除く。）

また、独立した（原発性）多部位の悪性新生物＜腫瘍＞（C97）、部位不明の表在損傷（T14.0）から損傷、詳細不明（T14.9）までについては選択せず、主たる部位の ICD-10 を選択すること。

(3) 手術等が実施されていない期間に診断群分類区分の適用を判断する場合には、予定されている手術等（入院診療計画等により確認されるものに限る。）も勘案した上で診断群分類区分の適用を判断すること。

(4) 一の入院期間において複数の傷病に対して治療が行われた場合においても、一の診断群分類区分を決定すること。

(5) 同一の傷病に対して複数の手術等が行われた場合等においても、一の診断群分類区分を決定するものとし、決定するに当たっては次の点に留意すること。

入院中に、定義告示に掲げられた複数の手術等の診療行為が行われ、同一疾患内の複数の D P C コードに該当する可能性がある場合の取扱いについては、「手術」、「手術・処置等 1」、「手術・処置等 2」及び「定義副傷病」の全ての項目において、ツリー図において、下に掲げられた D P C コードを優先して選択すること。

(6) 医科点数表において「区分番号 K O O O の O O 術に準じて算定する」と規定されている手術について診断群分類区分を決定するに当たっては、準用元の手術で判断すること。

(7) 主治医による診断群分類区分の適用の決定は、患者の退院（D P C 算定対象となる病棟等以外の病棟への転棟を含む。）時に行うものとする。

2 診断群分類点数表の入院期間等

(1) 診断群分類点数表の入院期間

診断群分類点数表の入院期間は、同表に掲げられた入院日（日）に応じ、以下によるものとする。

- ① 入院期間Ⅰ：入院日Ⅰに掲げる日数以下の期間
- ② 入院期間Ⅱ：入院日Ⅰに掲げる日数を超え入院日Ⅱに掲げる日数以下の期間
- ③ 入院期間Ⅲ：入院日Ⅱに掲げる日数を超え入院日Ⅲに掲げる日数以下の期間

(2) 定義副傷病

① 定義副傷病は、手術あり・なし別に、定義テーブルの定義副傷病欄のフラグによるものとする。なお、フラグは以下のとおり定義する。

- ア 手術あり・なし共通の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ 1）
- イ 手術なしの場合の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ 2）
- ウ 手術ありの場合の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ 3）

② 定義副傷病は、入院時併存症（入院当初に患者が既に持っている傷病）及び入院後発症傷病（入院後に発症した傷病）の両方を含むものである（疑い病名は除く。）。

3 用語等

(1) 「J C S」は Japan Coma Scale の略称である。なお、該当する J C S は、D P C 算定対象となる病棟等への入院等の時点で判断するものとする。ただし、入院等後に当該病棟において発症した傷病が医療資源を最も投入した傷病となる場合は、当該傷病の発症時に判断する。

(2) 「G A F」は Global Assessment of Functioning の略称である。

(3) 「15 歳以上」等の年齢については、診断群分類区分が適用される入院時の年齢による。

(4) 定義告示中の「手術」の欄において「+」により複数の手術が並列されている手術は、同一入院期間中に並列された全ての手術が実施された場合に該当するものとする。

- (5) 定義告示及び算定告示中の手術、処置等の定義は、次に掲げるものを除き、医科点数表の区分によるものとする。
- ① 「化学療法」とは、悪性腫瘍に対する抗腫瘍用薬、ホルモン療法、免疫療法等の抗腫瘍効果を有する薬剤の使用（当該入院中に処方されたものに限ることとし、手術中の使用及び外来又は退院時に処方されたものは含まない。）をいい、抗生剤のみの使用及び G-CSF 製剤、鎮吐剤等の副作用に係る薬剤のみの使用等は含まない。
 - ② 「放射線療法」とは、医科点数表第 2 章第 12 部に掲げる放射線治療（血液照射を除く。）をいう。
- (6) 「電気生理学的検査」とは、医科点数表第 2 章第 3 部に掲げる検査において、保険医療材料（特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）（平成 20 年厚生労働省告示第 61 号。以下「材料価格基準」という。）別表Ⅱ区分 114(2)に掲げる保険医療材料を、「050070 頻脈性不整脈」では 3 本以上、「050210 徐脈性不整脈」では 2 本以上使用して実施した電気生理学的検査をいう。
- (7) 「動注化学療法」とは、医科点数表第 2 章第 6 部に掲げる注射のうち G 002 動脈注射により化学療法を実施することをいう。
- (8) 手術あり又は手術なしにおける「手術」とは、医科点数表第 2 章第 10 部に掲げる手術（輸血管管理料を除く。）の有無をいう。
- (9) 「全身麻酔」とは、医科点数表第 2 章第 11 部に掲げる麻酔のうち L 007 開放点滴式全身麻酔又は L 008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔をいう。
- (10) 「メトトレキサート大量療法」とは、骨肉腫に対してメトトレキサート 5 g 以上（バイアル換算で 25 本以上）投与する化学療法をいう。
- (11) 「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）神経根ブロック」、「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）腰部硬膜外ブロック」及び「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）仙骨部硬膜外ブロック」とは、医科点数表第 2 章第 11 部に掲げる麻酔に規定される L100 神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）に掲げる「1」の神経根ブロック、「2」の腰部硬膜外ブロック及び「5」の仙骨部硬膜外ブロックをいう。
- (12) 060350 急性膵炎における重症度等の「重症」とは、急性膵炎の重症度判定基準（2008 年改訂）（厚生労働科学研究補助金難治性膵疾患克服研究事業 難治性膵疾患に関する調査研究班）により重症（予後因子 3 点以上又は造影 C T grade 2 以上）として判定される病態をいう。なお、重症度が判定できない「不明」の場合にあっては「軽症」の診断群分類区分を選択するものとする。
- (13) 定義告示における慢性肝炎等の分類中に規定するインターフェロン β の「一定期間以上投与した場合に限る。」とは、一入院期間中における 7 日以上の投与をいうものであり、連続 7 日以上の投与に限るものではない。
- (14) 010060 脳梗塞における年齢、出生時体重等の発症時期及び J C S は、診断群分類区分の適用開始時を起点として選択するものとする。なお、診断群分類区分の適用開始後に発症した場合は、発症後 3 日以内、発症時点での J C S を選択すること。
- また、重症度等の「発症前 Rankin Scale」とは、発症前概ね 1 週間の A D L を病歴等から推定し、以下に掲げる 0 から 5 までのうちいずれかを選択すること。なお、病歴からも全く推定ができない場合にあっては、5 を選択すること。

- 0 全く症候がない
 - 1 明らかな障害はない：日常の勤めや活動は行える
 - 2 軽度の障害：自分の身の回りのことは介助なしで行える
 - 3 中等度の障害：何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える
 - 4 中等度から重度の障害：歩行や身体的要求には介助が必要である
 - 5 重度の障害：寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする
- (15) 040080 肺炎等における病態等分類の「市中肺炎」への該当の有無は、主治医の判断によるものとするが、肺炎のうち以下に該当しないものを市中肺炎の例として示すので、参考にすること。
- ・ 入院 48 時間以降に病院内で発症した肺炎
 - ・ 重篤な免疫抑制状態
 - ・ 老人施設と長期療養施設で発症した肺炎
 - ・ 慢性下気道感染症の急性増悪
- また、重症度等の「A-DROP スコア」とは、以下の 5 項目のうち入院時（入院中に発生した場合は発症時）の状態に該当する項目の合計数をいう。
- ・ 男性 70 歳以上、女性 75 歳以上
 - ・ BUN 21 mg/dL 以上又は脱水あり
 - ・ SpO2 90%以下 (PaO2 60Torr 以下)
 - ・ 意識障害あり
 - ・ 血圧（収縮期）90 mmHg 以下
- (16) 120170 早産、切迫早産における「年齢、出生時体重等の妊娠週数」とは、入院時の妊娠週数をいう。なお、「妊娠週数 34 週以上」には妊娠週数が不明の場合等も含む。
- (17) 100250 下垂体機能低下症における「内分泌負荷試験 下垂体前葉負荷試験」とは、医科点数表第 2 章第 3 部に掲げる検査のうち、D287 内分泌負荷試験に掲げる「1」の下垂体前葉負荷試験をいう。

第 3 費用の算定方法

1 診療報酬の算定

- (1) 診断群分類点数表等による 1 日当たりの診療報酬は、患者の入院期間に応じて、診断群分類点数表の「点数」欄に掲げる点数に医療機関別係数を乗じて得た点数に基づき算定する。

各月の診療報酬は、1 日当たりの診療報酬に当該月の入院日数を乗じて得た点数に基づき算定する。この場合において、月ごとの合計点数に端数が生じた場合には、当該点数の小数点以下第 1 位を四捨五入するものとする。

- (2) 医療機関別係数

医療機関別係数は、厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、基礎係数、機能評価係数Ⅰ、機能評価係数Ⅱ及び激変緩和係数（平成 24 年厚生労働省告示第 1 65 号。以下「係数告示」という。）に定める基礎係数、機能評価係数Ⅰ、機能評価係数Ⅱ及び激変緩和係数を合算したものとする。

① 機能評価係数Ⅰの算定方法

機能評価係数Ⅰの算定については、基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続

きの取扱いについて（令和2年3月5日保医発0305第2号）に基づき、地方厚生（支）局長に届出を行い、各月の末日までに要件審査を終え、届出を受理した場合は、翌月の1日から合算する。また、月の最初の開庁日に要件審査を終え、届出を受理した場合には当該月の1日から合算する。なお、令和2年4月20日までに届出書の提出があり、同月末日までに要件の審査を終え届出の受理が行われたものについては、同月1日に遡って合算できるものとする。

ただし、機能評価係数Ⅰの算定については、係数告示に定める病院のDPC算定対象となる病棟等における医科点数表の届出に基づく診療料について算定することとし、DPC算定対象となる病棟等以外の病棟における医科点数表の届出に基づく診療料については算定できないものとする。

なお、次に掲げる機能評価係数Ⅰの適用日は、他の機能評価係数Ⅰの適用日と取扱いが異なるので十分に留意すること。

ア 地域医療支援病院入院診療加算

区分番号A204に掲げる地域医療支援病院入院診療加算については、当該病院が月の初日に医療法第4条第1項の規定により地域医療支援病院として都道府県知事の承認を受けた場合は同日より、月の途中で当該承認を受けた場合は翌月1日より、新たに入院した患者であるか否かにかかわらず入院中の全ての患者に対して加算することができる。

イ 臨床研修病院入院診療加算

区分番号A204-2に掲げる臨床研修病院入院診療加算については、実際に臨床研修を実施している月に限り加算することができる。

ウ データ提出加算

区分番号A245に掲げるデータ提出加算については、当該加算が算定可能な月に限り、加算することができる。

(3) 診断群分類点数表等により算定される診療報酬

診断群分類点数表には、医科点数表に掲げる点数の費用のうち、①に掲げる点数（②に掲げる点数の費用を除く。）の費用が含まれるものとする。なお、②に掲げる点数の費用のほか、診断群分類点数表に含まれていない費用については、医科点数表又は歯科点数表により算定する。

① 診断群分類点数表に含まれる費用

- ア 第1章第2部第1節 入院基本料
- イ 第1章第2部第2節 入院基本料等加算
- ウ 第1章第2部第4節 短期滞在手術等基本料
- エ 第2章第1部 医学管理等の費用
- オ 第2章第3部 検査の費用
- カ 第2章第4部 画像診断の費用
- キ 第2章第5部 投薬の費用
- ク 第2章第6部 注射の費用
- ケ 第2章第7部第2節 薬剤料
- コ 第2章第8部第2節 薬剤料
- サ 第2章第9部 処置の費用

シ 第2章第13部第1節 病理標本作製料

② ①に掲げる点数の費用から除かれる費用

- ア 入院基本料のうち、A100 一般病棟入院基本料の注4 重症児（者）受入連携加算、注5 救急・在宅等支援病床初期加算及び注12 ADL維持向上等体制加算、A104 特定機能病院入院基本料の注5 看護必要度加算及び注10 ADL維持向上等体制加算、A105 専門病院入院基本料の注3 看護必要度加算、注4 一般病棟看護必要度評価加算及び注9 ADL維持向上等体制加算に掲げる費用
- イ 入院基本料等加算のうち、A205 救急医療管理加算からA206 在宅患者緊急入院診療加算まで、A208 乳幼児加算・幼児加算からA213 看護配置加算まで、A219 療養環境加算からA233-2 栄養サポートチーム加算まで、A234-3 患者サポート体制充実加算からA242 呼吸ケアチーム加算まで、A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）及びA246 入退院支援加算からA251 排尿自立支援加算までに掲げる費用
- ウ 短期滞在手術等基本料のうち、A400 短期滞在手術等基本料1に掲げる費用
- エ 医学管理等の費用のうち、B000 特定疾患療養管理料からB001-3-2 ニコチン依存症管理料まで及びB001-6 肺血栓塞栓症予防管理料からB015 精神科退院時共同指導料までに掲げる費用
- オ 検査の費用のうち、D206 心臓カテーテル法による諸検査、D295 関節鏡検査からD325 肺臓カテーテル法、肝臓カテーテル法、膵臓カテーテル法まで及びD401 脳室穿刺からD419-2 眼内液（前房水・硝子体液）検査までに掲げる費用
- カ 画像診断の費用のうち、通則第4号及び第6号に掲げる画像診断管理加算1並びに通則第5号及び第7号に掲げる画像診断管理加算2及び画像診断管理加算3並びに区分番号E003 造影剤注入手技（3のイ（注1及び注2を含む。）に規定する費用に限る。）に掲げる費用
- キ 注射の費用のうち、区分番号G020 無菌製剤処理料に掲げる費用
- ク 処置の費用のうち、区分番号J001 熱傷処置（5に限る。）、J003 局所陰圧閉鎖処置（入院）、J003-3 局所陰圧閉鎖処置（腹部開放創）、J003-4 多血小板血漿処置、J010-2 経皮的肝膿瘍等穿刺術、J017 エタノールの局所注入、J017-2 リンパ管腫局所注入、J027 高気圧酸素治療、J034-3 内視鏡的結腸軸捻転解除術、J038 人工腎臓からJ042 腹膜灌流まで、J043-6 人工膵臓療法、J043-7 経会陰的放射線治療用材料局所注入、J045-2 一酸化窒素吸入療法、J047 カウンターショック、J047-2 心腔内除細動、J049 食道圧迫止血チューブ挿入法、J052-2 熱傷温浴療法、J054-2 皮膚レーザー照射療法、J062 腎盂内注入、J116-5 酵素注射療法、J122 四肢ギプス包帯（4から6までに限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）、J123 体幹ギプス包帯からJ128 脊椎側弯矯正ギプス包帯まで（既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）、J129 義肢採型法（2に限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）並びにJ129-2 練習用仮義足又は仮義手（2に限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）に掲げる処置料並びにJ038 に掲げる人工腎臓（1から3までに限る。）に当たって使用した保険医療材料（材料価格基準別表Ⅱ区分040(1)及び(5)に掲げる材料に限る。）並びにJ042 に掲げる腹膜灌流（1に限る。）に当たっ

て使用した薬剤（腹膜灌流液に限る。）及び保険医療材料（材料価格基準別表Ⅱ区分 051 から区分 053 までに掲げる材料に限る。）に係る費用

ケ 病理標本作製料のうち、区分番号N003 術中迅速病理組織標本作製に掲げる費用

コ HIV感染症の患者に使用する抗HIV薬に係る費用

サ 血友病等の患者に使用する遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子製剤、血液凝固第Ⅷ因子機能代替製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅷ因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅸ因子製剤（活性化プロトロンビン複合体及び乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体を含む。）及び乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子加活性化第Ⅶ因子製剤に係る費用

（４） 特定入院料の取扱い

医科点数表に掲げる特定入院料のうち、A300 救命救急入院料、A301 特定集中治療室管理料、A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料、A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料、A301-4 小児特定集中治療室管理料、A302 新生児特定集中治療室管理料、A303 総合周産期特定集中治療室管理料、A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料、A305 一類感染症患者入院医療管理料又はA307 小児入院医療管理料の算定要件を満たす患者については、当該病院が医科点数表に基づく届出を行っている場合には、特定入院料を算定することができる期間に応じ、算定告示別表4から6の表の右欄に掲げる点数を加算する。なお、当該点数を算定する際の包括範囲は、（３）に定める範囲とし、特定入院料を算定している間に算定できる入院基本料等加算は、次に掲げるものとする。

① A300 救命救急入院料を算定している間に算定できる入院基本料等加算（ケについては、A300 救命救急入院料の注2に係る加算を算定しない場合に限り算定できる。）

ア A205-2 超急性期脳卒中加算

イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算

ウ A234-3 患者サポート体制充実加算

エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算

オ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）

カ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）

キ A247 認知症ケア加算

ク A247-2 せん妄ハイリスク患者ケア加算

ケ A248 精神疾患診療体制加算

コ A251 排尿自立支援加算

② A301 特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算

ア A205-2 超急性期脳卒中加算

イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算

ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算

エ A232 がん拠点病院加算

オ A234-3 患者サポート体制充実加算

カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算

キ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）

ク A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）

- ケ A247 認知症ケア加算
 - コ A247-2 せん妄ハイリスク患者ケア加算
 - サ A248 精神疾患診療体制加算
 - シ A251 排尿自立支援加算
- ③ A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算
 - エ A232 がん拠点病院加算
 - オ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - キ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - ク A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ケ A247 認知症ケア加算
 - コ A247-2 せん妄ハイリスク患者ケア加算
 - サ A248 精神疾患診療体制加算
 - シ A251 排尿自立支援加算
- ④ A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算
 - エ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - オ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - カ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - キ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ク A247 認知症ケア加算
 - ケ A247-2 せん妄ハイリスク患者ケア加算
 - コ A248 精神疾患診療体制加算
 - サ A251 排尿自立支援加算
- ⑤ A301-4 小児特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - エ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - オ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - カ A248 精神疾患診療体制加算
 - キ A251 排尿自立支援加算
- ⑥ A302 新生児特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算

- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - エ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - オ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - カ A251 排尿自立支援加算
- ⑦ A303 総合周産期特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - オ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - カ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - キ A248 精神疾患診療体制加算
 - ク A251 排尿自立支援加算
- ⑧ A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - エ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - オ A251 排尿自立支援加算
- ⑨ A305 一類感染症患者入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - オ A246 入退院支援加算（1のイに限る。）
 - カ A251 排尿自立支援加算
- ⑩ A307 小児入院医療管理料1又は2を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A206 在宅患者緊急入院診療加算
 - ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算
 - エ A221-2 小児療養環境特別加算
 - オ A226-2 緩和ケア診療加算
 - カ A232 がん拠点病院加算
 - キ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ク A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ケ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - コ A248 精神疾患診療体制加算

サ A251 排尿自立支援加算

⑪ A307 小児入院医療管理料3又は4を算定している間に算定できる入院基本料等加算

ア A205-2 超急性期脳卒中加算

イ A206 在宅患者緊急入院診療加算

ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算

エ A221-2 小児療養環境特別加算

オ A234-3 患者サポート体制充実加算

カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算

キ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）

ク A248 精神疾患診療体制加算

ケ A251 排尿自立支援加算

⑫ A307 小児入院医療管理料5を算定している間に算定できる入院基本料等加算

ア A205-2 超急性期脳卒中加算

イ A206 在宅患者緊急入院診療加算

ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算

エ A221-2 小児療養環境特別加算

オ A231-2 強度行動障害入院医療管理加算

カ A231-4 摂食障害入院医療管理加算

キ A234-3 患者サポート体制充実加算

ク A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算

ケ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）

コ A248 精神疾患診療体制加算

サ A251 排尿自立支援加算

(5) 入院日Ⅲを超えた場合の取扱い

入院期間が診断群分類点数表に掲げる入院日Ⅲを超えた日以降の診療報酬は医科点数表により算定する。ただし、次の点に留意すること。

- ① 悪性腫瘍患者等（化学療法等を実施されたものに限る。）に対して、診断群分類点数表に掲げる入院日Ⅲまでに化学療法等を実施されない場合は、入院日Ⅲを超えた日以降も当該患者に投与する抗悪性腫瘍剤等の当該薬剤料及び当該薬剤に関する医科点数表に掲げる第2章第5部投薬、同章第6部注射（G020 無菌製剤処理料の費用を除く。）の費用は算定することはできない（当該抗悪性腫瘍剤等以外の薬剤に関する医科点数表に掲げる第2章第5部投薬、同章第6部注射の費用は算定することができる。）。

なお、「化学療法等を実施された」診断群分類区分とは、次のいずれかに該当する診断群分類区分をいう。

ア 悪性腫瘍患者に対する化学療法（第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」）に係る診断群分類区分（いわゆる「化学療法あり」の診断群分類区分を含む。）

イ ア以外であって、特定の薬剤名（成分名）を含む診断群分類区分（この場合にあっては悪性腫瘍患者以外の患者が含まれるため留意すること。）

この際、入院日Ⅲを超えた日以降に算定できない「抗悪性腫瘍剤等の当該薬剤料」とは、アに該当する診断群分類区分にあっては、悪性腫瘍に対する抗腫瘍用薬、ホルモン療法、

免疫療法等の抗腫瘍効果を有する薬剤（第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」に定義される薬剤）に係る薬剤料であり、イに該当する診断群分類区分にあつては、明示された薬剤（ただし、明示された薬剤以外の薬剤と併用療法とすることが添付文書等により医学的に明らかなものについては当該併用薬剤も含む。）に係る薬剤料である。

上記以外の薬剤（例：糖尿病に係る薬剤料）については別に薬剤料を算定することができる。

② 入院日Ⅲを超えた日以降に手術を実施した場合は、「手術あり」の分岐を選択すること。

(6) 外泊の取扱い

① 入院患者の外泊期間中の入院料等については、患者の入院している病棟について病院が届け出ている入院基本料の基本点数の15%又は特定入院料の15%を算定するが、精神及び行動の障害の患者について治療のために外泊を行わせる場合は更に15%を算定できる。

ただし、当該入院基本料の基本点数又は特定入院料の30%を算定することができる期間は、連続して3日以内に限り、かつ、月（同一暦月）6日以内に限る。

② 入院中の患者が在宅医療に備えて一時的に外泊する場合に、当該在宅医療に関する指導管理が行われた場合には、上記の点数に加え、区分番号C100に掲げる退院前在宅療養指導管理料を外泊初日1回に限り算定できる。

③ 外泊期間は、診断群分類点数表等による診療報酬の算定にあたり、入院期間として算入するものとする。

(7) 同一傷病等での再入院に係る取扱い

① D P C算定対象となる病棟等に入院していた患者（地域包括ケア病棟入院料1から4まで又は地域包括ケア入院医療管理料1から4までを算定する病棟又は病床において診断群分類点数表によって算定する患者を含む。）が、当該病棟等より退院した日の翌日又は転棟した日から起算して7日以内にD P C算定対象となる病棟等（地域包括ケア病棟入院料1から4まで又は地域包括ケア入院医療管理料1から4までを算定する一般病棟の病床を含む。）に再入院（D P C算定対象とならない病棟へ転棟した後の再転棟又は当該保険医療機関と特別な関係にある保険医療機関に再入院した場合を含む。以下「再入院」という。）した場合について、次に該当する場合（以下「同一傷病等」という。）は、当該再入院は前回入院と一連の入院とみなすこととし、当該再入院の入院期間の起算日は初回の入院日とする。なお、退院期間は入院期間として算入しない（D P C算定対象とならない病棟への転棟期間は入院期間として算入する。）。

ア 直近のD P C算定対象となる病棟等に入院していた際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「入院の契機となった傷病名」の診断群分類の上2桁が同一である場合又は直近のD P C算定対象となる病棟等に入院していた際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」の診断群分類の上6桁が同一である場合

イ 再入院の際の「入院の契機となった傷病名」に、定義テーブルにおいて診断群分類ごとに定める「医療資源を最も投入した傷病名」欄に掲げるI C Dコード以外のI C Dコード又は診断群分類「180040 手術・処置等の合併症」に定義されるI C Dコードを選択した場合

また、直近の入院における「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院時の「入院の契

機となった傷病名」の診断群分類の上2桁が異なり同一傷病等の一連の入院に該当しないにもかかわらず、直近の入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」の診断群分類の上2桁が同一である場合は、再入院の際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容と経過について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

② 予め当該病院に再入院することが決まっております、再入院時の「医療資源を最も投入した傷病名」が悪性腫瘍であり、かつ、化学療法（第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」）に係る診断群分類区分（いわゆる「化学療法あり」の診断群分類区分を含む。）に該当する場合は、①に該当する場合でも同一傷病等での再入院に係る取扱いから除き一連の入院とはみなさない。当該規定を適用する場合については、化学療法の実施日（予定日）及びレジメンを含む化学療法の概要を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、当該規定は、再転棟の場合は適用されないので留意すること。

③ ①及び②の再入院に係る取扱いにかかわらず、A205 救急医療管理加算から A206 在宅患者緊急入院診療加算まで、A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算、A231-3 重度アルコール依存症入院医療管理加算、A232 がん拠点病院加算、A234-3 患者サポート体制充実加算、A236-2 ハイリスク妊娠管理加算、A237 ハイリスク分娩管理加算、A246 入退院支援加算、A247-2 せん妄ハイリスク患者ケア加算、B004 退院時共同指導料1、B005 退院時共同指導料2、B006-3 退院時リハビリテーション指導料、B014 退院時薬剤情報管理指導料及び B015 精神科退院時共同指導料に掲げる費用は、以下のア、イの場合を除き、再入院時には算定することができない。

ア 退院後、一旦治癒し若しくは治癒に近い状態までになり、その後再発して当該保険医療機関又は当該保険医療機関と特別の関係にある保険医療機関に入院した場合

イ 退院の日から起算して3月を超える期間、診断群分類区分の上6桁が同一の場合について、いずれの保険医療機関に入院することなく経過した後に、当該保険医療機関又は当該保険医療機関と特別の関係にある保険医療機関に入院した場合

(8) 同一傷病等による7日以内の再入院に当たっての特定入院料の加算については、前回入院と一連の入院と見なした日数を限度日数とすること。

(9) 地域包括ケア入院医療管理料1から4までを算定する病室に転室する場合等の取扱い

D P C算定対象となる病棟から地域包括ケア入院医療管理料1から4までに係る届出を行っている病室（一般病棟に限る。）に転室した場合、第2の2の(1)の③に掲げる診断群分類点数表に定める入院日Ⅲまでの期間は、引き続き転室前と同じ診断群分類区分により算定することとし、起算日は当該入院日とする。なお、診断群分類点数表で算定する期間は、地域包括ケア入院医療管理料1から4までを算定することはできない。

また、D P C算定対象となる病棟に入院していた患者が退院の翌日から起算して7日以内に地域包括ケア入院医療管理料1から4までを算定する病室に再入院（転室）する場合は、「入院の契機となった傷病名」の診断群分類を決定し診療報酬明細書の摘要欄に記載することとし、当該診断群分類に基づき(7)の規定に該当する場合は、一連の入院として直近のD P C算定対象となる病棟において算定した診断群分類区分と同じ区分により引き続き算定することとし、起算日は初回の入院日とする。

なお、(7)の規定に該当しない場合は、地域包括ケア入院医療管理料1から4までを算定

する病室への再入院（転室）となった際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容及び経過について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

(10) 地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 までを算定する病棟に転棟する場合等の取扱い

D P C 算定対象となる病棟から地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 までに係る届出を行っている病棟（一般病棟に限る。）に転棟した場合、第 2 の 2 の（1）の②に掲げる診断群分類点数表に定める入院日Ⅱまでの期間は、引き続き転棟前と同じ診断群分類区分により算定することとし、起算日は当該入院日とする。ただし、第 2 の 2 の（1）の③に掲げる入院期間Ⅲにおいて、地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 までに係る届出を行っている病棟に転棟した場合は、転棟した日から医科点数表により算定する。なお、診断群分類点数表で算定する期間は、地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 までを算定することはできない。

また、D P C 算定対象となる病棟に入院していた患者が退院の翌日から起算して 7 日以内に地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 までを届け出る病棟に再入院（転棟）する場合であって、（7）に該当する場合は、入院日Ⅱまでの期間は一連の入院として直近の D P C 算定対象となる病棟において算定した診断群分類区分と同じ区分により算定することとし、起算日は初回の入院日とする。この場合において、「入院の契機となった傷病名」の診断群分類を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

なお、D P C 算定対象となる病棟に入院していた患者が退院の翌日から起算して 7 日以内に地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 までを届け出る病棟に再入院（転棟）する場合であって、（7）に該当しない場合は、地域包括ケア病棟入院料 1 から 4 までを届け出る病棟への再入院（転棟）となった際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容及び経過について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

(11) 退院時処方取扱い

診断群分類区分の決定に当たり、退院時処方（退院後に在宅において使用するための薬剤を退院時に処方することをいう。）した場合は、当該薬剤の処方は投入した医療資源に含めないこと。

ただし、その場合において、別に薬剤料のみを算定することができる。

(12) 入院中の患者に係る対診・他医療機関受診の取扱い

診療上必要があり、入院中の患者に対し他の保険医療機関の保険医の立合診察（以下「対診」という。）が実施された場合又は入院中の患者が他の保険医療機関を受診し診療が実施された場合における診療の費用（対診が実施された場合の初・再診料及び往診料を除く。）は、当該保険医療機関の保険医が実施した診療の費用と同様に取扱い、当該保険医療機関において算定すること。

なお、この場合の医療機関間での診療報酬の分配は、相互の合議に委ねるものとする。

(13) 第 1 の 2 の（6）に該当する場合は、以下のとおり取り扱うこと。なお、再度診断群分類点数表により算定することとなった場合の入院期間の算定の起算日は、入院の日とする。

① 月平均の入院患者数が、医療法の規定に基づき許可を受け、若しくは届出をし、又は承認を受けた病床数に 100 分の 105 を乗じて得た数以上となった場合は、当該月の翌月から医科点数表により算定すること。その後、100 分の 105 を乗じて得た数未満となった場合は、当該月の翌月から再度診断群分類点数表により算定すること。

② 医師等の員数が医療法で有することとされている医師等の員数の 100 分の 70 以下となっ

た場合は、当該月の翌月から医科点数表により算定すること。その後、医師等の員数が 10 分の 70 を超えた場合は、当該月の翌月から再度診断群分類点数表により算定すること。

(14) 診断群分類 120290 産科播種性血管内凝固症候群及び 130100 播種性血管内凝固症候群（以下「D I C」という。）によって請求する際は、一連の入院の中で医療資源を最も投入したのが D I C であるか否かについて、よりの確な診療報酬明細書審査を行うため、以下の内容を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

- ・ D I C の原因と考えられる基礎疾患
- ・ 厚生労働省 D I C 基準による D I C スコア又は急性期 D I C 診断基準（日本救急医学会 D I C 特別委員会）による D I C スコア
- ・ 入院期間中に実施された治療内容（D I C 及び D I C の原因と考えられる基礎疾患に対する治療を含む。）及び検査値等の推移

(15) 診断群分類点数表等による診療報酬の算定方法

対象患者の診療報酬は、(1) から (14) により算定する。

なお、入院時食事療養費に係る食事療養の費用については、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準により算定する。

2 診療報酬の調整等

(1) 診療報酬の請求方法は、患者の退院時に決定された請求方法をもって一の入院期間において統一するものとする。

(2) 入院当初は診断群分類点数表により療養に要する費用の額を算定していた患者が、退院時には医科点数表により療養に要する費用の額を算定することとなった場合等、入院期間内において診療報酬の請求方法が複数存在する場合は、退院（D P C 算定対象となる病棟等以外の病棟に転棟する場合を含む。）時に決定された請求方法により必要な請求を行うものとする。

(3) 転棟した場合等の取扱い

- ① D P C 算定対象となる病棟以外の病棟に転棟した場合には、転棟した日の診療報酬の算定は医科点数表によるものとする。この場合において、D P C 算定対象となる病棟以外の病棟における入院料等の算定に当たっては、入院期間の算定の起算日は入院の日とする。
- ② D P C 算定対象となる病棟以外の病棟から D P C 算定対象となる病棟に転棟し、診断群分類点数表等により診療報酬を算定する場合には、当該病棟に転棟した日を診断群分類点数表等による入院期間の算定の起算日とする。

なお、D P C 算定対象となる病棟から D P C 算定対象となる病棟以外の病棟に転棟し、その後、D P C 算定対象となる病棟に再転棟した場合についても同様の取り扱いとする。

ただし、1 の (7) に該当する場合はこの限りではない。

(4) 退院の日における療養に適用する診断群分類区分と退院の日の前日までににおける療養に適用した診断群分類区分とが異なる場合には、退院の日の属する月の前月までに療養に要する費用の額として算定した額と同月までの療養について退院の日における療養に適用する診断群分類区分により算定した額との差額を、退院の日の属する月の分の費用の額を算定する際の際の点数において調整する。

(5) (4) の規定にかかわらず、算定告示別表 16 に規定する調整日（退院の日を除く。この項において同じ。）における療養に適用する診断群分類区分と調整日の前日までににおける療養に適用した診断群分類区分とが異なる場合には、調整日の属する月の前月までに療養に要する費

用の額として算定した額と同月までの療養について調整日における療養に適用する診断群分類区分により算定した額との差額を、調整日の属する月の分の費用の額を算定する際の点数において調整する。

- (6) 同一傷病等での7日以内の再入院となった患者の取扱いについては、初回入院、再入院を合わせて一入院とし、(1)～(5)に準じて取り扱うこと。

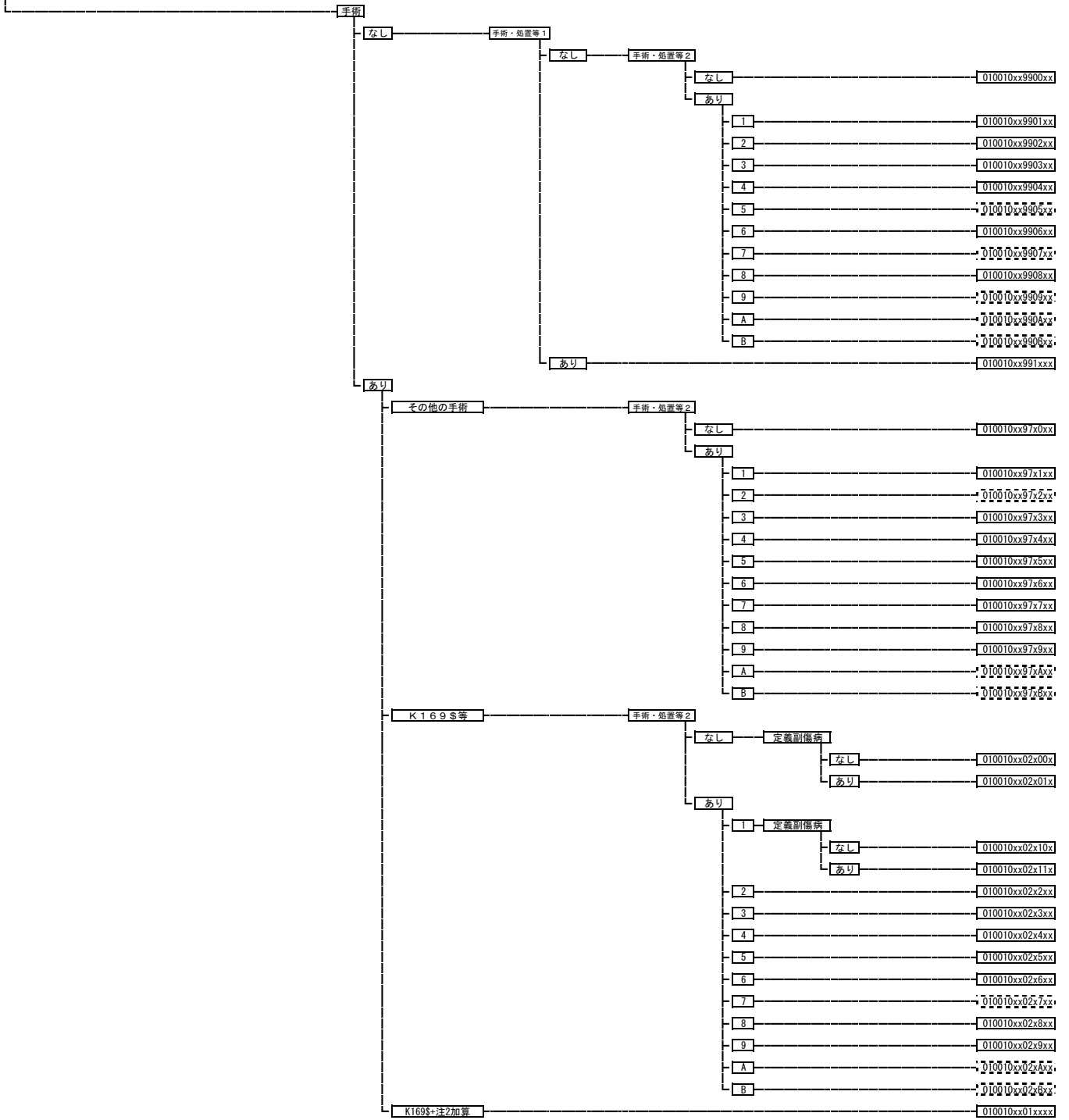
3 その他

- (1) 外泊及び転棟した場合等の取扱いについては、適切に取り扱われるよう十分に留意すること。
- (2) 入院中の患者に対して使用する薬剤は、入院する病院において入院中に処方することが原則であり、入院が予定されている場合に、当該入院の契機となる傷病の治療に係るものとして、あらかじめ当該又は他の病院等で処方された薬剤を患者に持参させ、当該病院が使用することは特別な理由がない限り認められない。なお、特別な理由とは、単に病院や医師等の方針によるものではなく、個々の患者の状態等に応じた個別具体的な理由であることが必要である（やむを得ず患者が持参した薬剤を入院中に使用する場合については、当該特別な理由を診療録に記載すること。）。

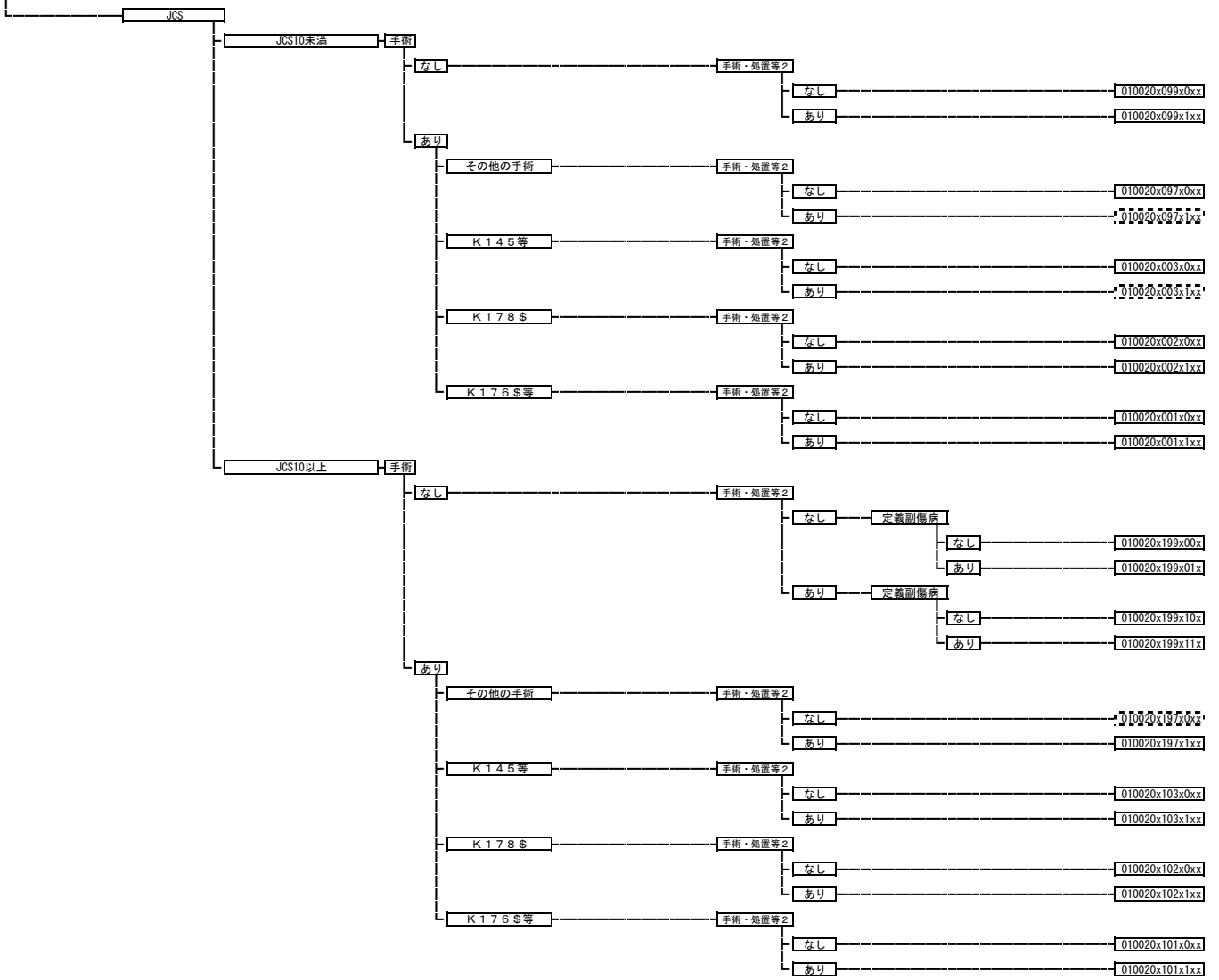
第4 経過措置

係数告示別表第一から別表第三までに掲げる病院の一般病棟について、令和2年2月29日までに診療報酬として算定した額と、同月までの療養について同年3月31日における療養に適用する診断群分類区分により算定した額との差額を、同月分の費用の額を算定する際に調整し、算定告示別表16に規定する調整日において調整する場合には、同年4月分以降の費用の額について調整する。なお、この場合において、入院期間の起算日は入院の日とする。

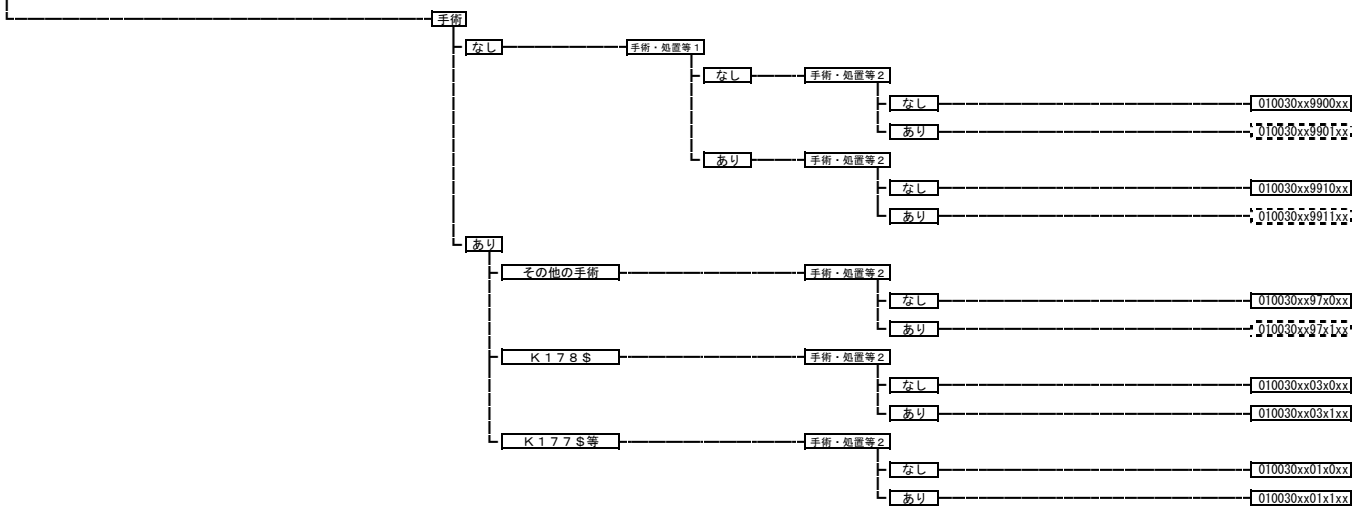
010010 脳腫瘍



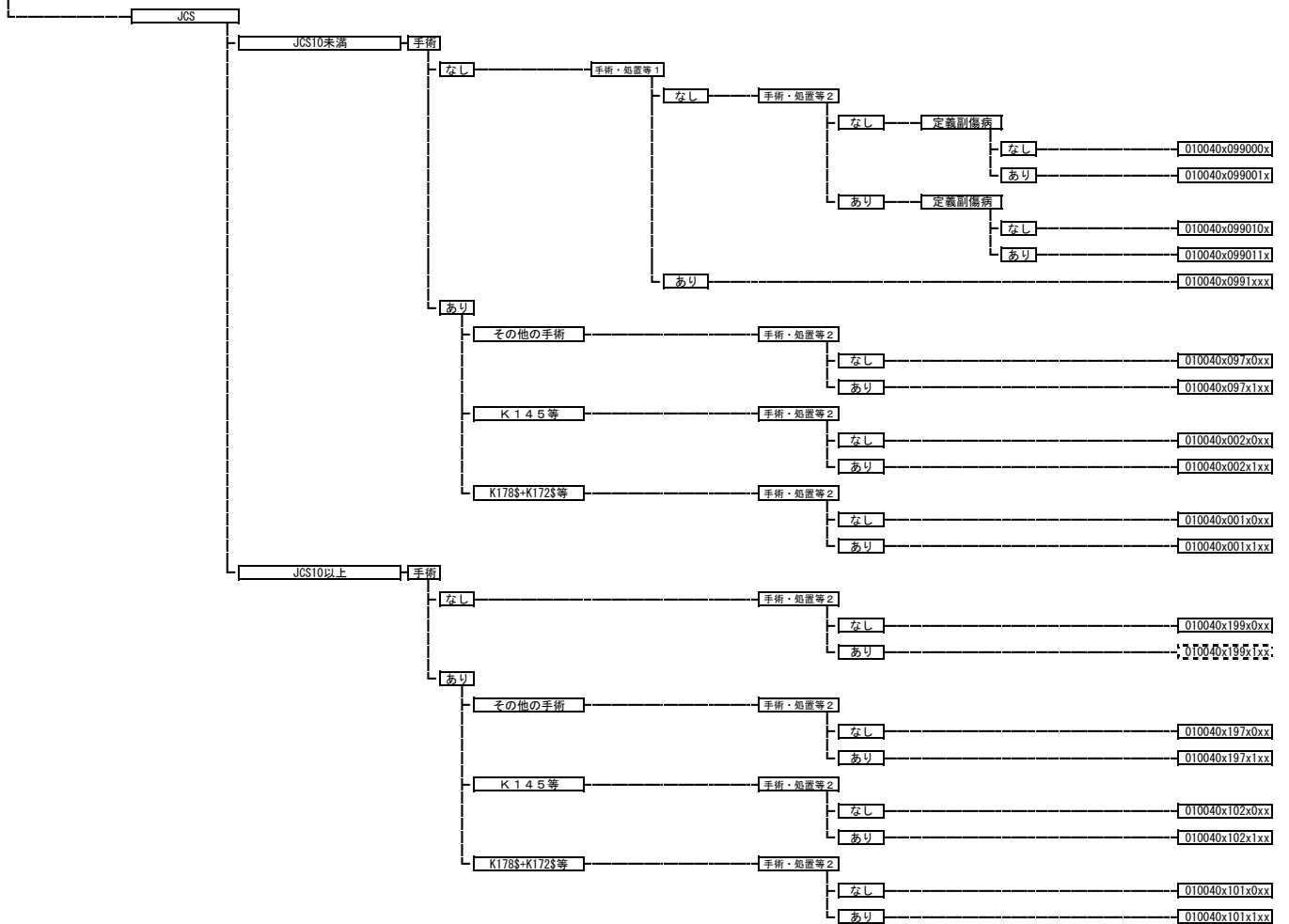
010020 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤



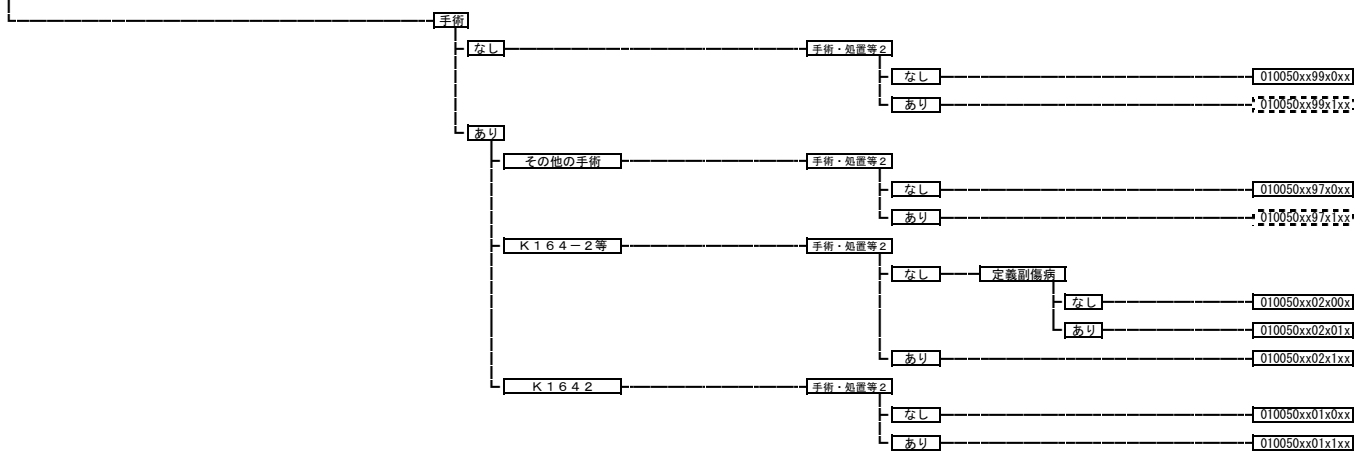
010030 未破裂脳動脈瘤



010040 非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）



010050 非外傷性硬膜下血腫



010060 脳梗塞

脳卒中の発症時期
JCS

発症4日目以降又は無症候性
JCS10未満

手術

なし

手術・処置等1

なし

手術・処置等2

なし

定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990000

1 010060x0990001

あり

1 重症度等

0 010060x0990010

1 010060x0990011

2 重症度等

0 010060x0990020

1 010060x0990021

あり

1 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990100

1 010060x0990101

あり

1 重症度等

0 010060x0990110

1 010060x0990111

2 重症度等

0 010060x0990120

1 010060x0990121

2

2 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990200

1 010060x0990201

あり

1 重症度等

0 010060x0990210

1 010060x0990211

2 重症度等

0 010060x0990220

1 010060x0990221

3

3 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990300

1 010060x0990301

あり

1 重症度等

0 010060x0990310

1 010060x0990311

2 重症度等

0 010060x0990320

1 010060x0990321

4

4 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990400

1 010060x0990401

あり

1 重症度等

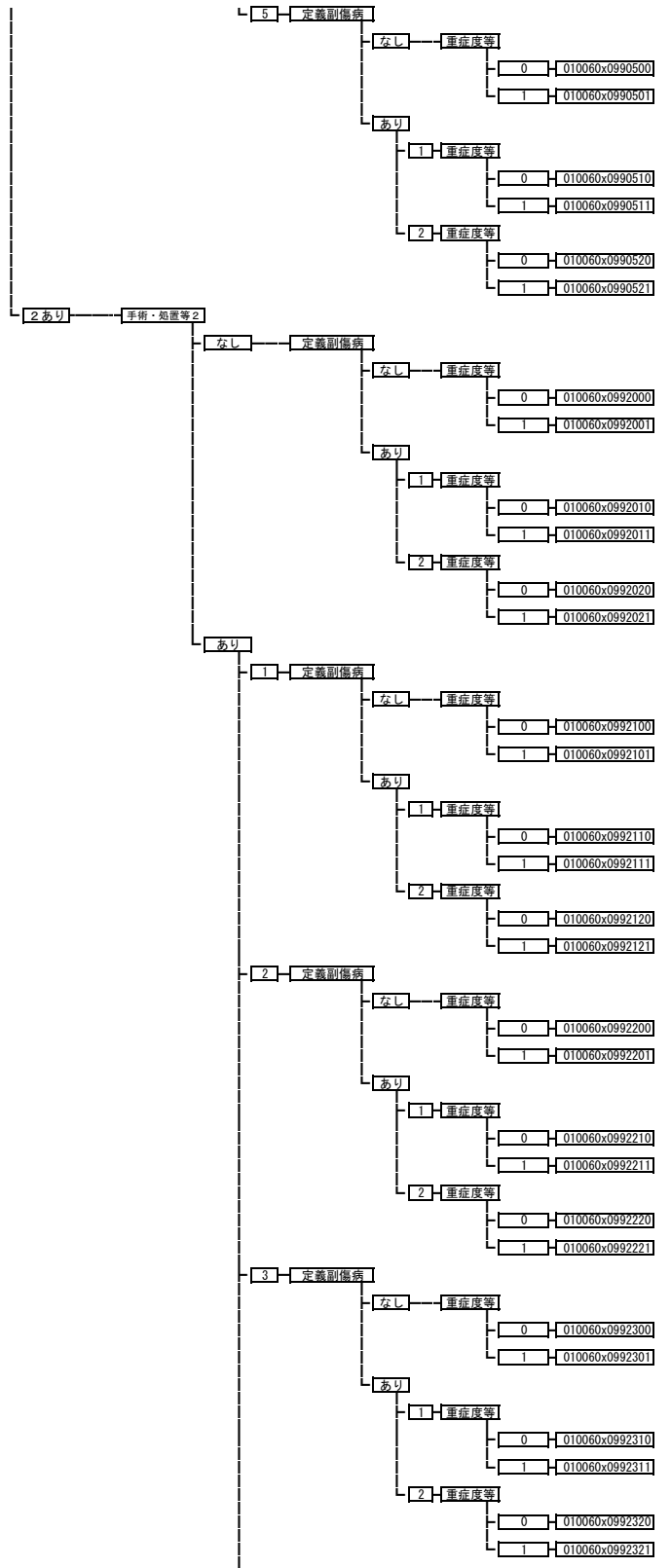
0 010060x0990410

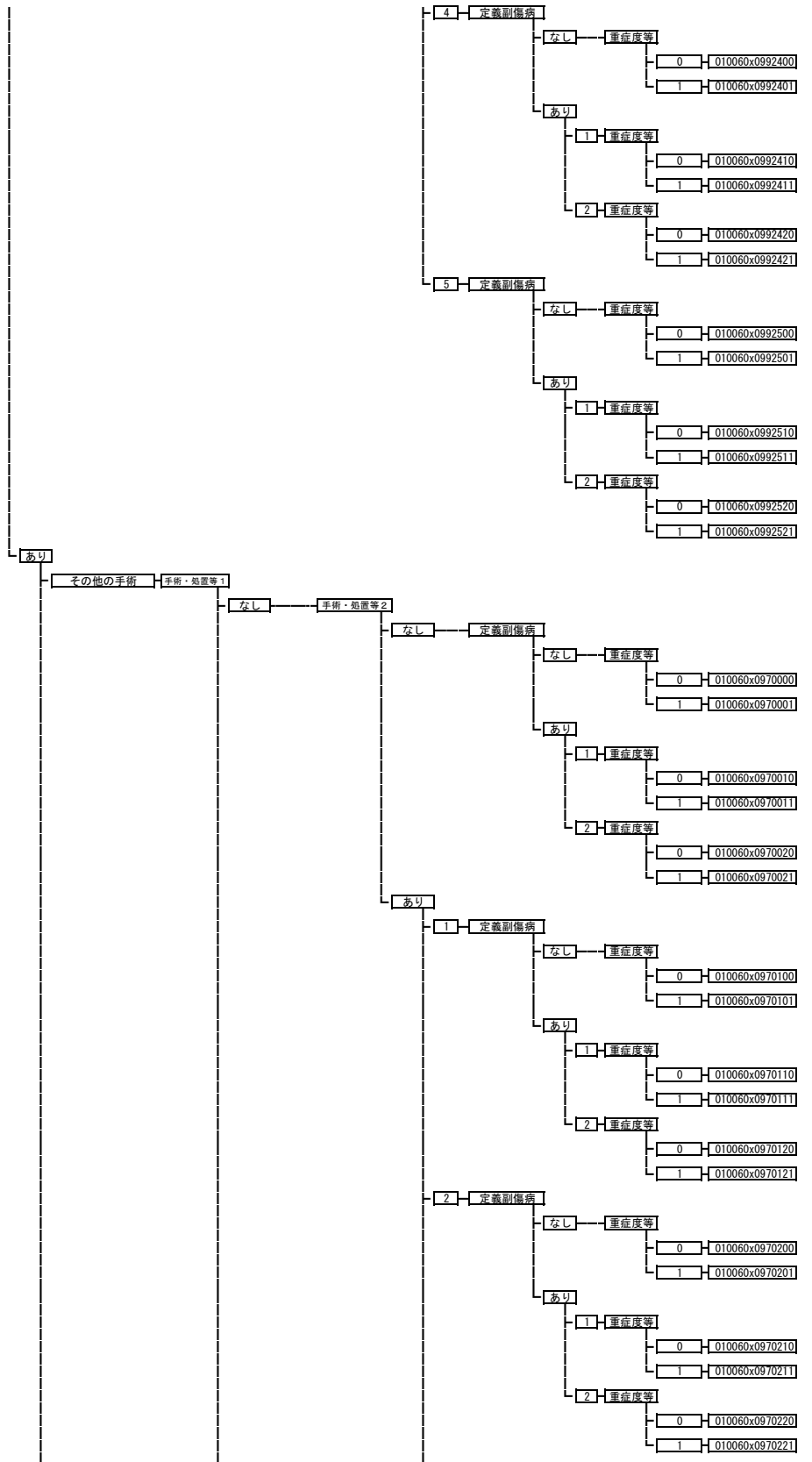
1 010060x0990411

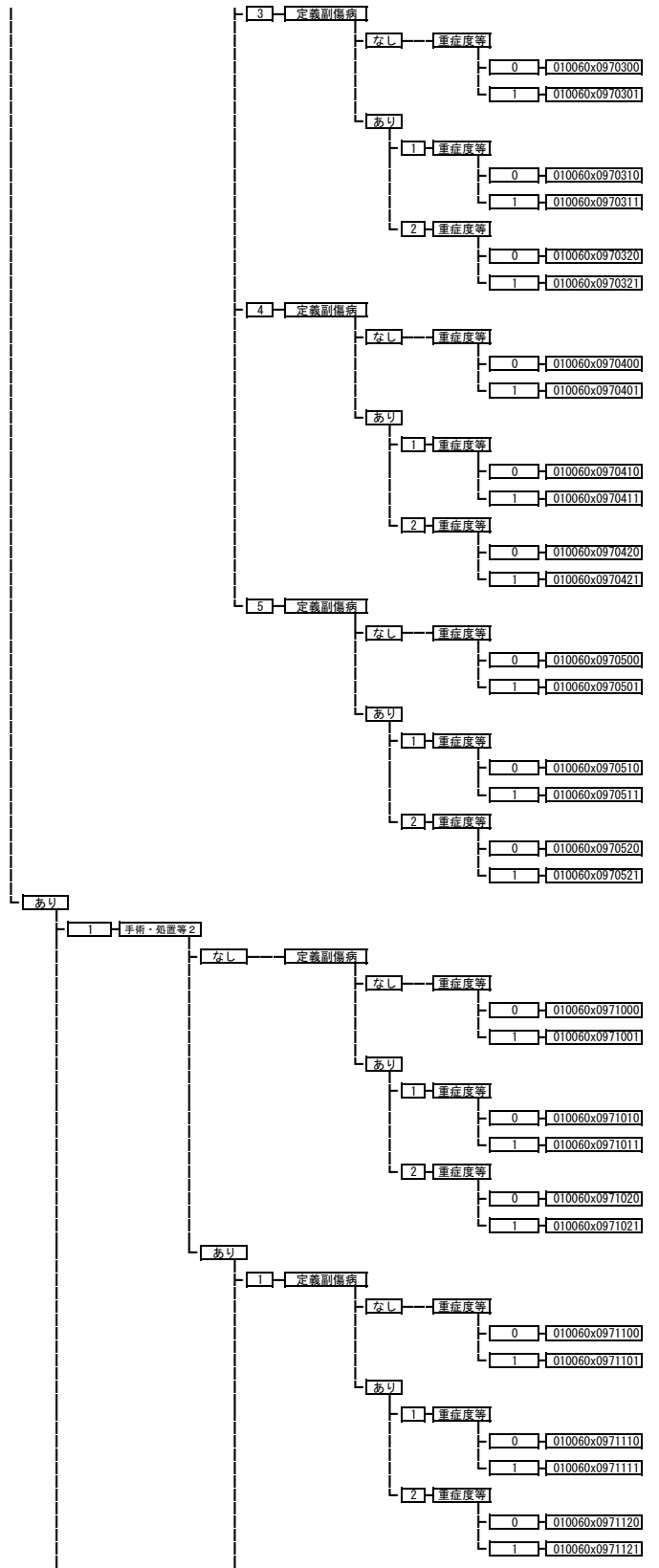
2 重症度等

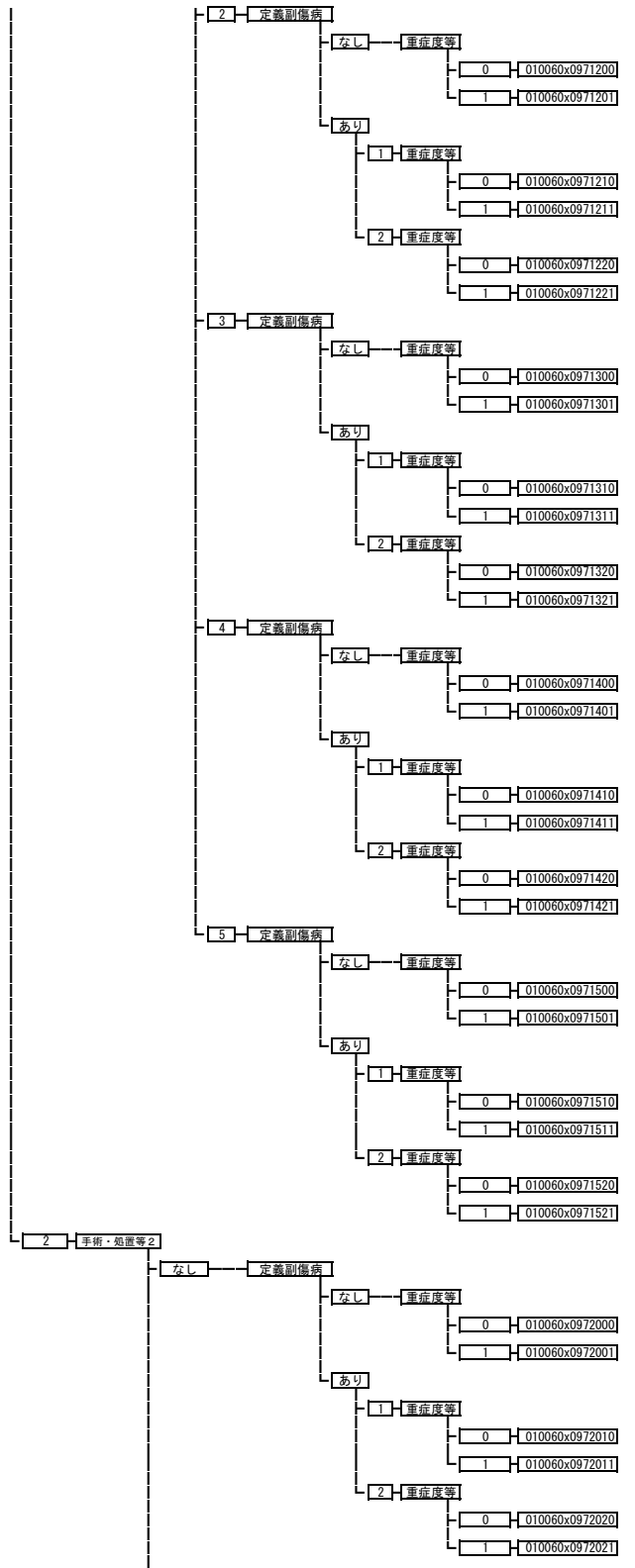
0 010060x0990420

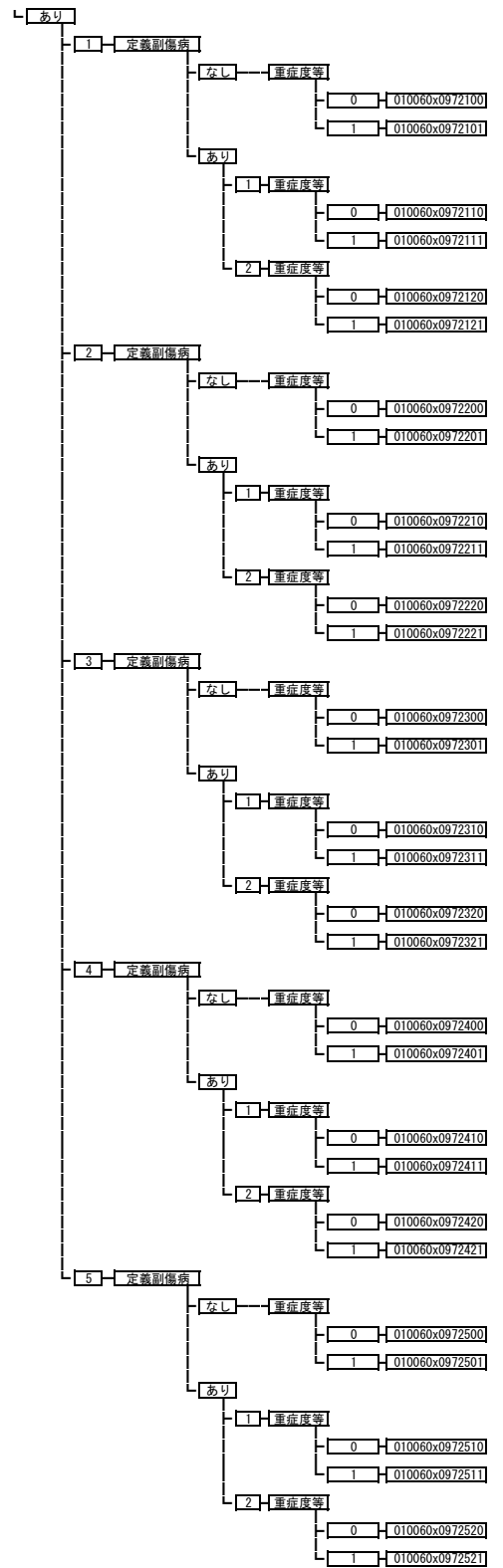
1 010060x0990421











K178-2等 手術・処置等1

なし

手術・処置等2

なし

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060x0020000

1

010060x0020001

あり

1

重症度等

0

010060x0020010

1

010060x0020011

2

重症度等

0

010060x0020020

1

010060x0020021

あり

1

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060x0020100

1

010060x0020101

あり

1

重症度等

0

010060x0020110

1

010060x0020111

2

重症度等

0

010060x0020120

1

010060x0020121

2

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060x0020200

1

010060x0020201

あり

1

重症度等

0

010060x0020210

1

010060x0020211

2

重症度等

0

010060x0020220

1

010060x0020221

3

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060x0020300

1

010060x0020301

あり

1

重症度等

0

010060x0020310

1

010060x0020311

2

重症度等

0

010060x0020320

1

010060x0020321

4

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060x0020400

1

010060x0020401

あり

1

重症度等

0

010060x0020410

1

010060x0020411

2

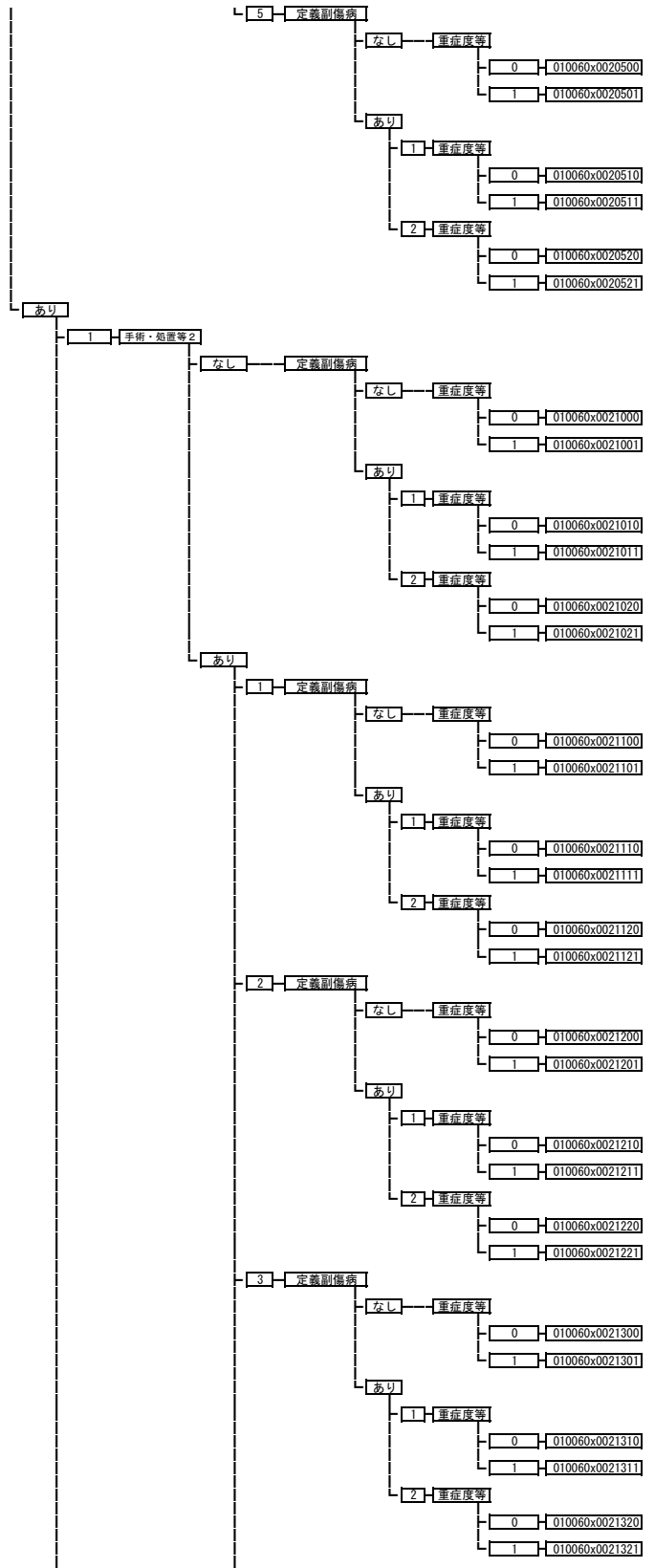
重症度等

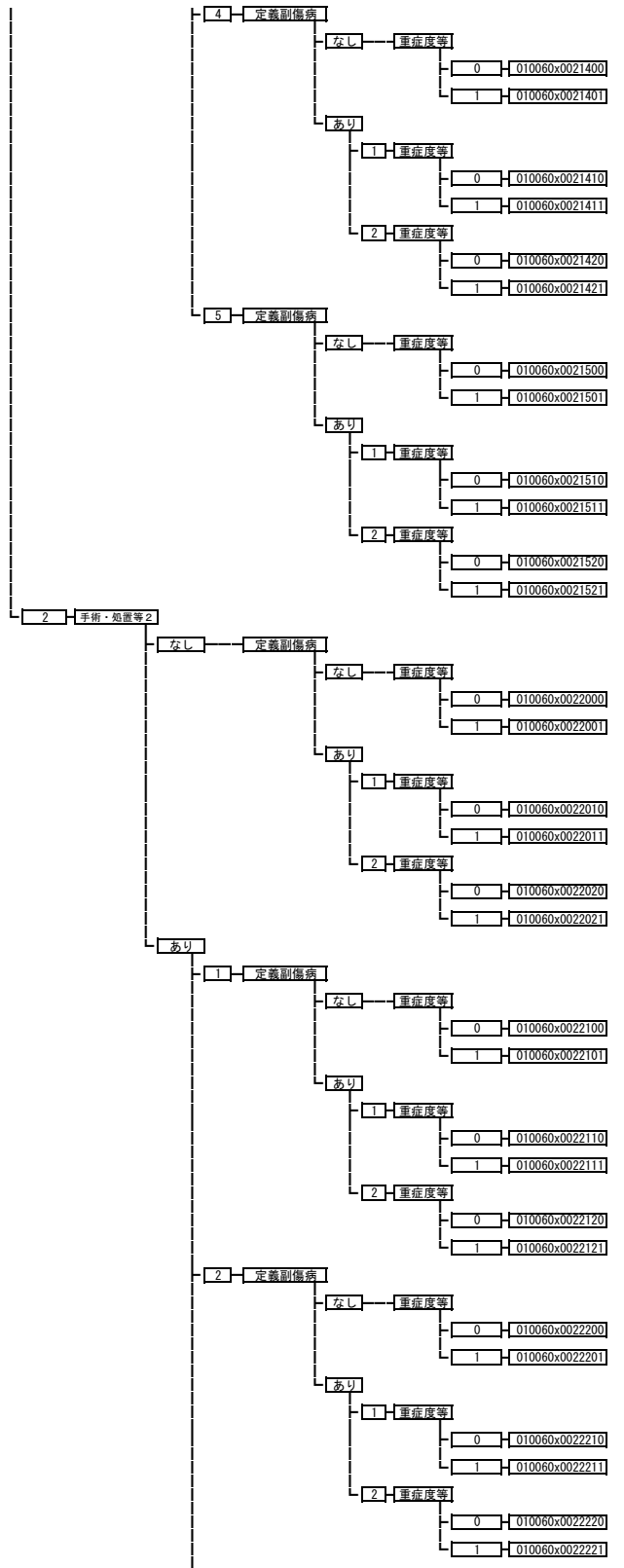
0

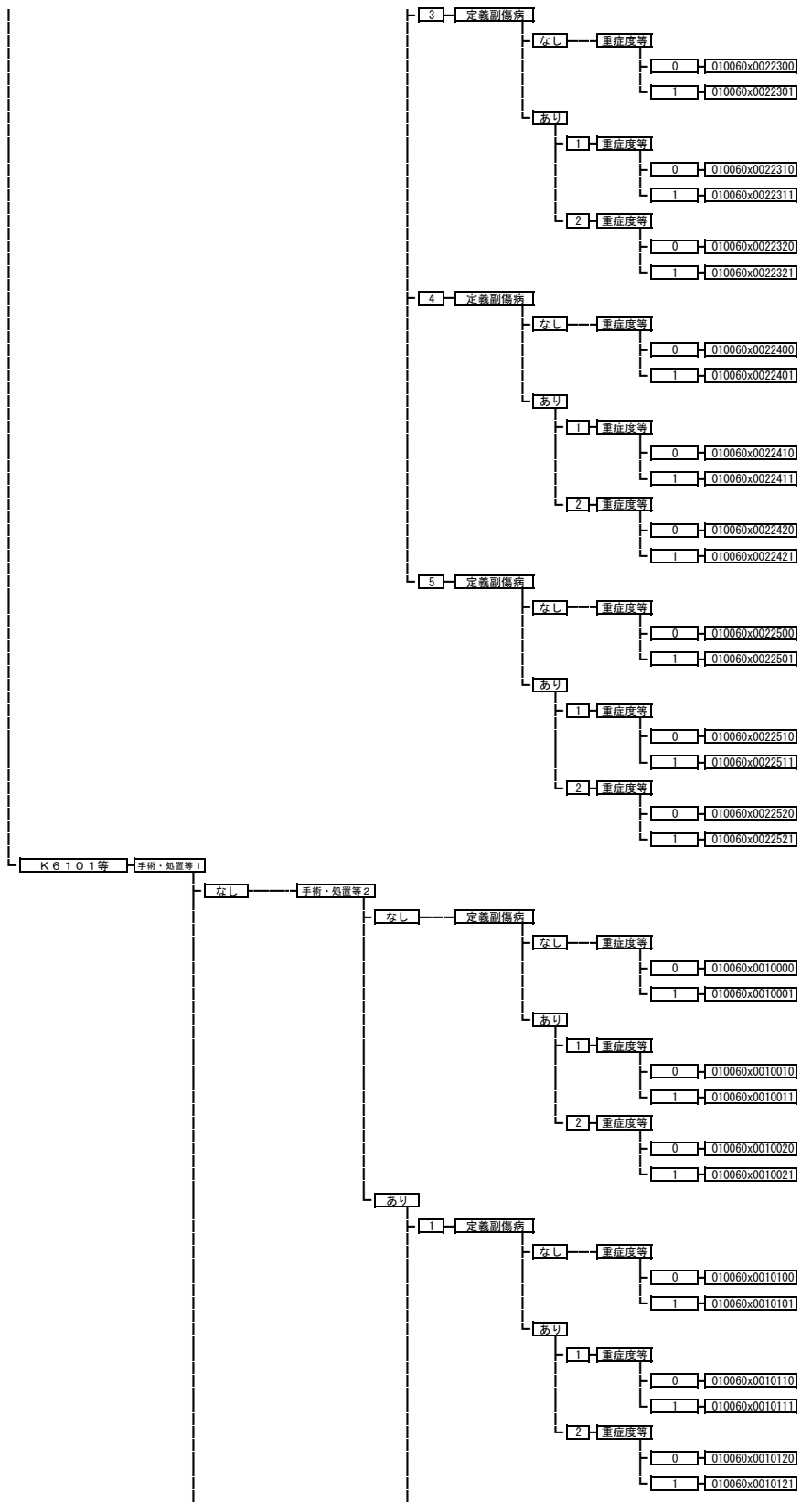
010060x0020420

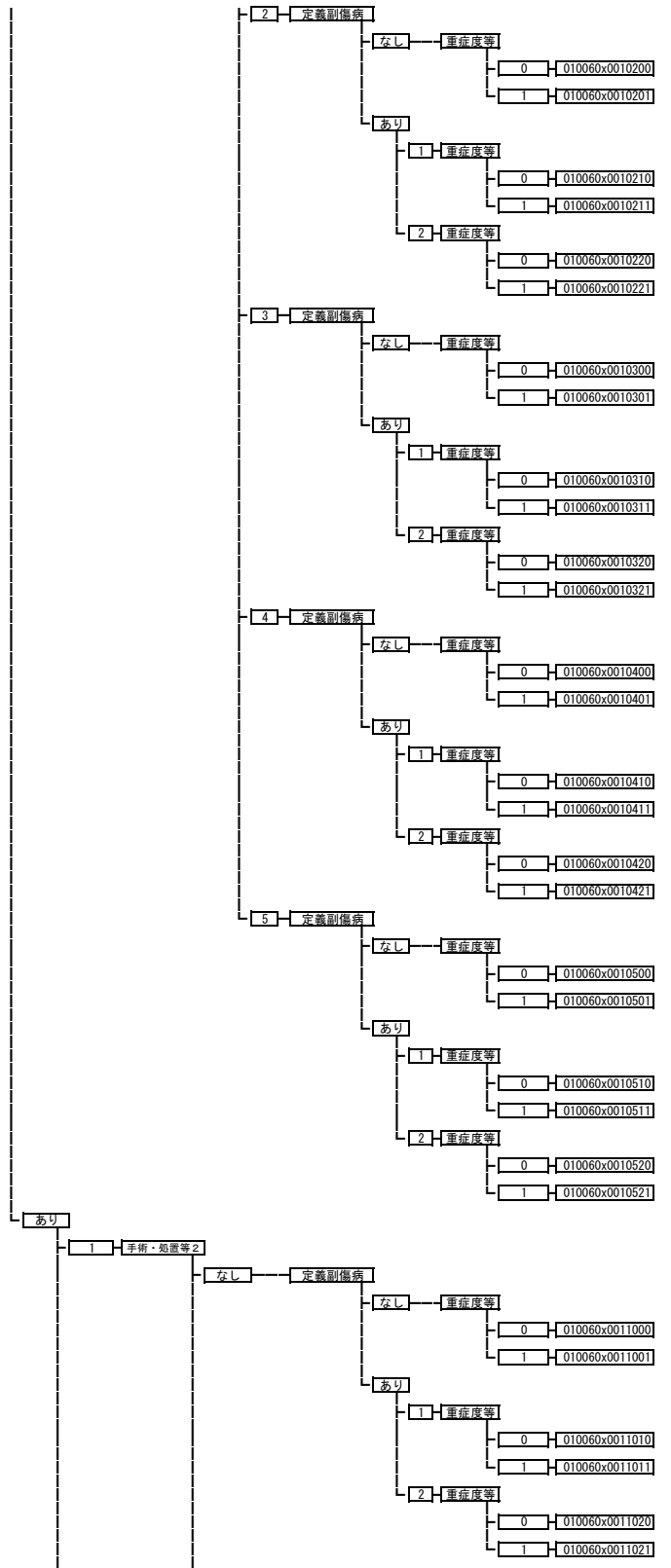
1

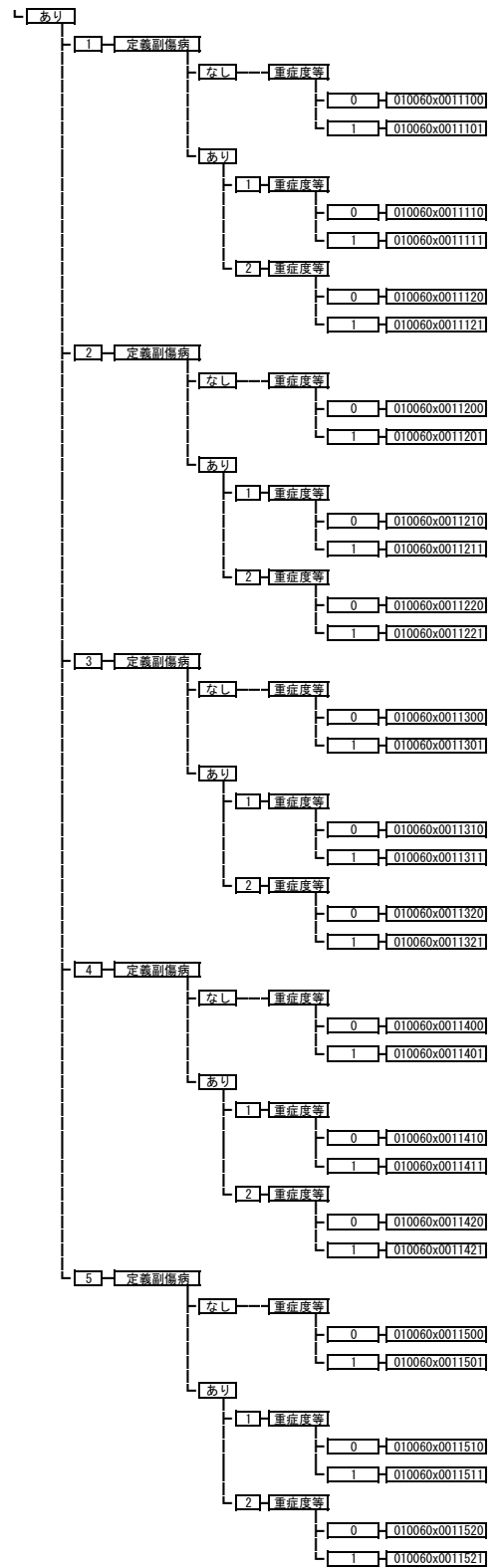
010060x0020421

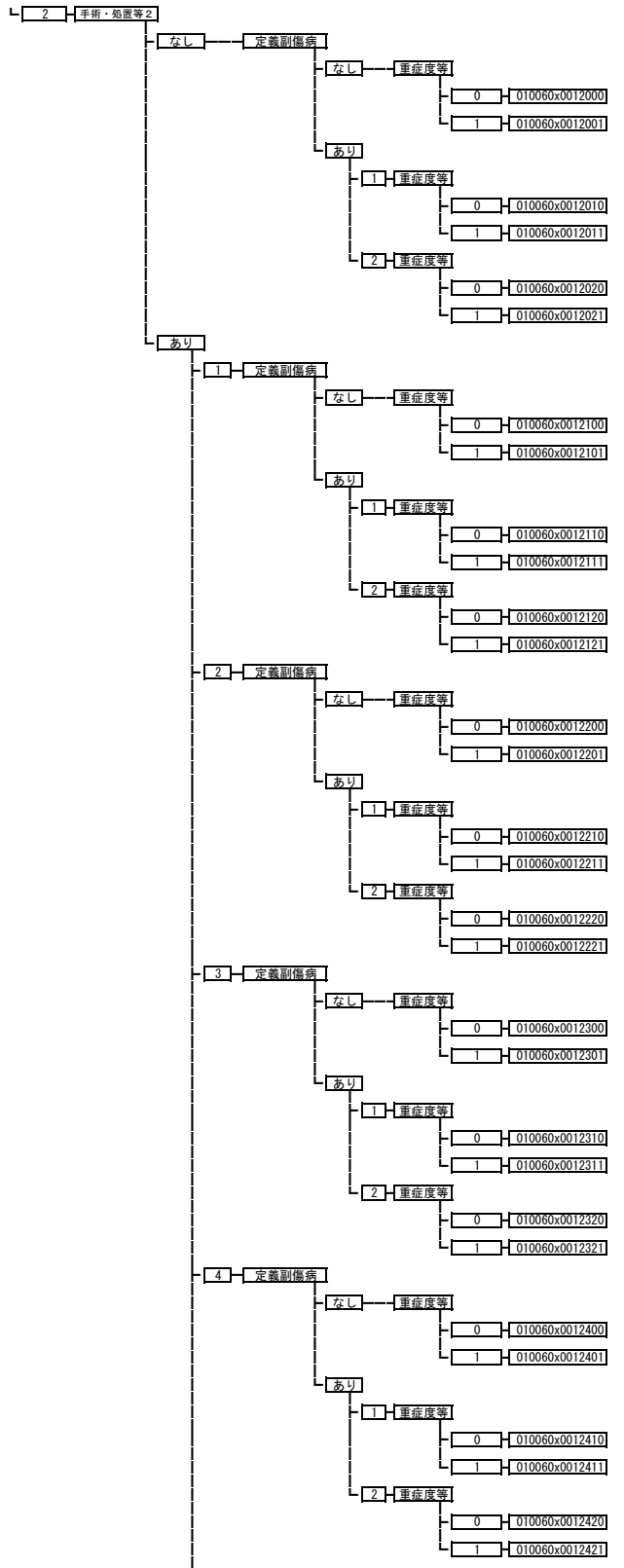


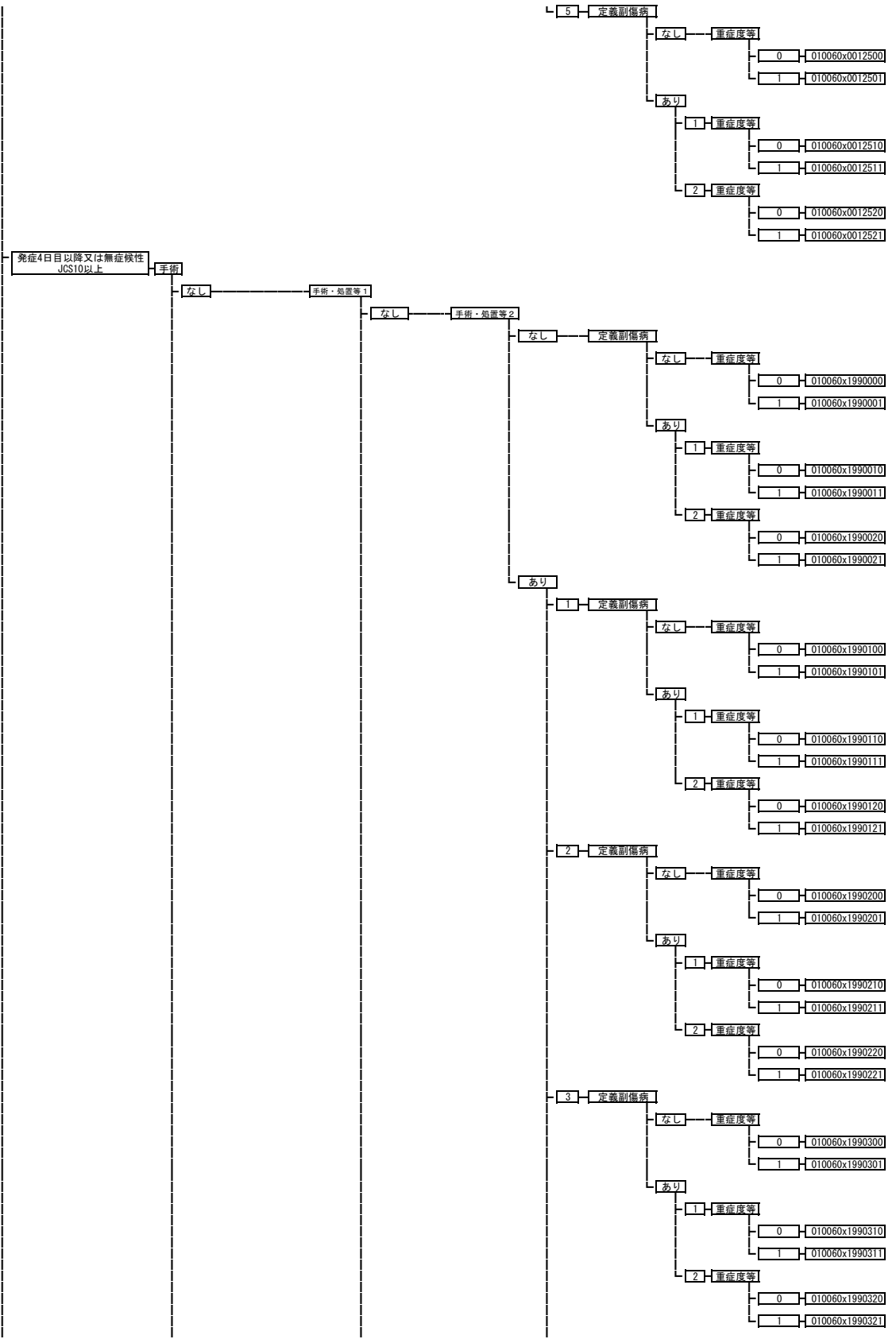


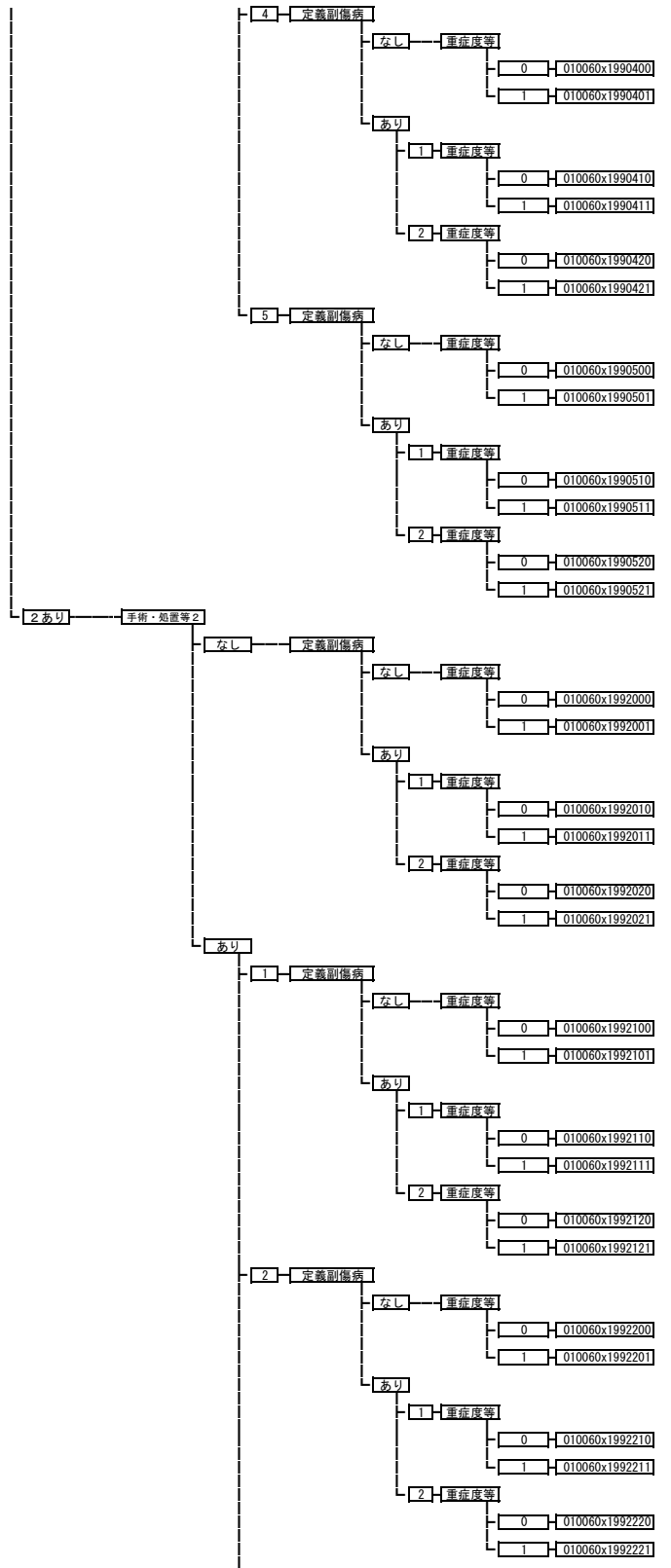


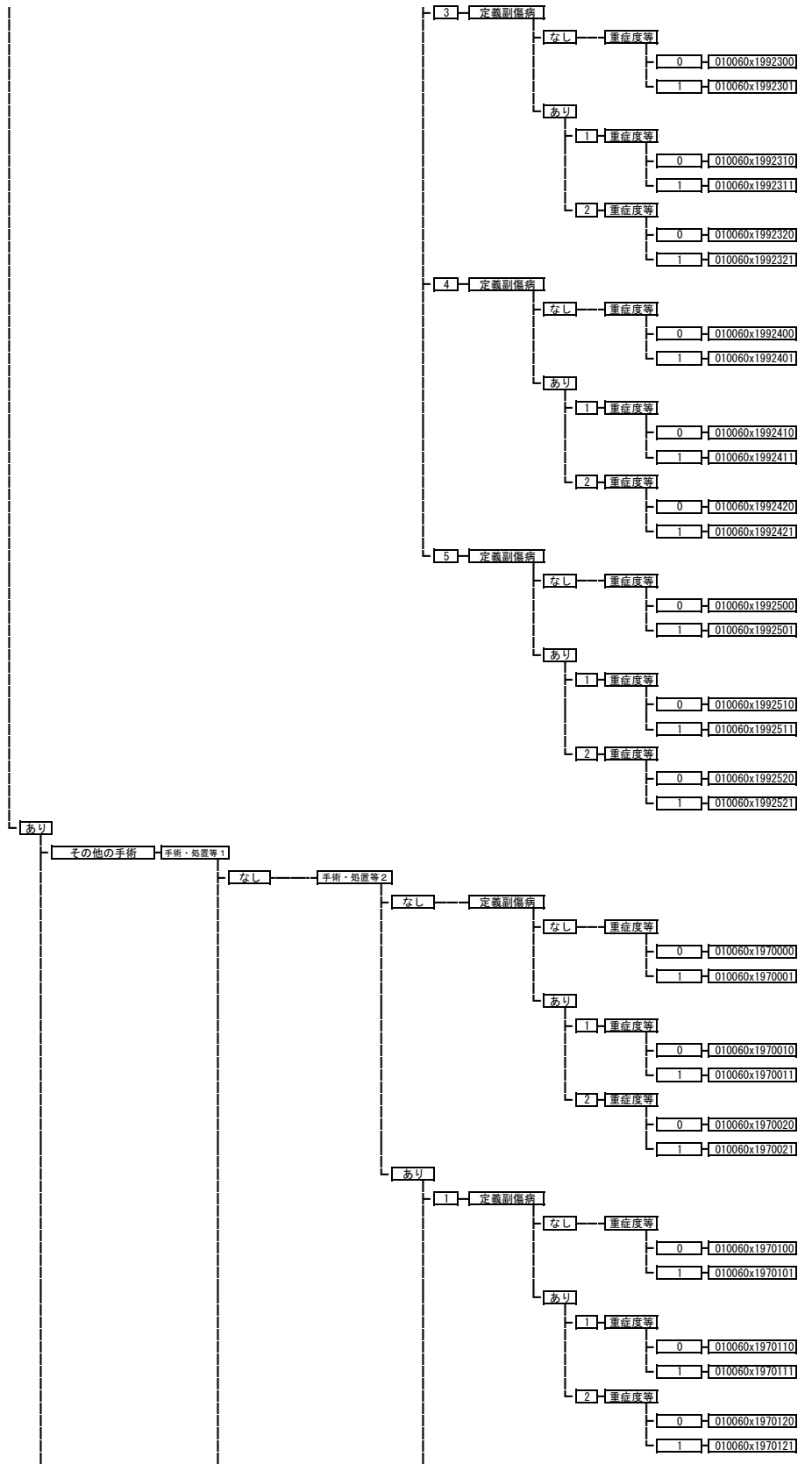


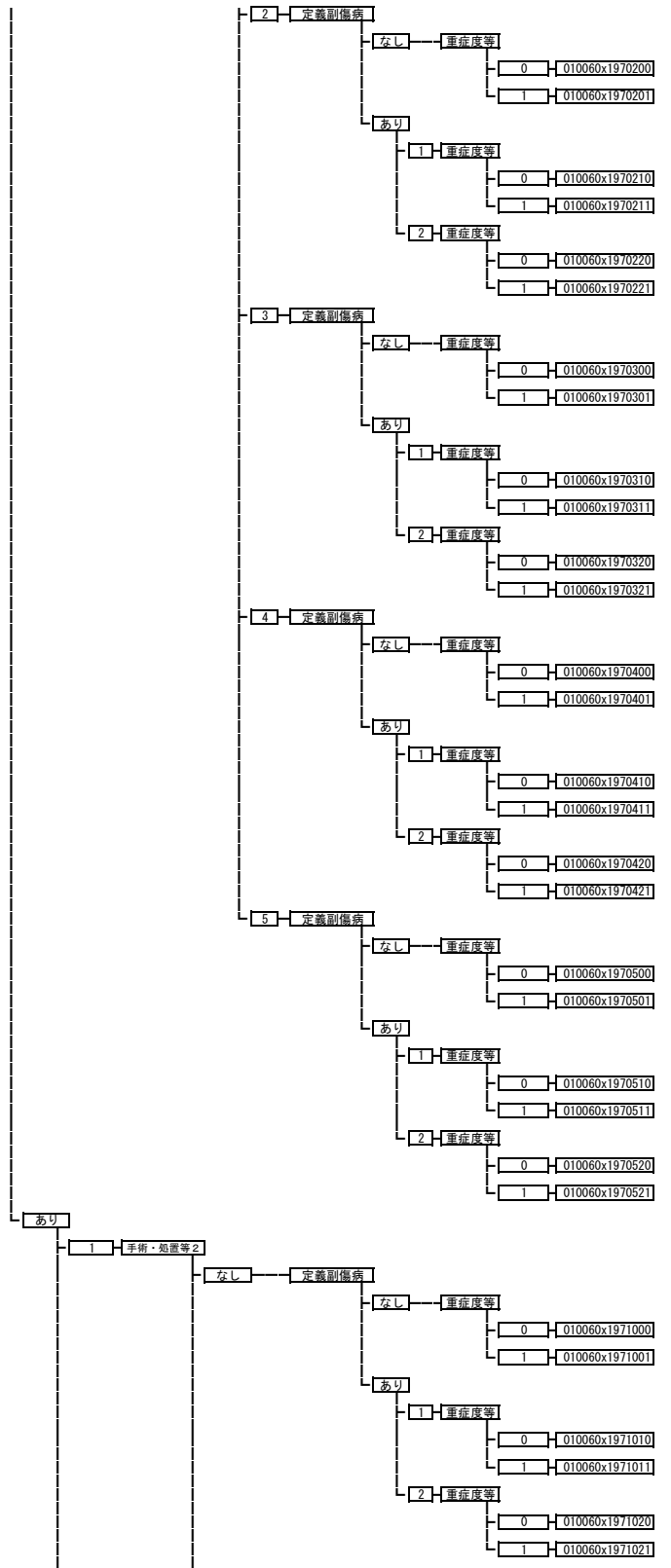


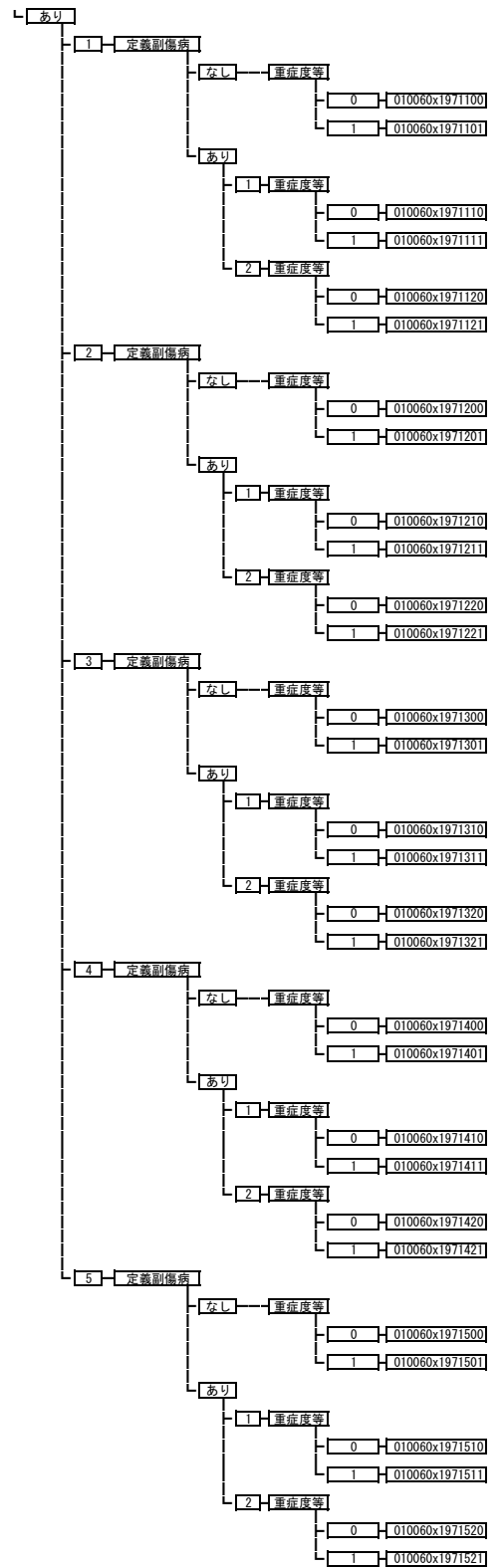


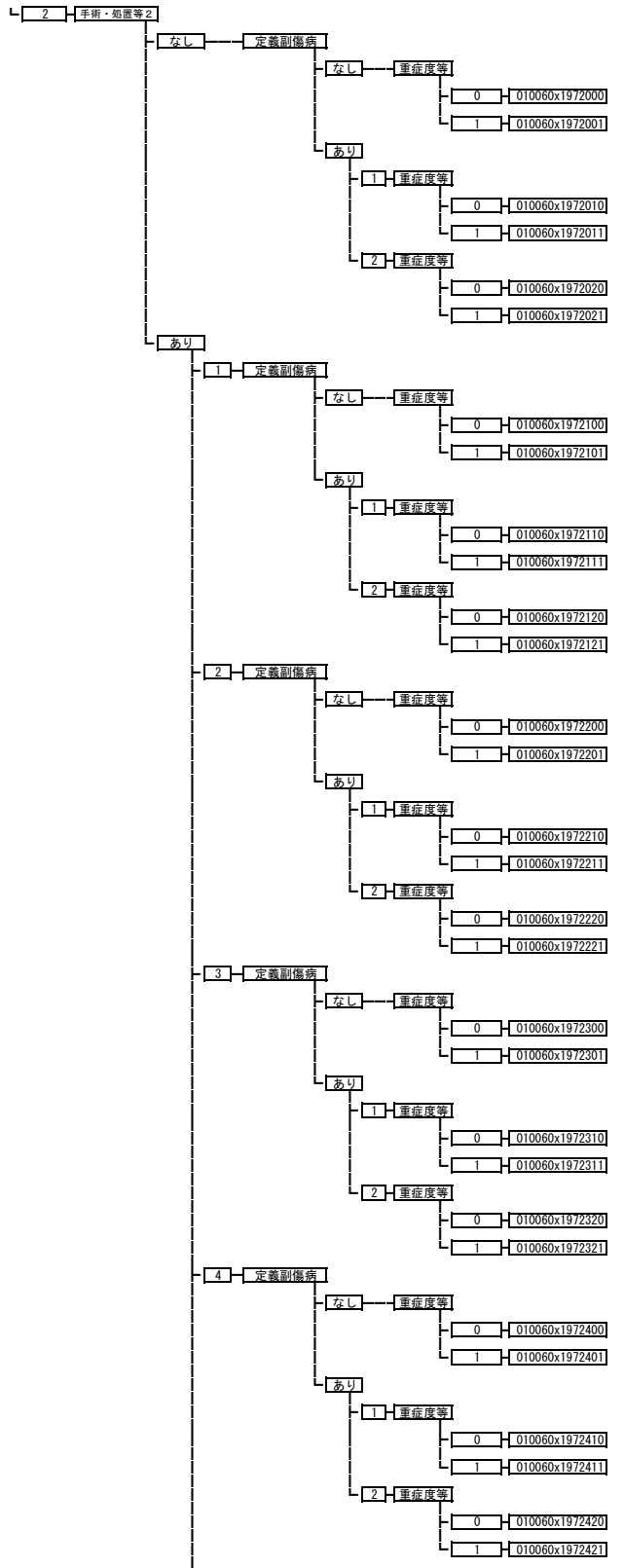


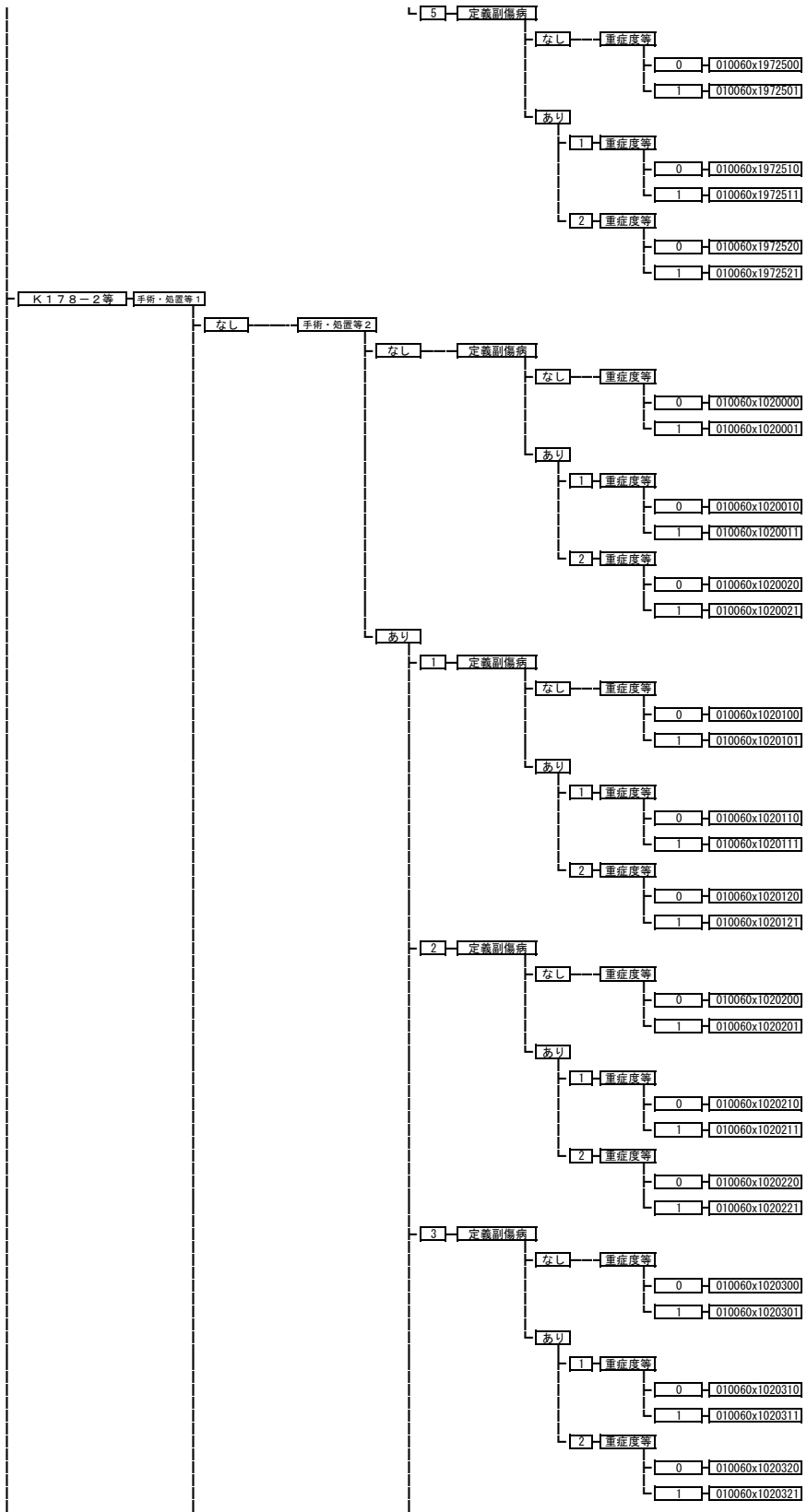


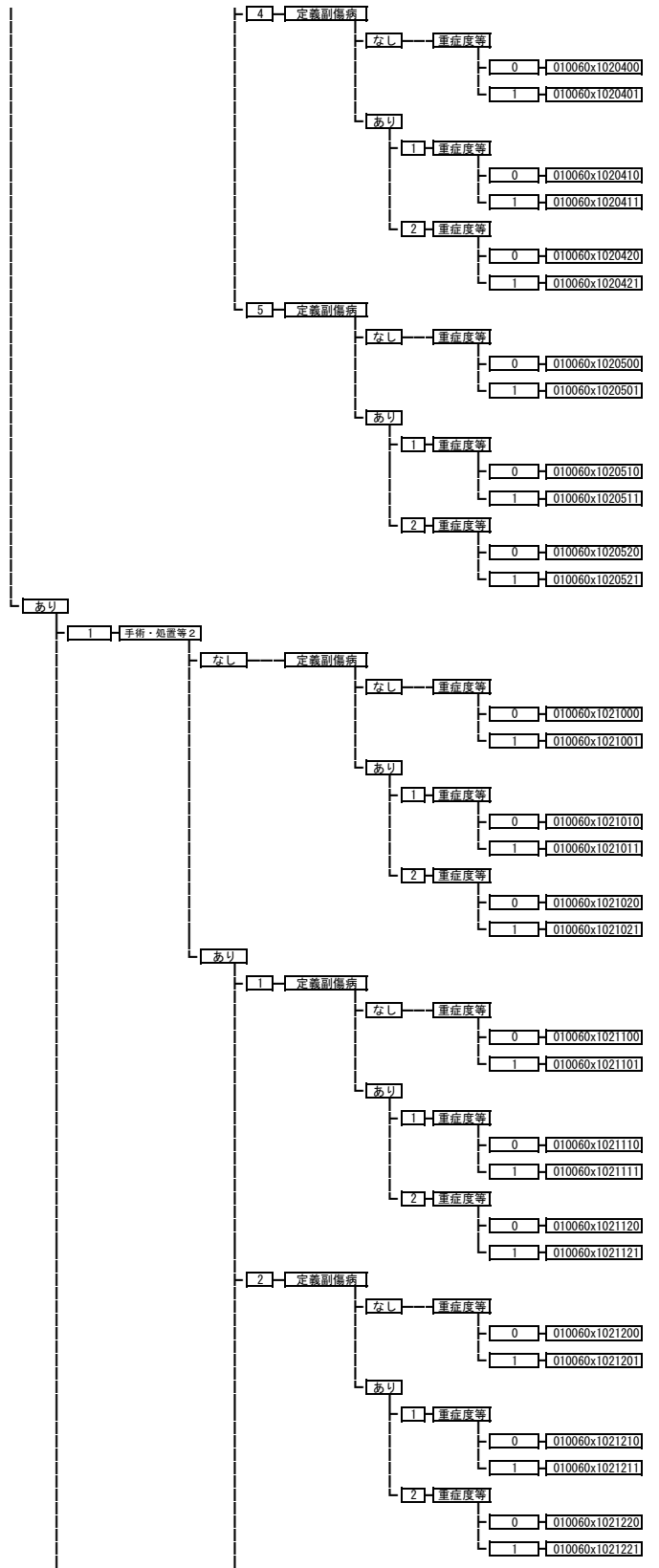


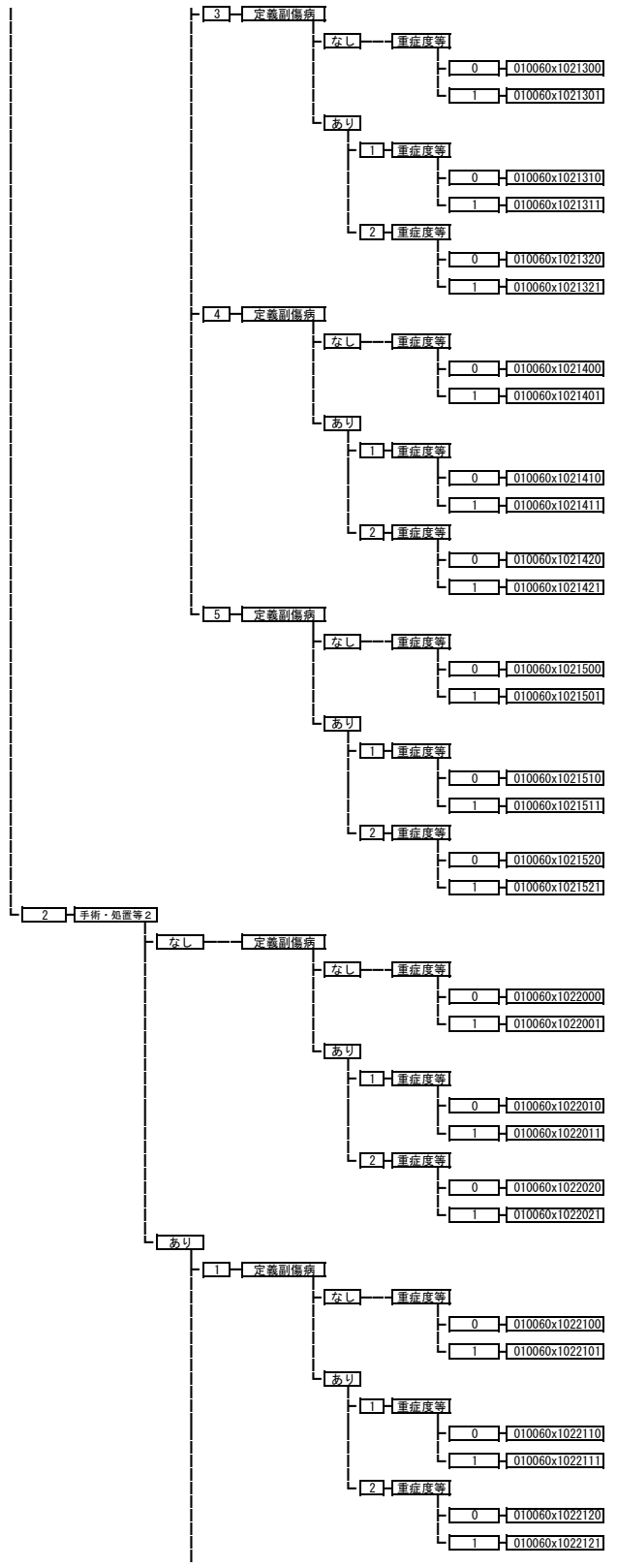


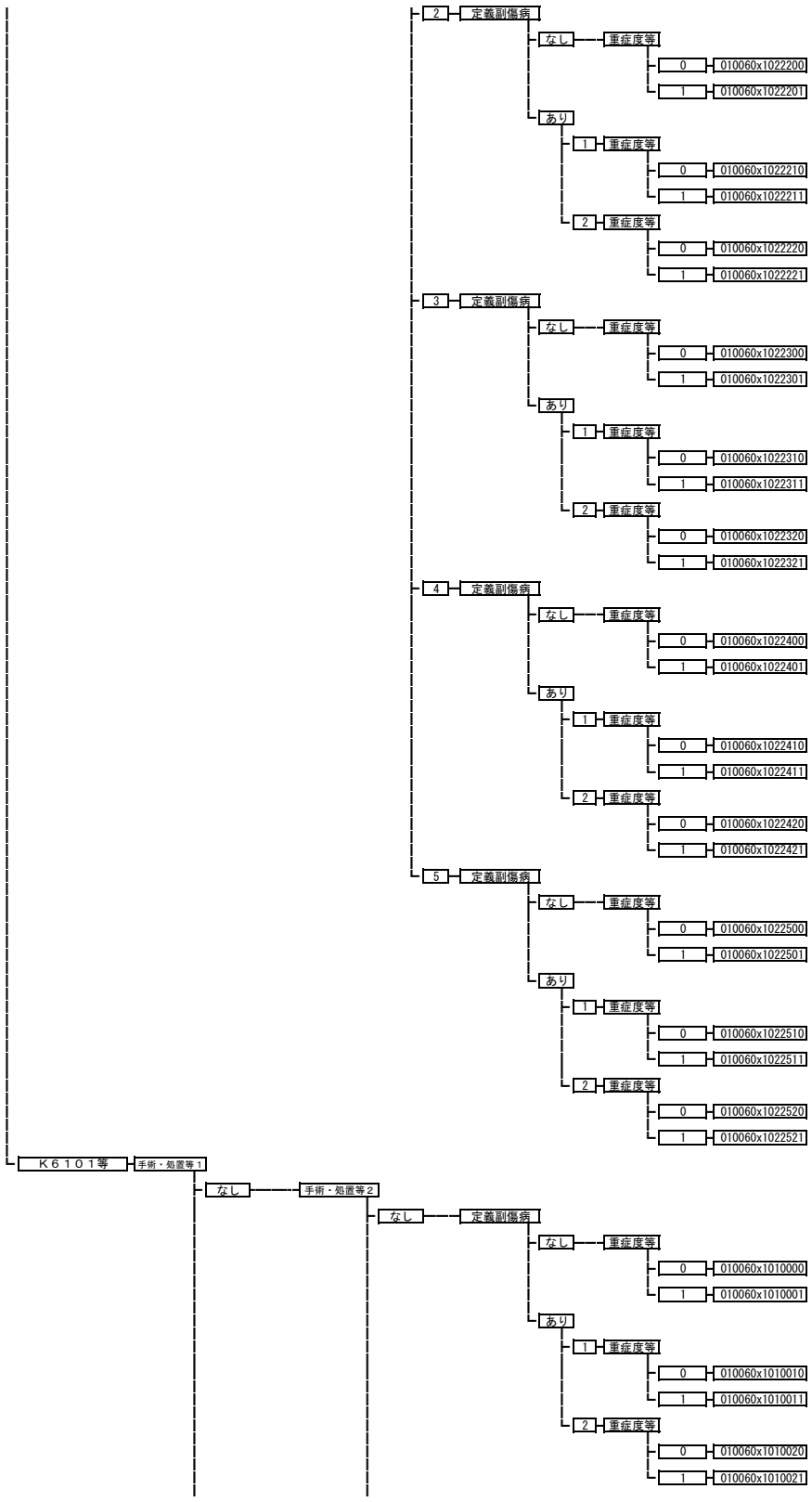


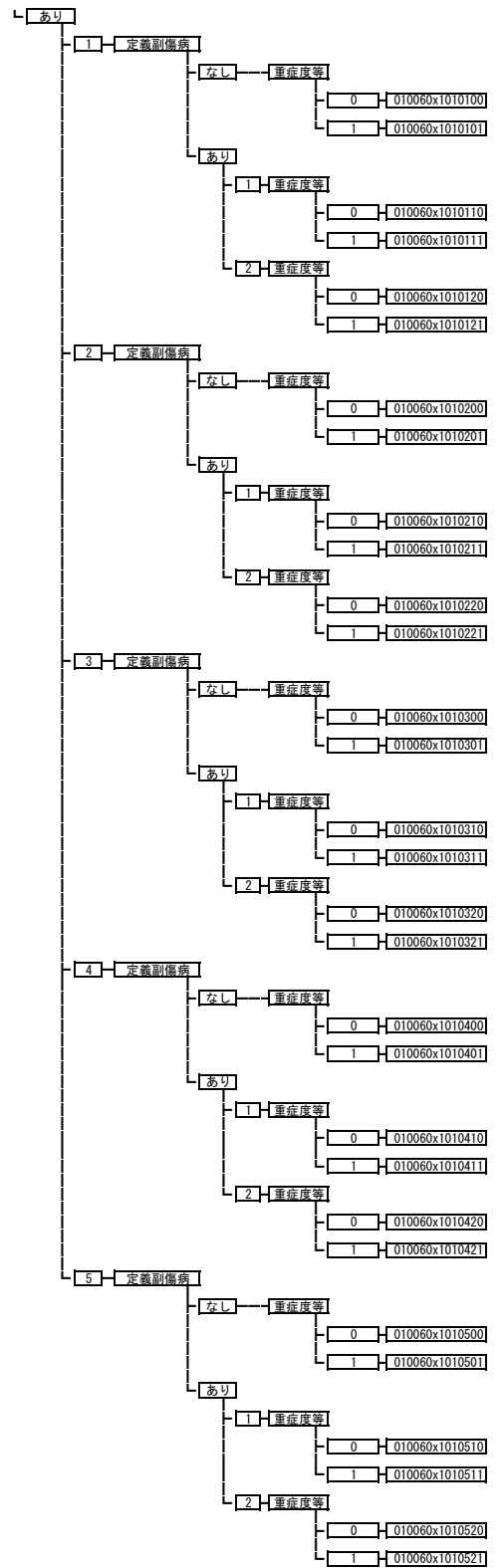


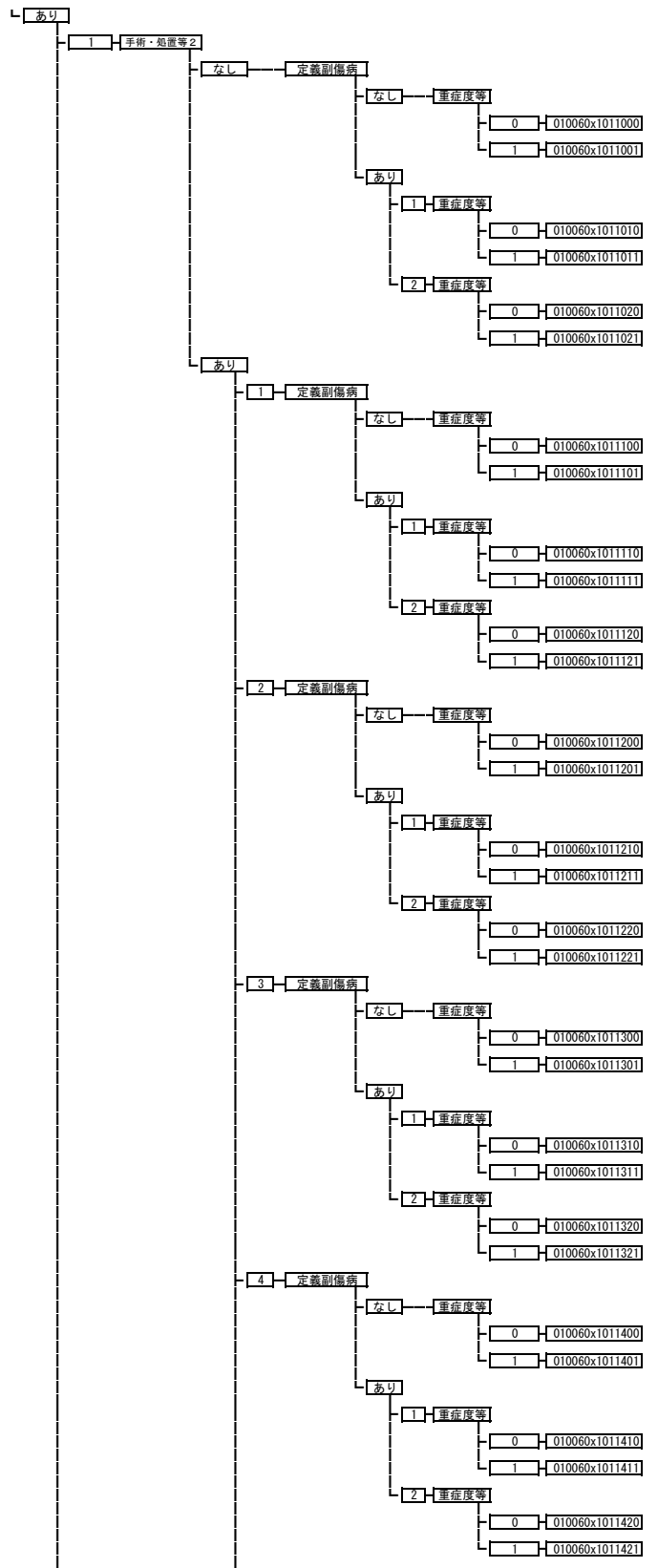


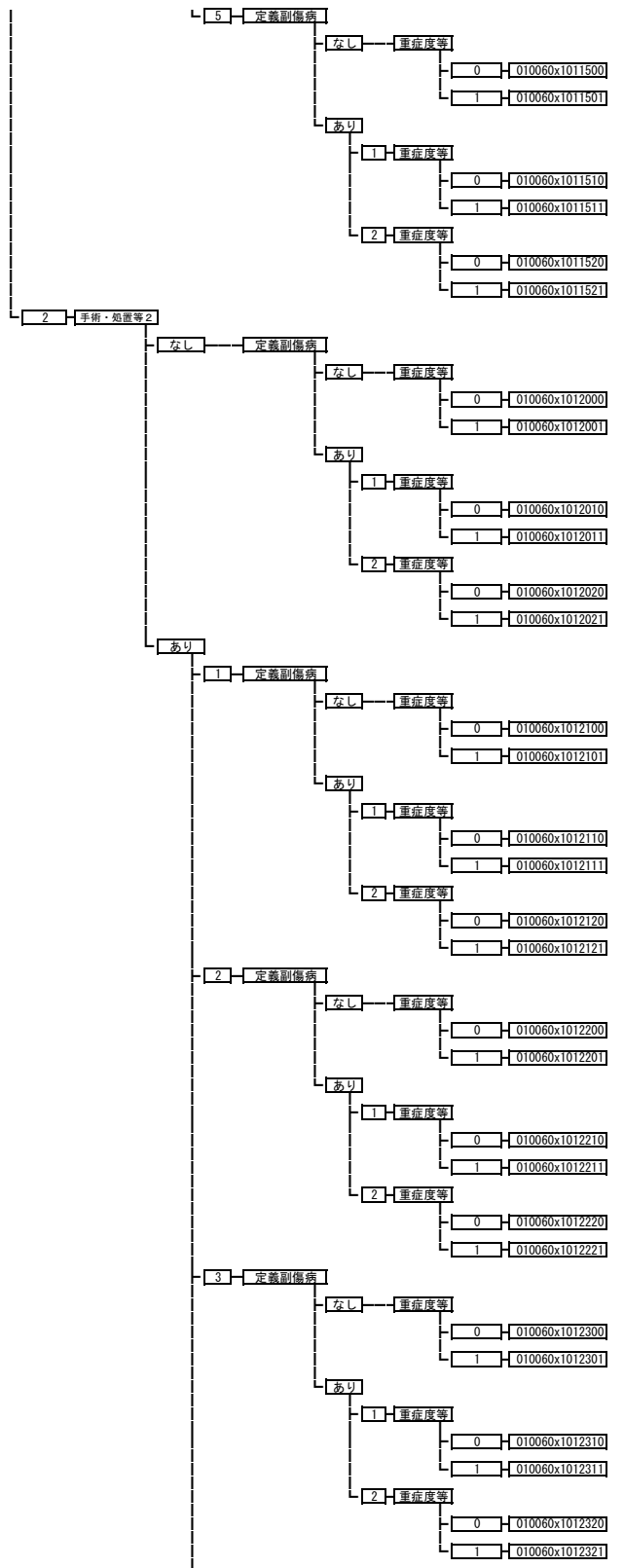


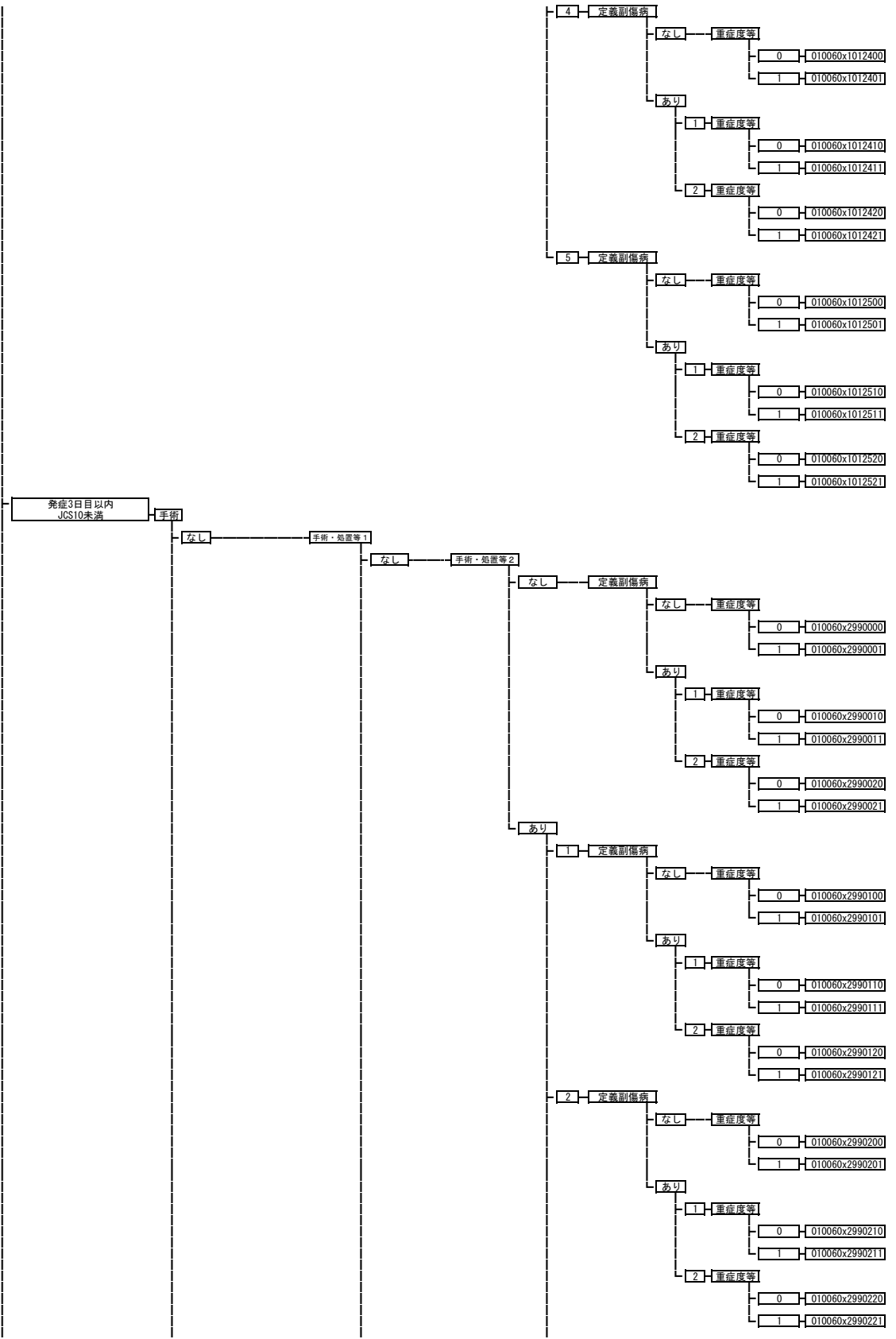


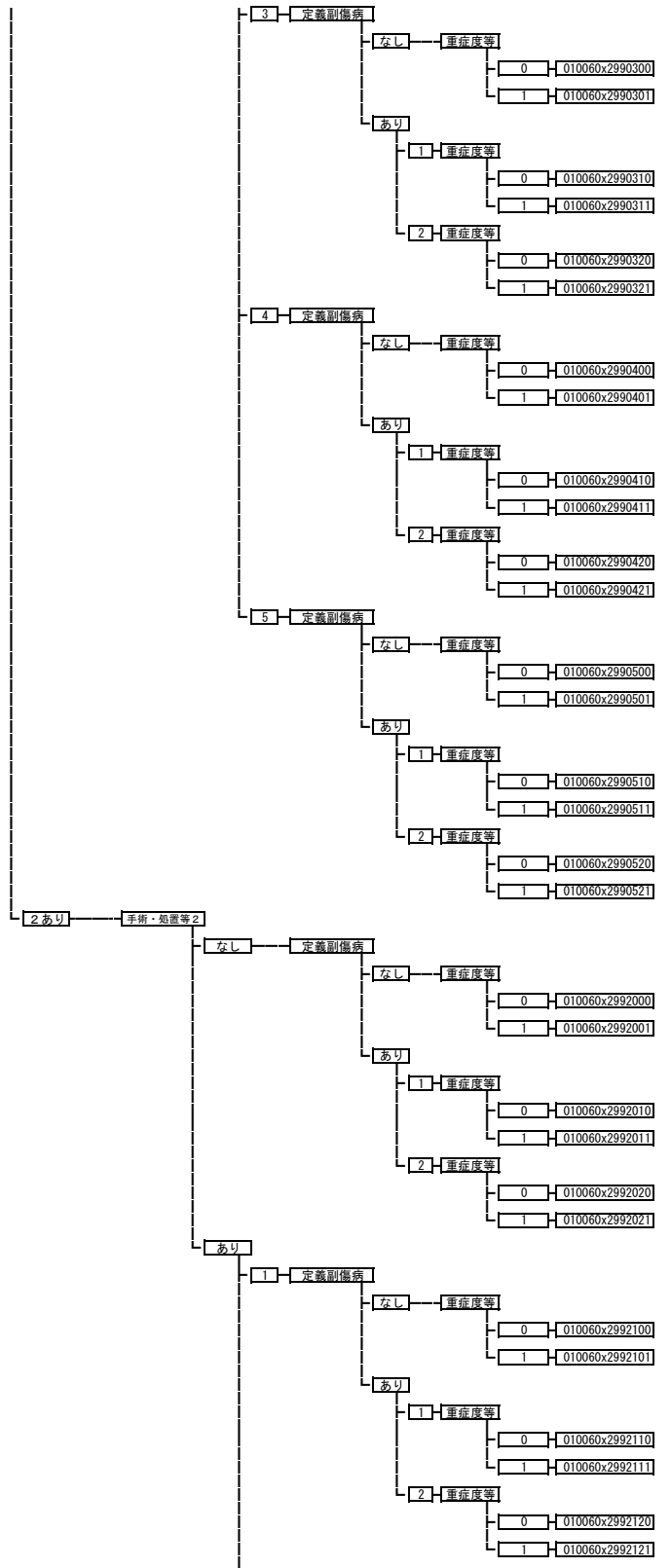


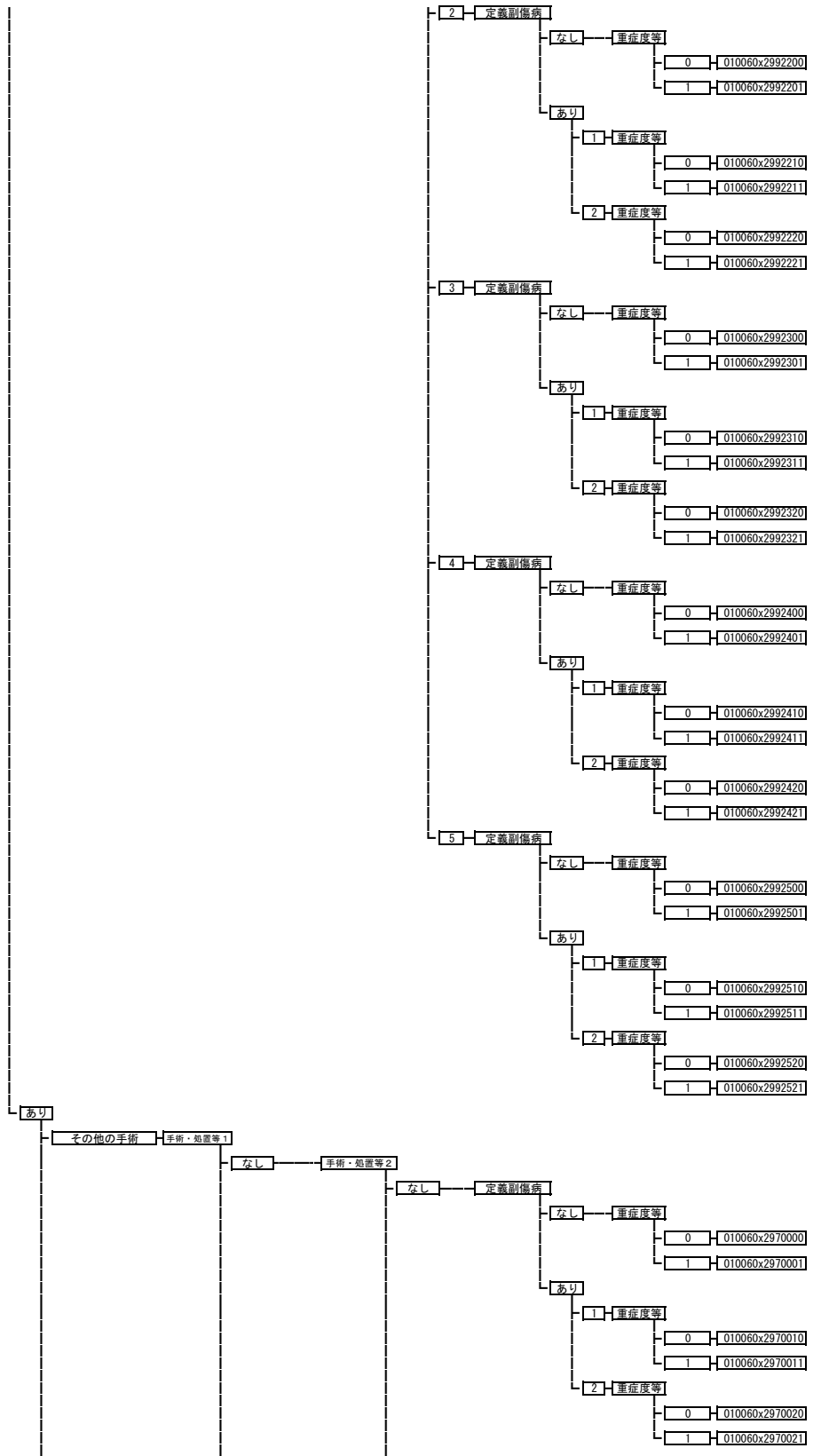


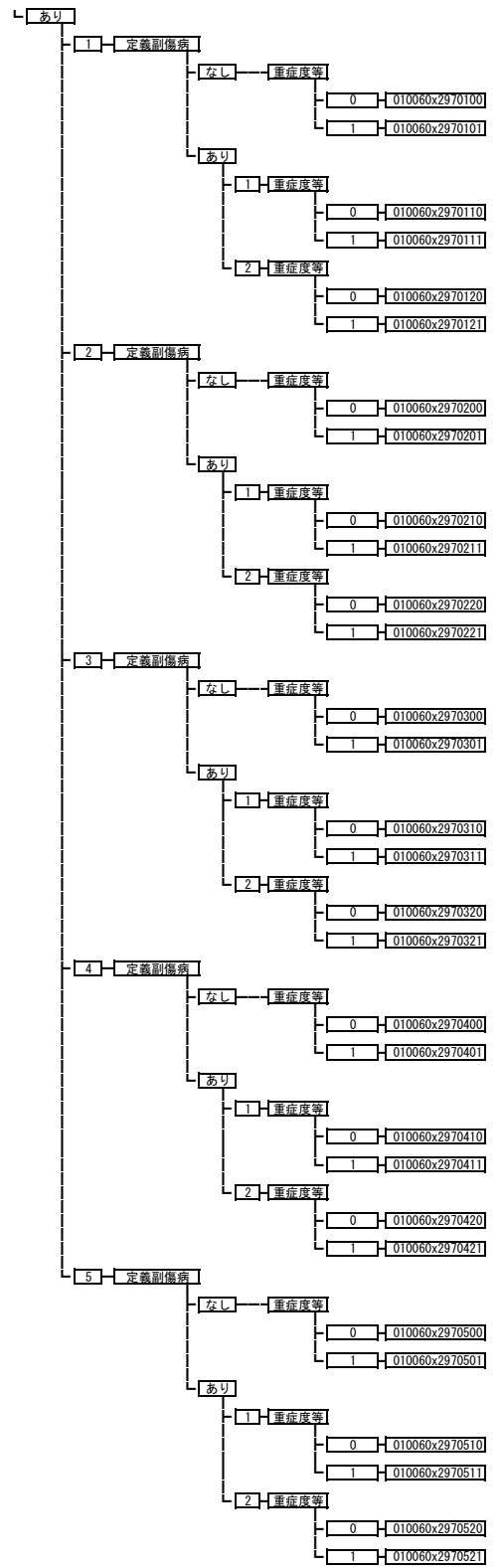


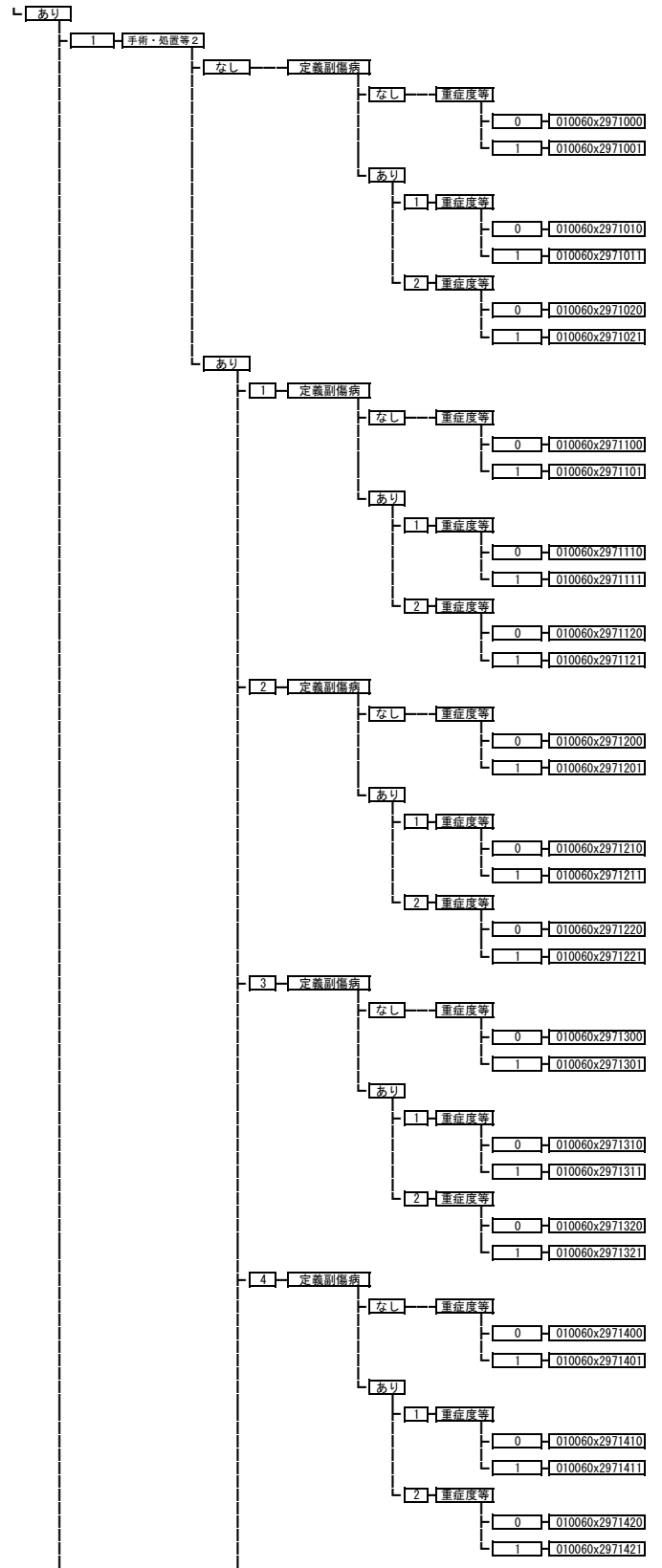


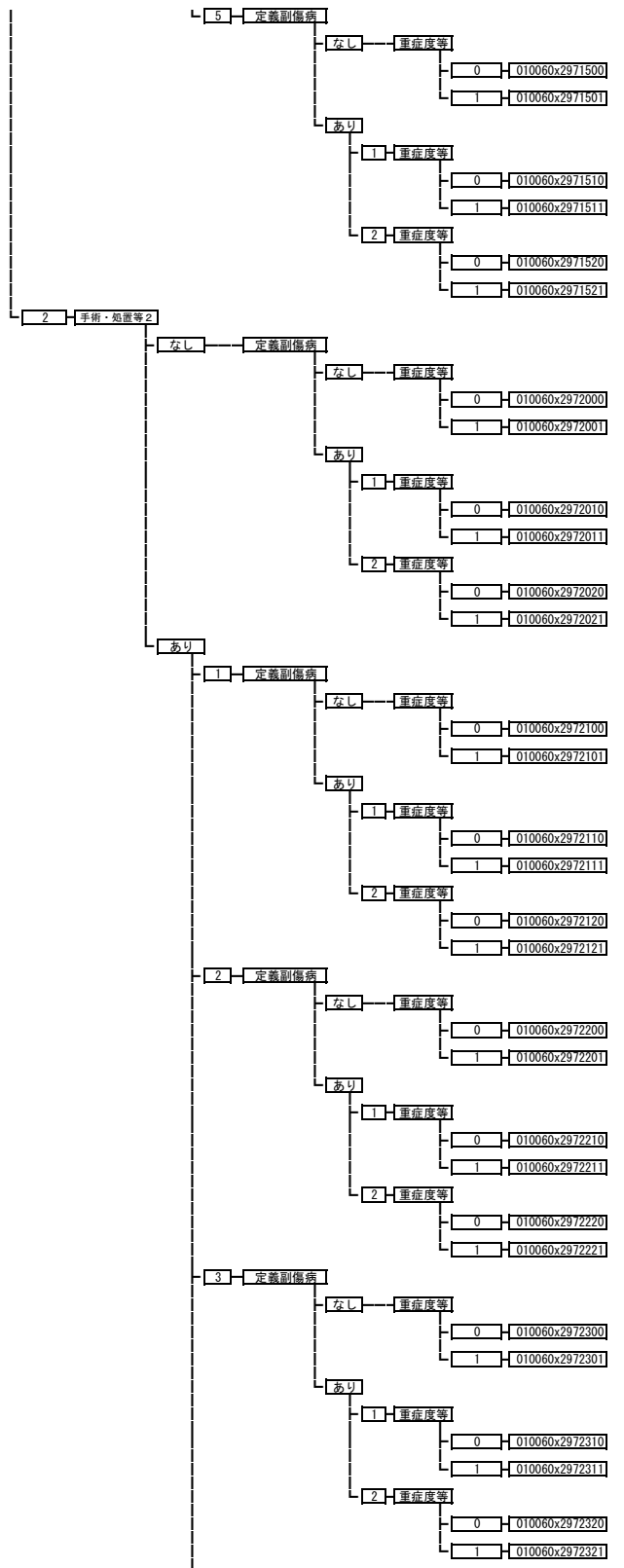


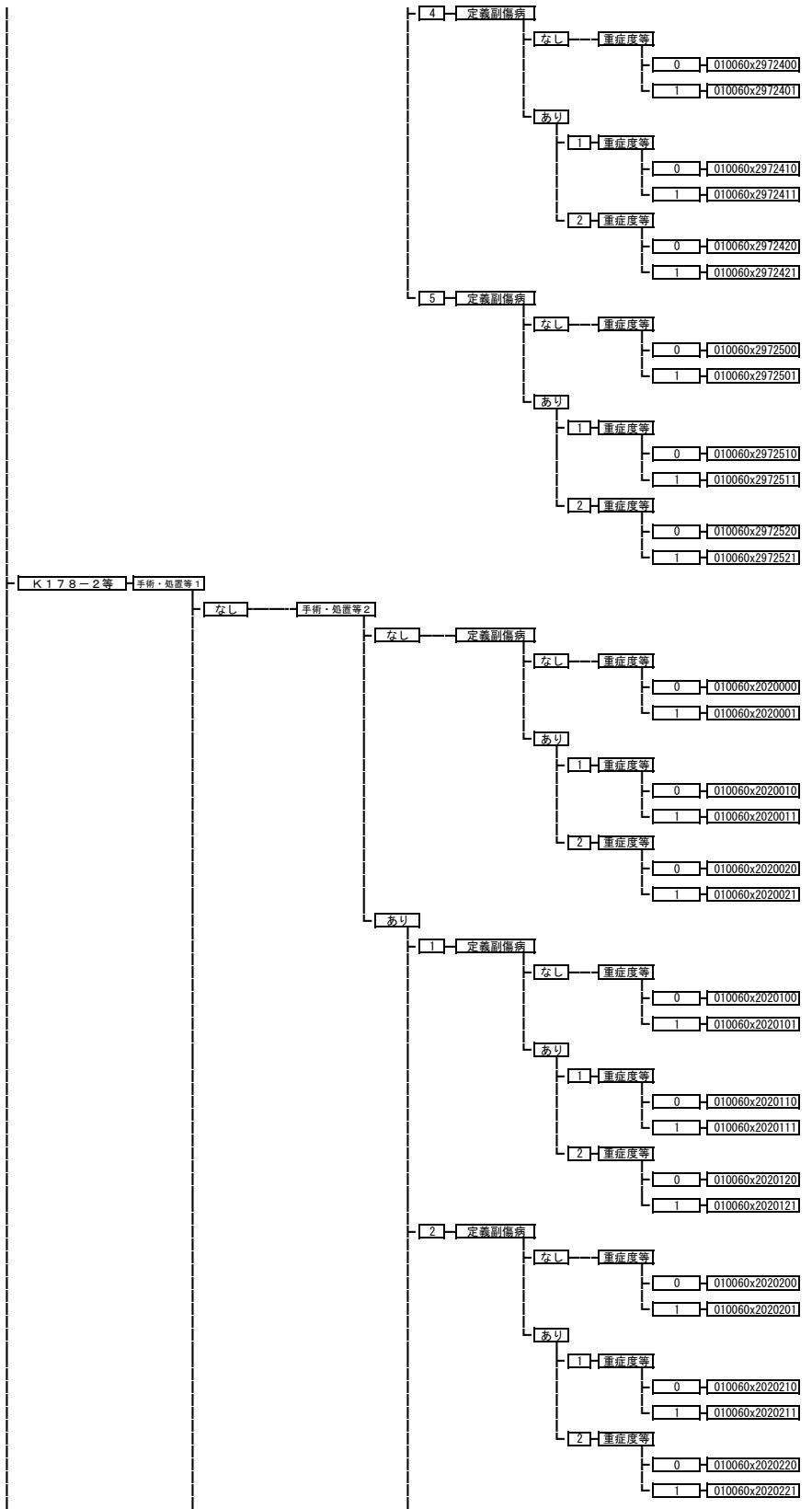


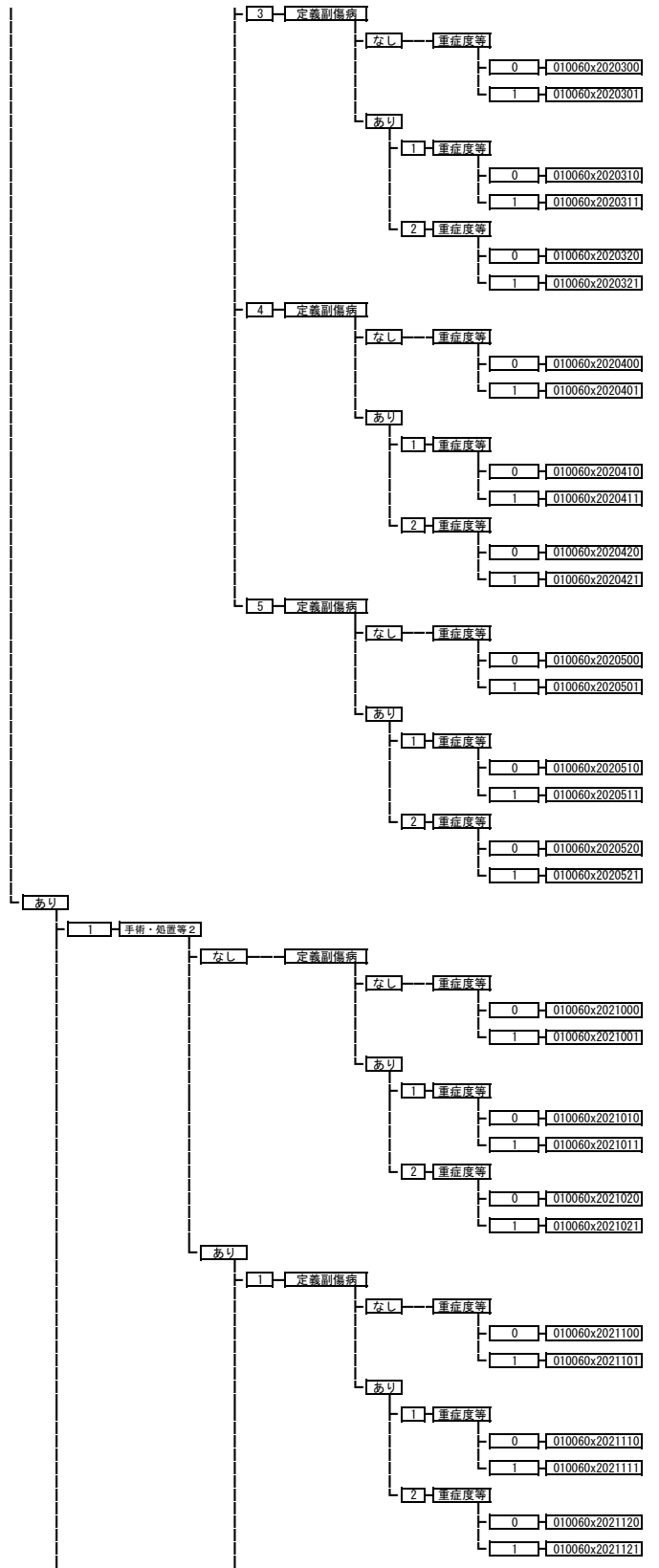


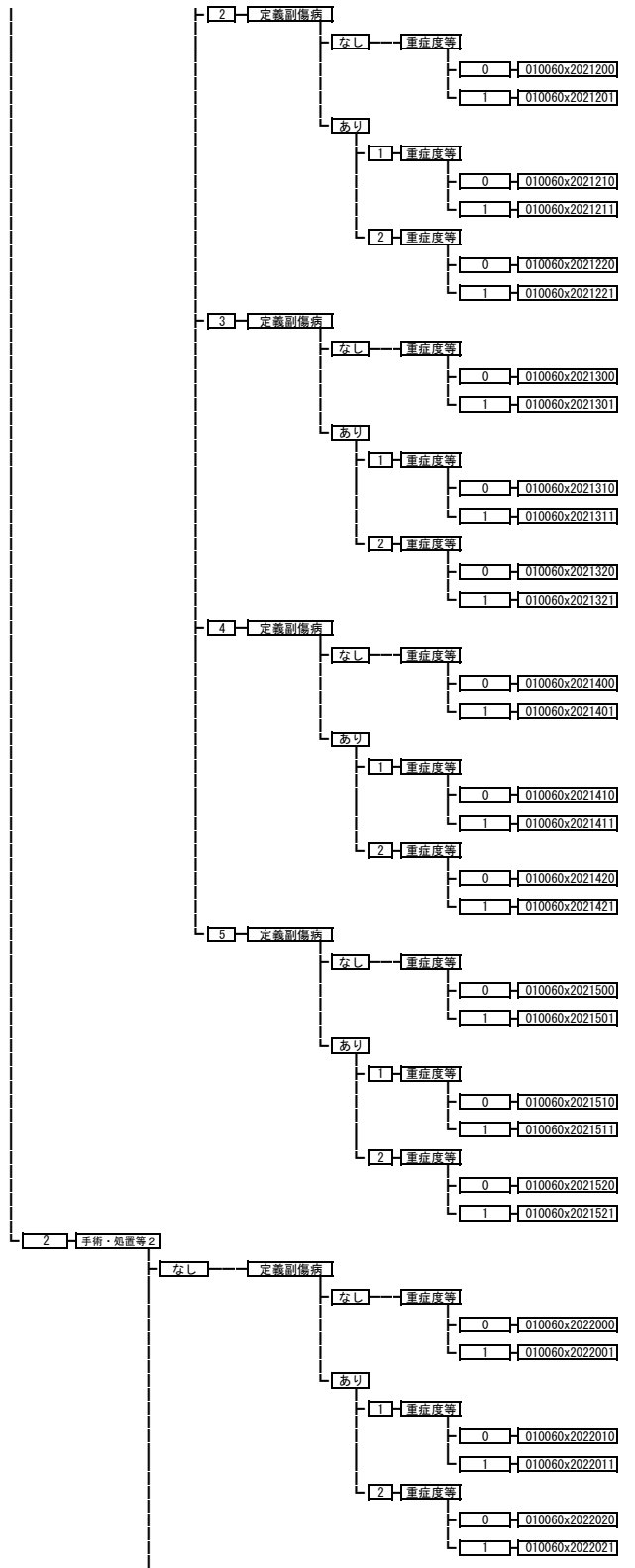


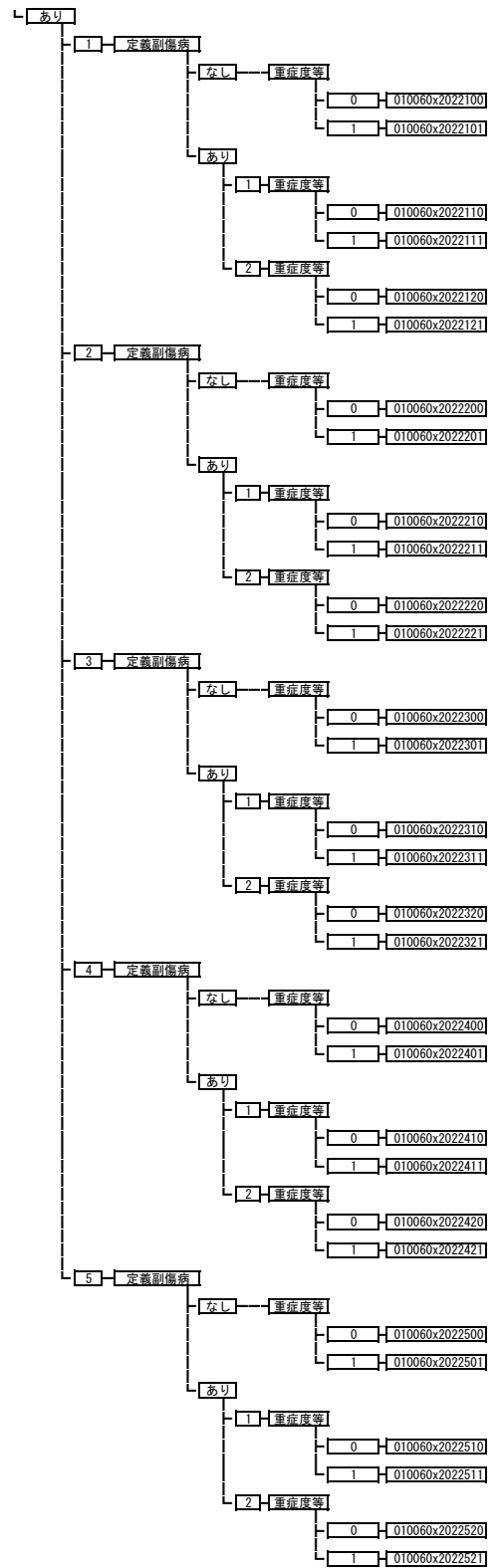


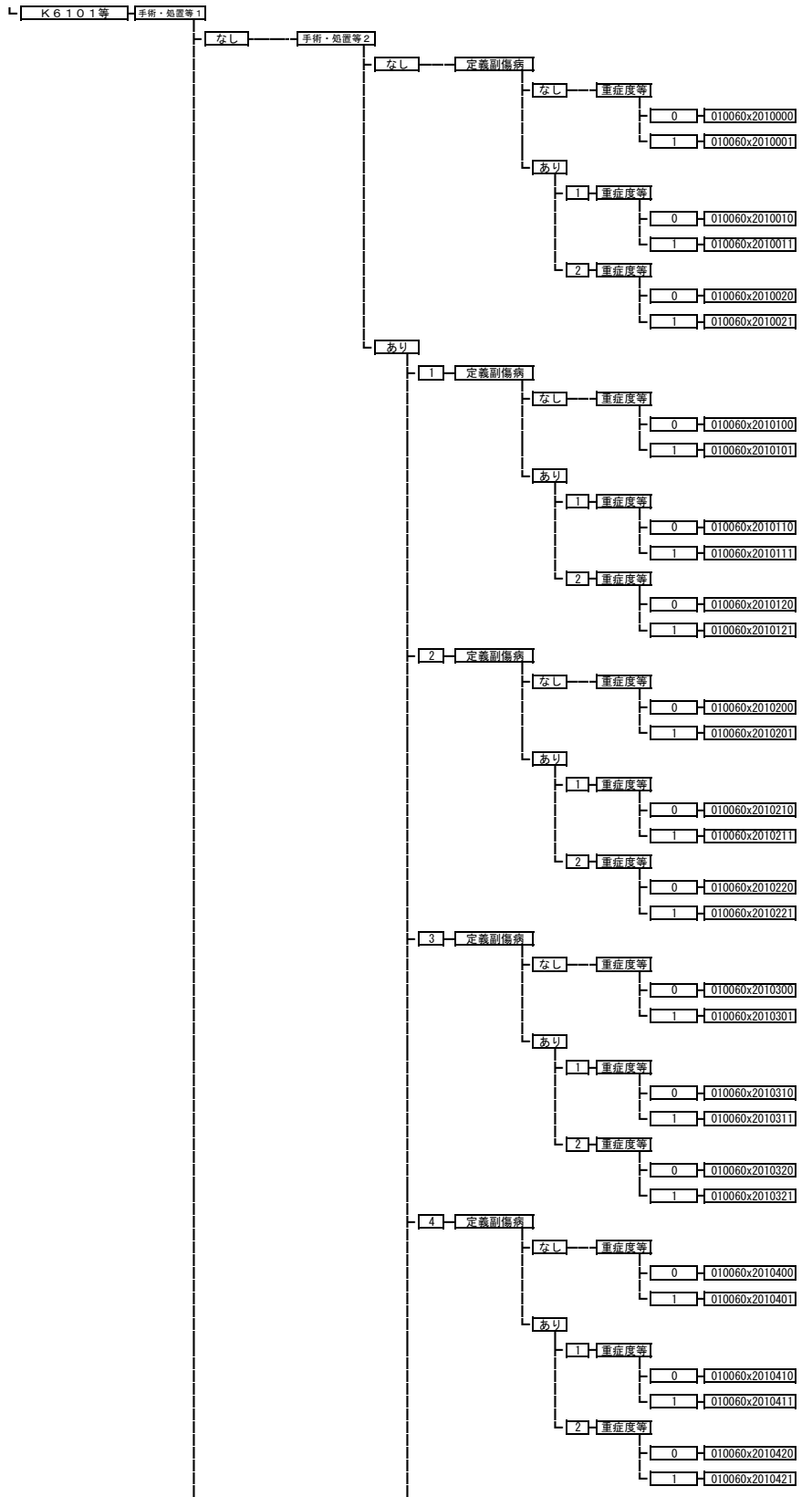


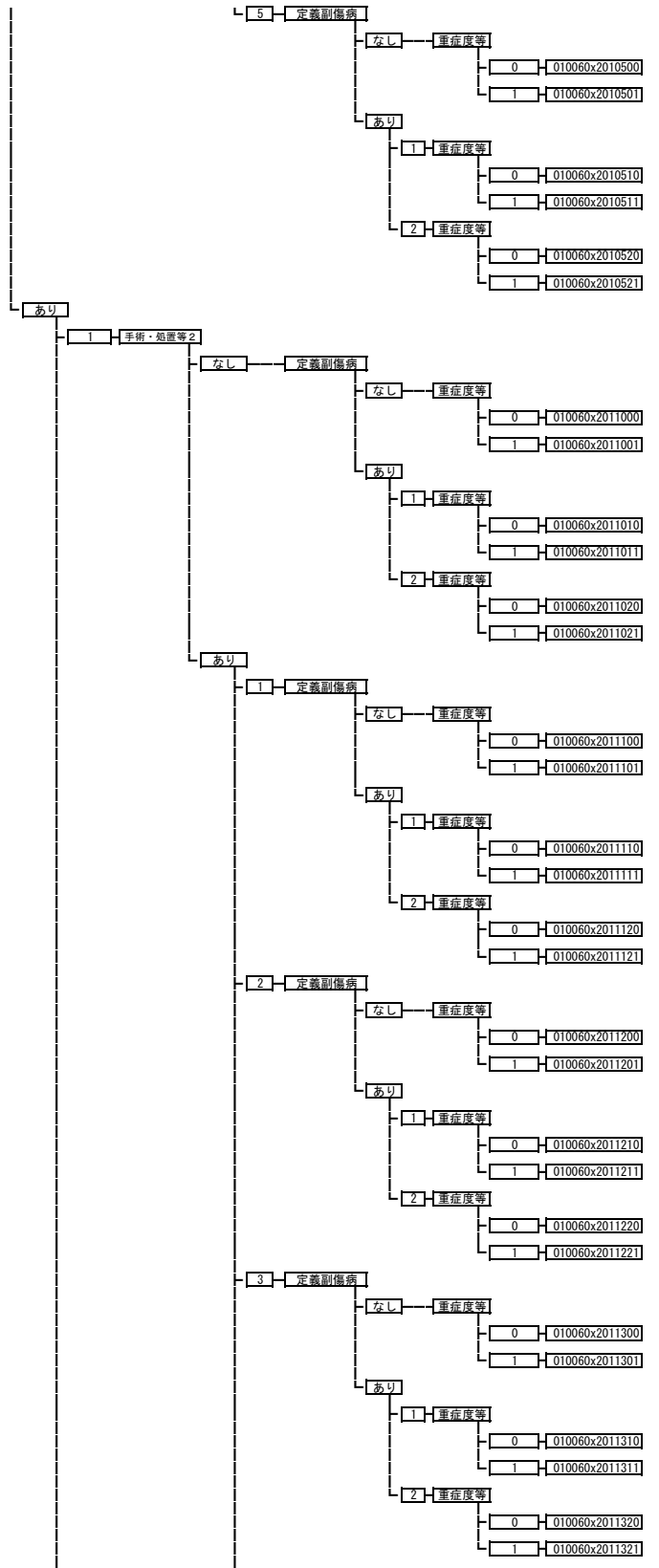


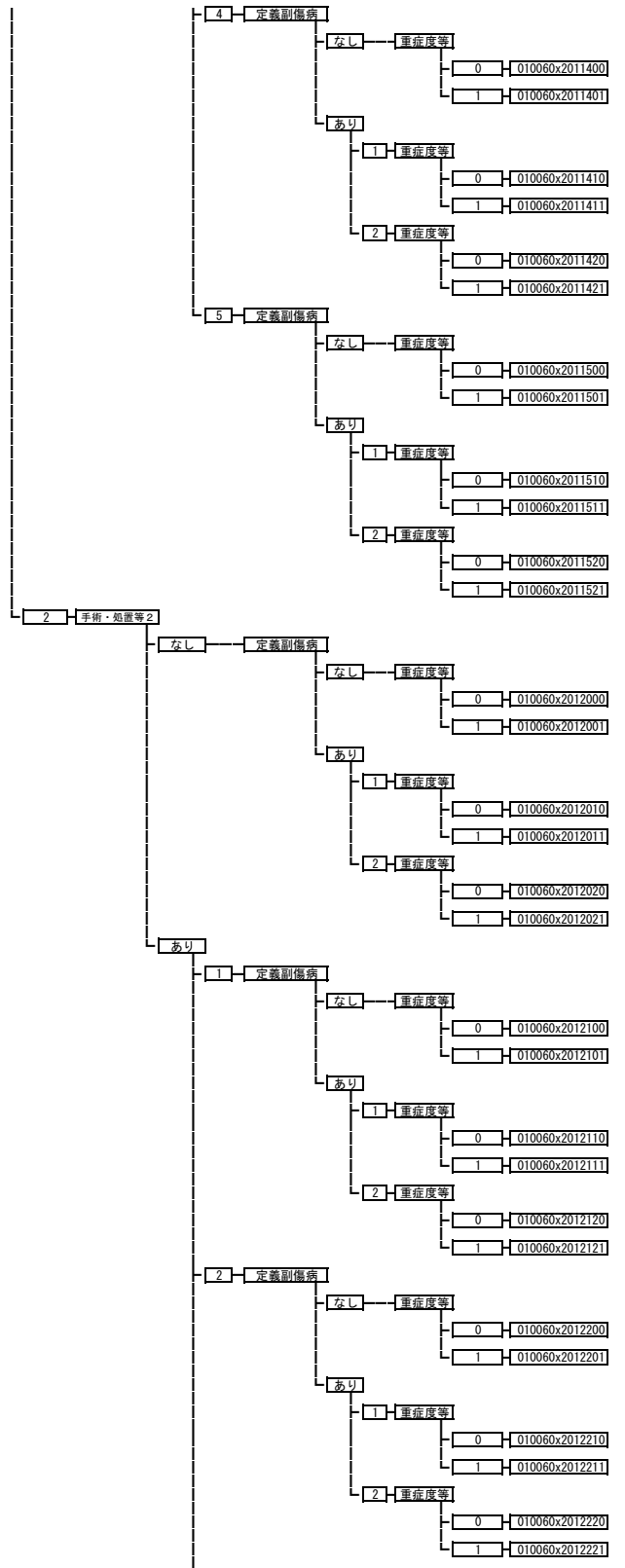


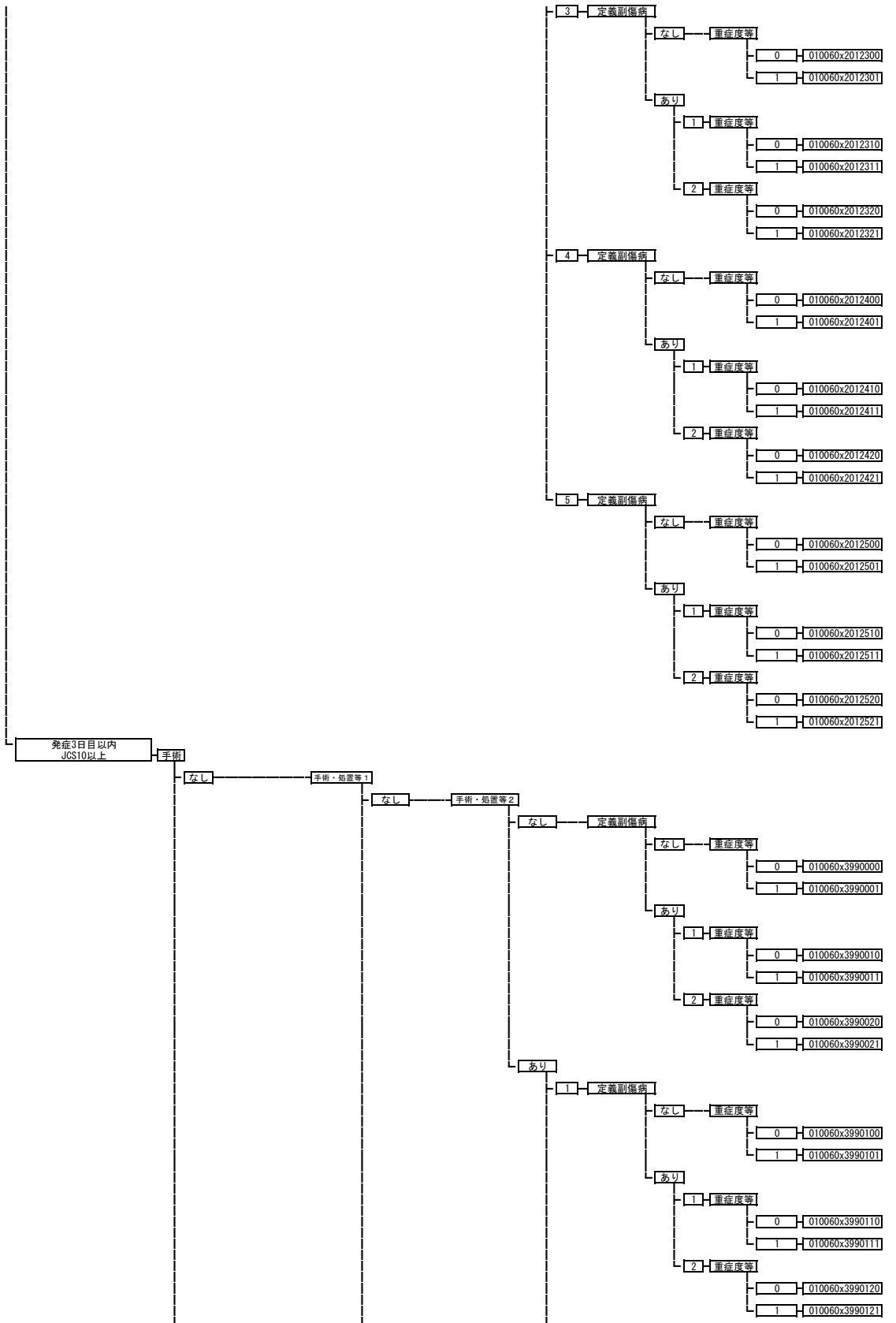


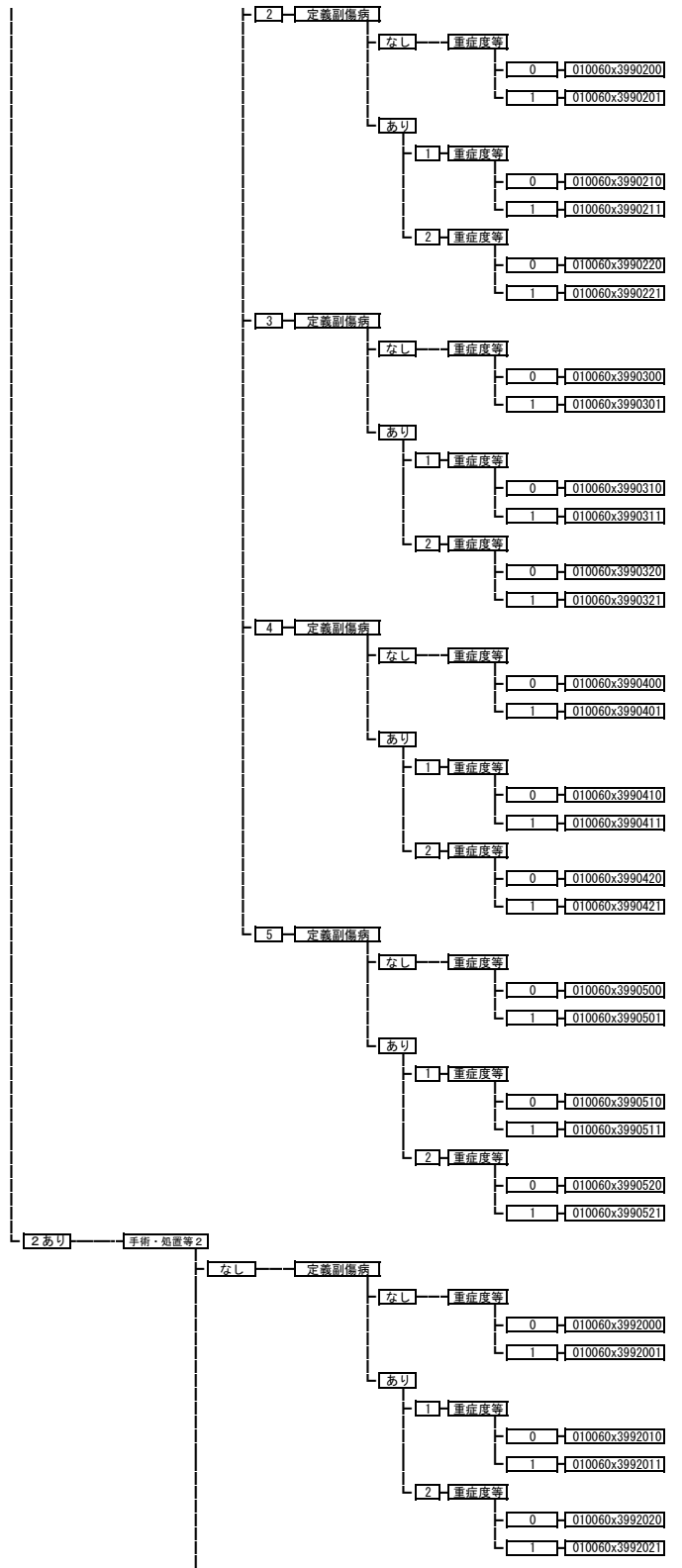


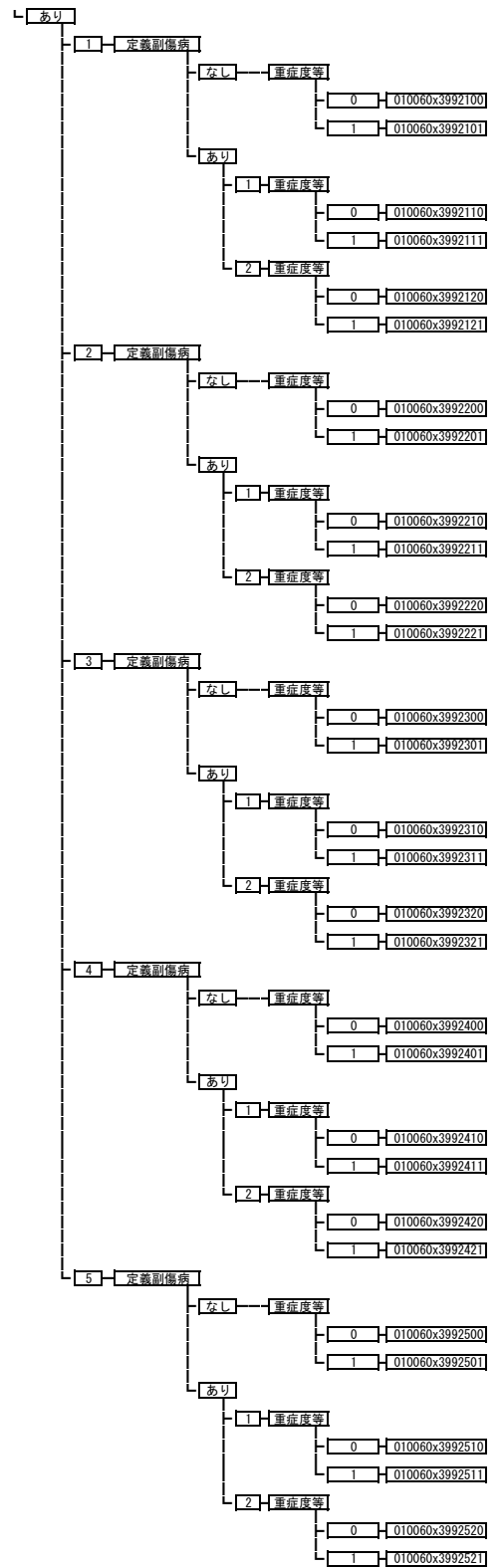


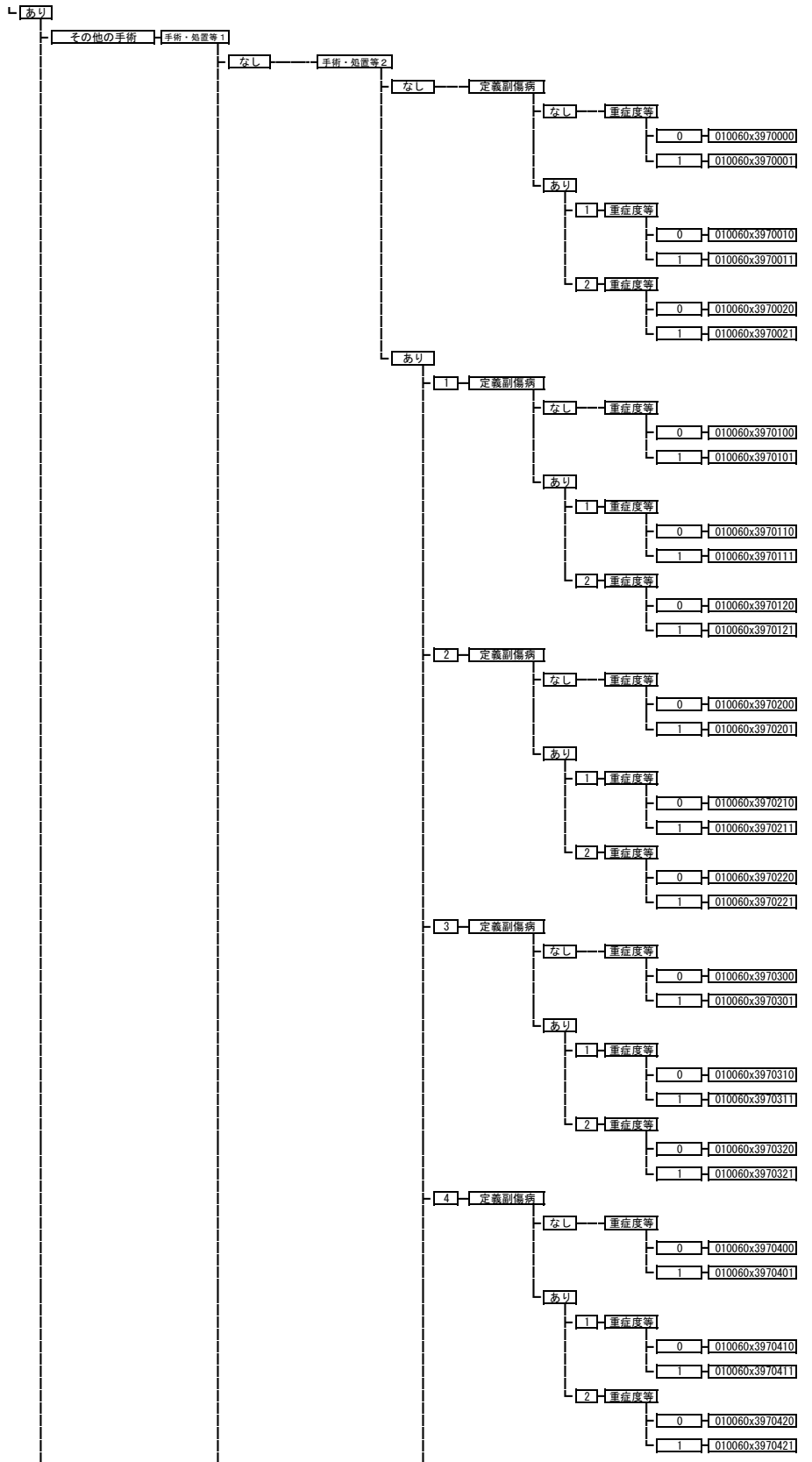


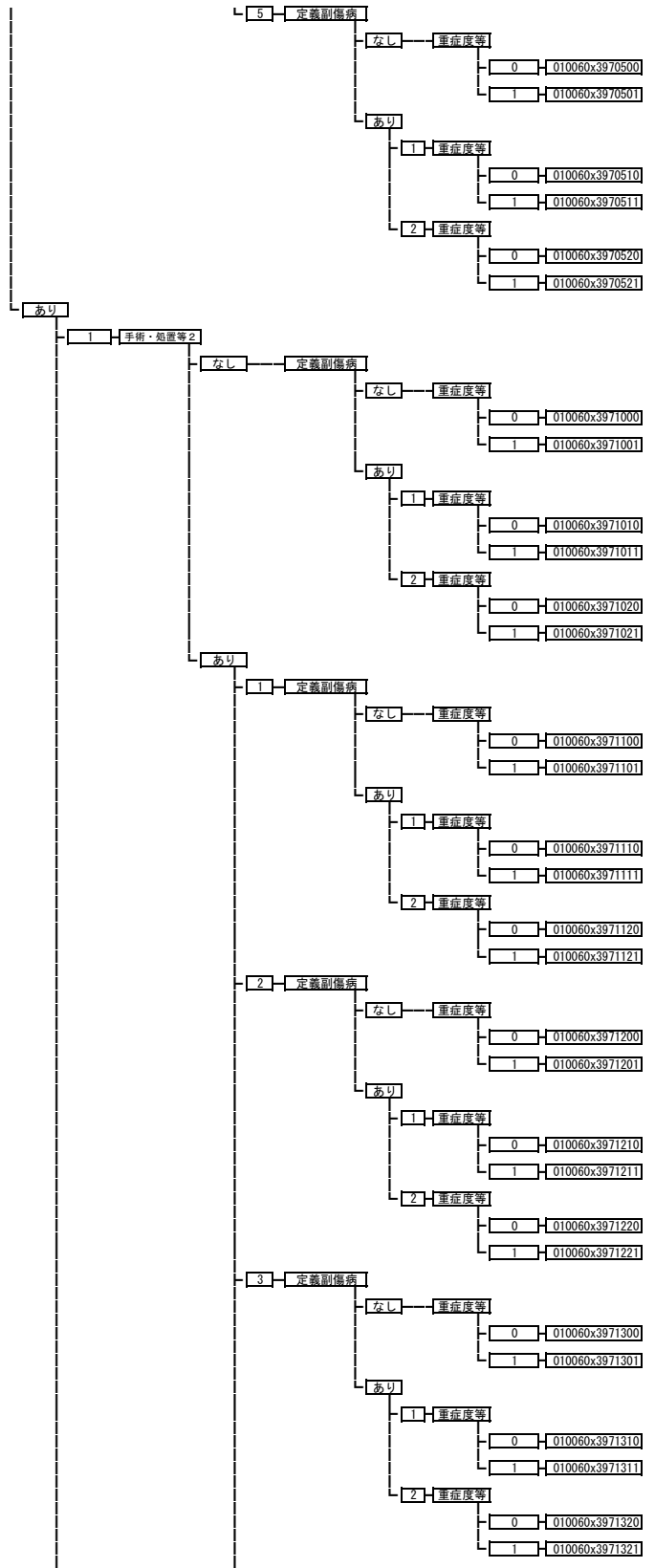


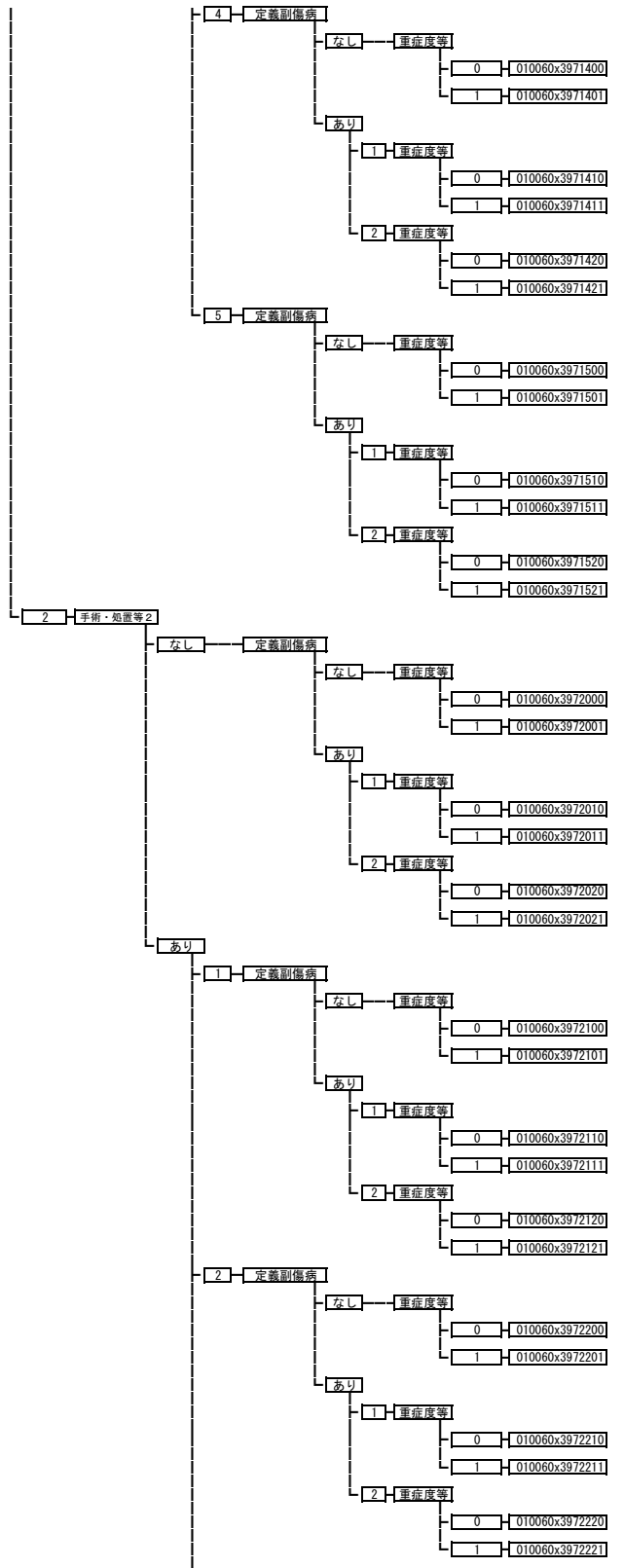


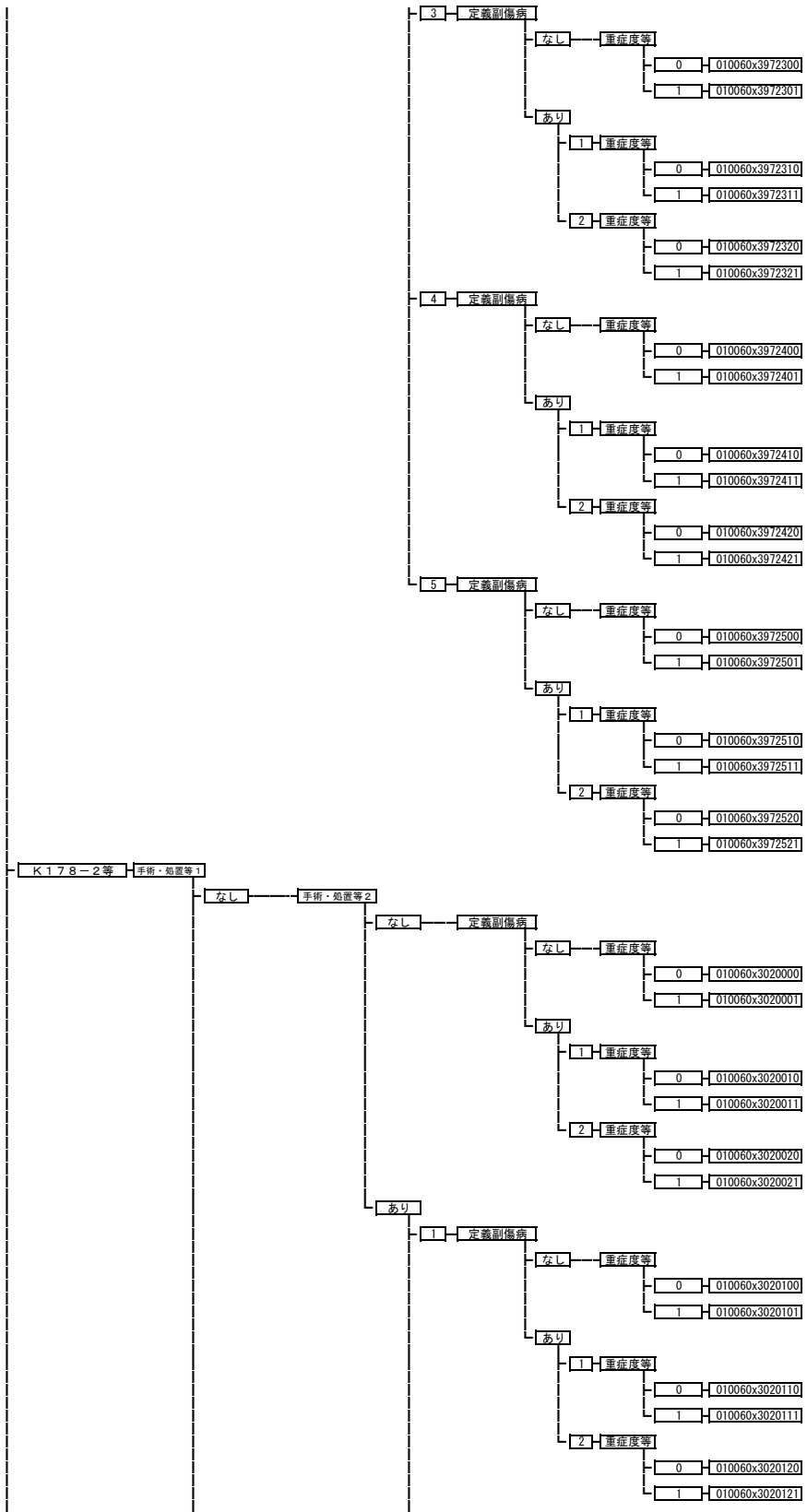


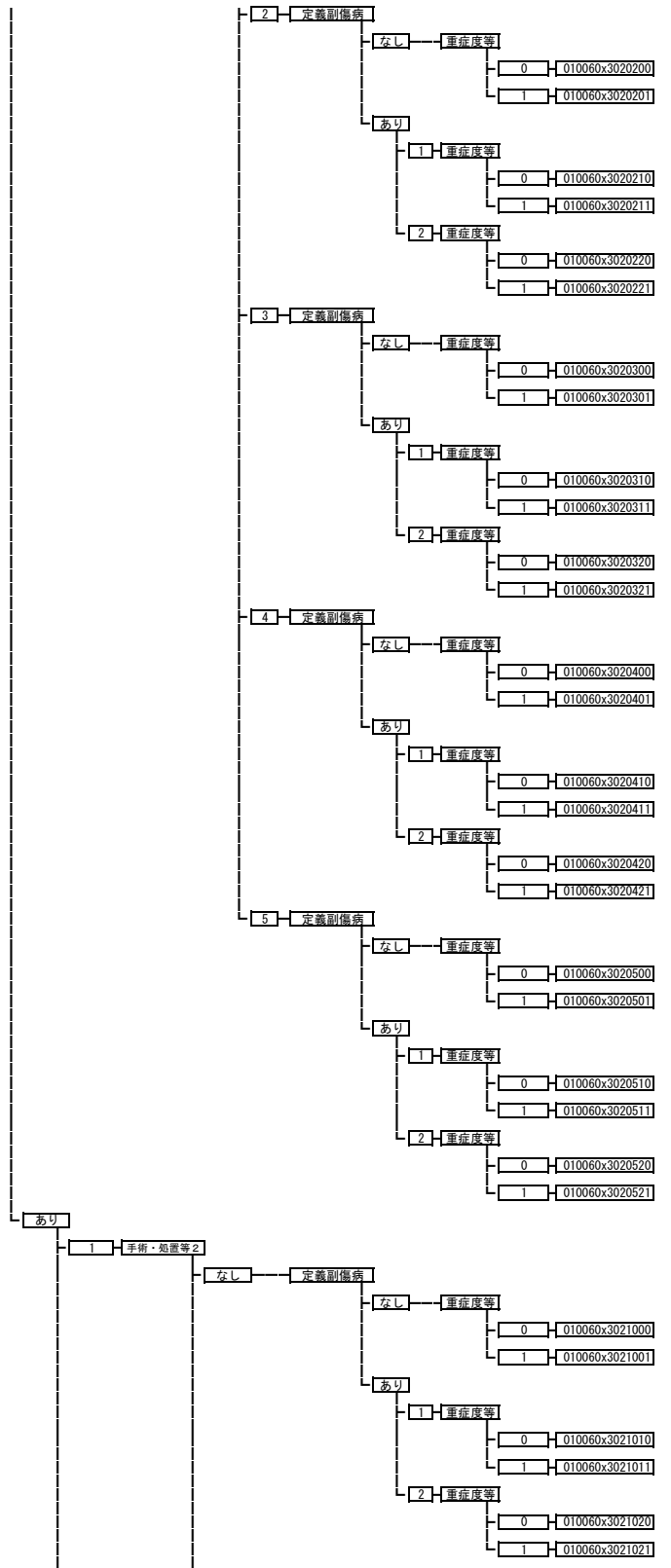


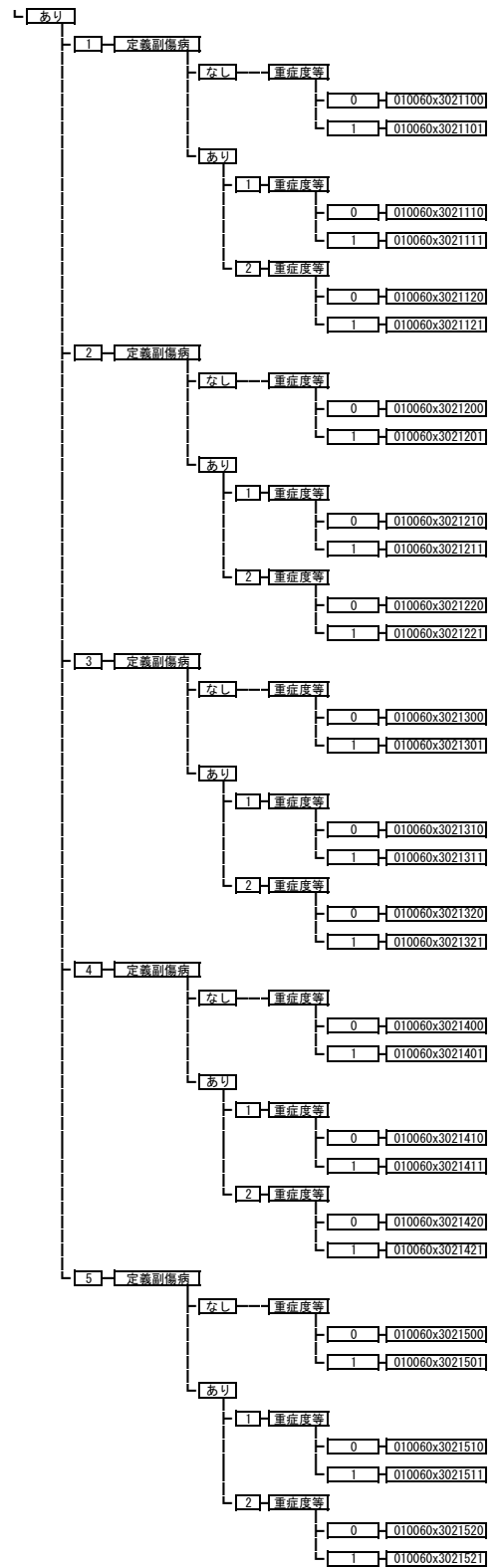




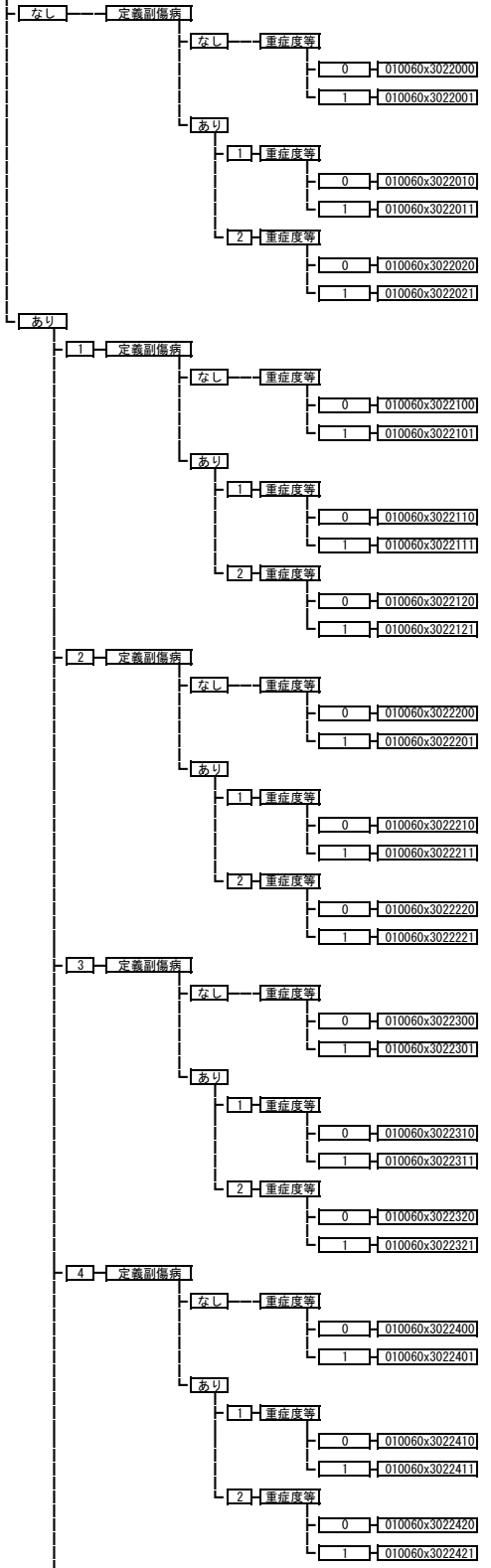


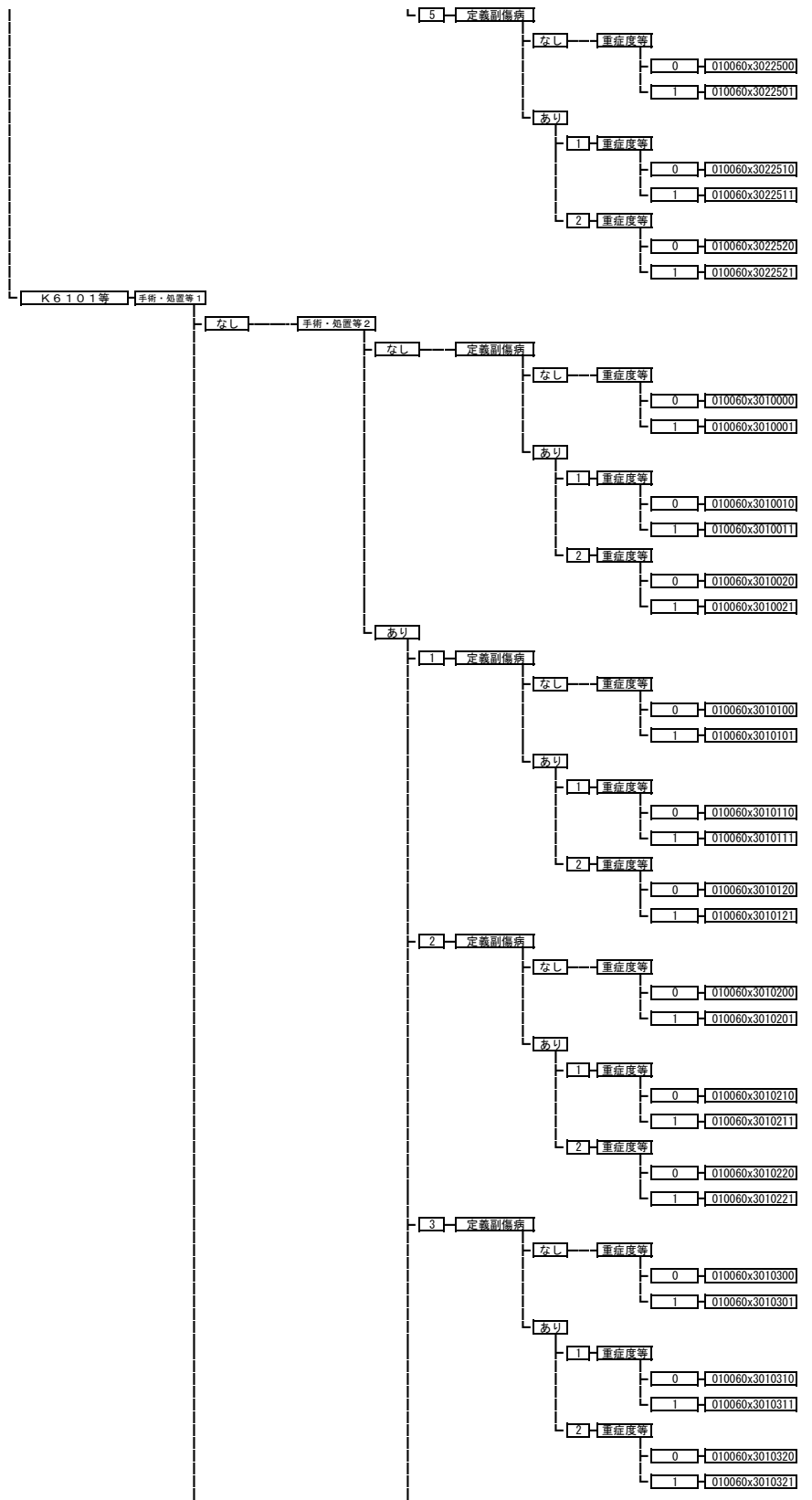


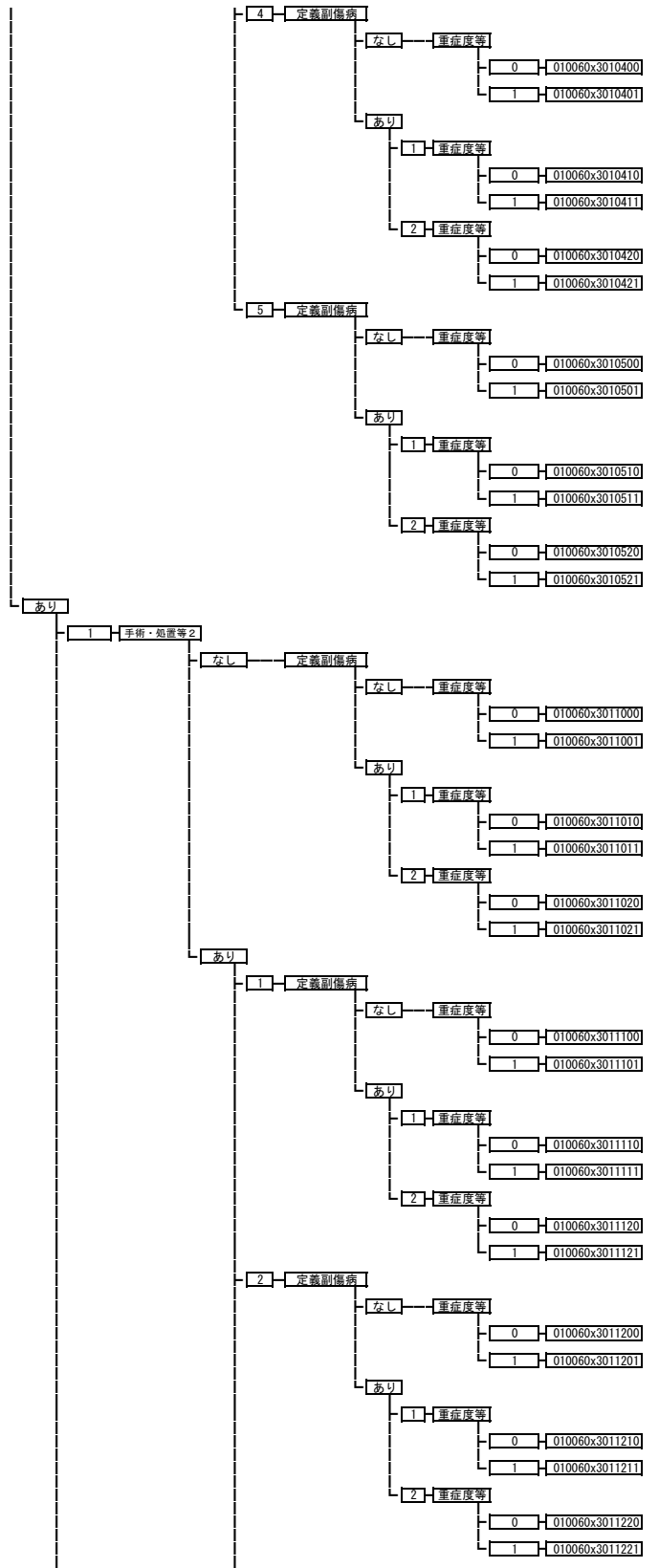


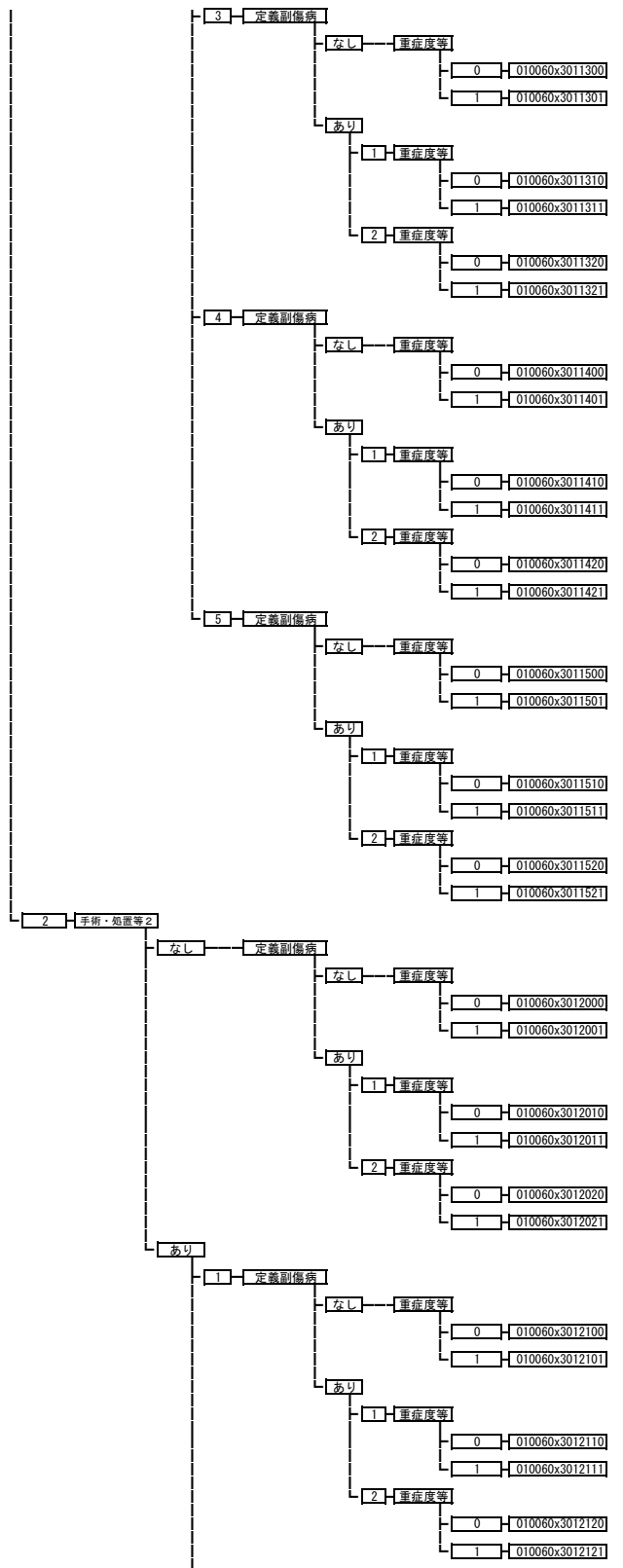


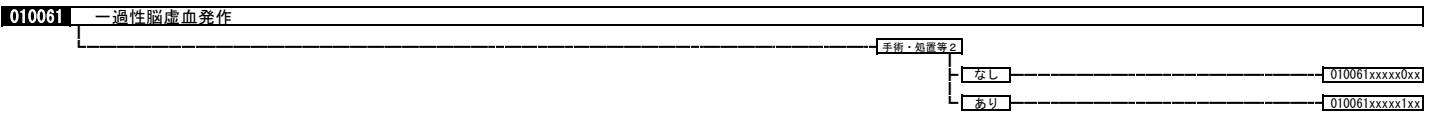
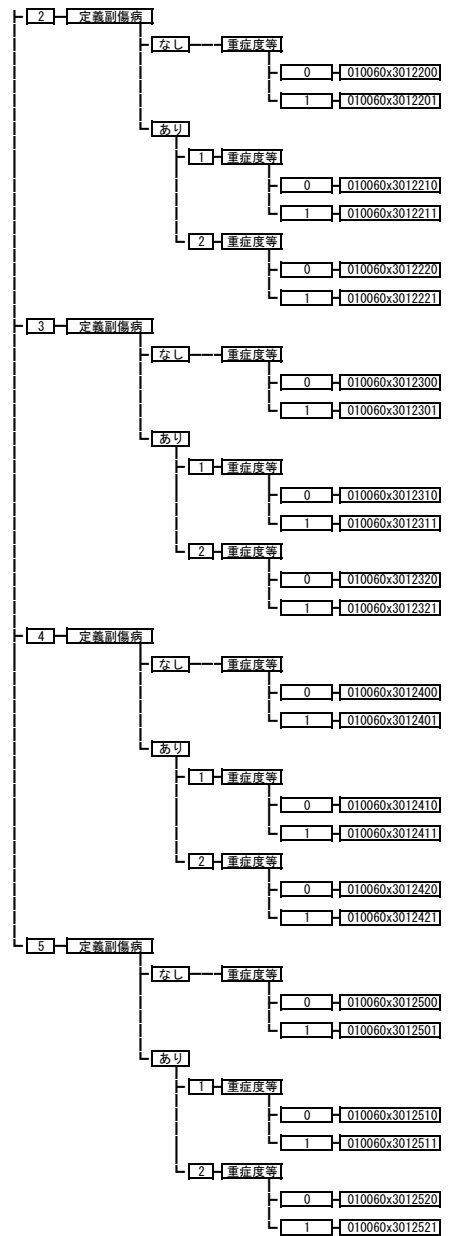
2 手術・処置等 2



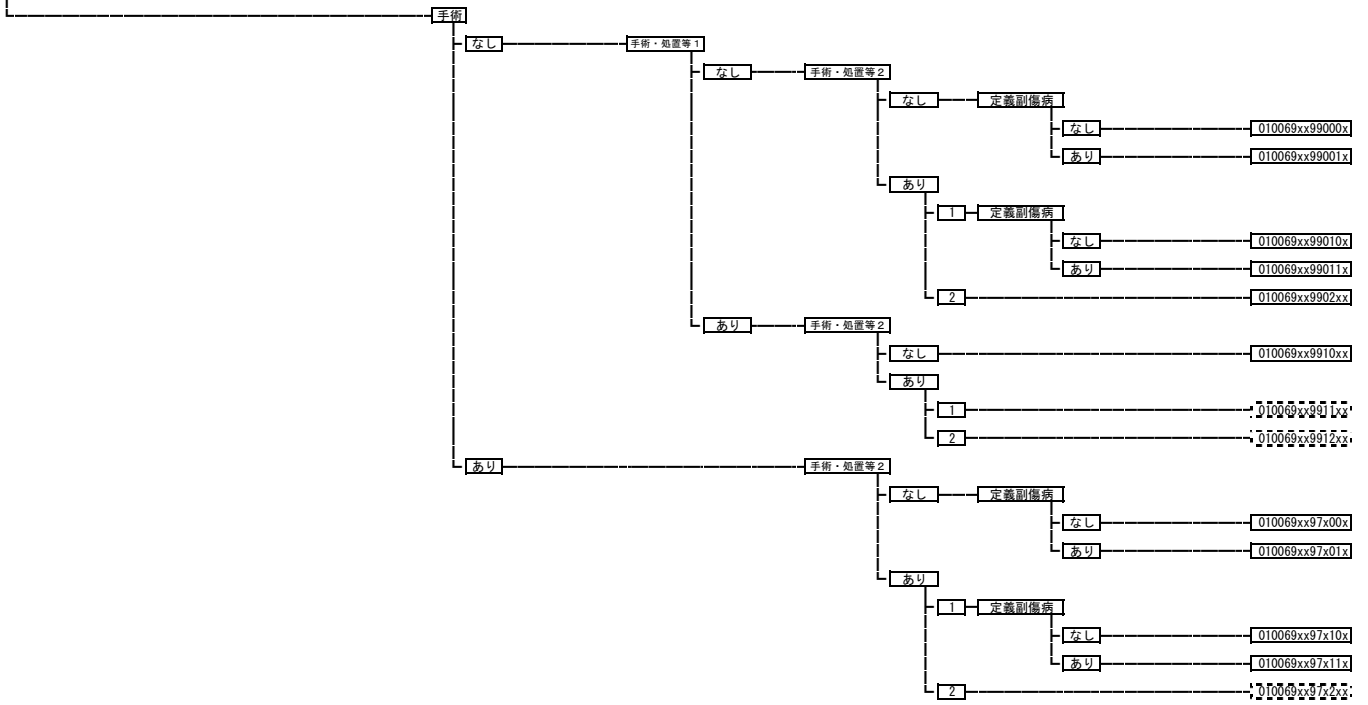






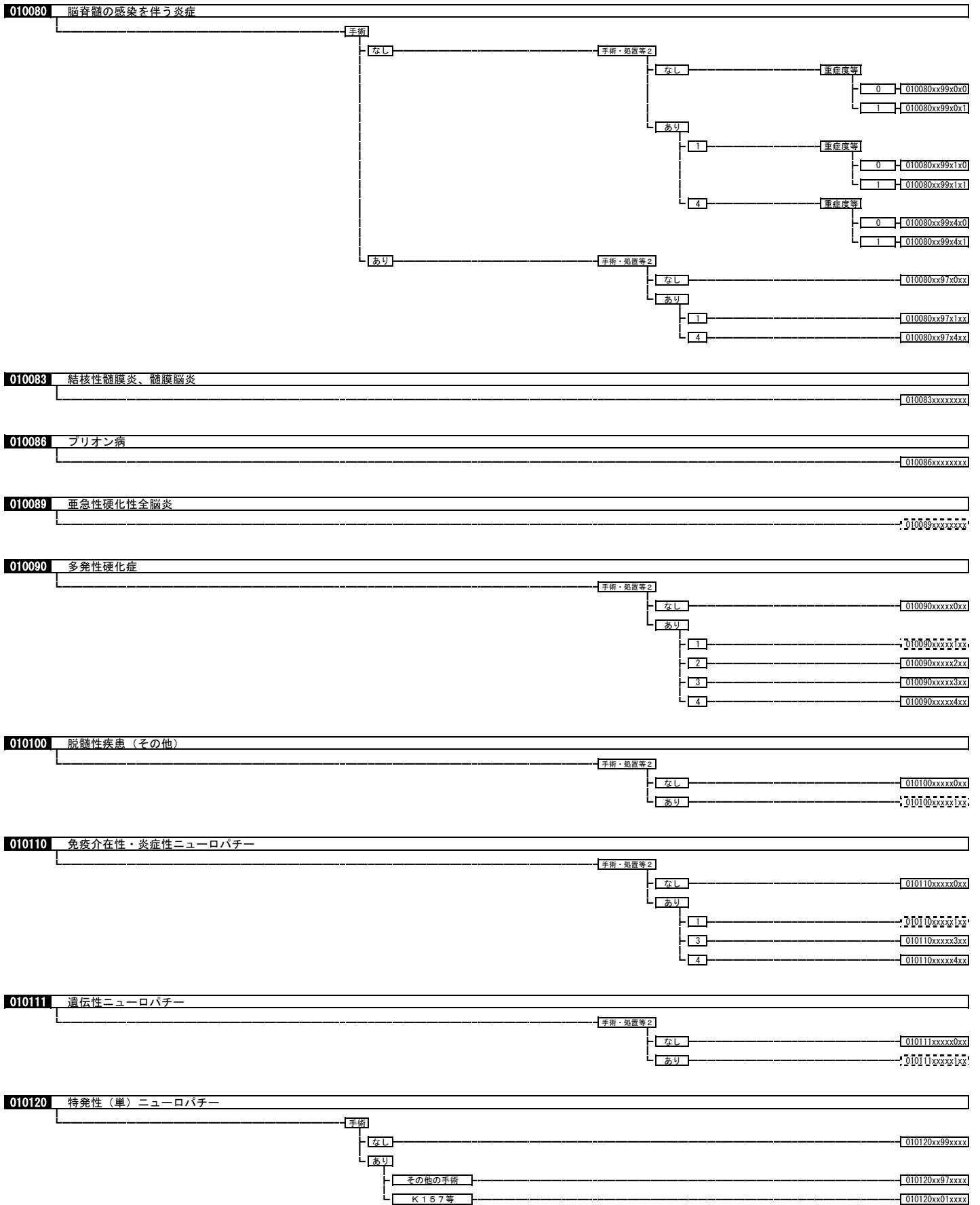


010069 脳卒中の続発症



010070 脳血管障害

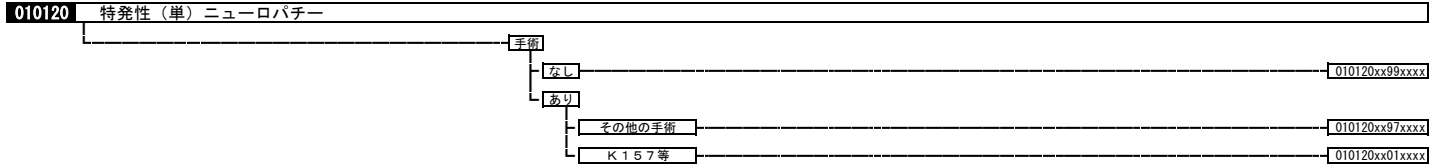
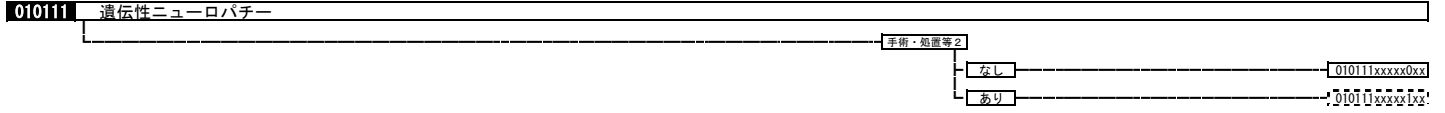
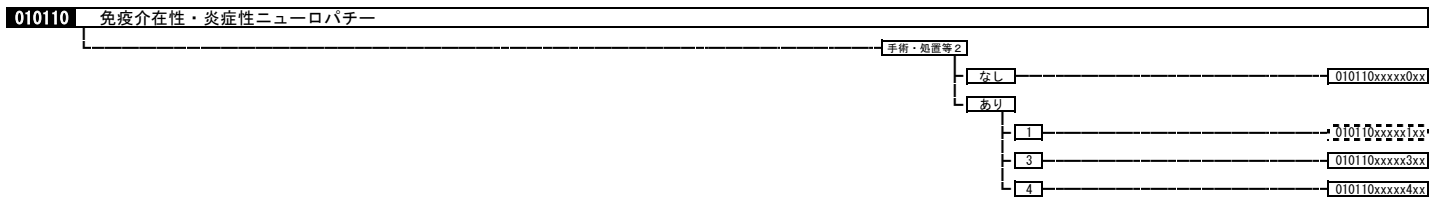
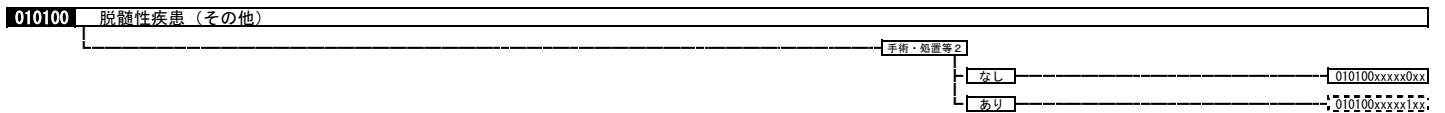
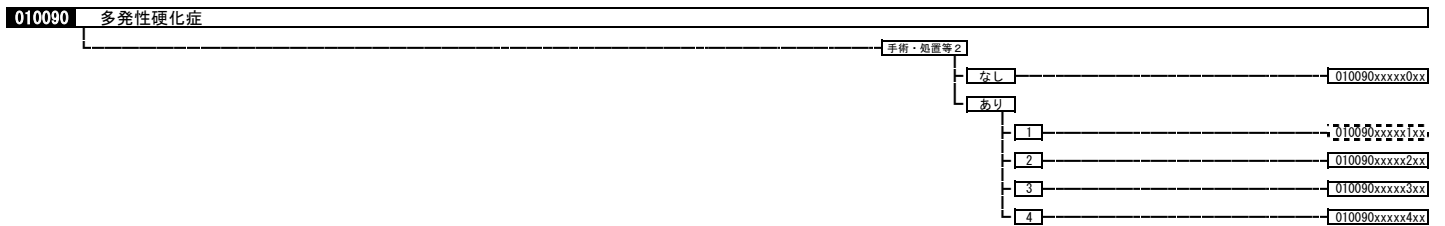


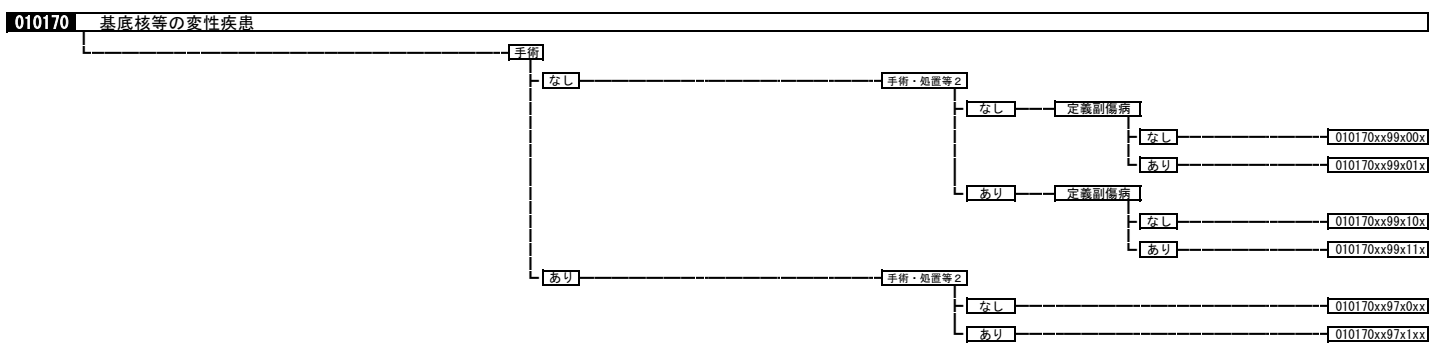
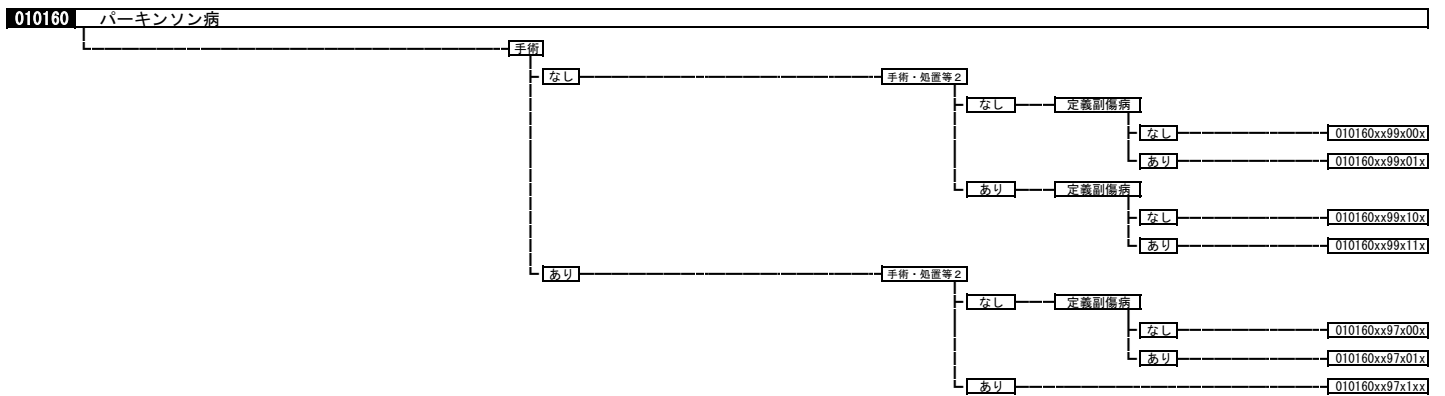
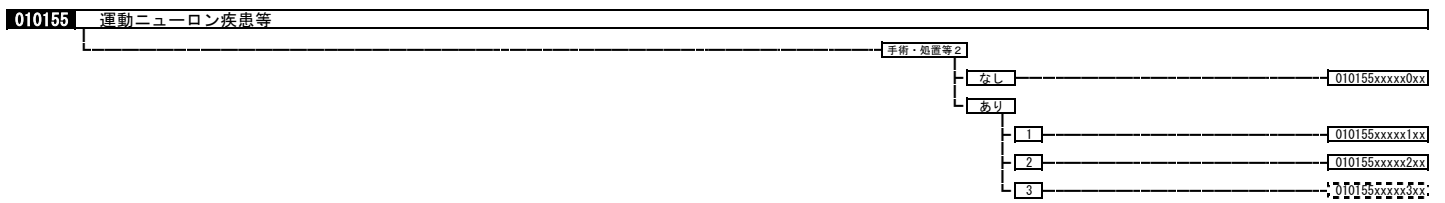
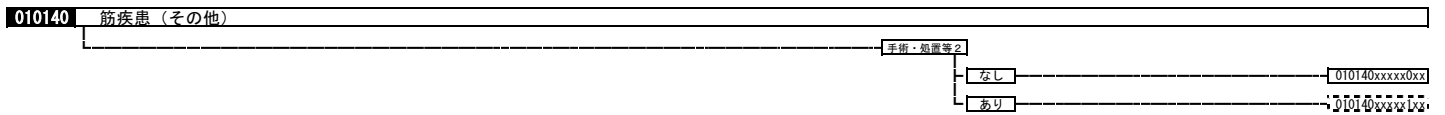
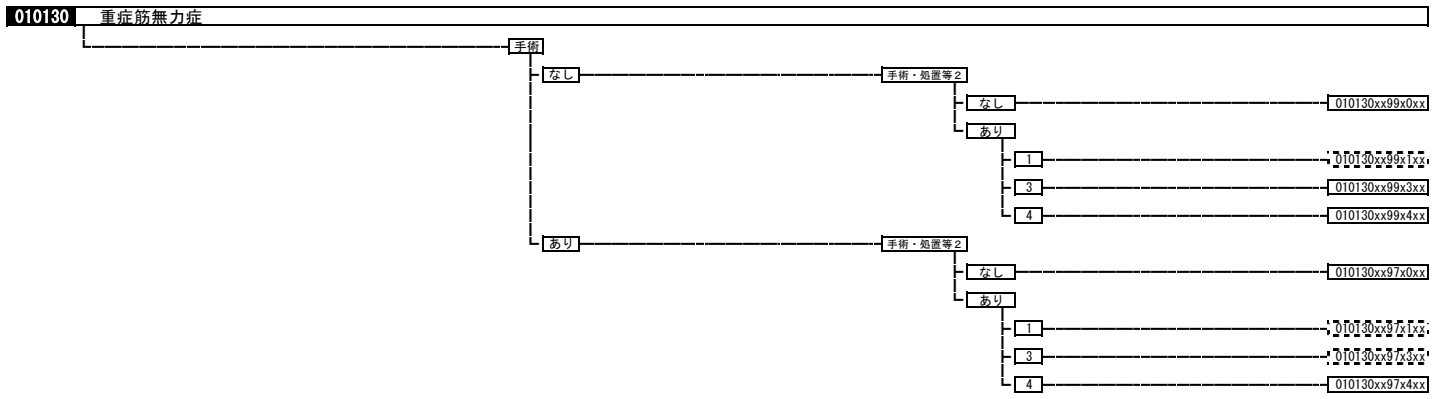


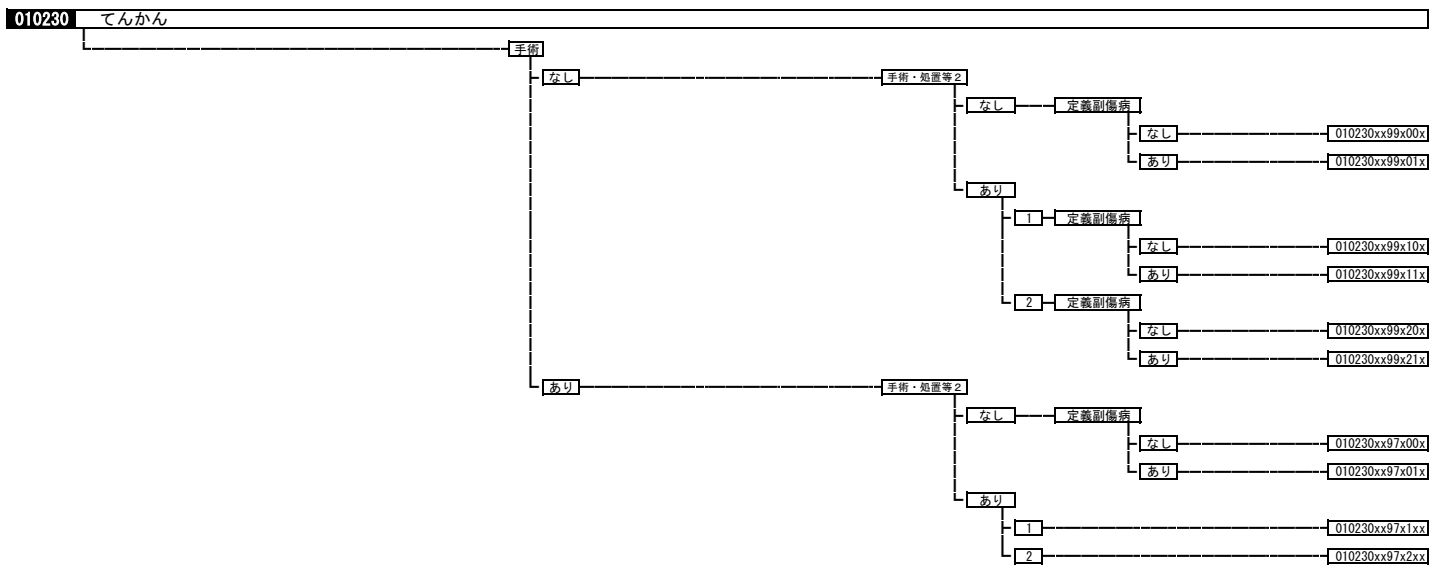
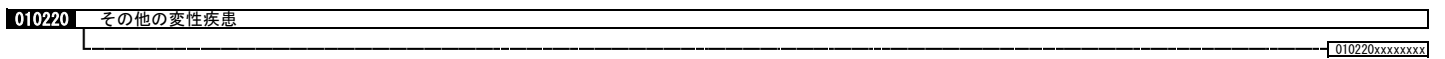
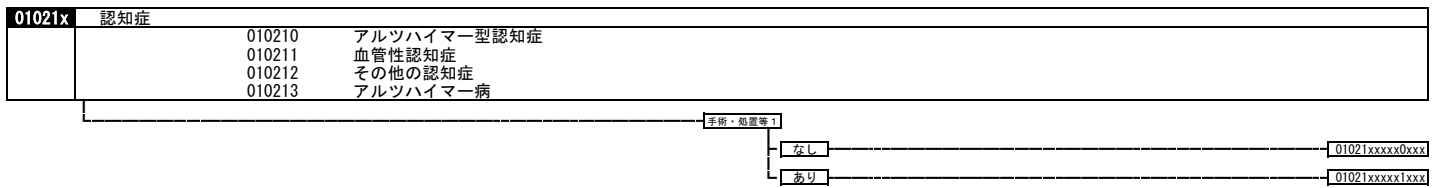
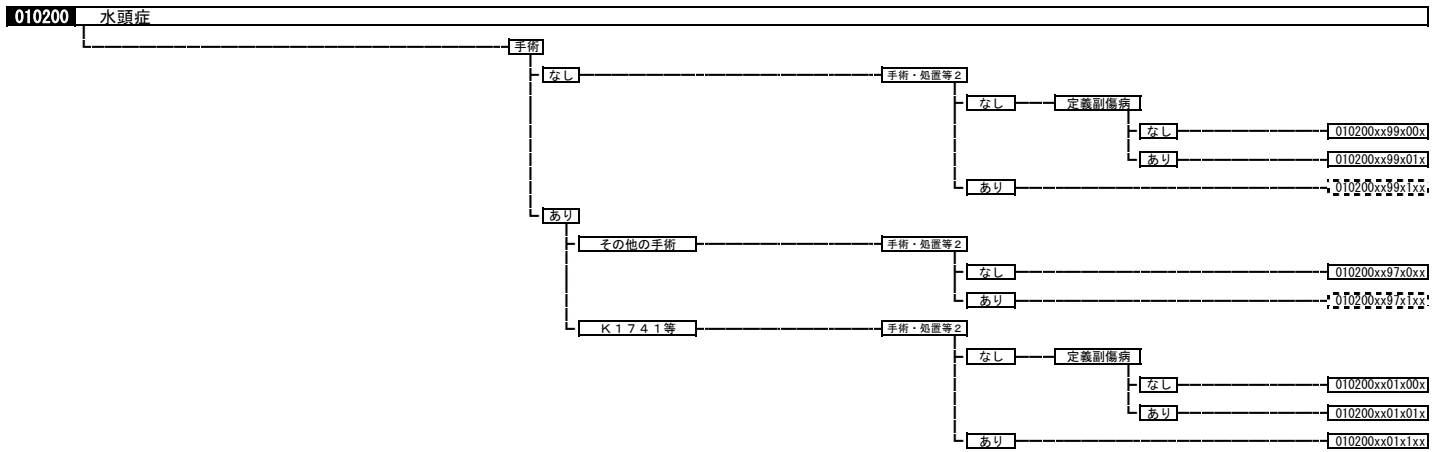
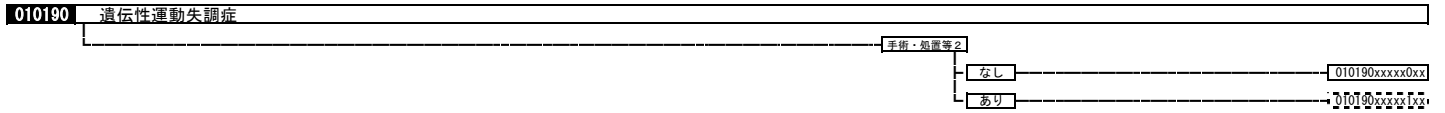
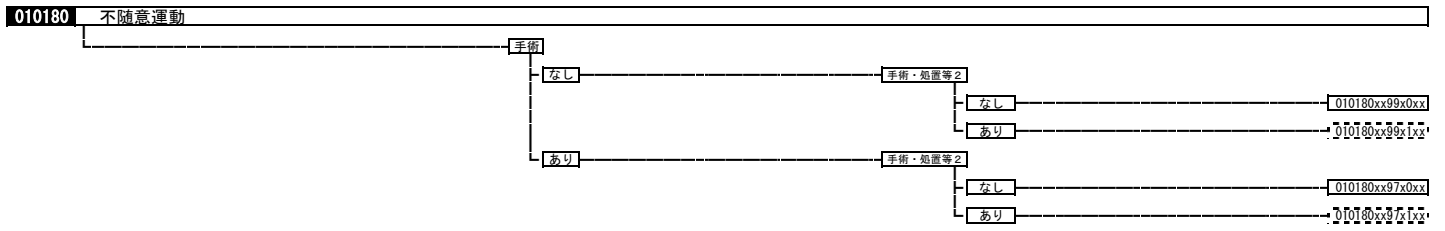
010083 結核性髄膜炎、髄膜脳炎
010083xxxxxxxxxx

010086 プリオン病
010086xxxxxxxxxx

010089 亜急性硬化性全脳炎
010089xxxxxxxxxx







010240 片頭痛、頭痛症候群（その他）
010240xxxxxxx

010260 ウェルニッケ脳症
010260xxxxxxx

010270 中毒性脳症
010270xxxxxxx

010280 ジストニー、筋無力症
手術・処置等2
なし 010280xxxx0xx
あり 010280xxxx1xx

010290 自律神経系の障害
010290xxxxxxx

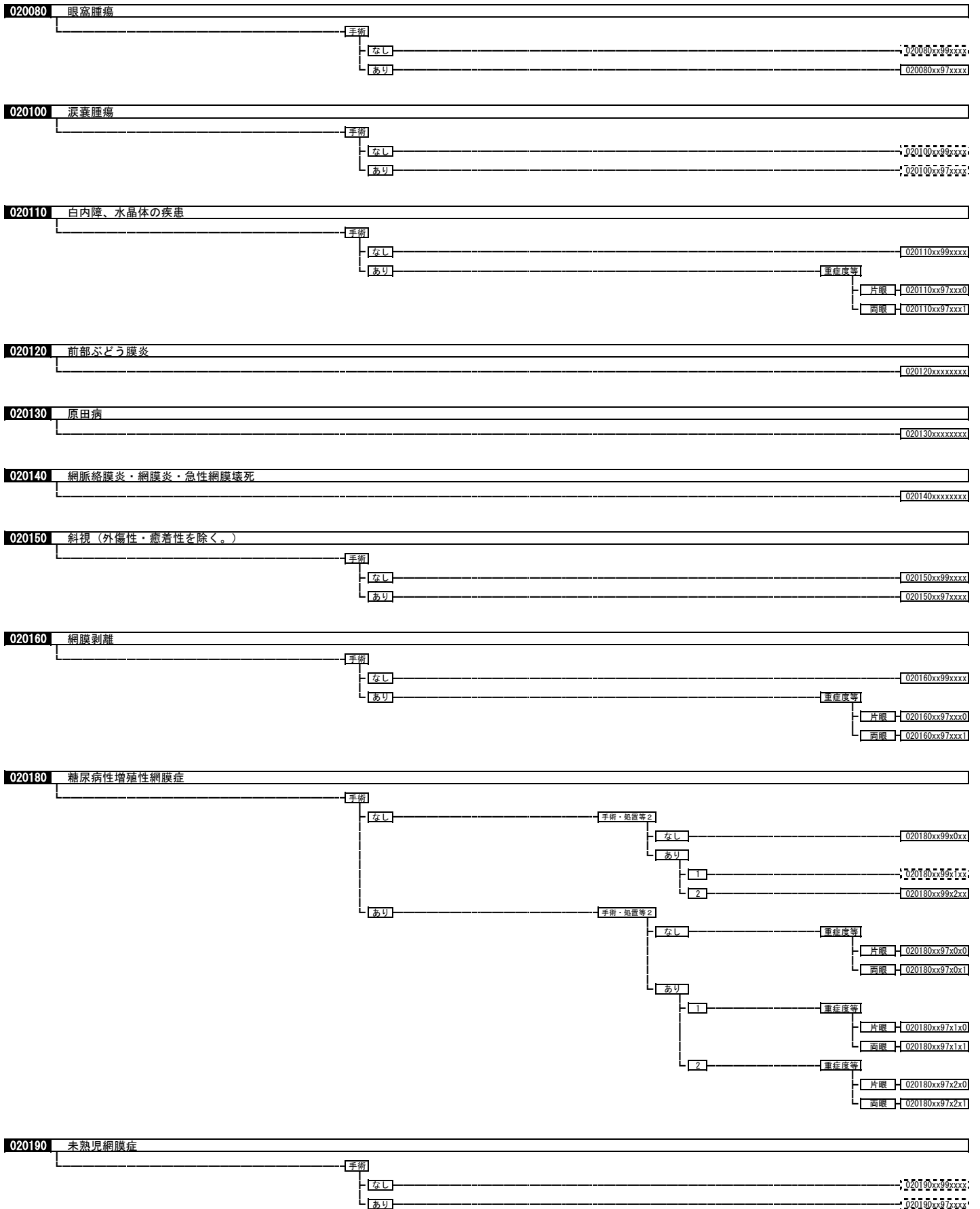
010300 睡眠障害
010300xxxxxxx

010310 脳の障害（その他）
手術
なし 手術・処置等2
なし 010310xx99x0xx
あり 010310xx99x1xx
あり 手術・処置等2
なし 010310xx97x0xx
あり 010310xx97x1xx

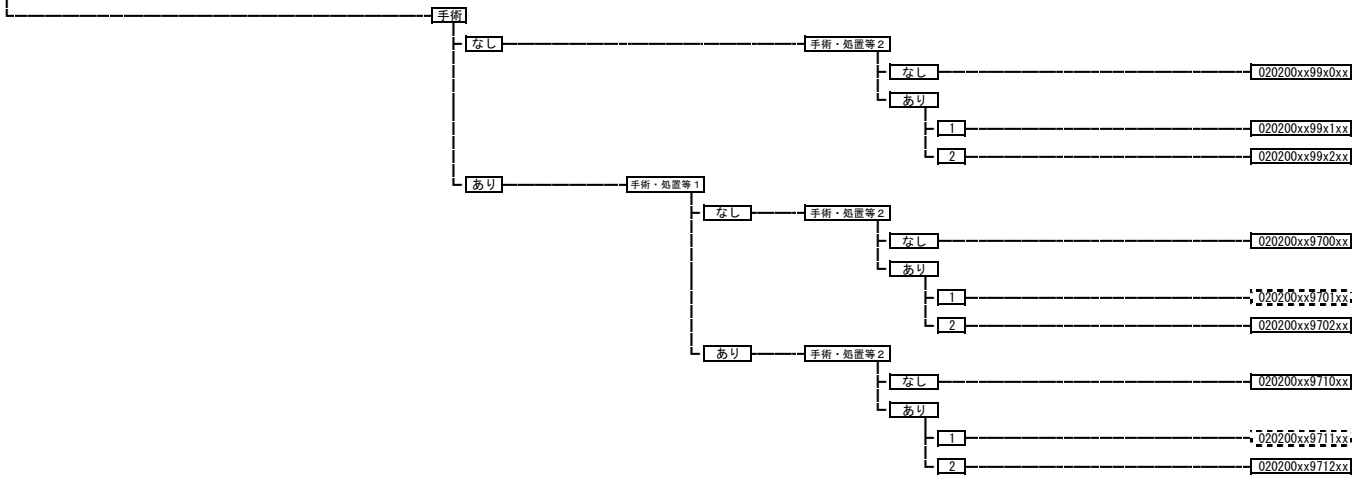
02001x 角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍
020011 眼瞼・結膜の悪性腫瘍
020012 眼窩の悪性腫瘍
020013 ぶどう膜の悪性黒色腫
020014 眼の悪性腫瘍（その他）
手術
なし 手術・処置等2
なし 02001xxx99x0xx
あり 02001xxx99x1xx
あり 手術・処置等2
1 02001xxx99x2xx
2 02001xxx99x3xx
あり 手術・処置等2
なし 02001xxx97x0xx
あり 02001xxx97x1xx
あり 手術・処置等2
1 02001xxx97x2xx
2 02001xxx97x3xx

020040 網膜芽細胞腫
手術
なし 手術・処置等2
なし 020040xx99x0xx
あり 020040xx99x1xx
あり 手術・処置等2
なし 020040xx97x0xx
あり 020040xx97x1xx

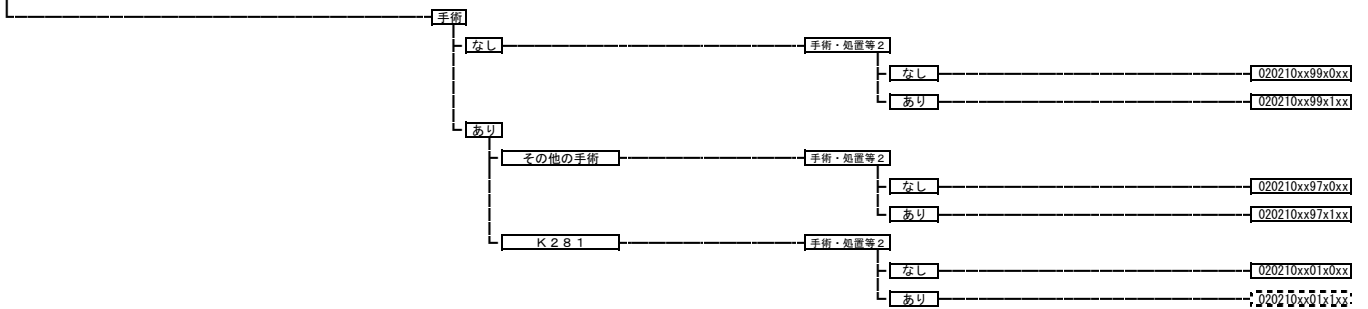
02006x 眼の良性腫瘍
020061 眼瞼の良性腫瘍
020062 結膜・角膜腫瘍
020063 虹彩・毛様体・脈絡膜・網膜腫瘍
020064 眼の良性腫瘍（その他）
手術
なし 02006xxxx99xxxx
あり 02006xxxx97xxxx



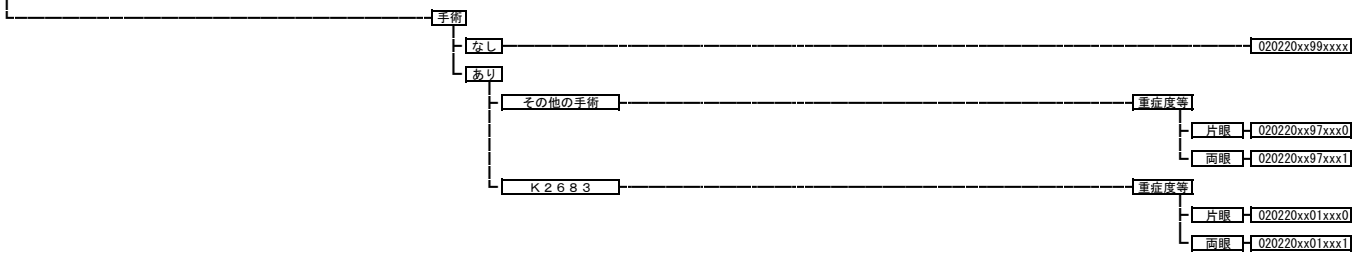
020200 黄斑、後極変性



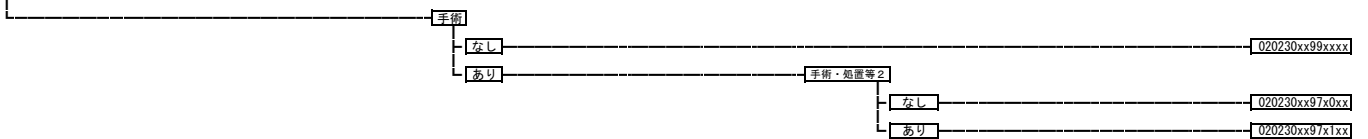
020210 網膜血管閉塞症



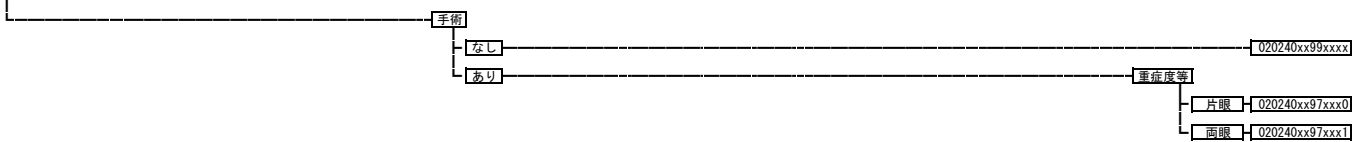
020220 緑内障



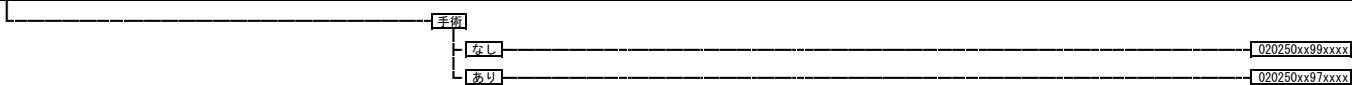
020230 眼瞼下垂



020240 硝子体疾患

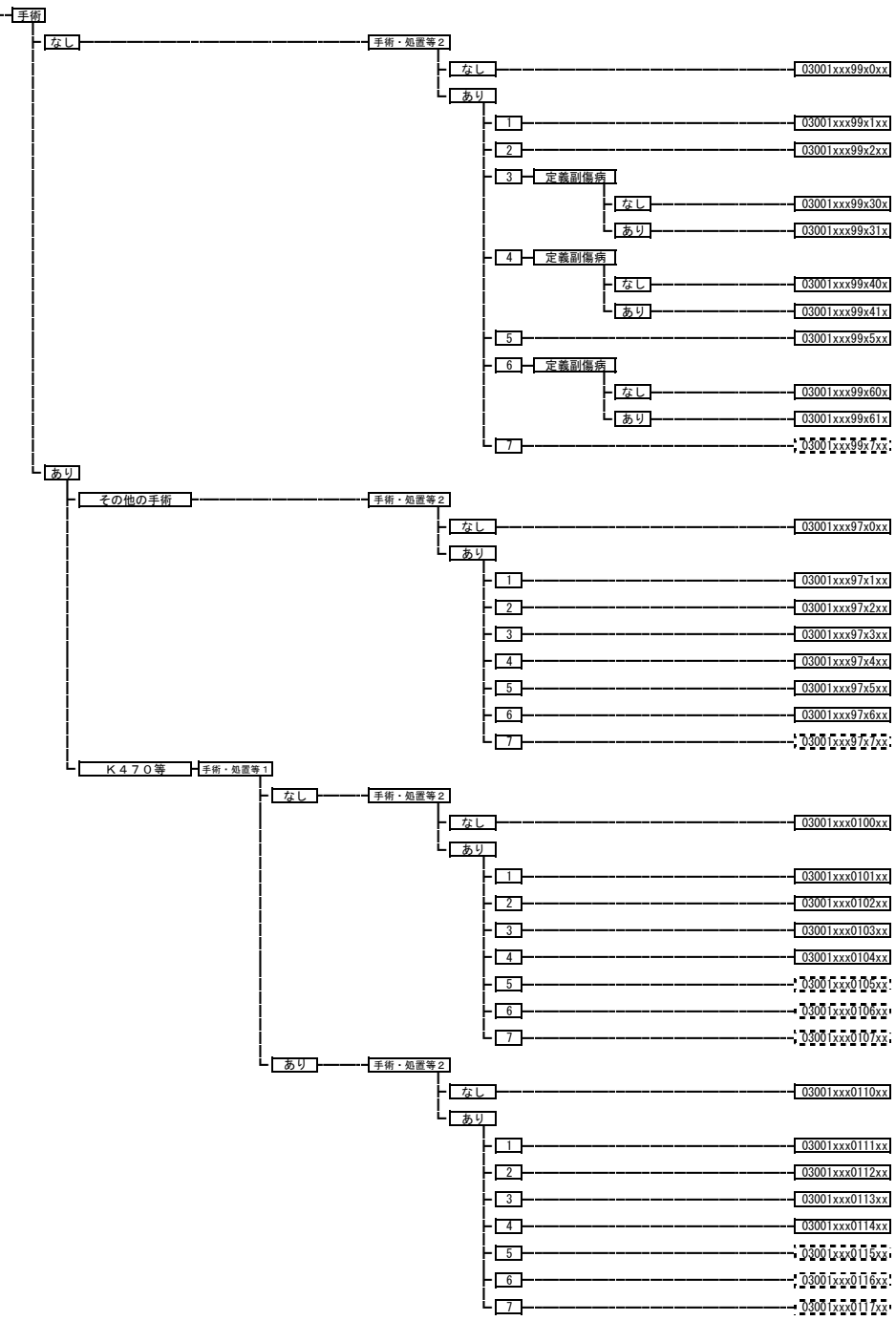


020250 結膜の障害

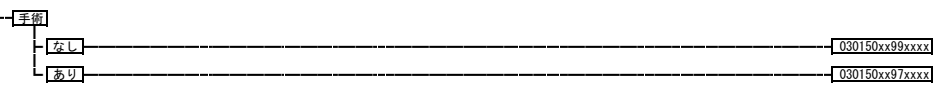


020270	強膜の障害			
		手術		
		なし		020270xx99xxxx
		あり		020270xx97xxxx
020280	角膜の障害			
		手術		
		なし		020280xx99xxxx
		あり		020280xx97xxxx
020290	涙器の疾患			
		手術		
		なし		020290xx99xxxx
		あり		020290xx97xxxx
020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患			
		手術		
		なし		020320xx99xxxx
		あり		020320xx97xxxx
020325	甲状腺機能異常性眼球突出（症）			
				020325xxxxxxxx
020340	虹彩・毛様体の障害			
		手術		
		なし		020340xx99xxxx
		あり		020340xx97xxxx
020350	脈絡膜の疾患			
		手術		
		なし	手術・処置等2	
			なし	020350xx990x
			あり	020350xx991x
		あり	手術・処置等2	
			なし	020350xx970x
			あり	020350xx971x
020360	眼球の障害			
		手術		
		なし		020360xx99xxxx
		あり		020360xx97xxxx
020370	視神経の疾患			
		手術		
		なし		020370xx99xxxx
		あり		020370xx97xxxx
020380	眼球運動障害			
		手術		
		なし		020380xx99xxxx
		あり		020380xx97xxxx
020390	視覚・視野障害			
				020390xxxxxxxx
020400	眼、付属器の障害			
		手術		
		なし		020400xx99xxxx
		あり		020400xx97xxxx

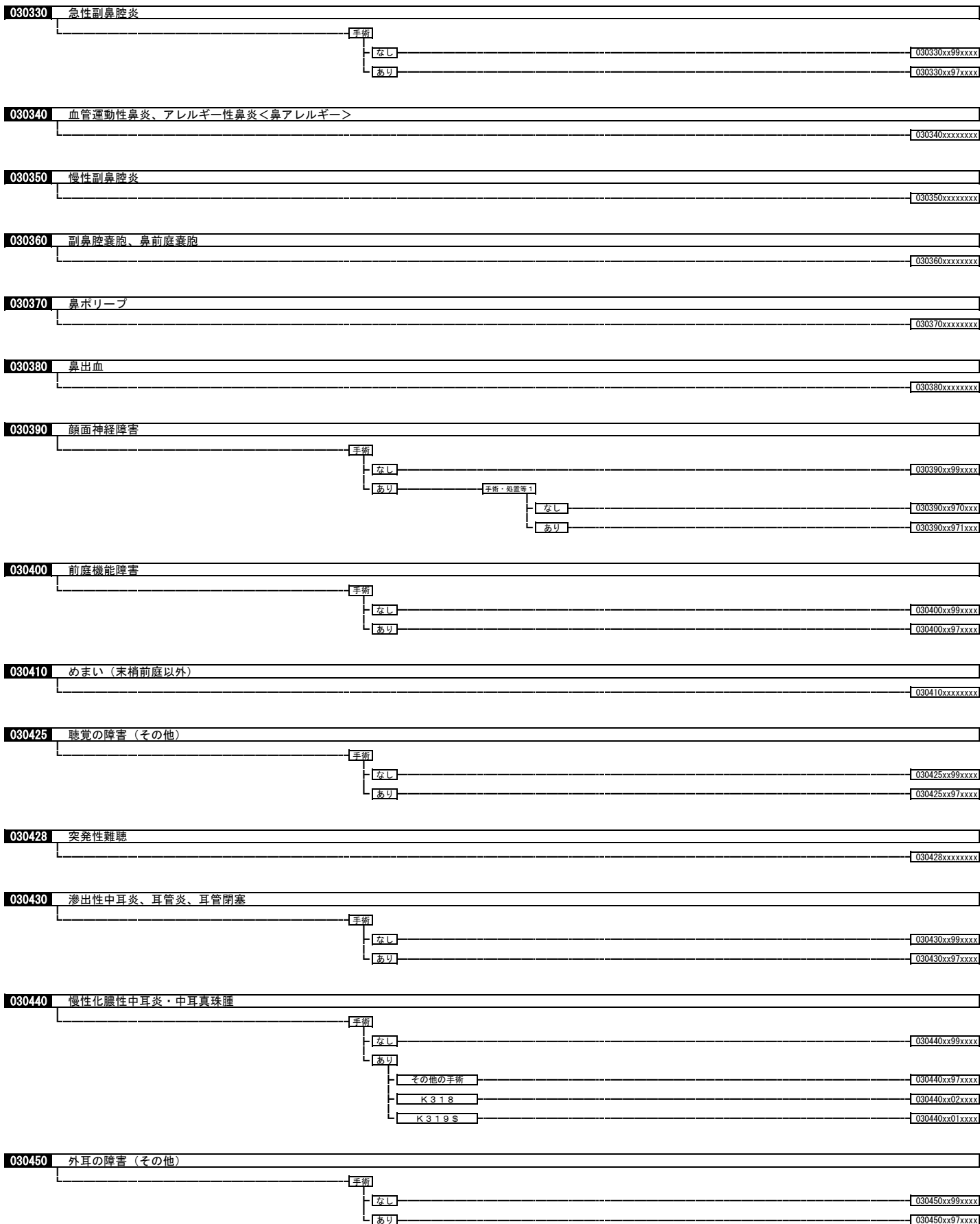
03001x	頭頸部悪性腫瘍		
	030010	口腔・下顎、口唇の悪性腫瘍	
	030011	唾液腺の悪性腫瘍	
	030012	上咽頭の悪性腫瘍	
	030013	中咽頭の悪性腫瘍	
	030014	下咽頭の悪性腫瘍	
	030015	喉頭の悪性腫瘍	
	030016	鼻腔・副鼻腔の悪性腫瘍	
	030017	転移性頭部悪性腫瘍	
	030018	聴器の悪性腫瘍	
	030019	頭頸部悪性腫瘍（その他）	

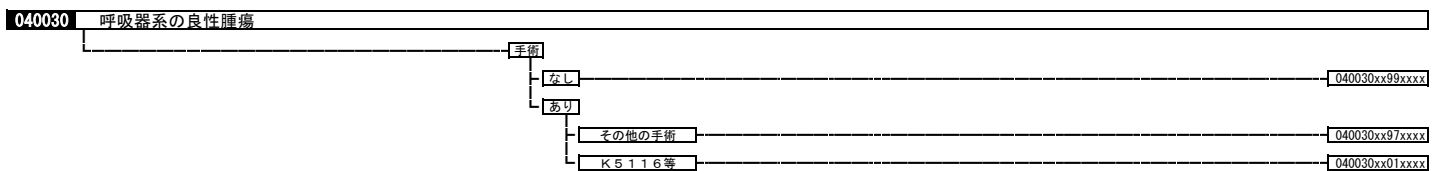
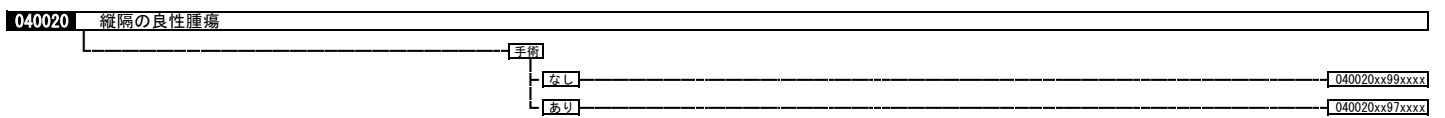
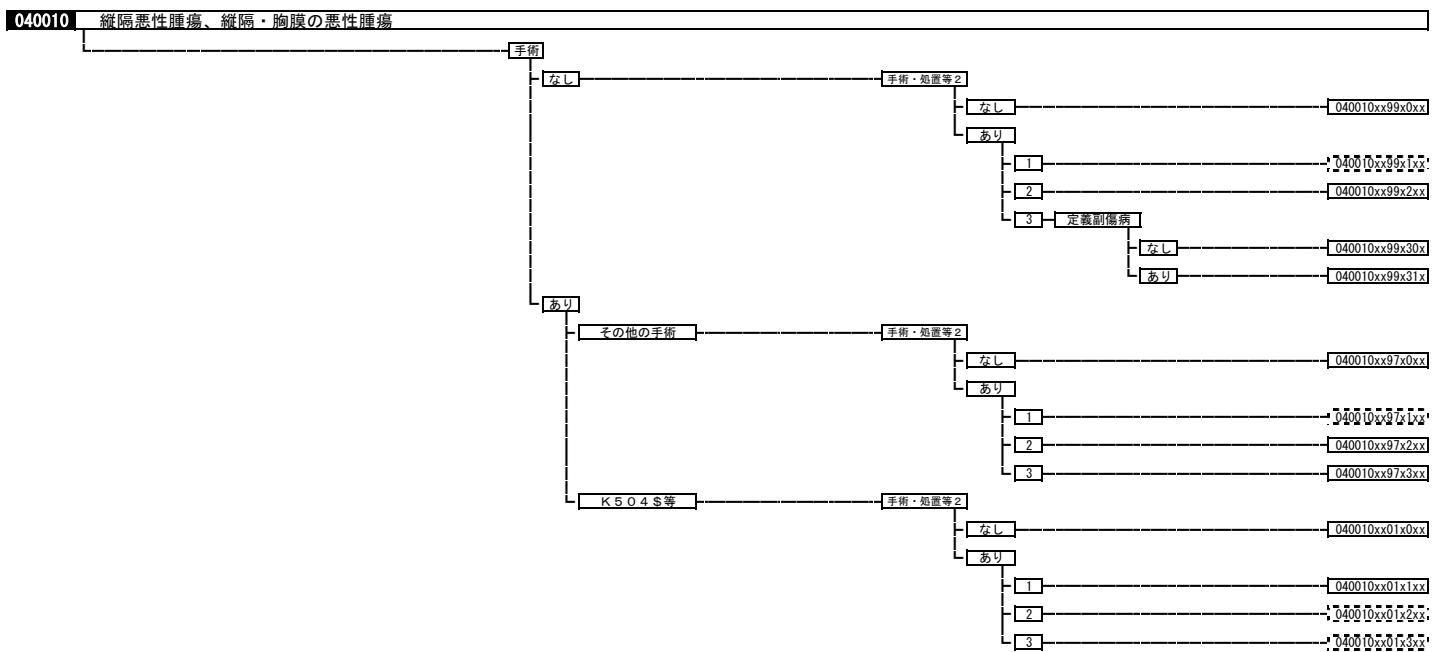
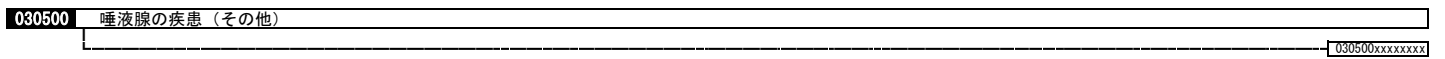
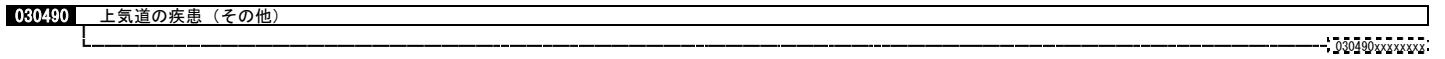
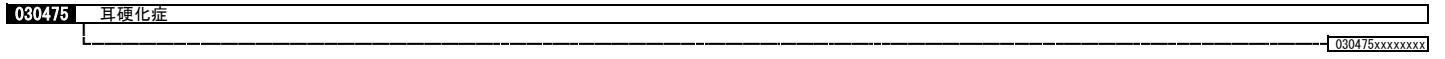
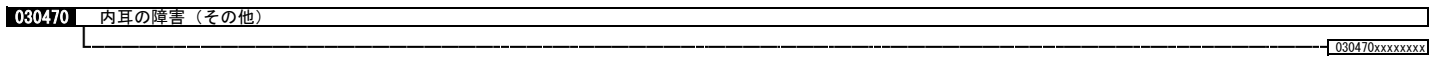
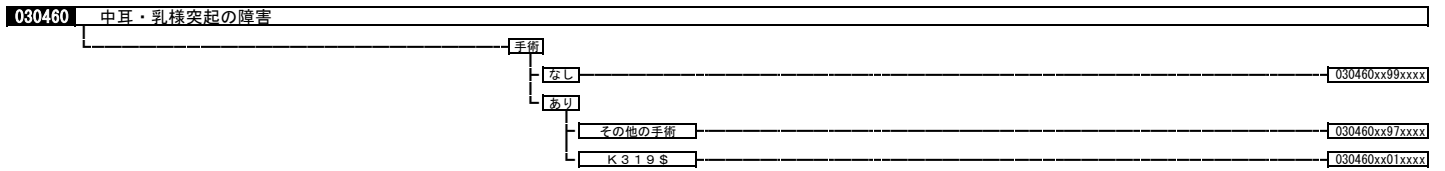


030150 耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍

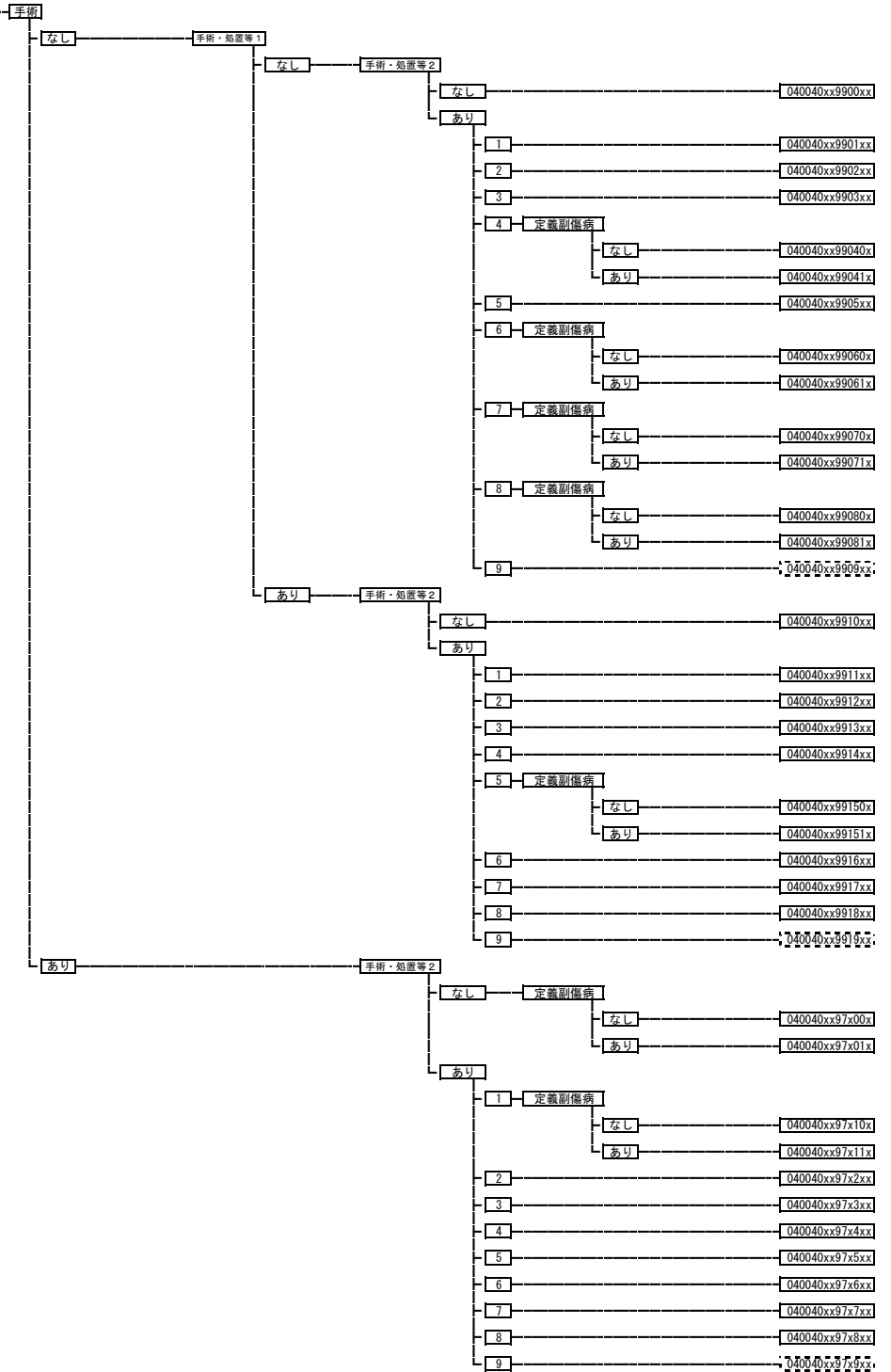


030180	口内炎、口腔疾患	手術	なし	030180xx99xxxx
			あり	030180xx97xxxx
030190	唾液腺炎、唾液腺腫瘍	手術	なし	030190xx99xxxx
			あり	030190xx97xxxx
030200	腺内唾石			030200xxxxxxxx
030220	ガマ腫			030220xxxxxxxx
030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患			030230xxxxxxxx
030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	手術	なし	030240xx99xxxx
			あり	
			その他の手術	030240xx97xxxx
			K 3 6 8 等	030240xx01xxxx
030245	伝染性単核球症			030245xxxxxxxx
030250	睡眠時無呼吸	手術	なし	030250xx990xxx
			手術・処置等1	
			なし	030250xx991xxx
			あり	030250xx970xxx
			手術・処置等1	
			なし	030250xx971xxx
			あり	030250xx972xxx
030270	上気道炎			030270xxxxxxxx
030280	声帯ポリープ、結節			030280xxxxxxxx
030290	声帯麻痺	手術	なし	030290xx99xxxx
			あり	030290xx97xxxx
030300	声帯の疾患（その他）	手術	なし	030300xx99xxxx
			あり	
			その他の手術	030300xx97xxxx
			K 3 8 9 S 等	030300xx01xxxx
030320	鼻中隔彎曲症			030320xxxxxxxx

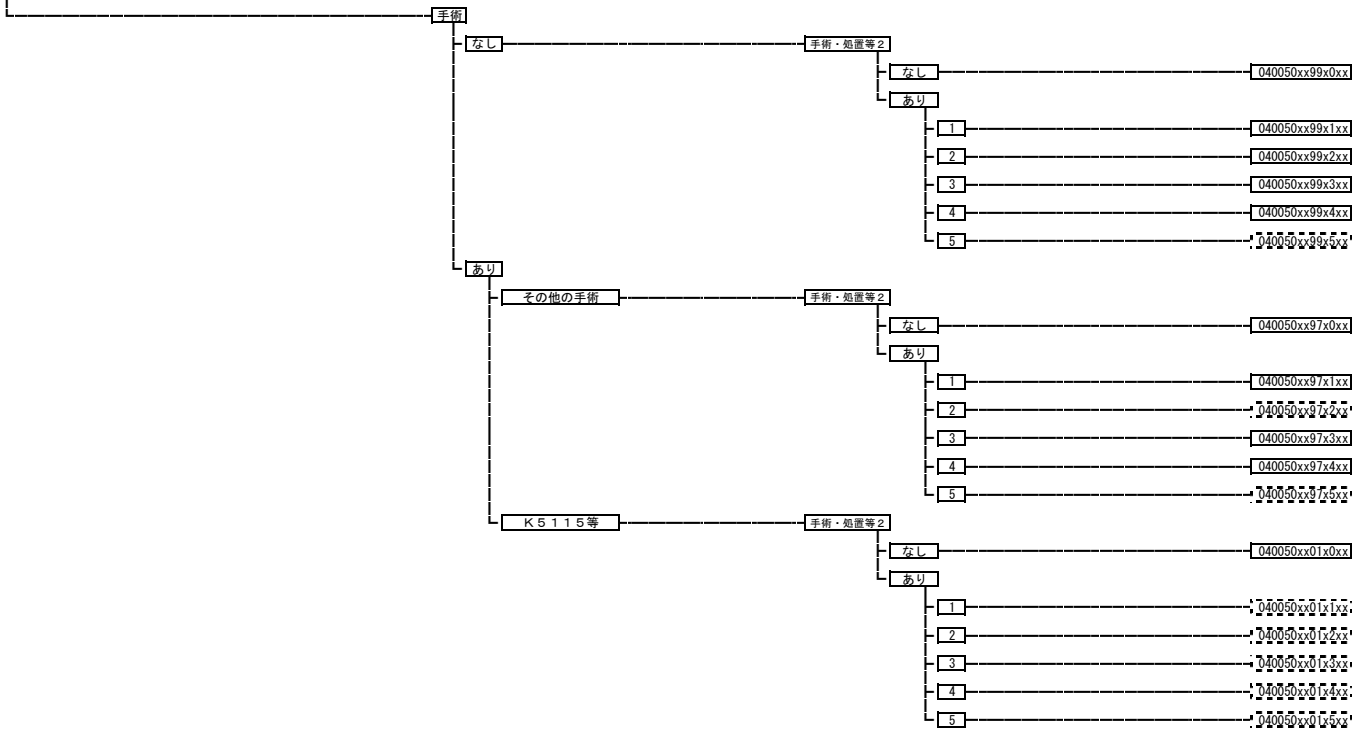




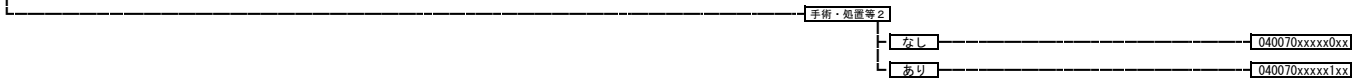
040040 肺の悪性腫瘍



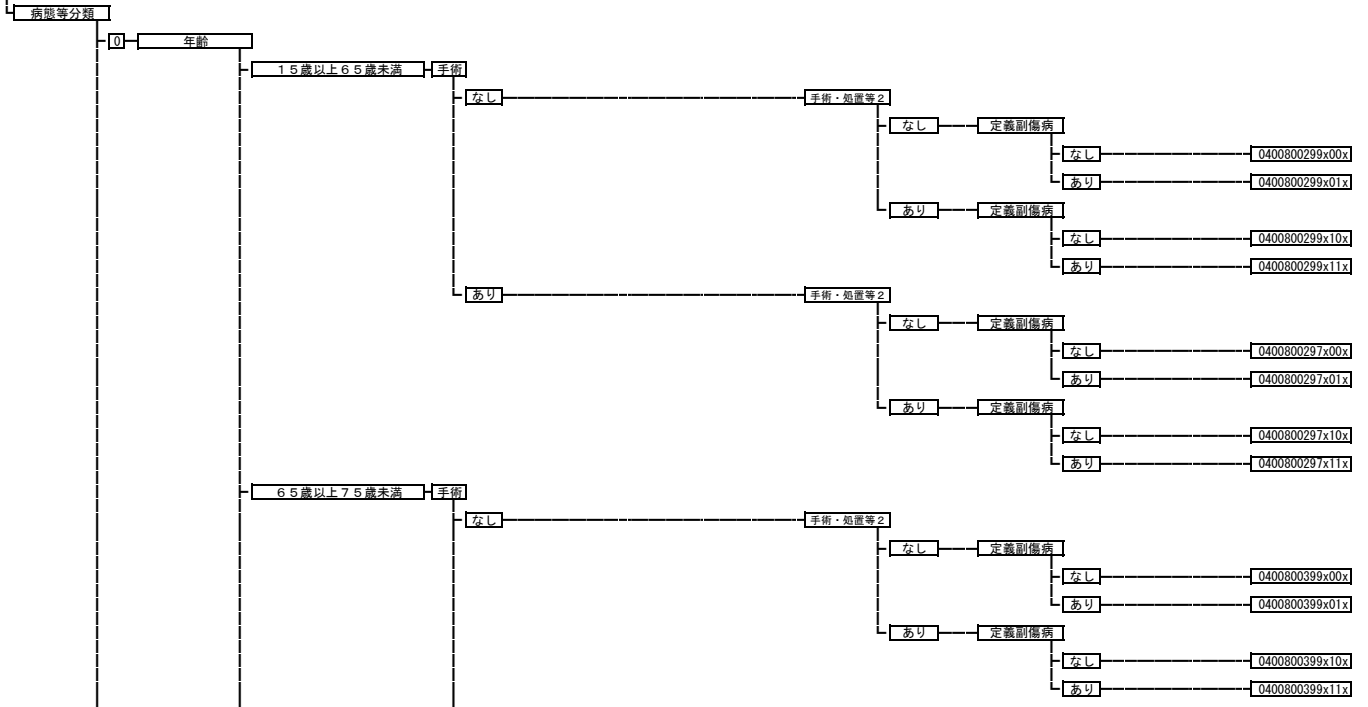
040050 胸壁腫瘍、胸膜腫瘍

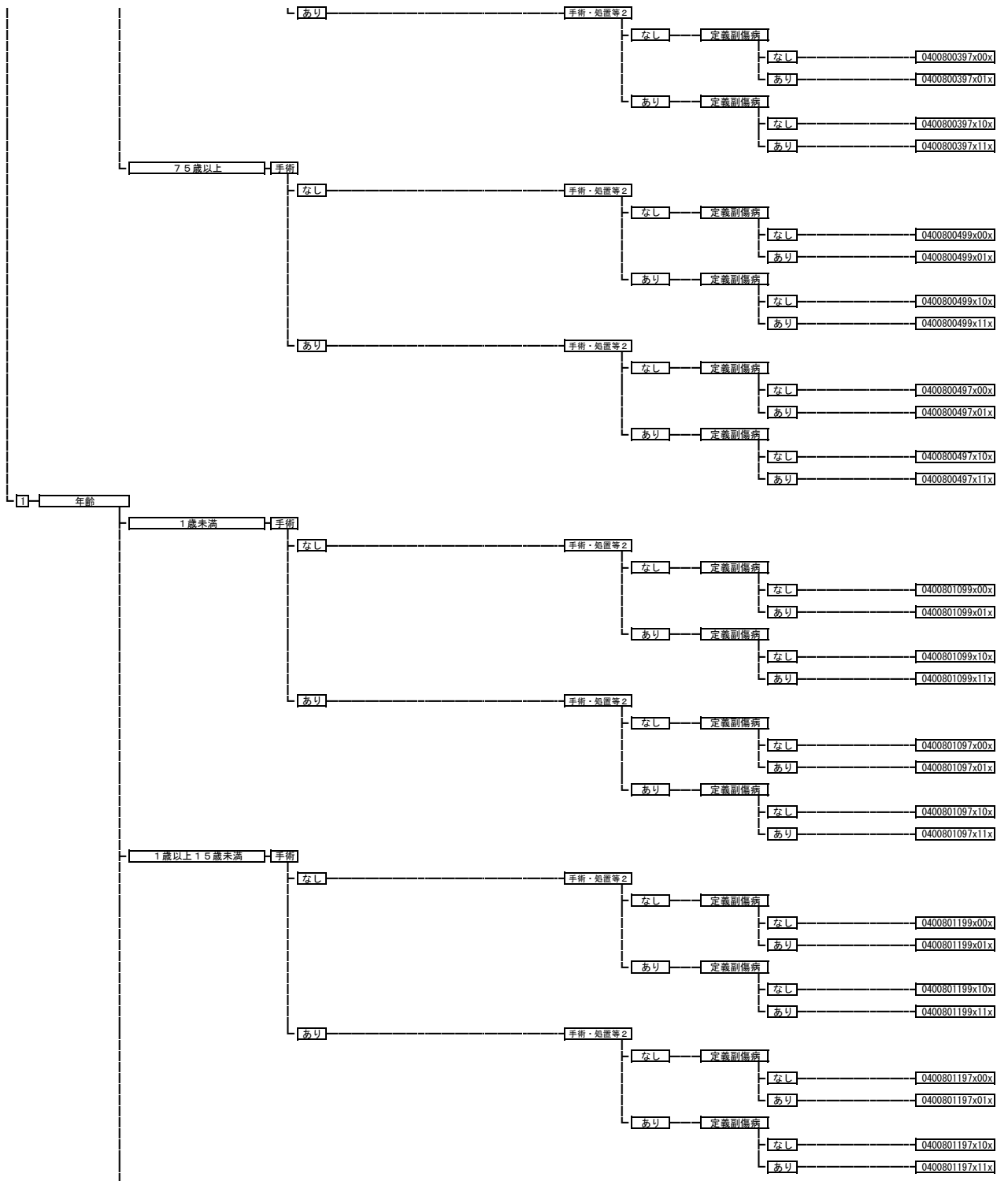


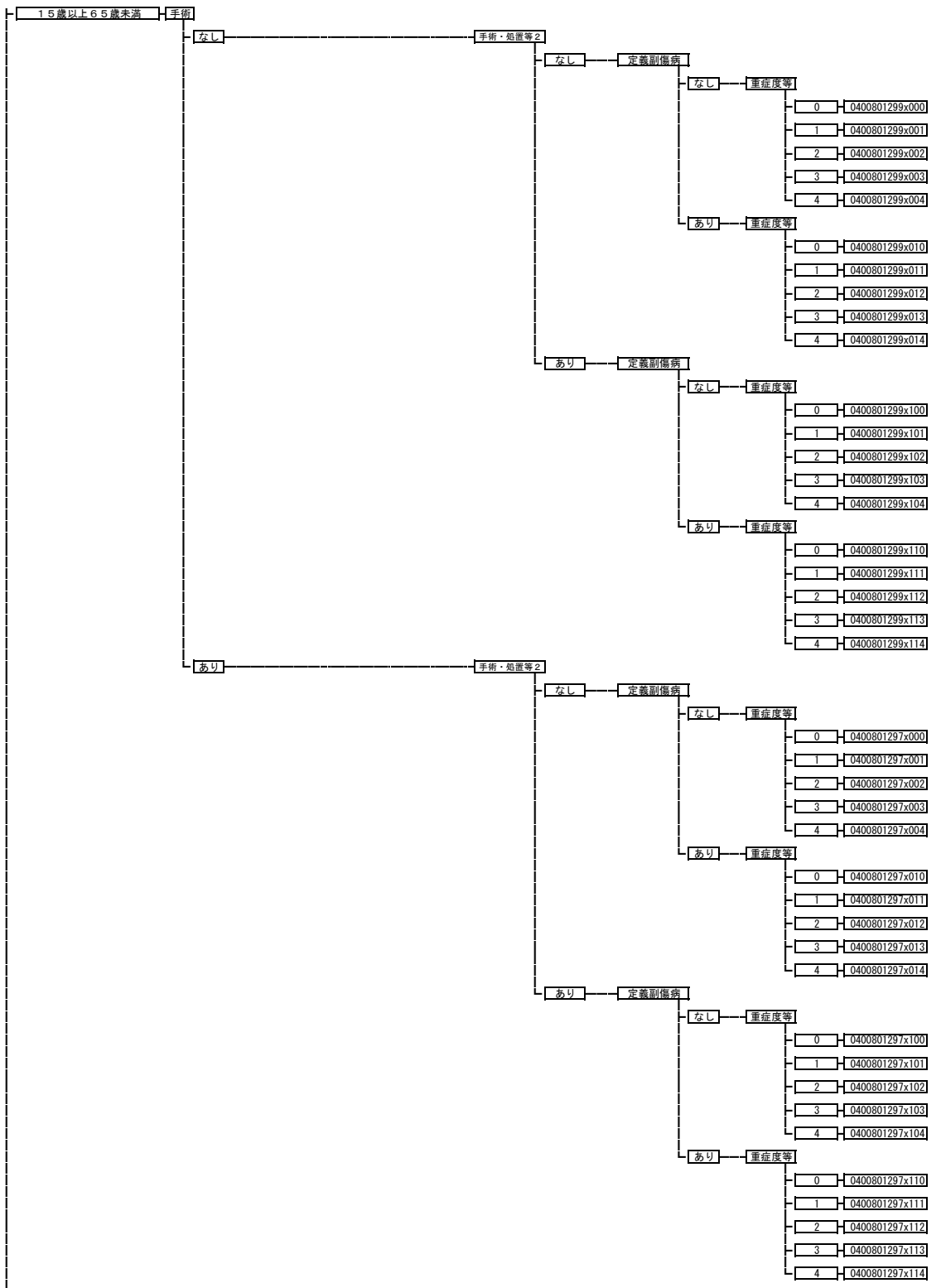
040070 インフルエンザ、ウイルス性肺炎

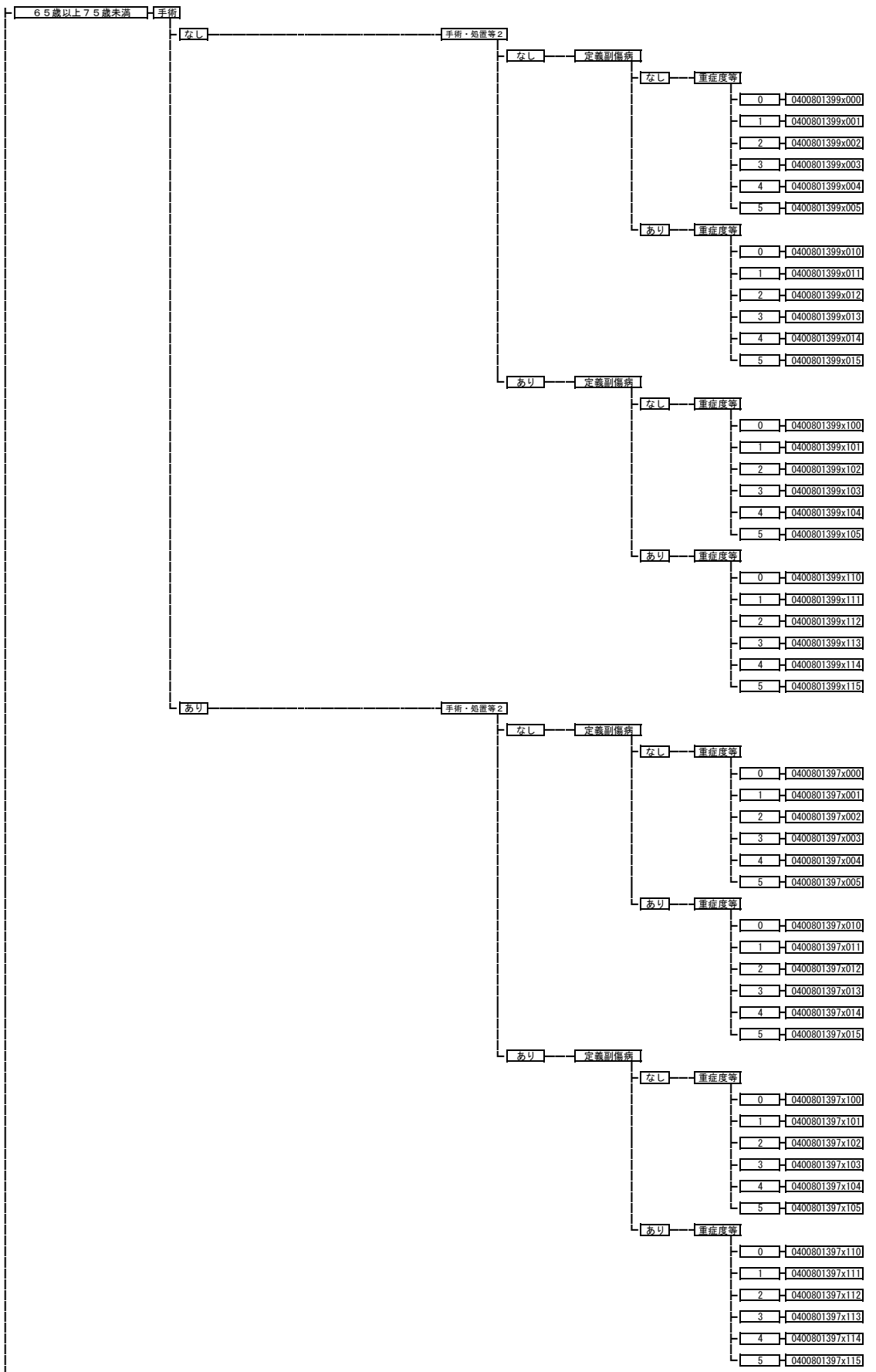


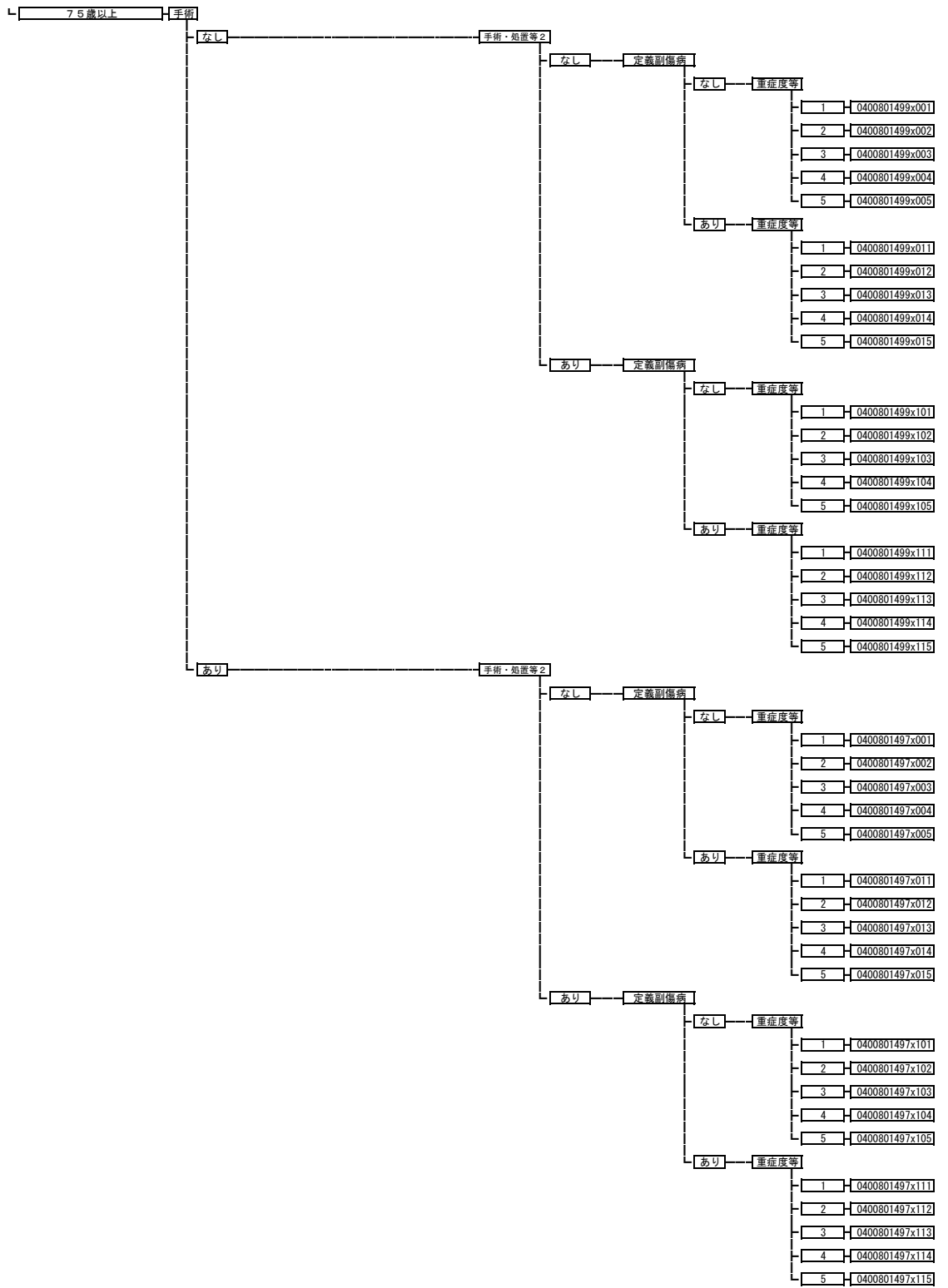
040080 肺炎等



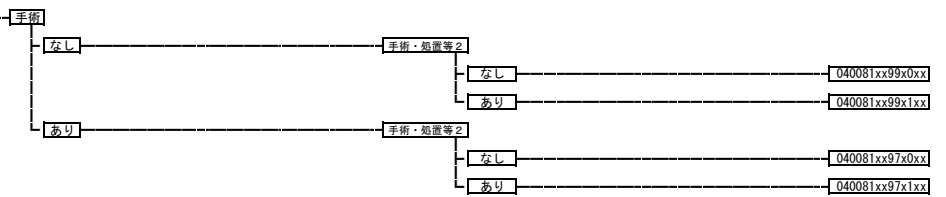








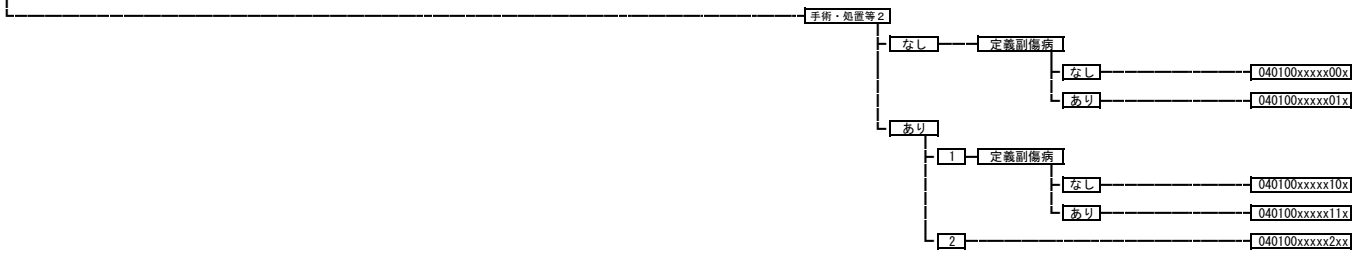
040081 誤嚥性肺炎



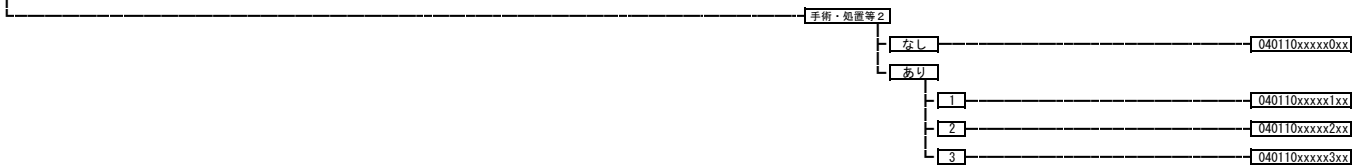
040090 急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）



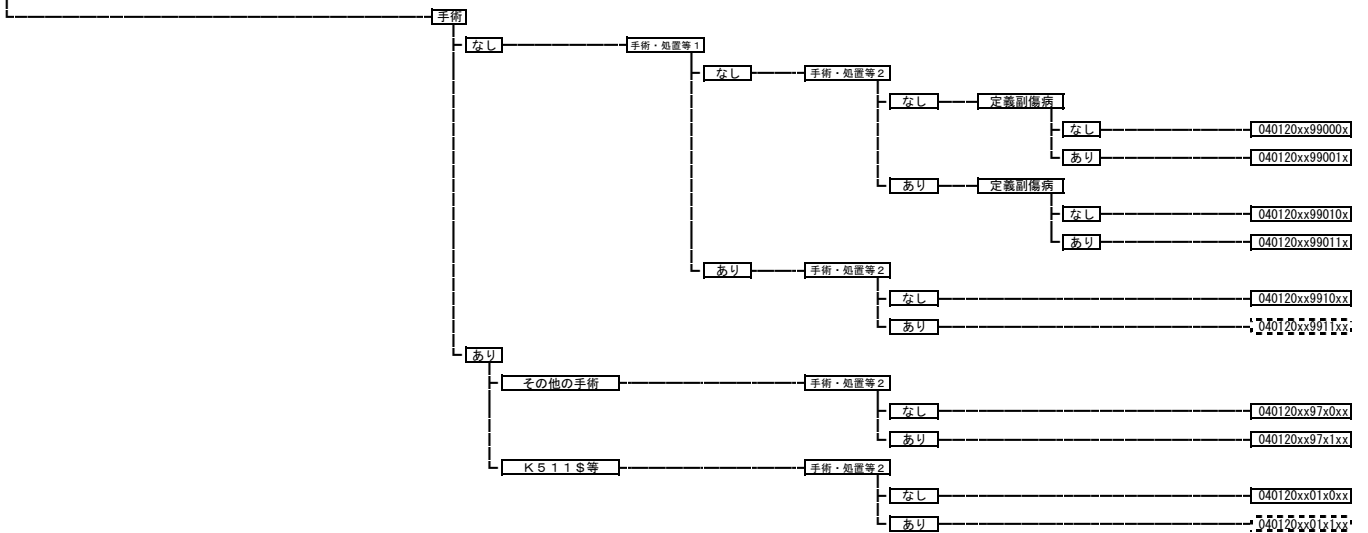
040100 喘息



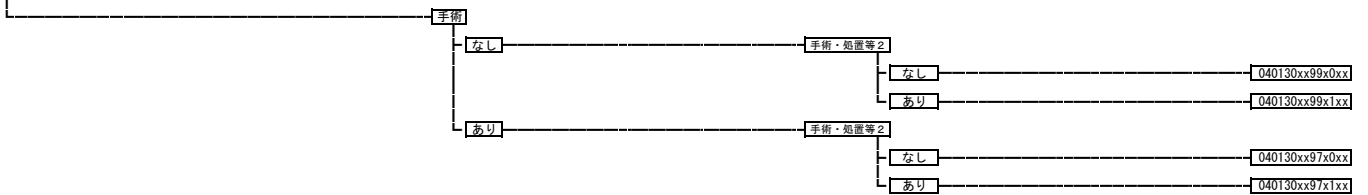
040110 間質性肺炎



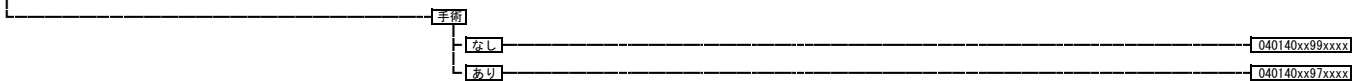
040120 慢性閉塞性肺疾患

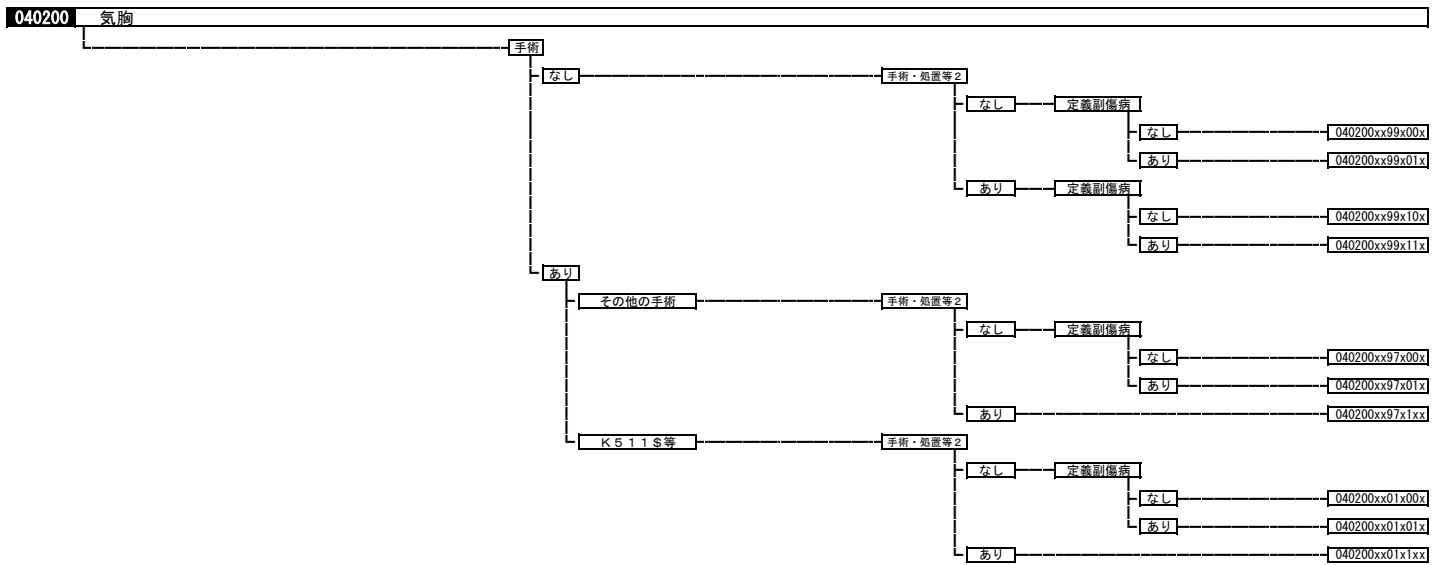
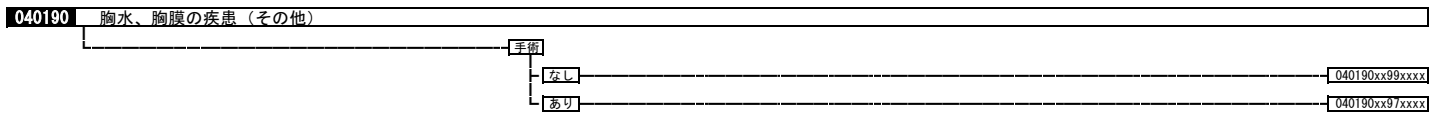
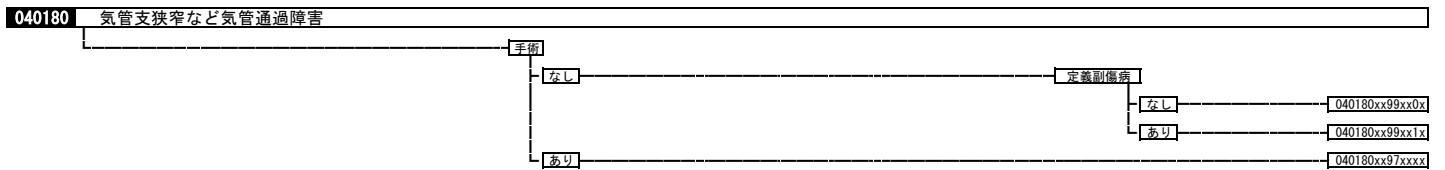
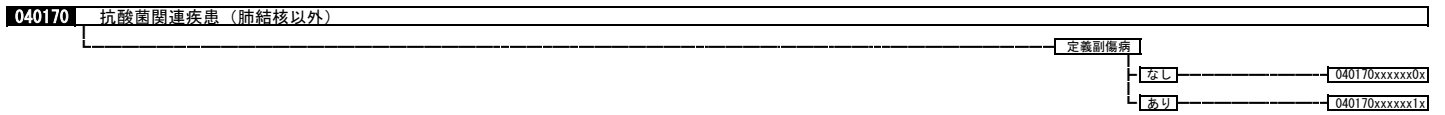
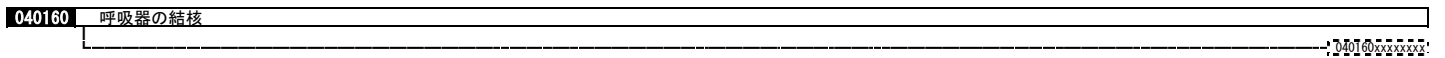
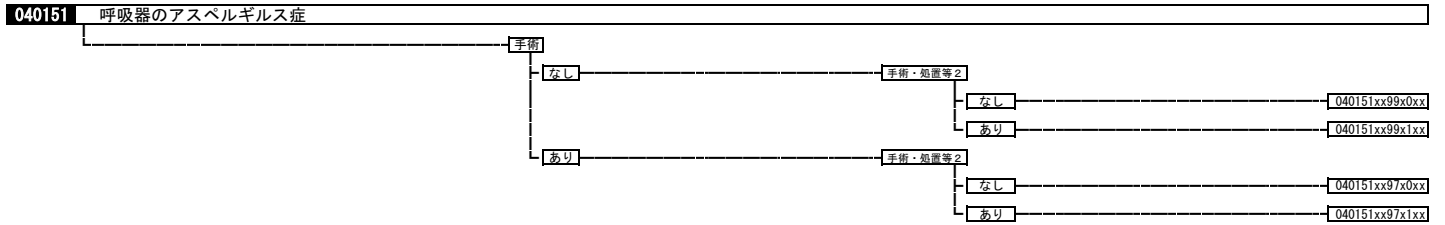
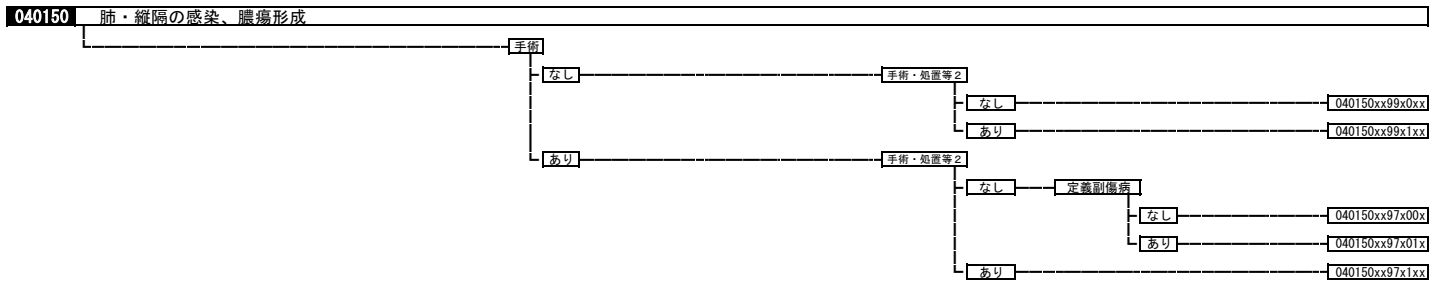


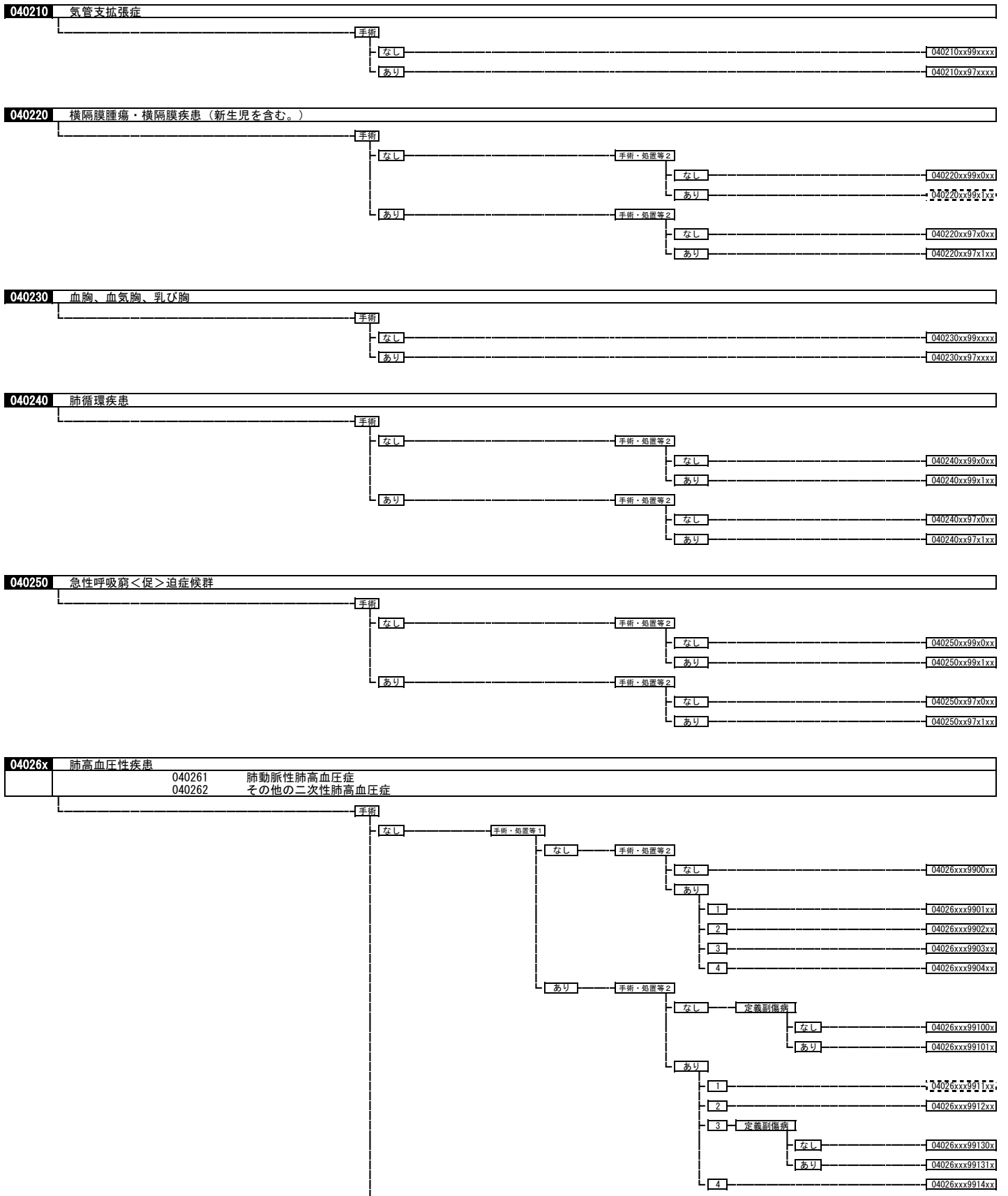
040130 呼吸不全（その他）

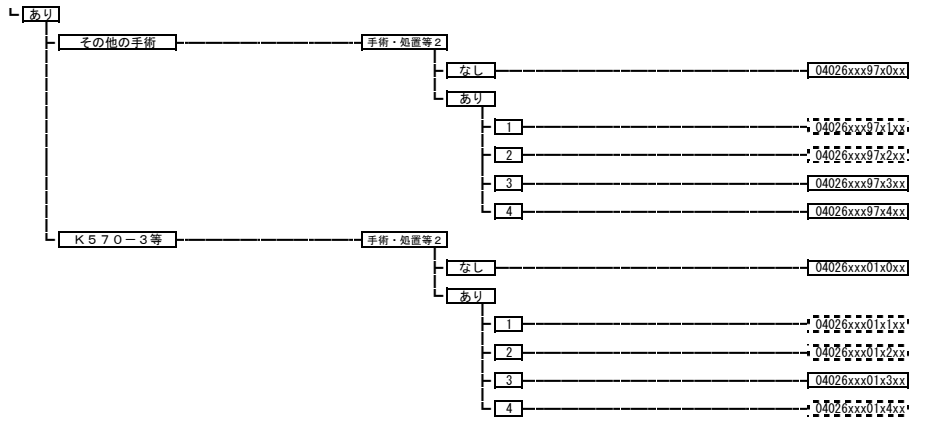


040140 気道出血（その他）



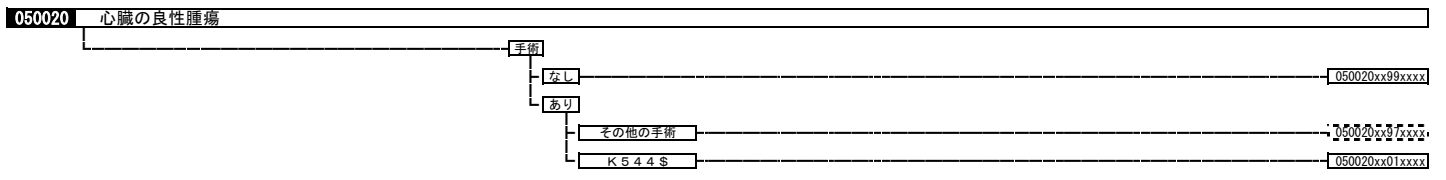




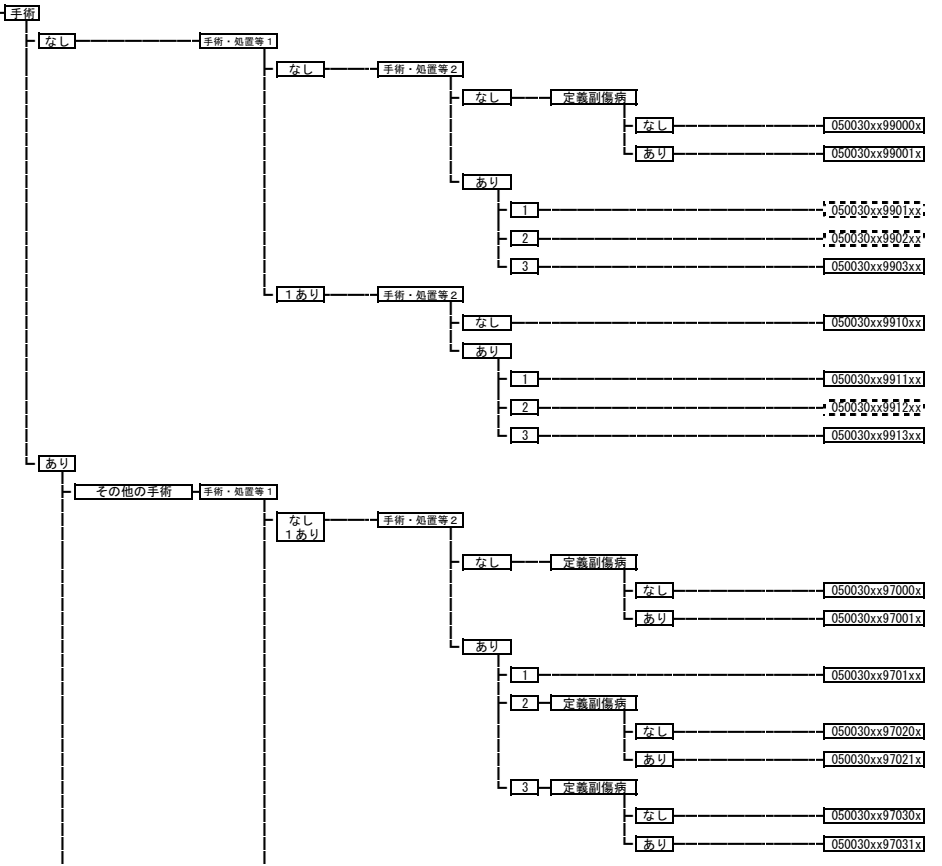


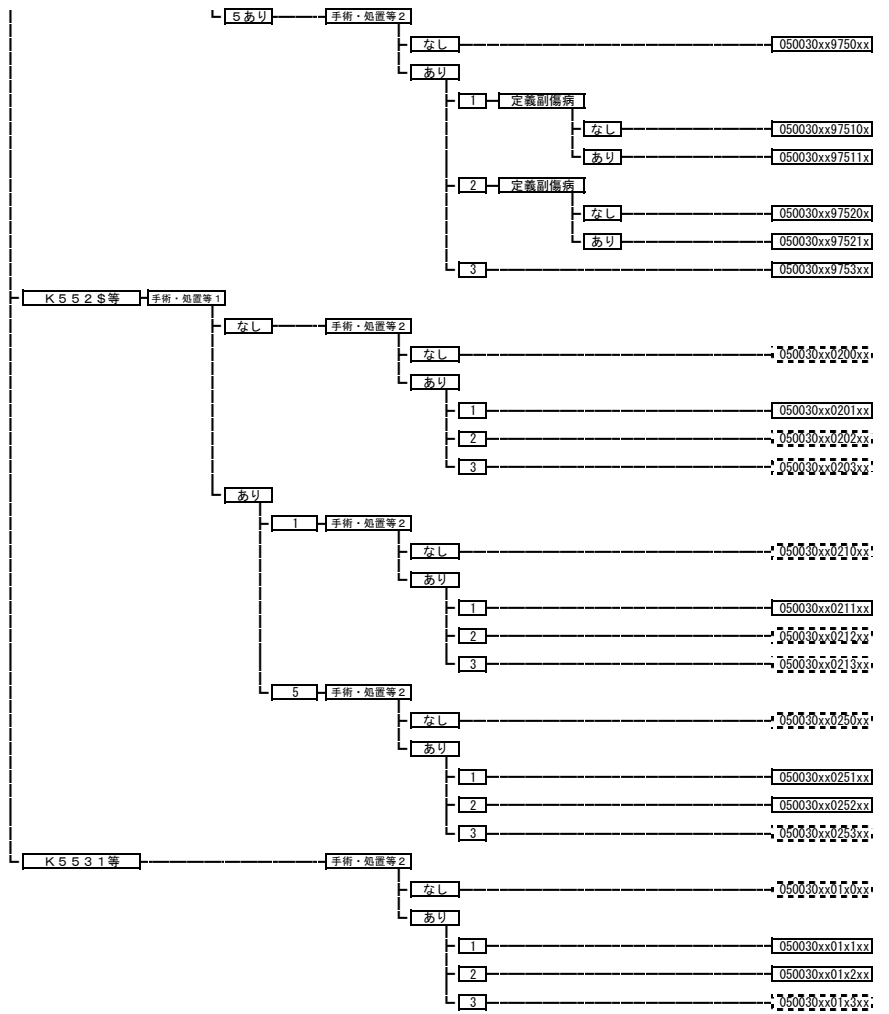
040310 その他の呼吸器の障害
 040310xxxxxxxx

050010 心臓の悪性腫瘍
 050010xxxxxxxx

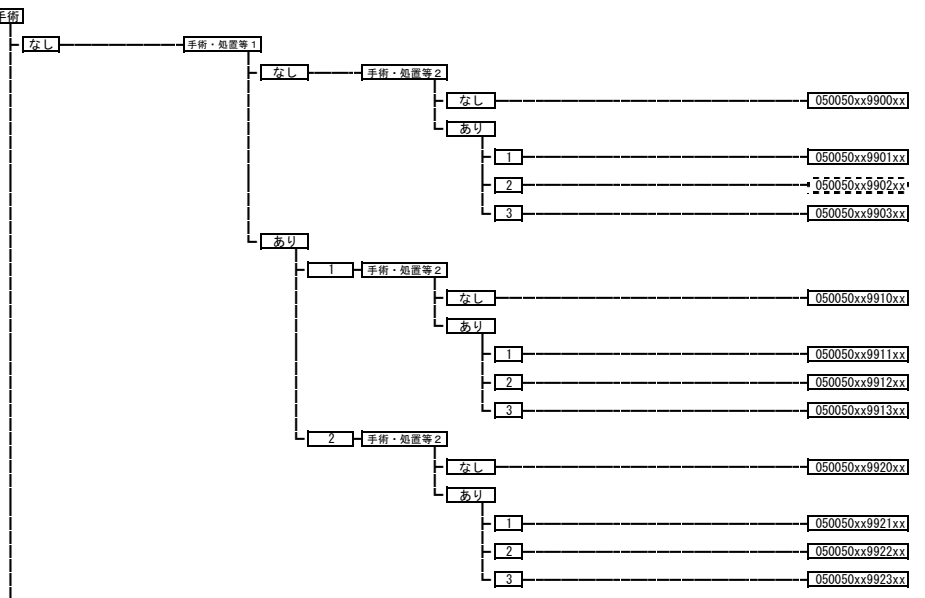


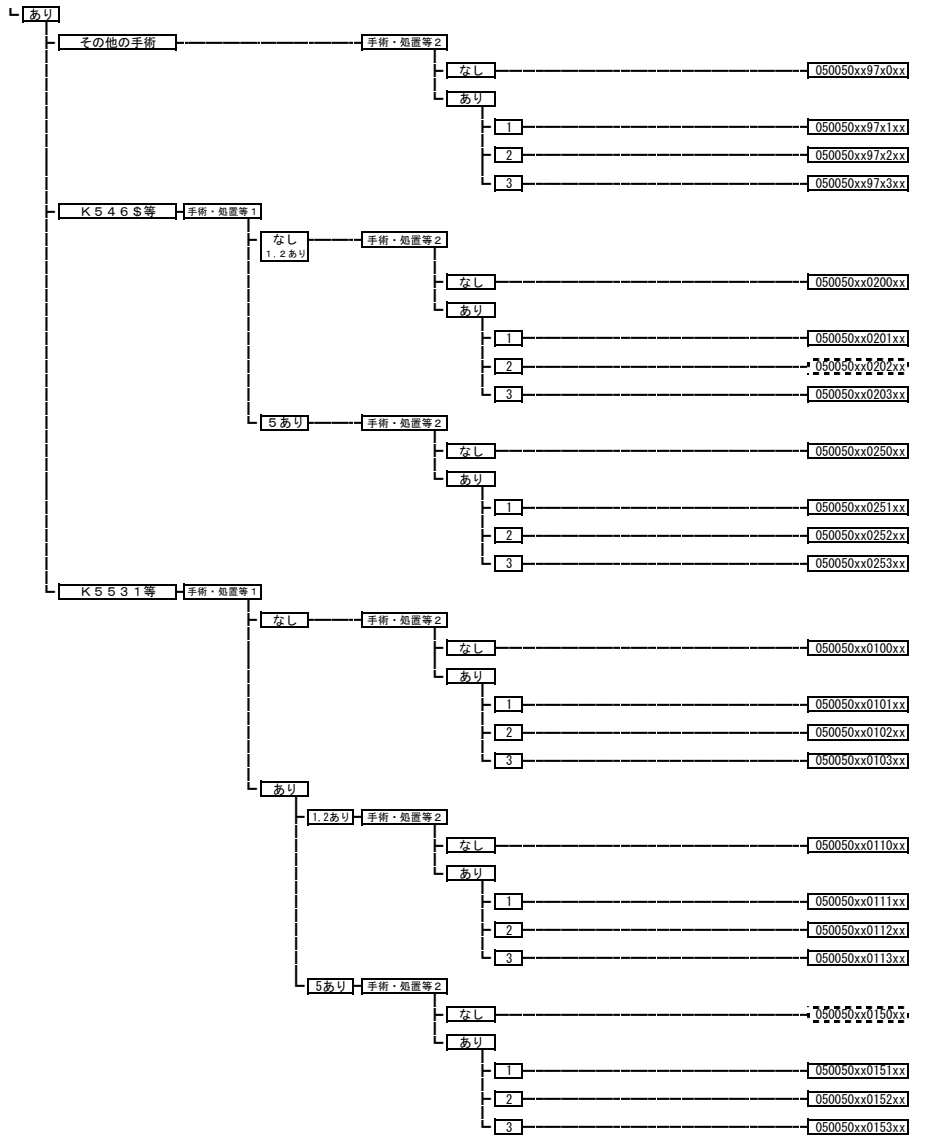
050030 急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞



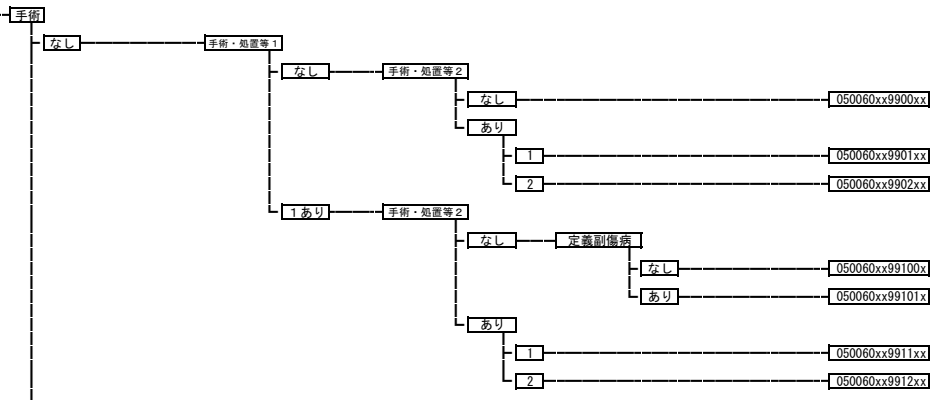


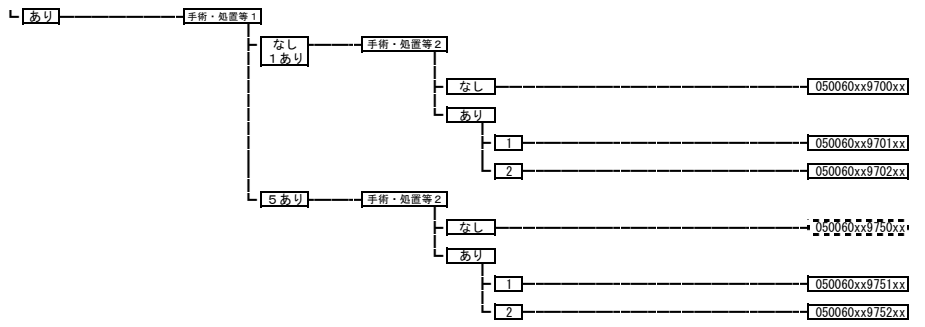
050050 狭心症、慢性虚血性心疾患



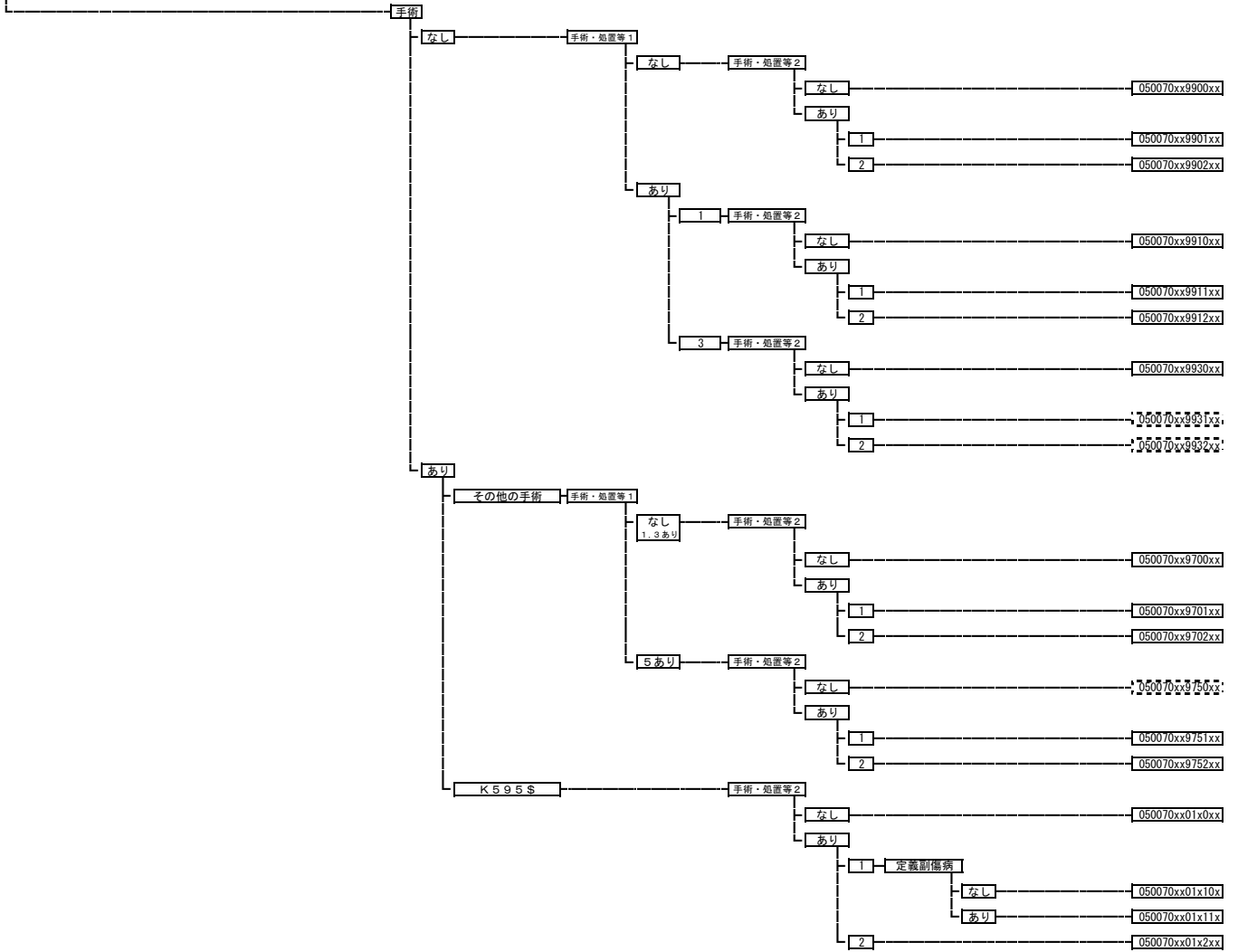


050060 心筋症（拡張型心筋症を含む。）

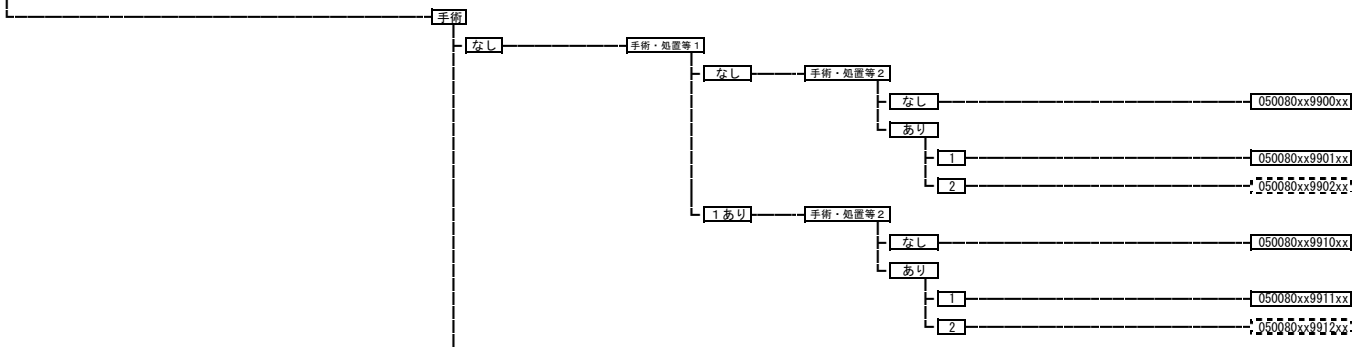


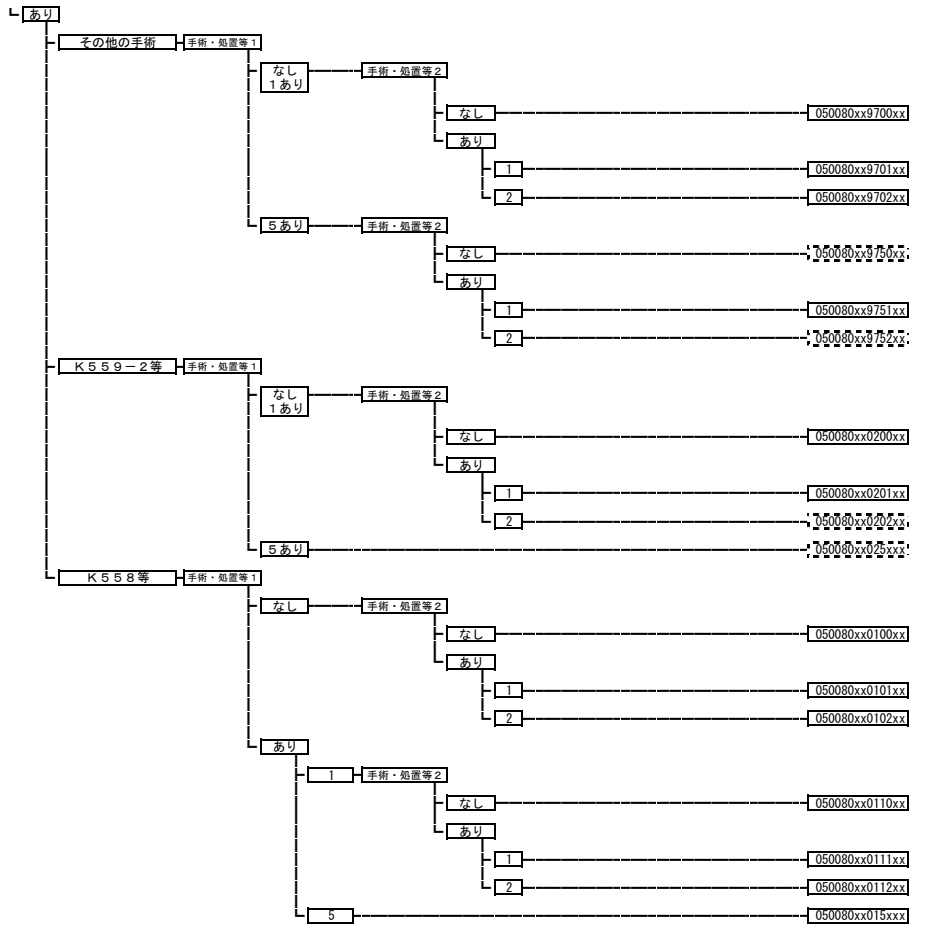


050070 頻脈性不整脈

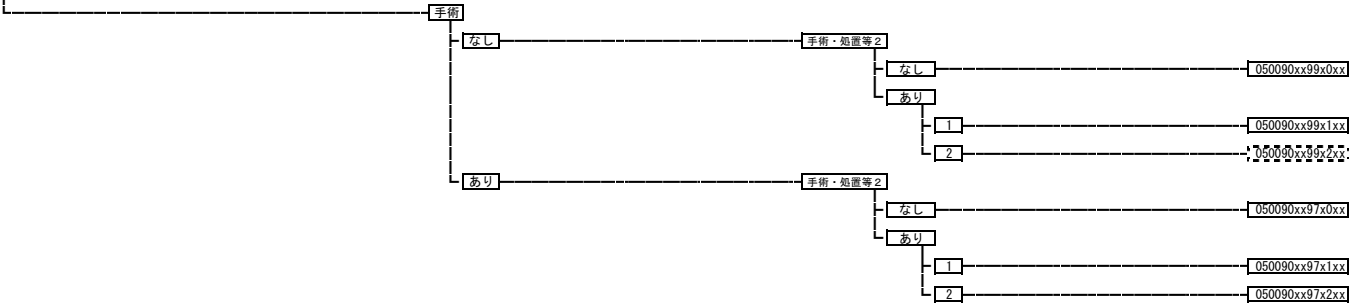


050080 弁膜症（連合弁膜症を含む。）

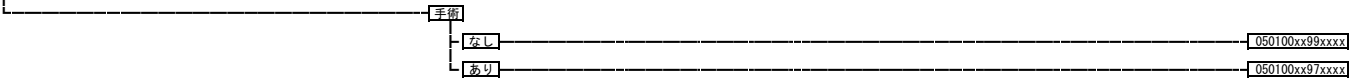




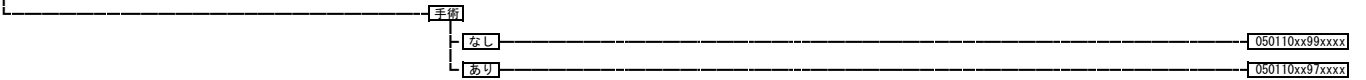
050090 心内膜炎



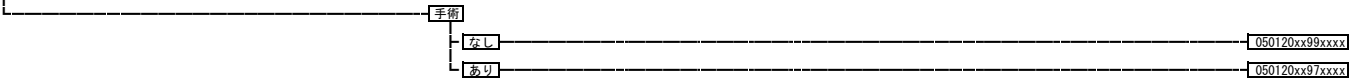
050100 心筋炎

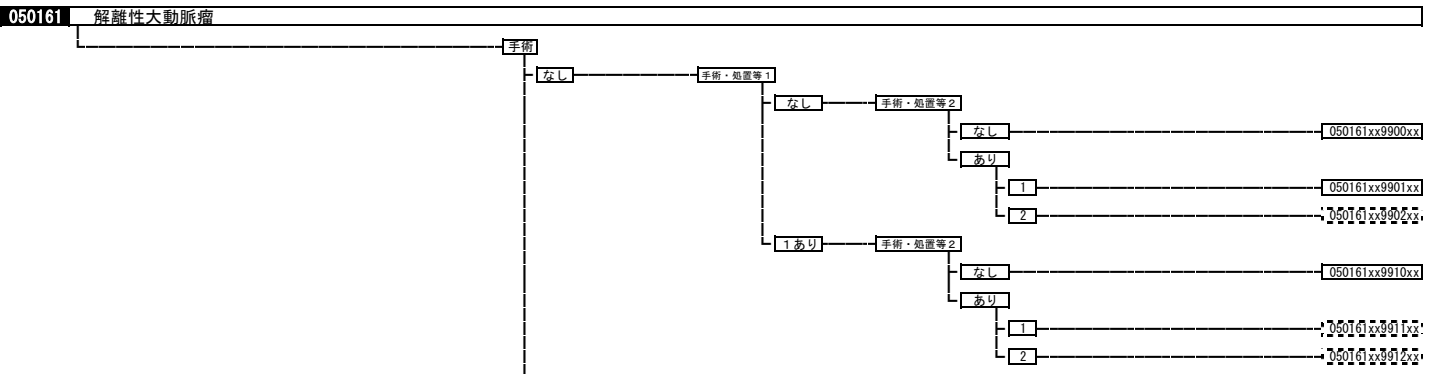
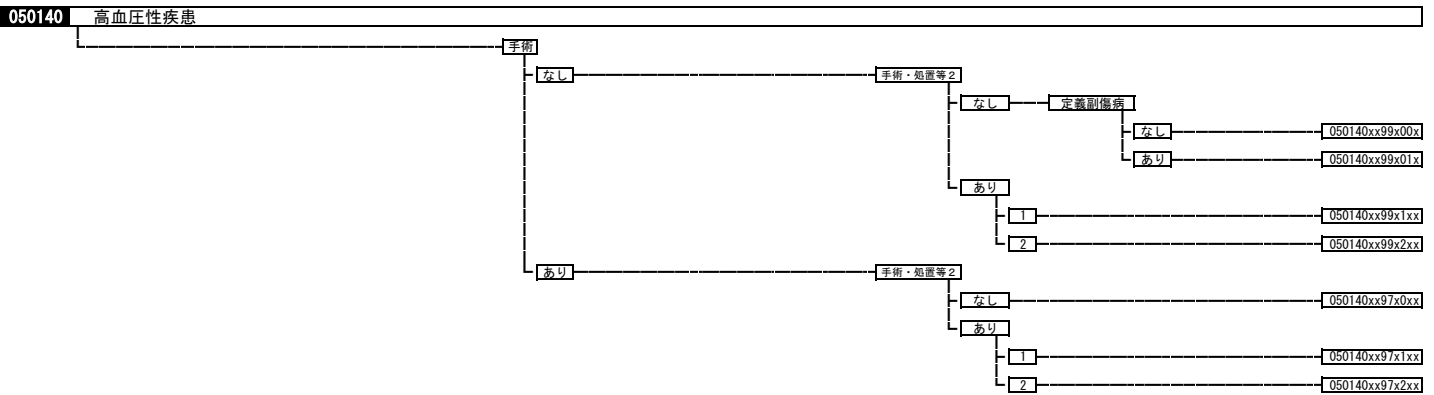
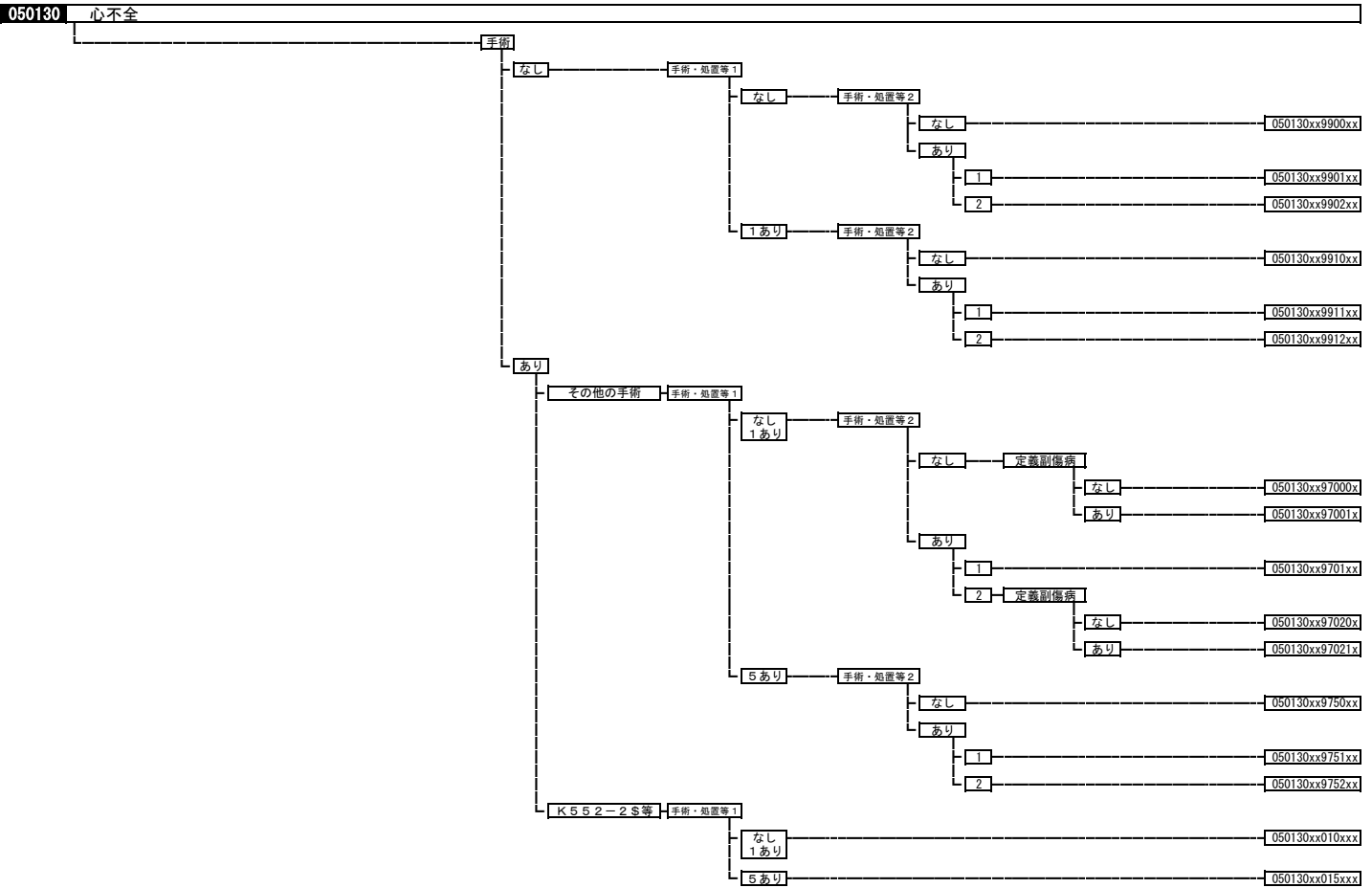


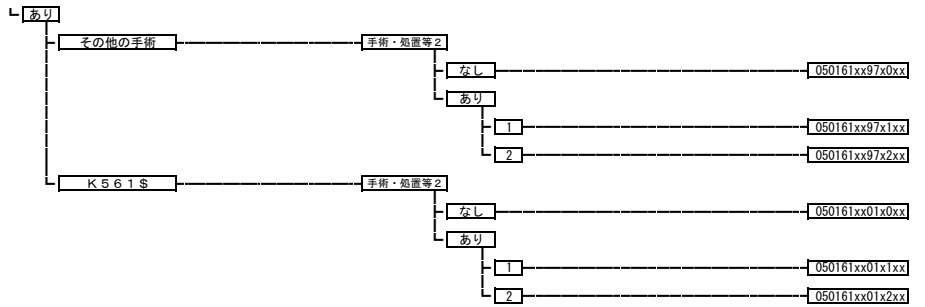
050110 急性心膜炎



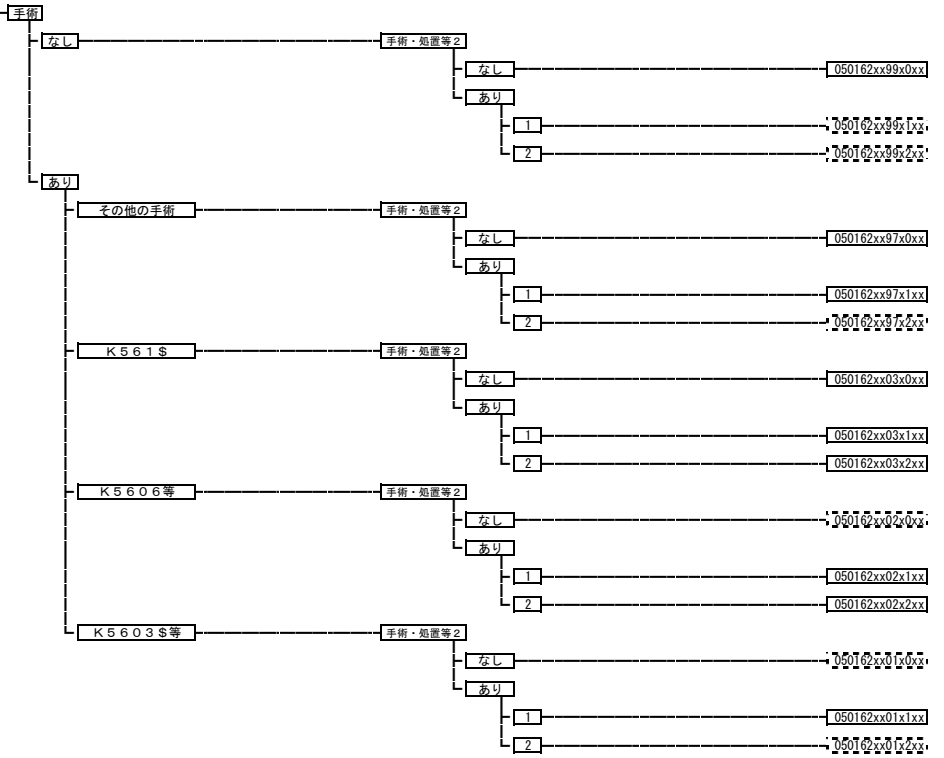
050120 収縮性心膜炎



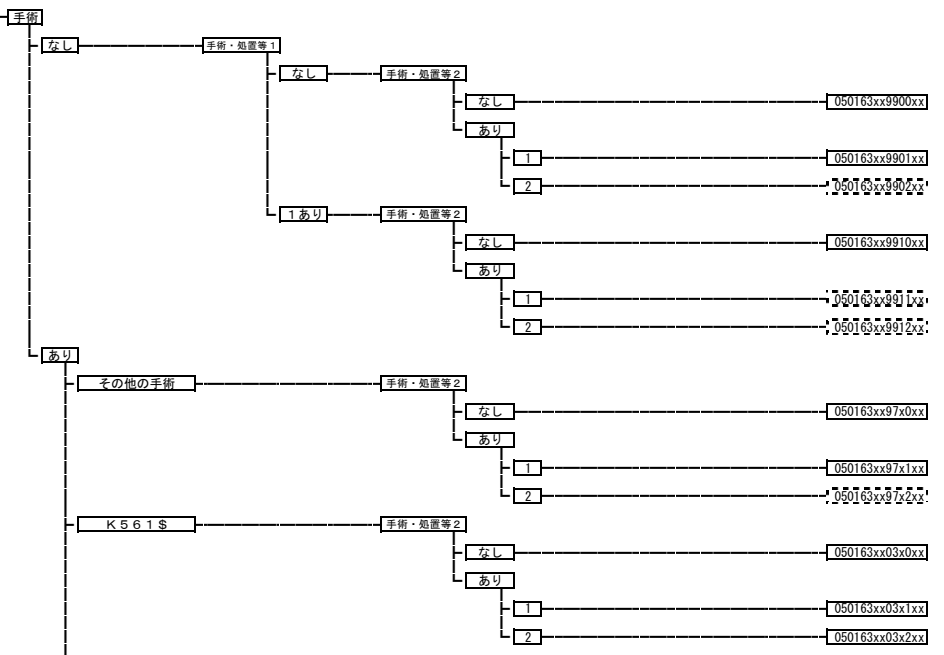


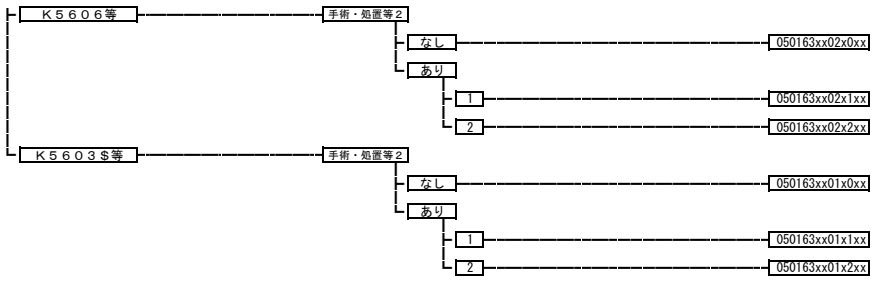


050162 破裂性大動脈瘤

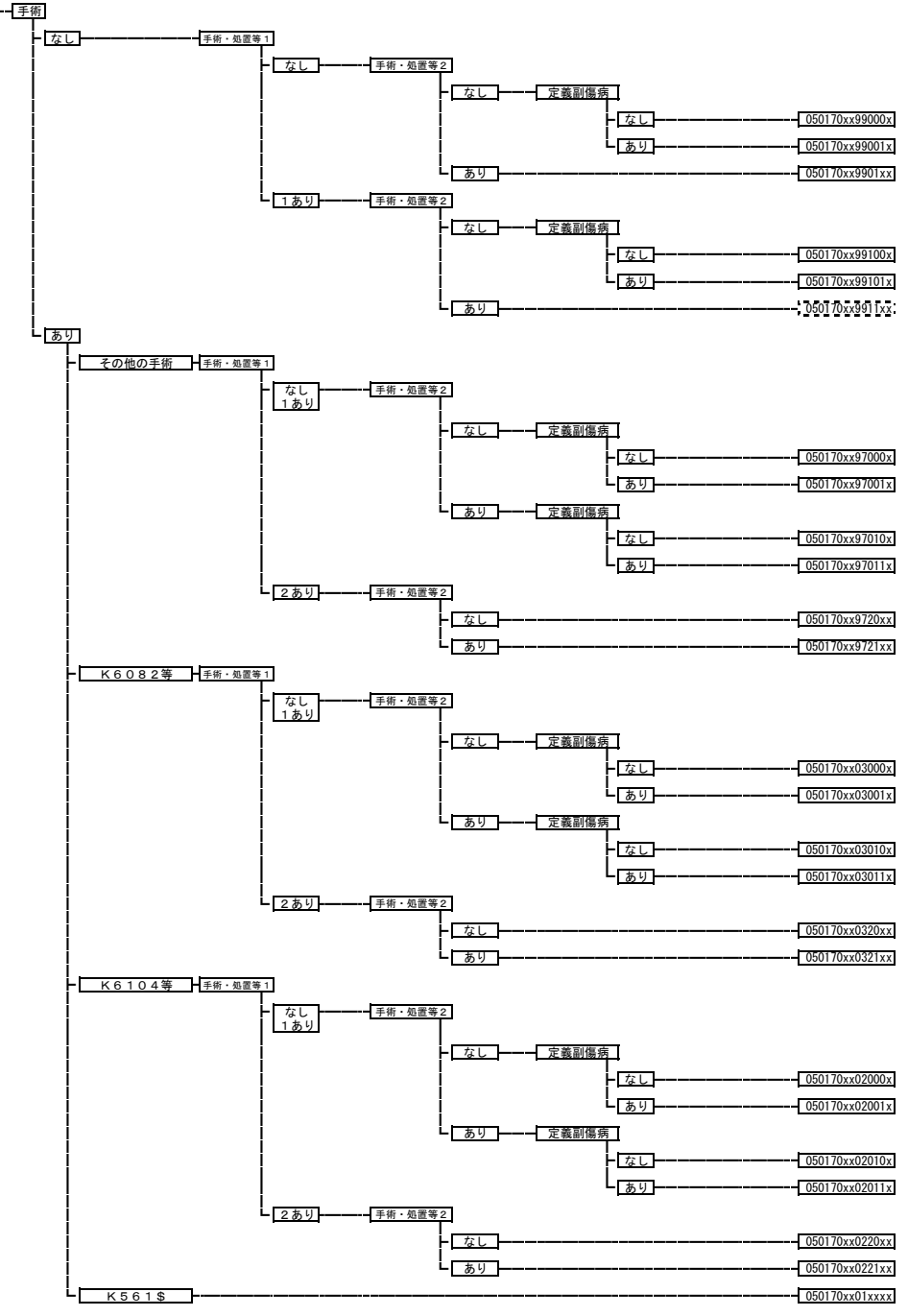


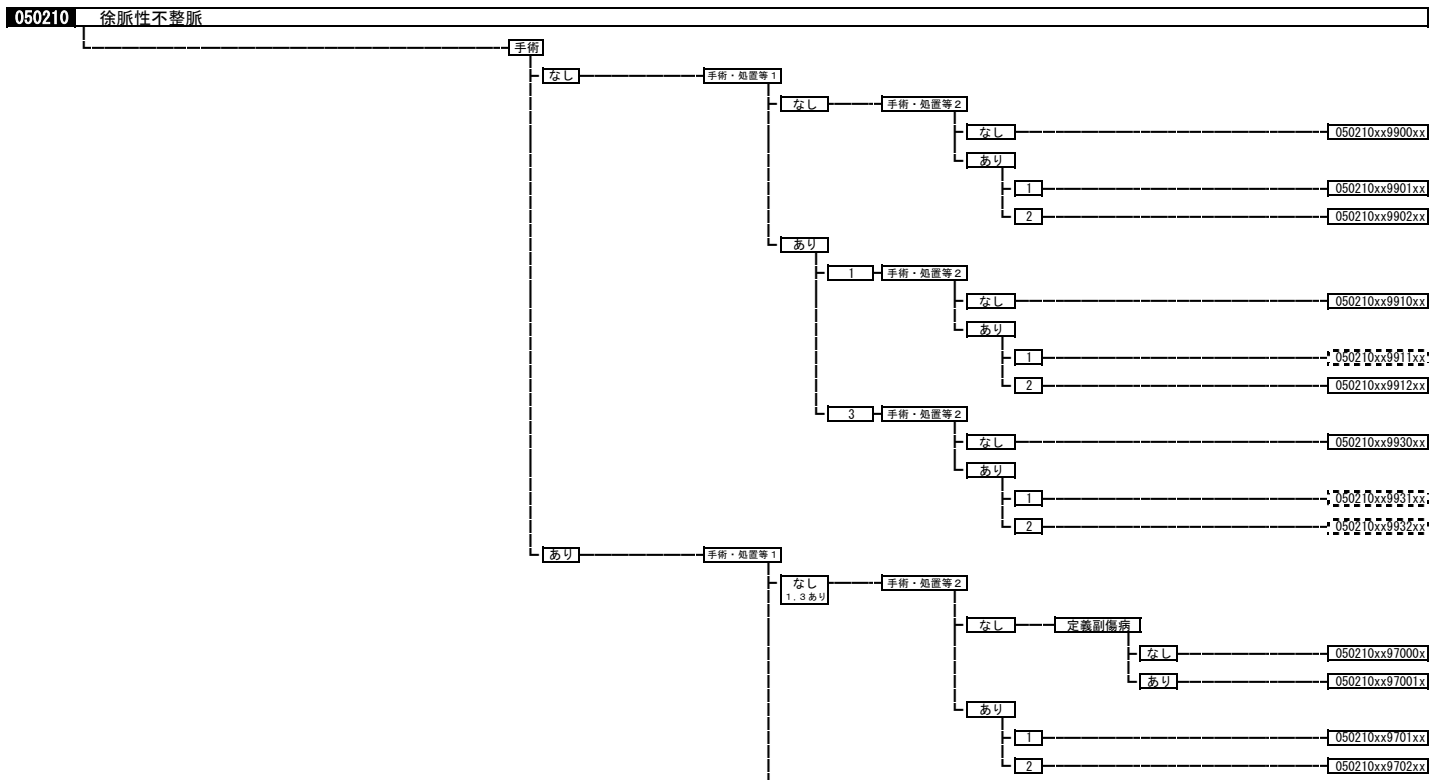
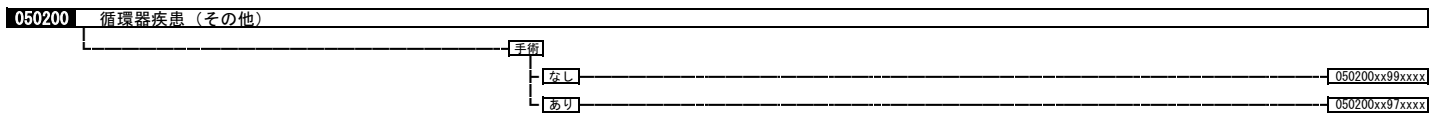
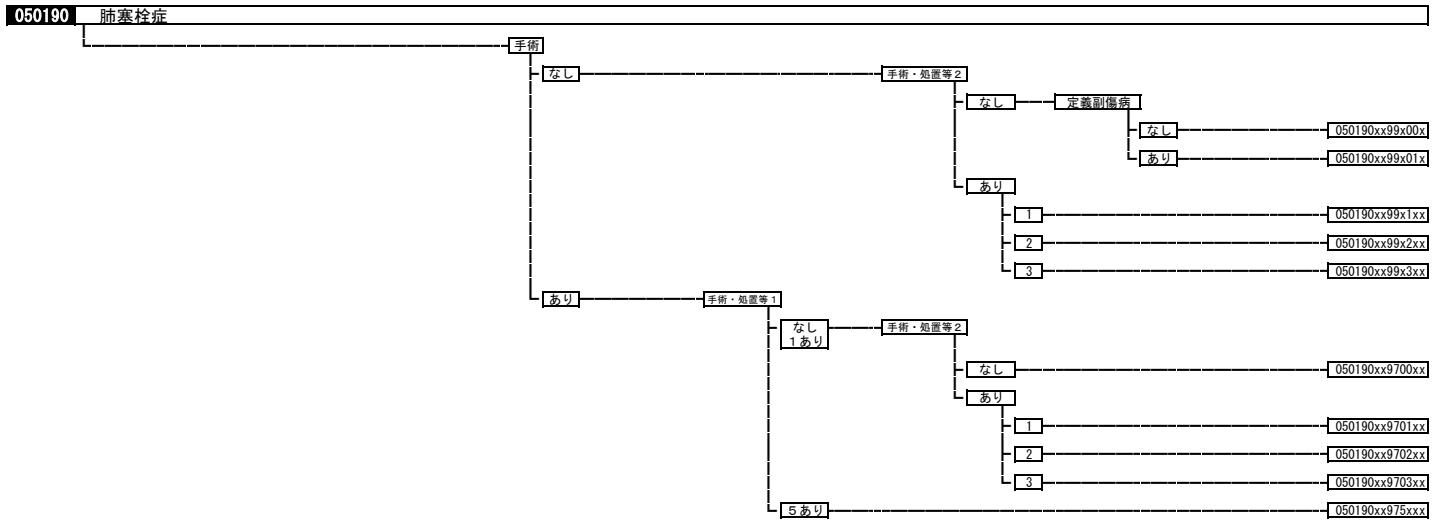
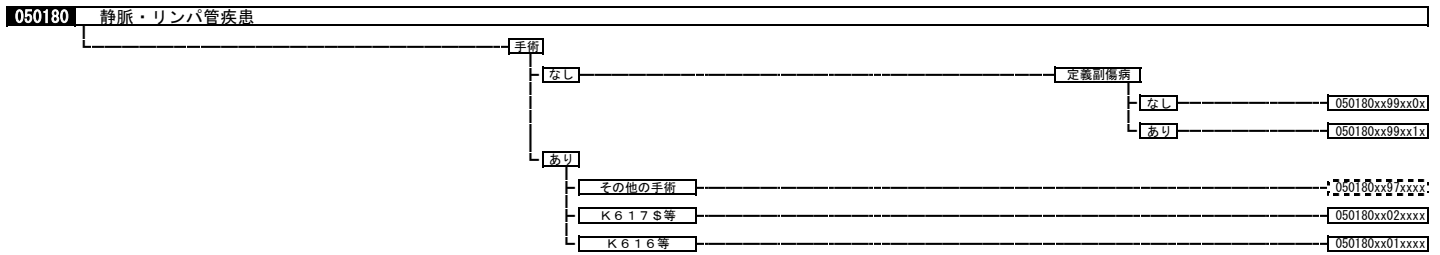
050163 非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤

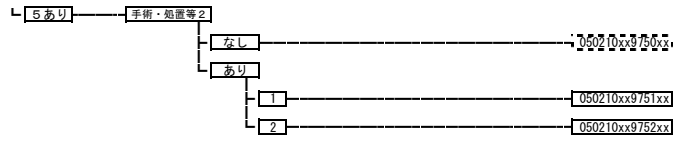




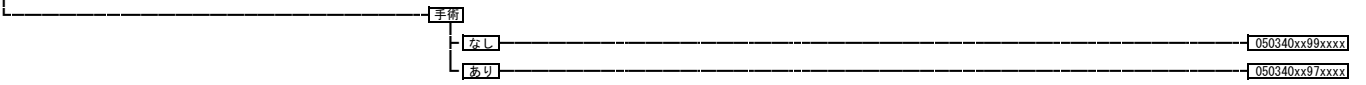
050170 閉塞性動脈疾患



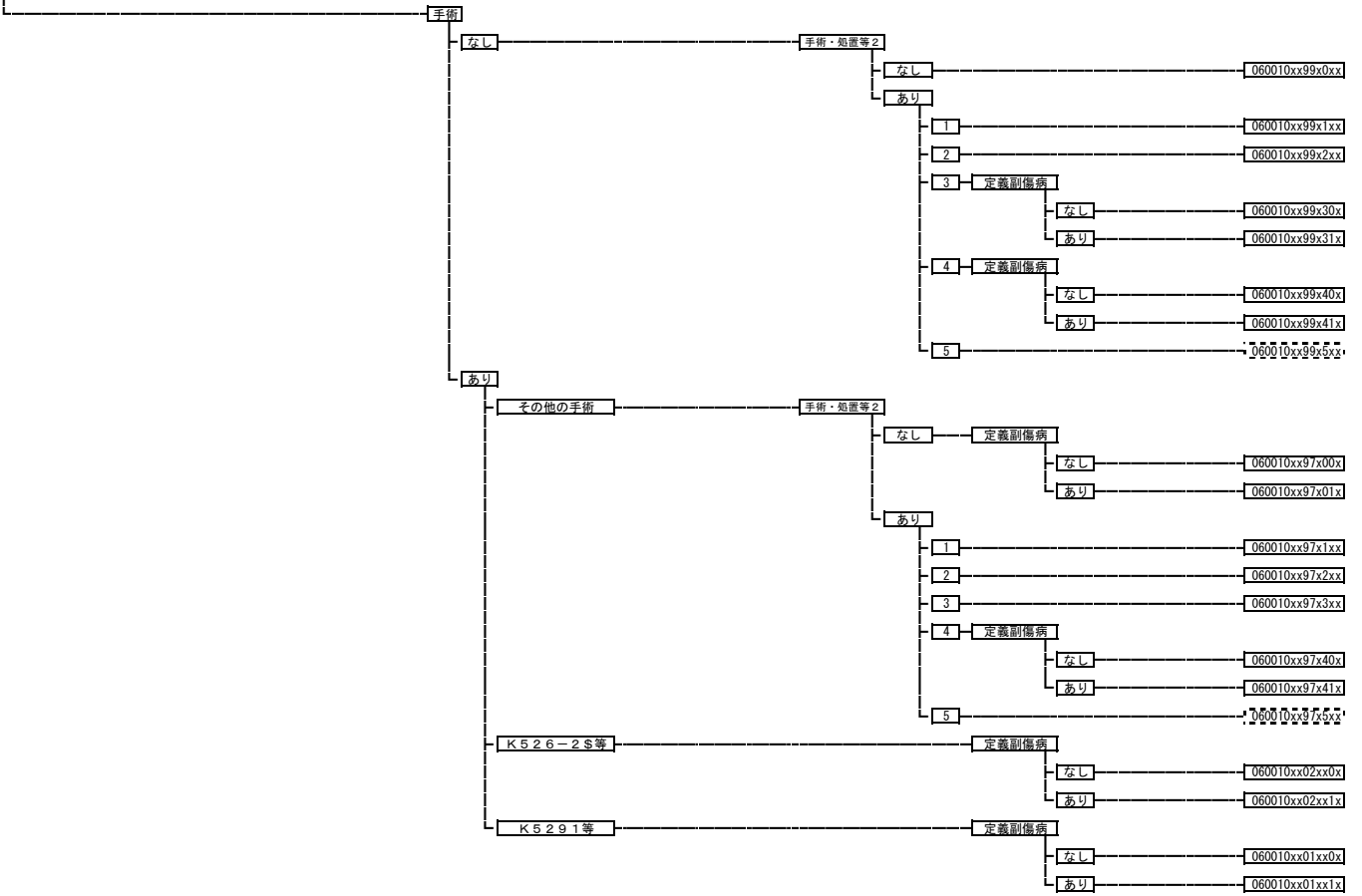




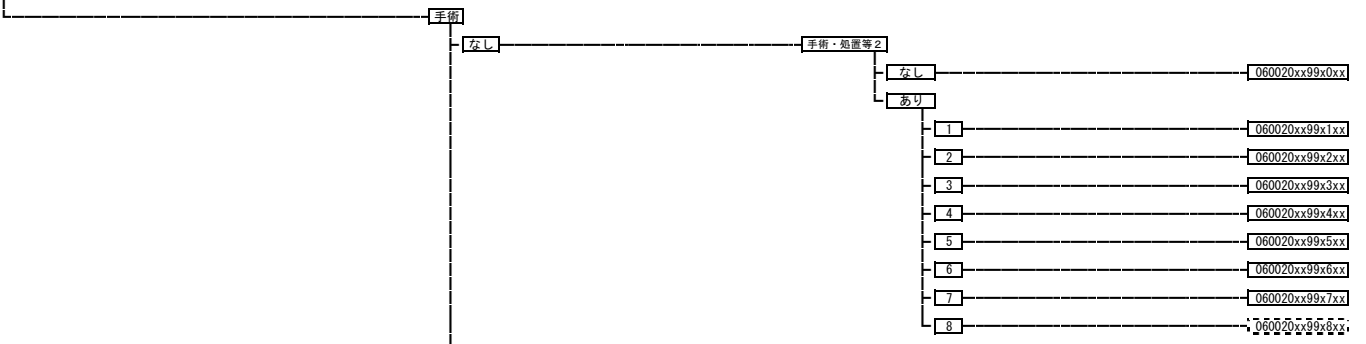
050340 その他の循環器の障害

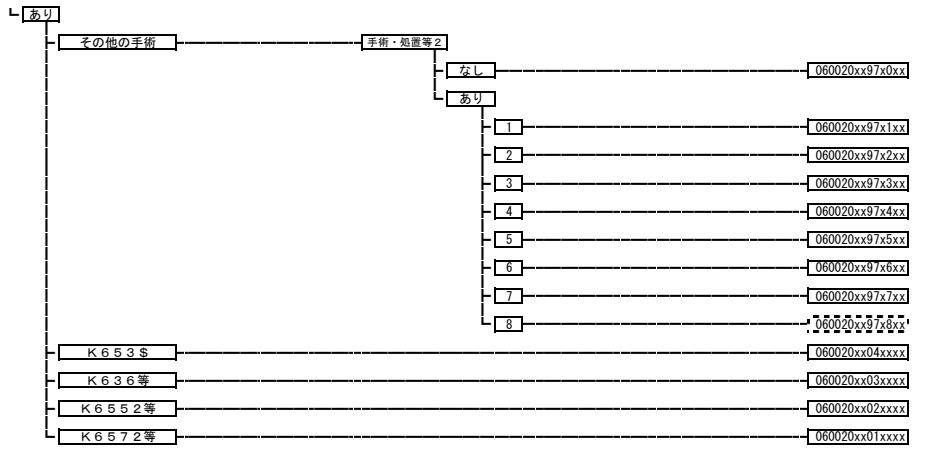


060010 食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）

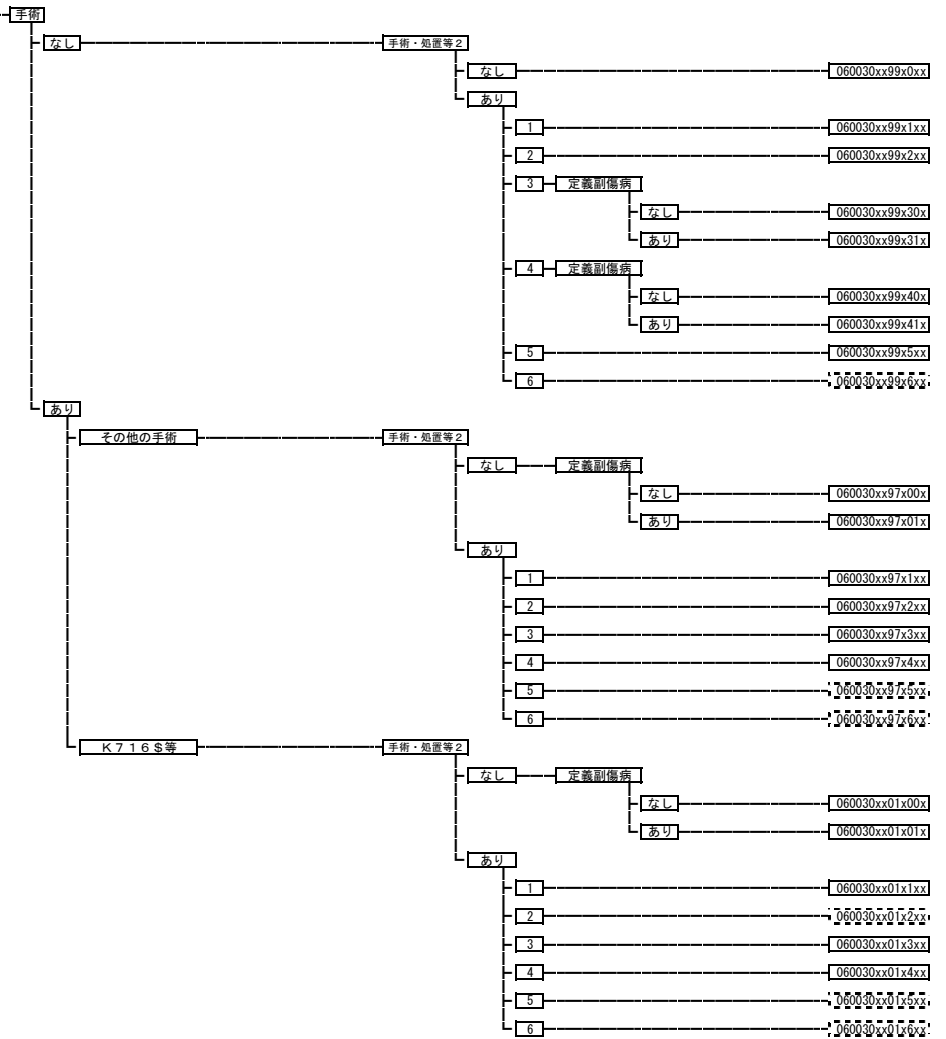


060020 胃の悪性腫瘍

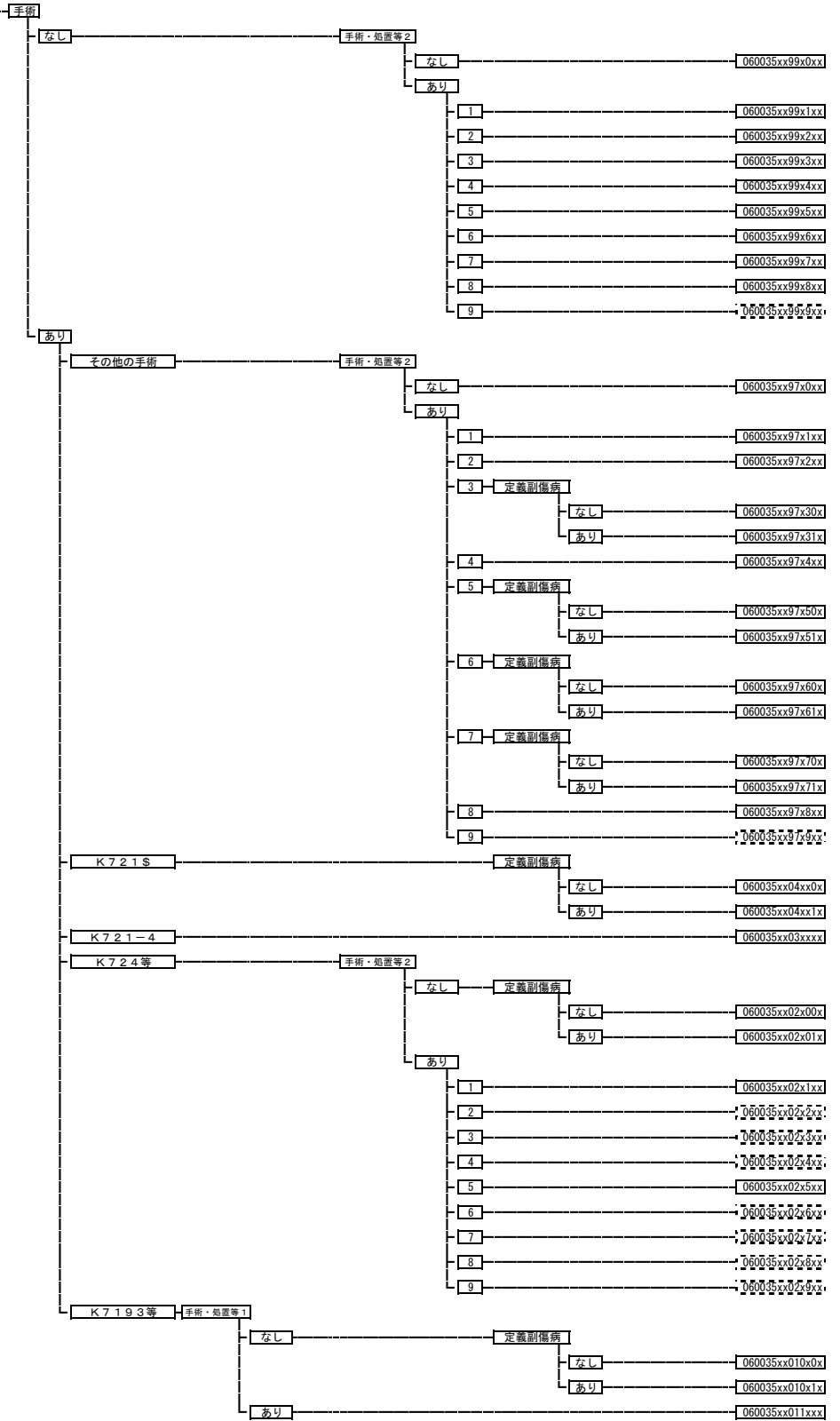




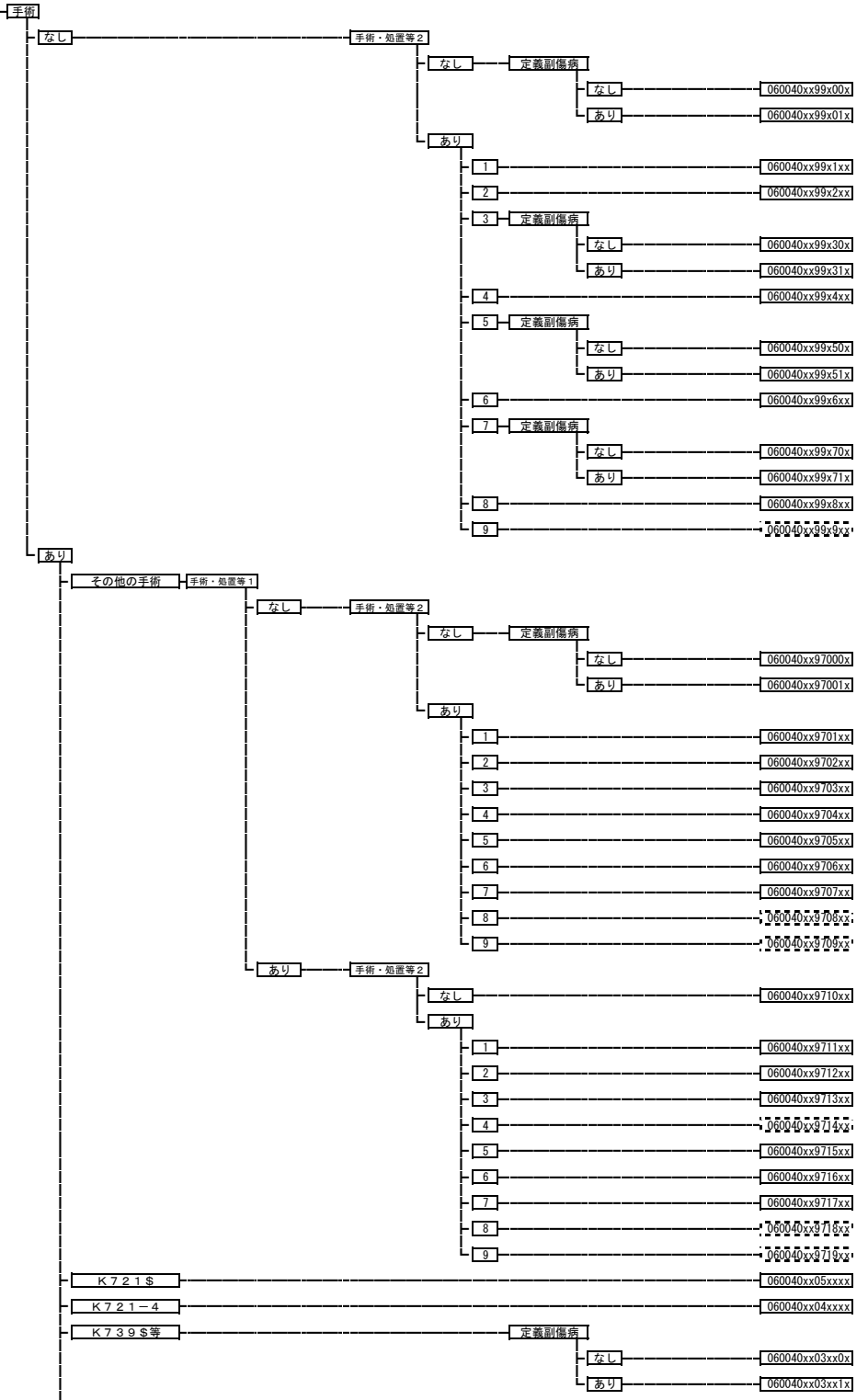
060030 小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍

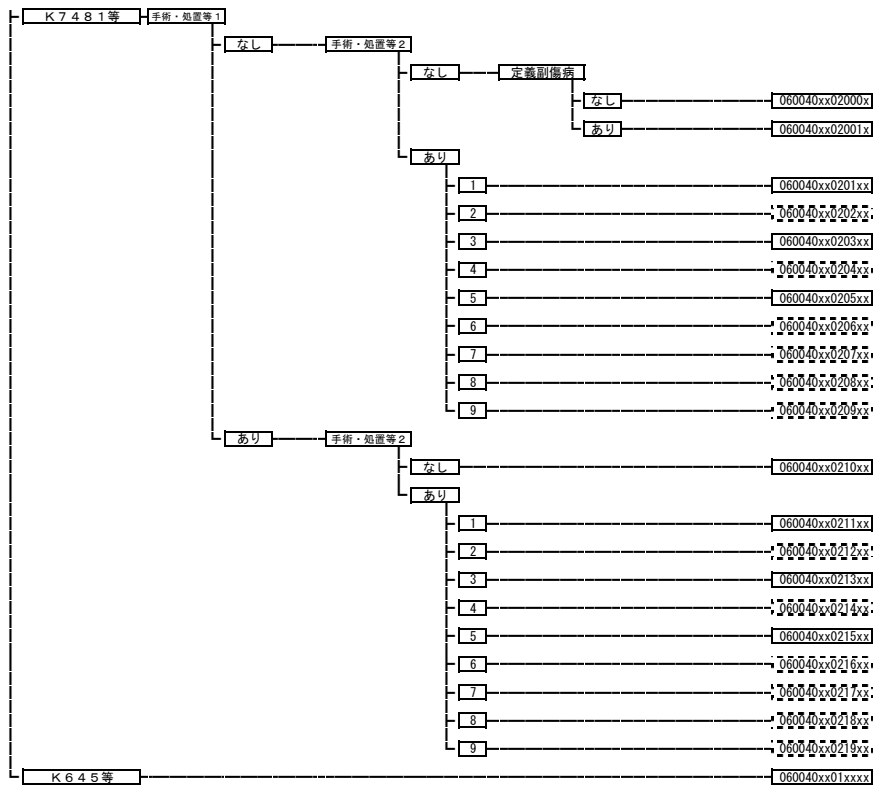


060035 結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍

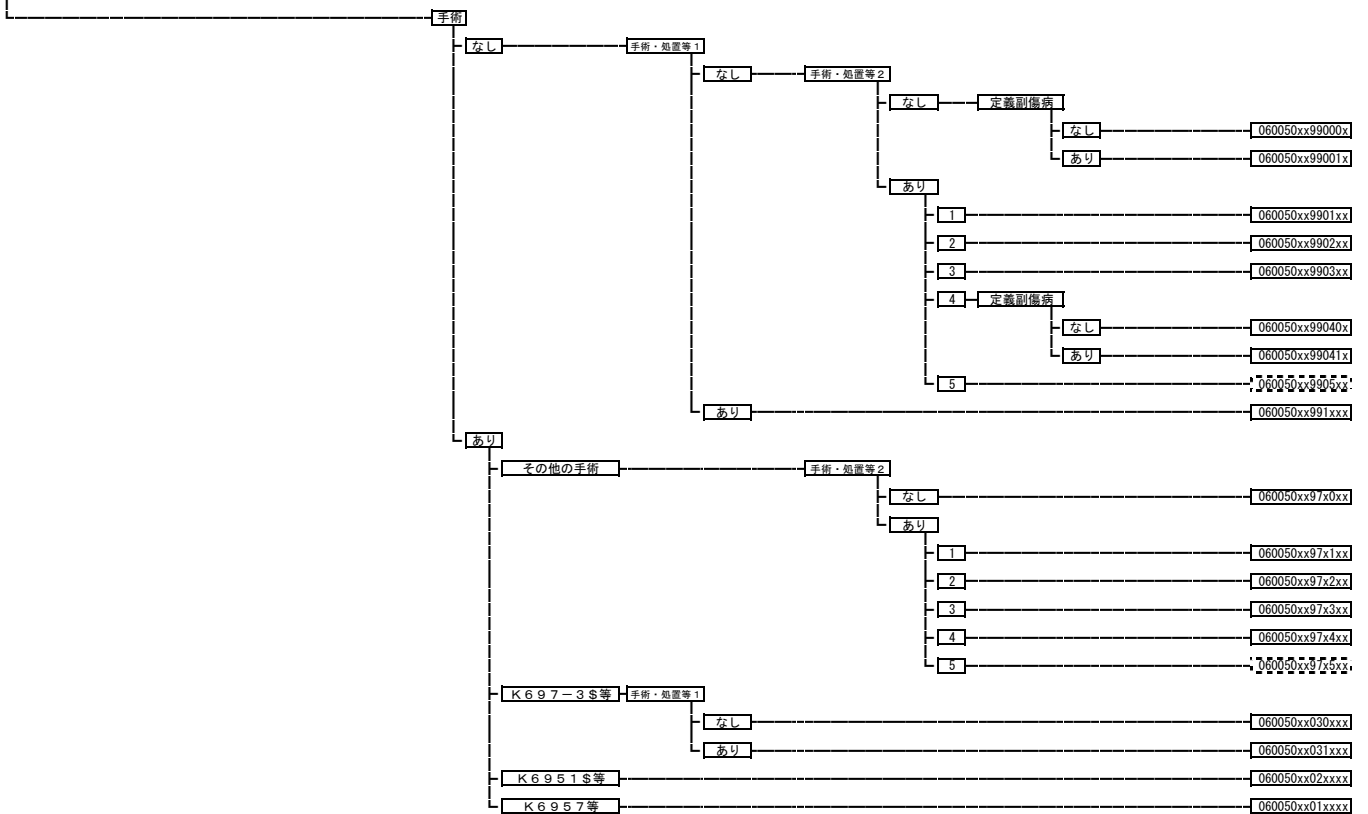


060040 直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍

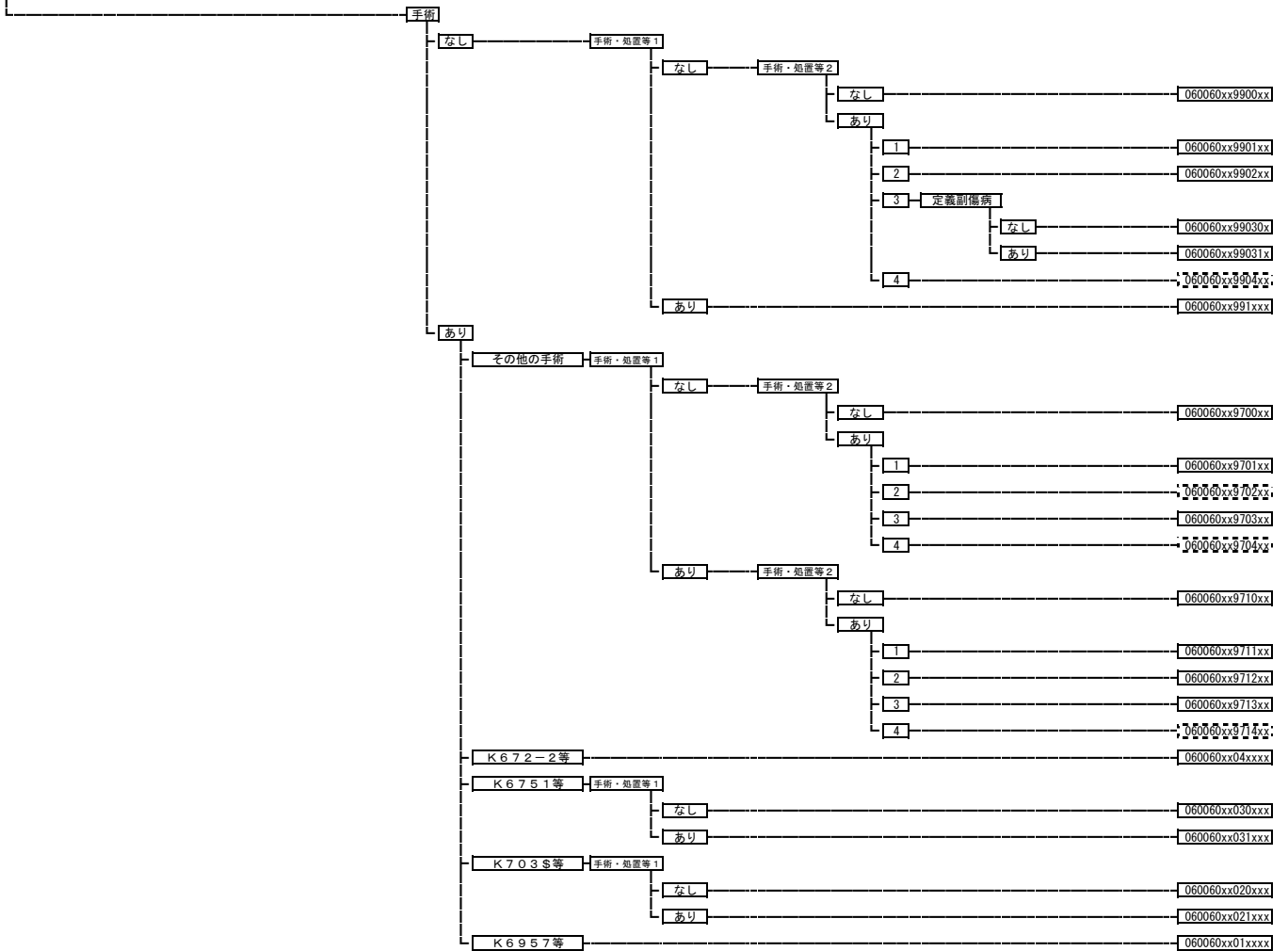




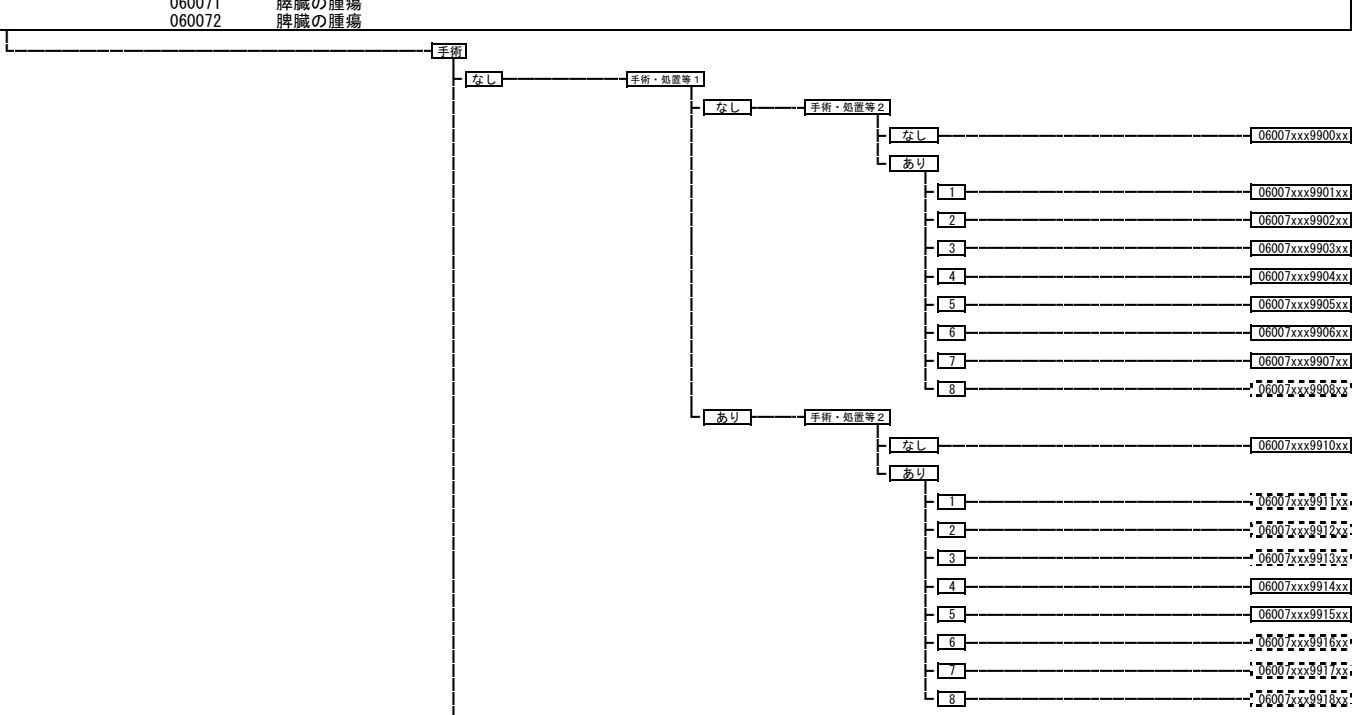
060050 肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）

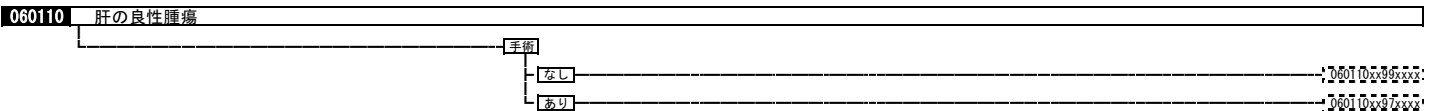
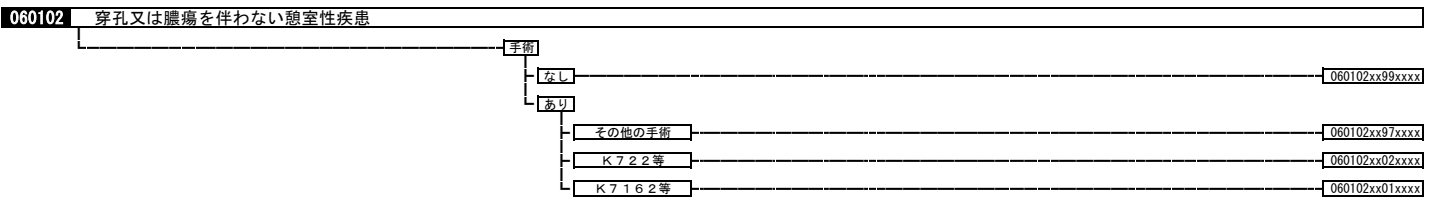
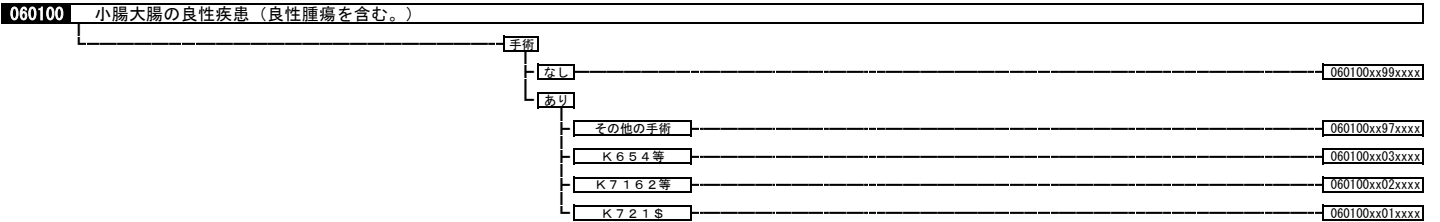
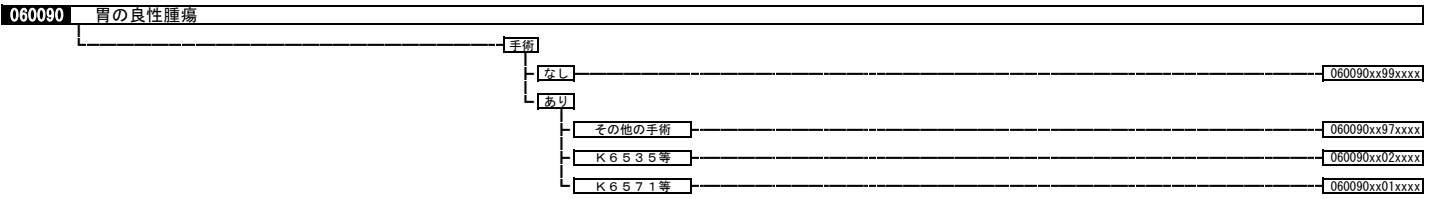
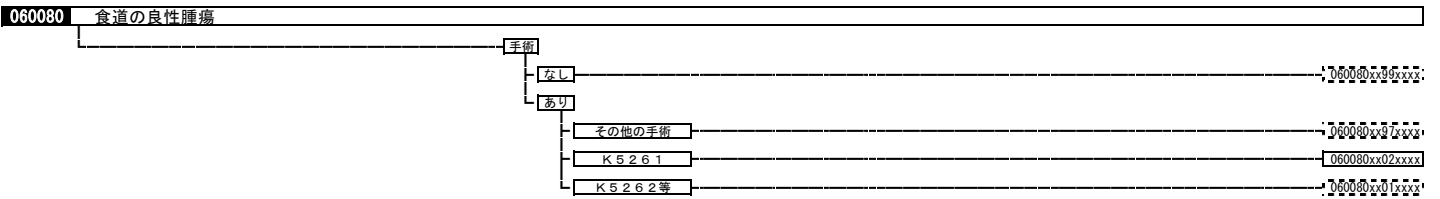
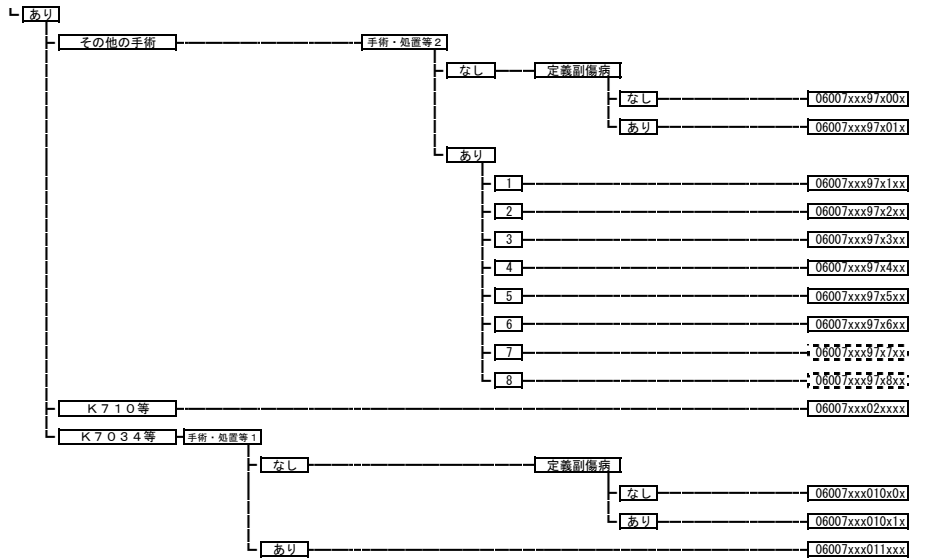


060060 胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍

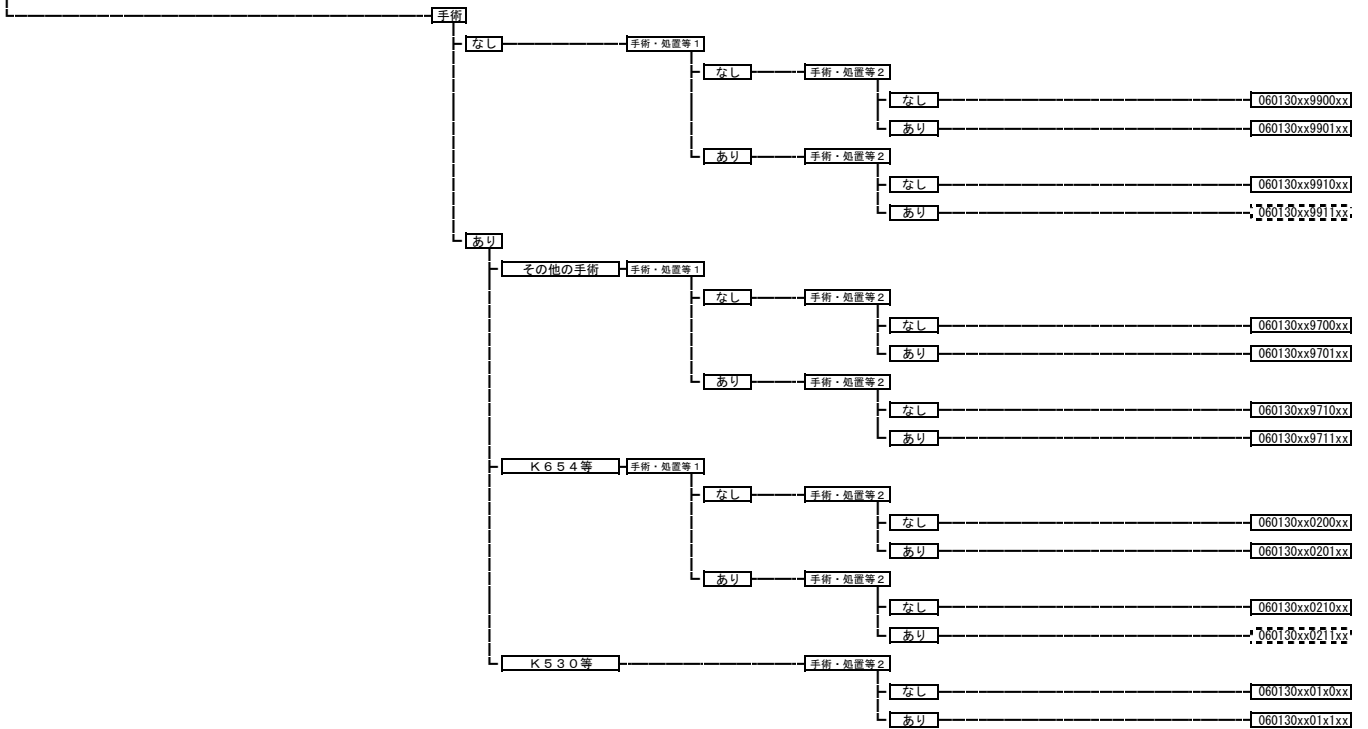


06007x 膵臓、脾臓の腫瘍

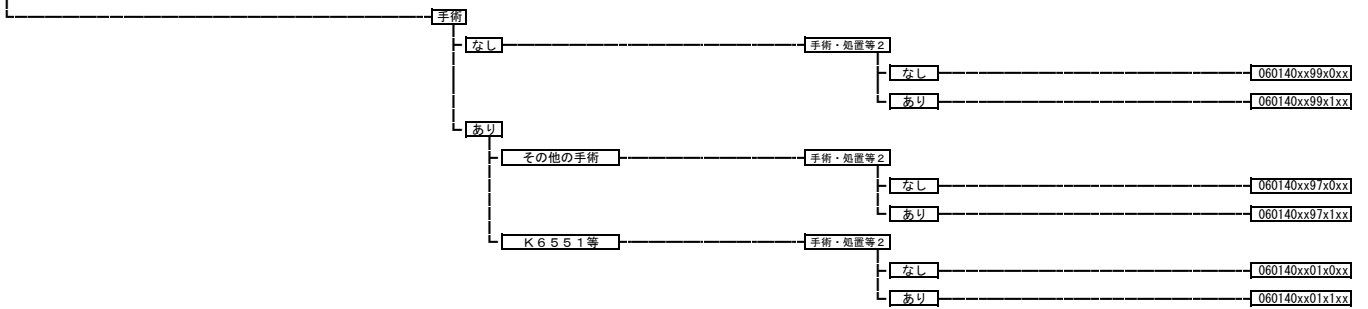




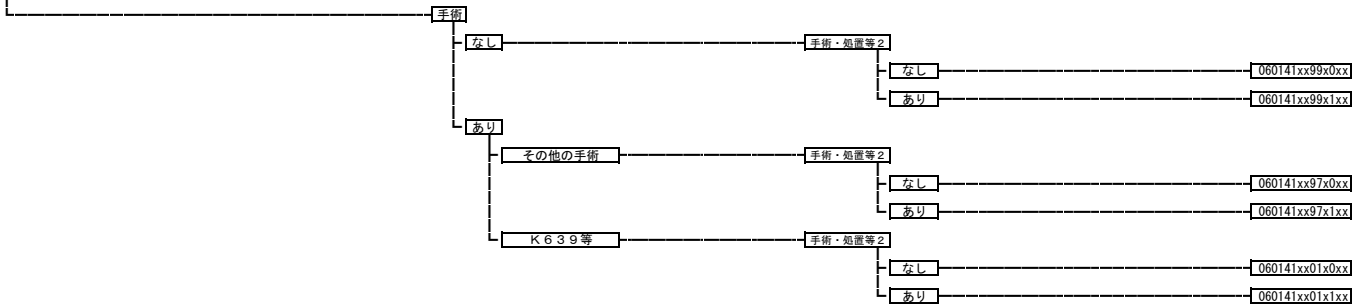
060130 食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）

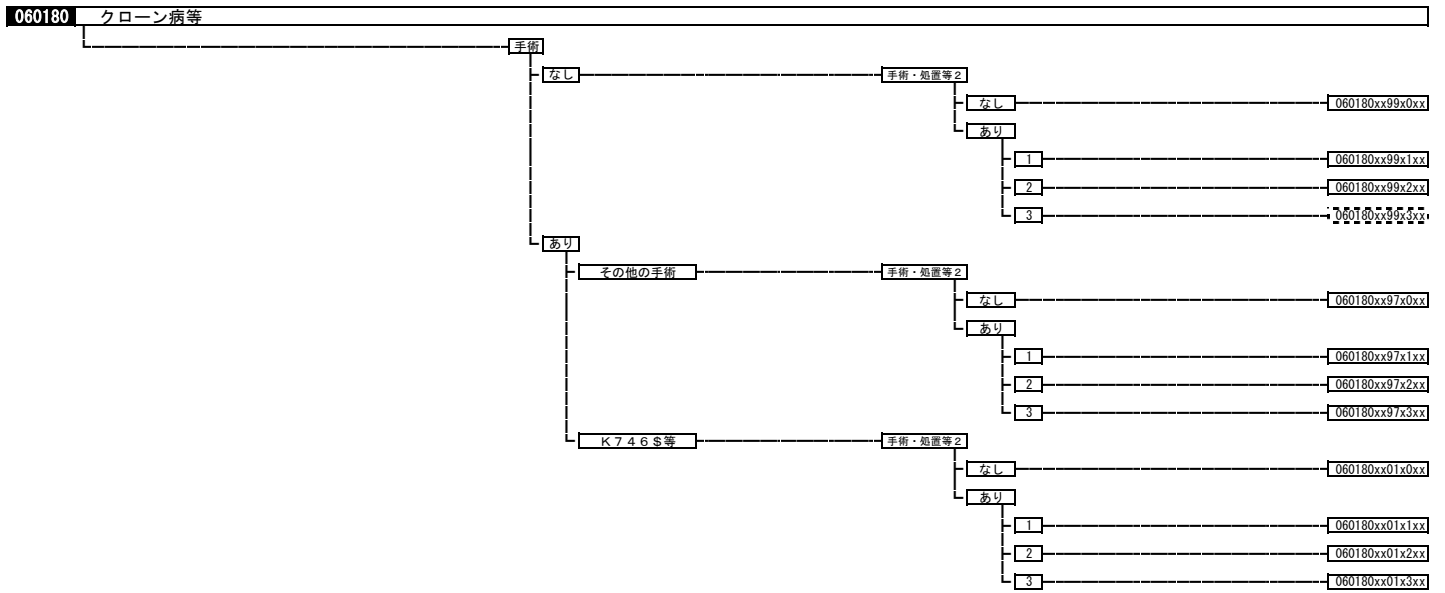
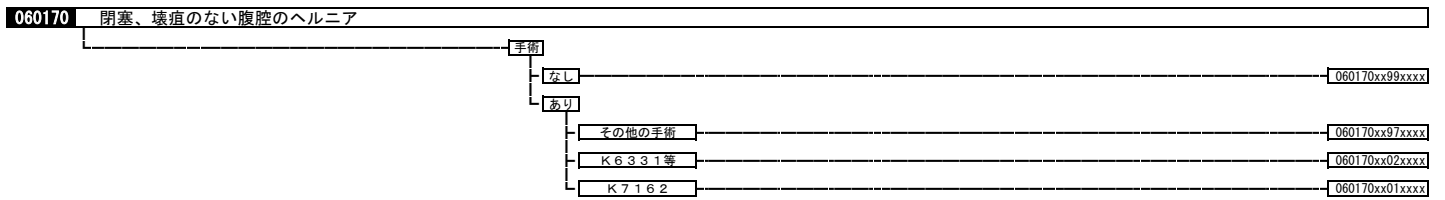
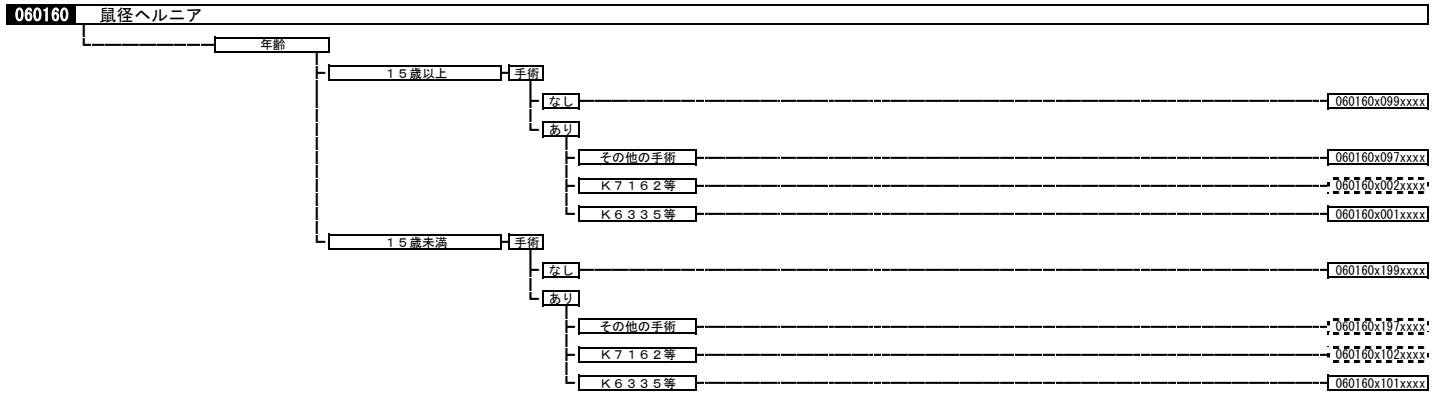
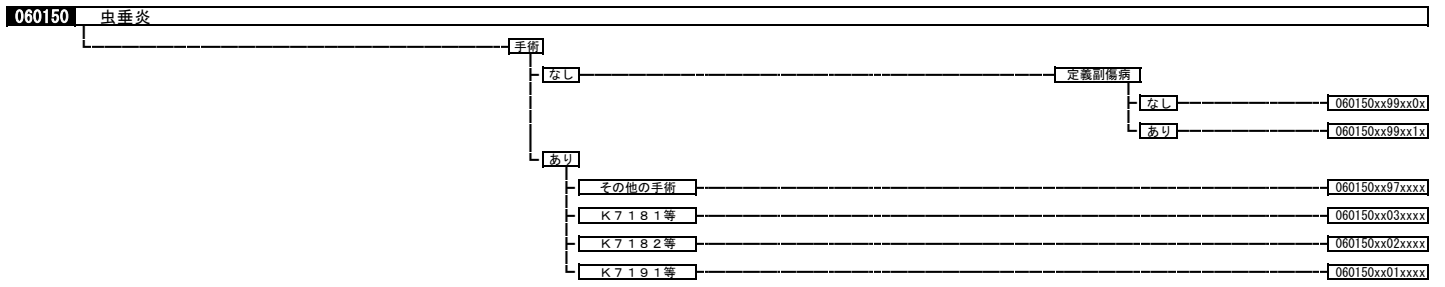


060140 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）

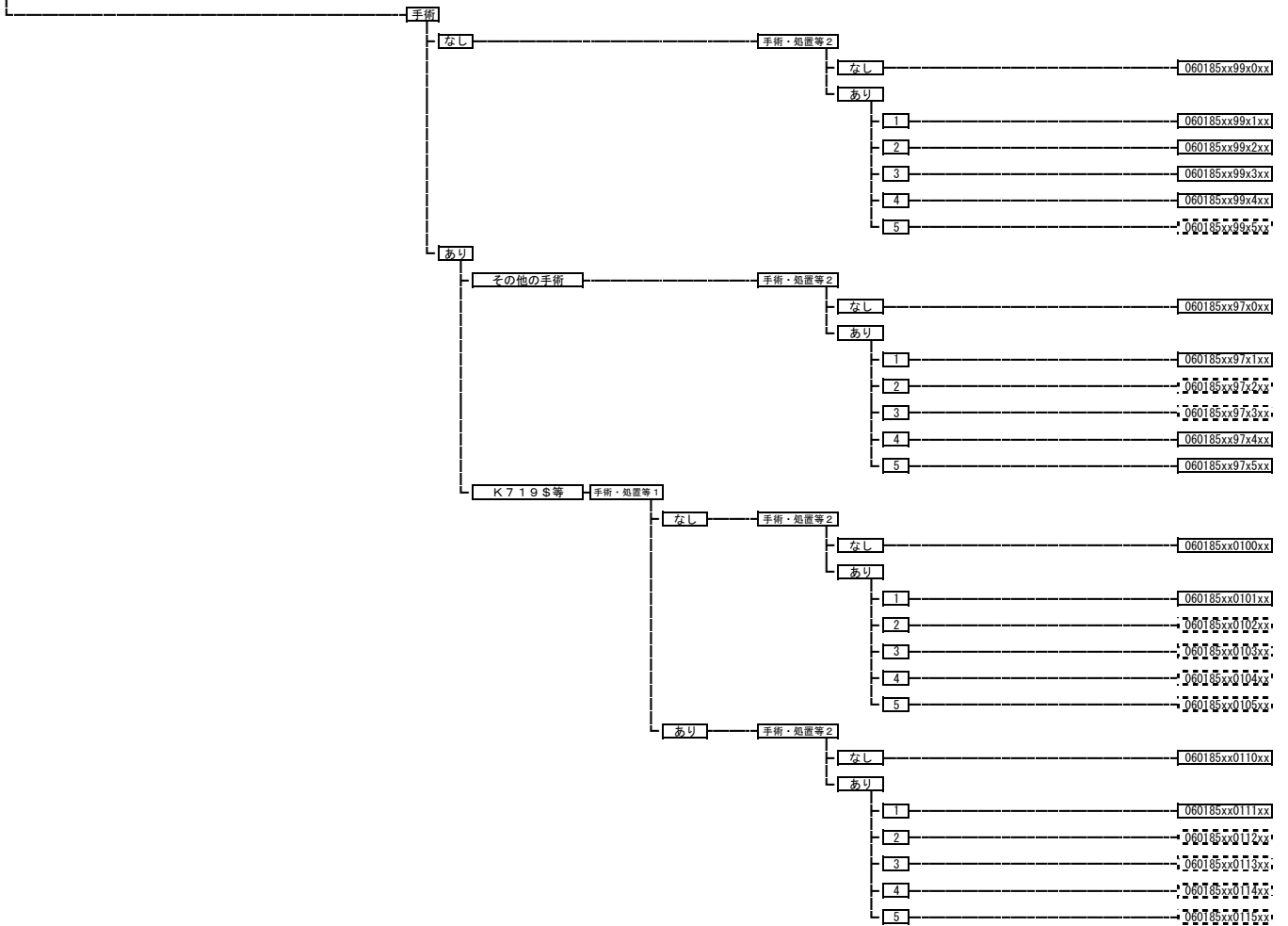


060141 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴うもの）

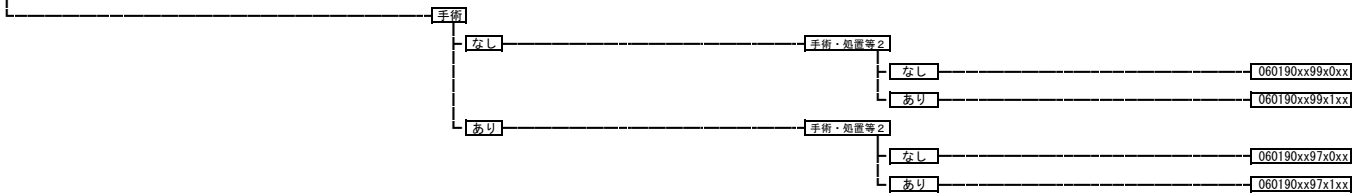




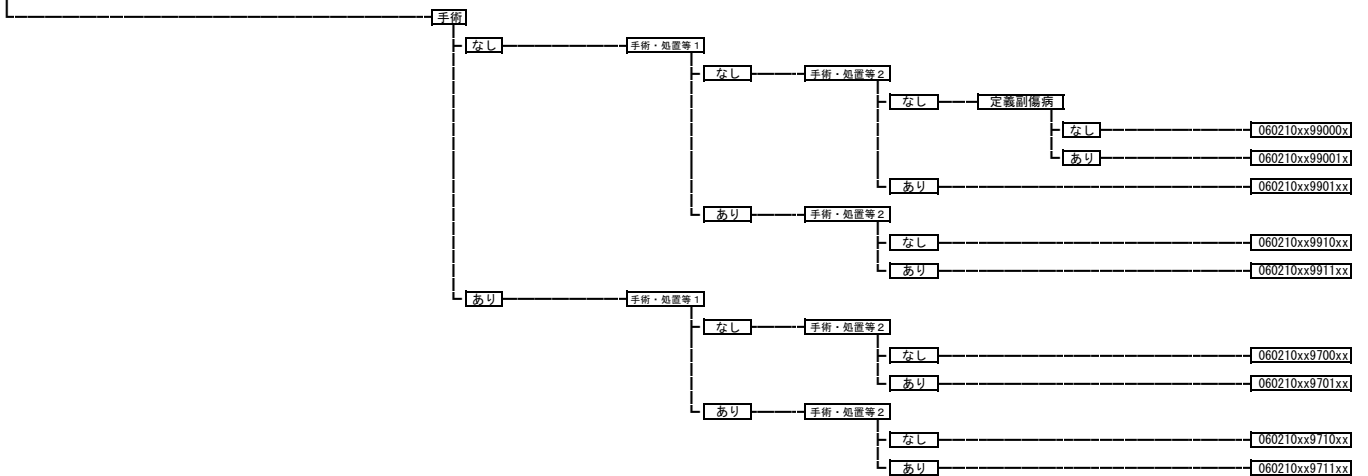
060185 潰瘍性大腸炎

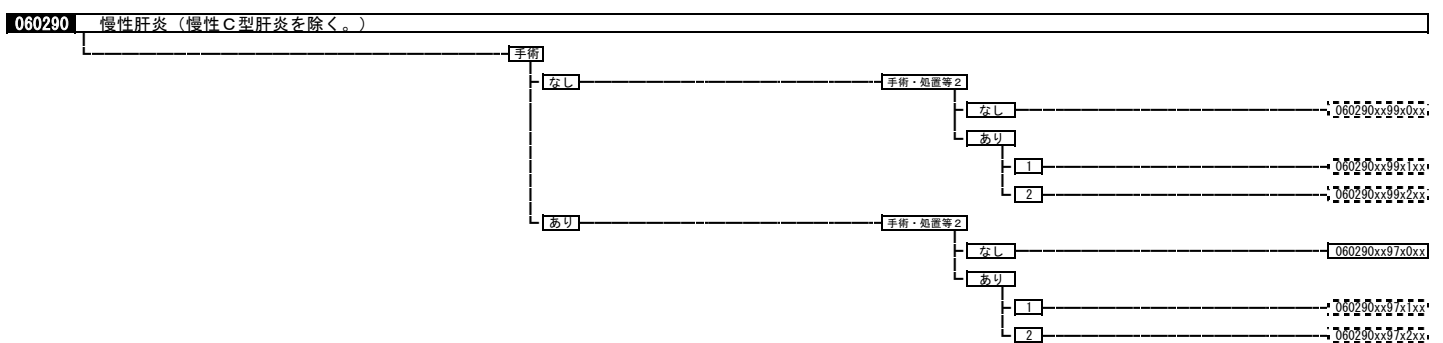
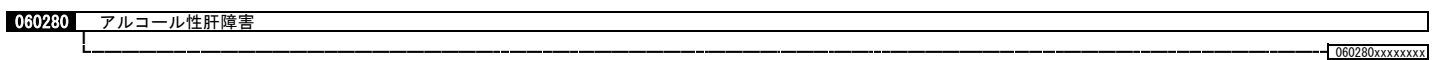
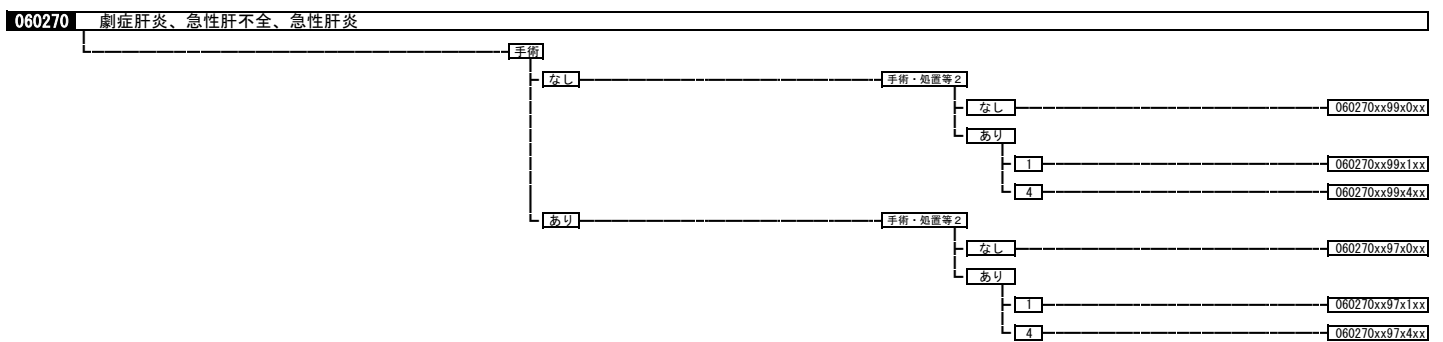
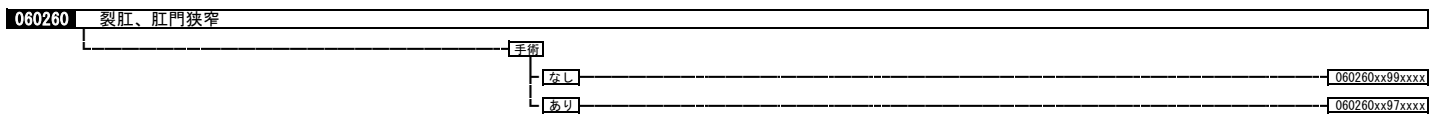
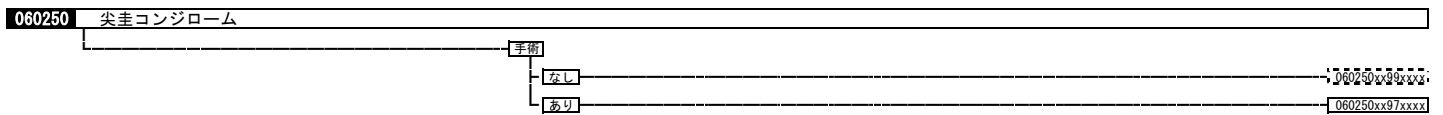
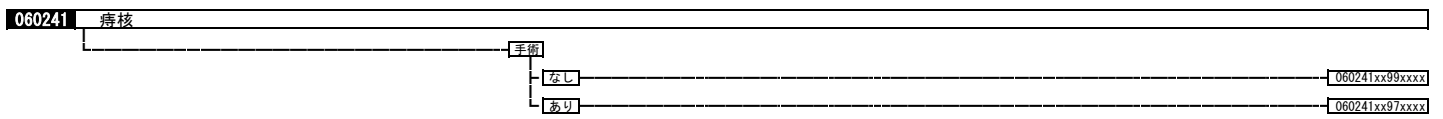
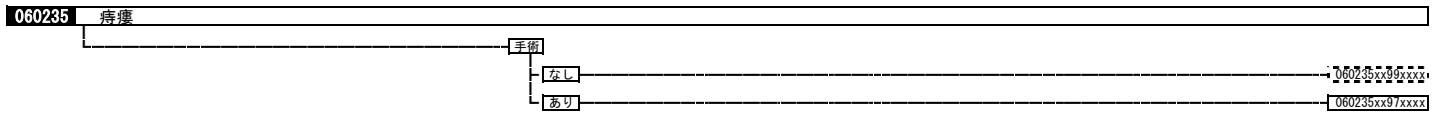
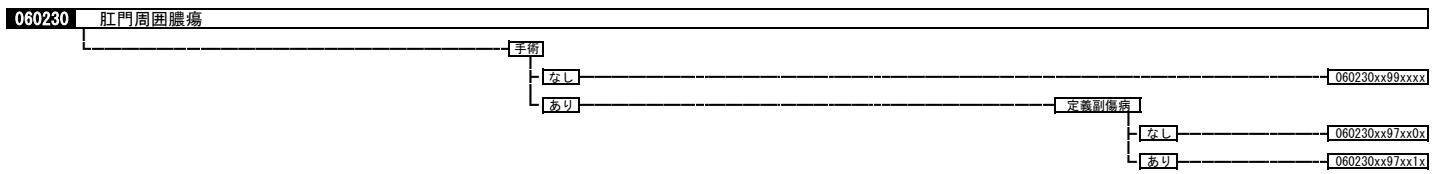
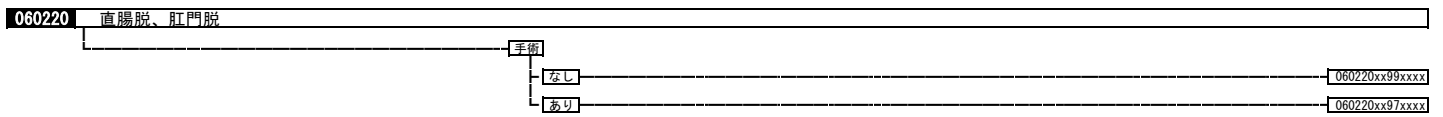


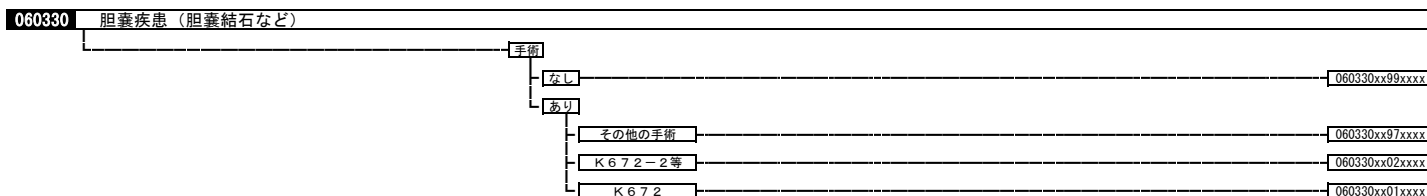
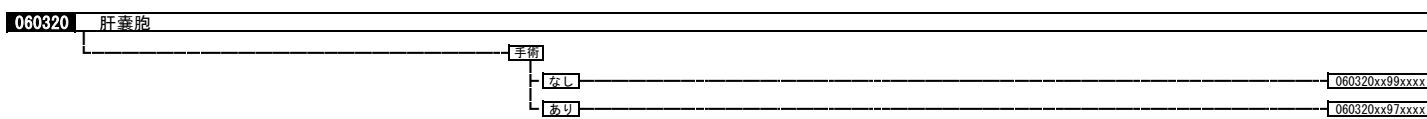
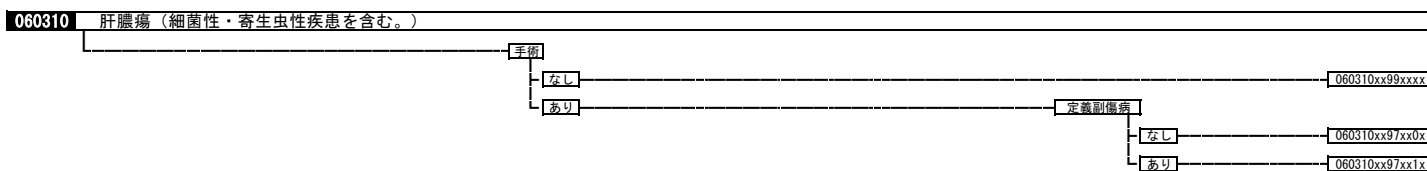
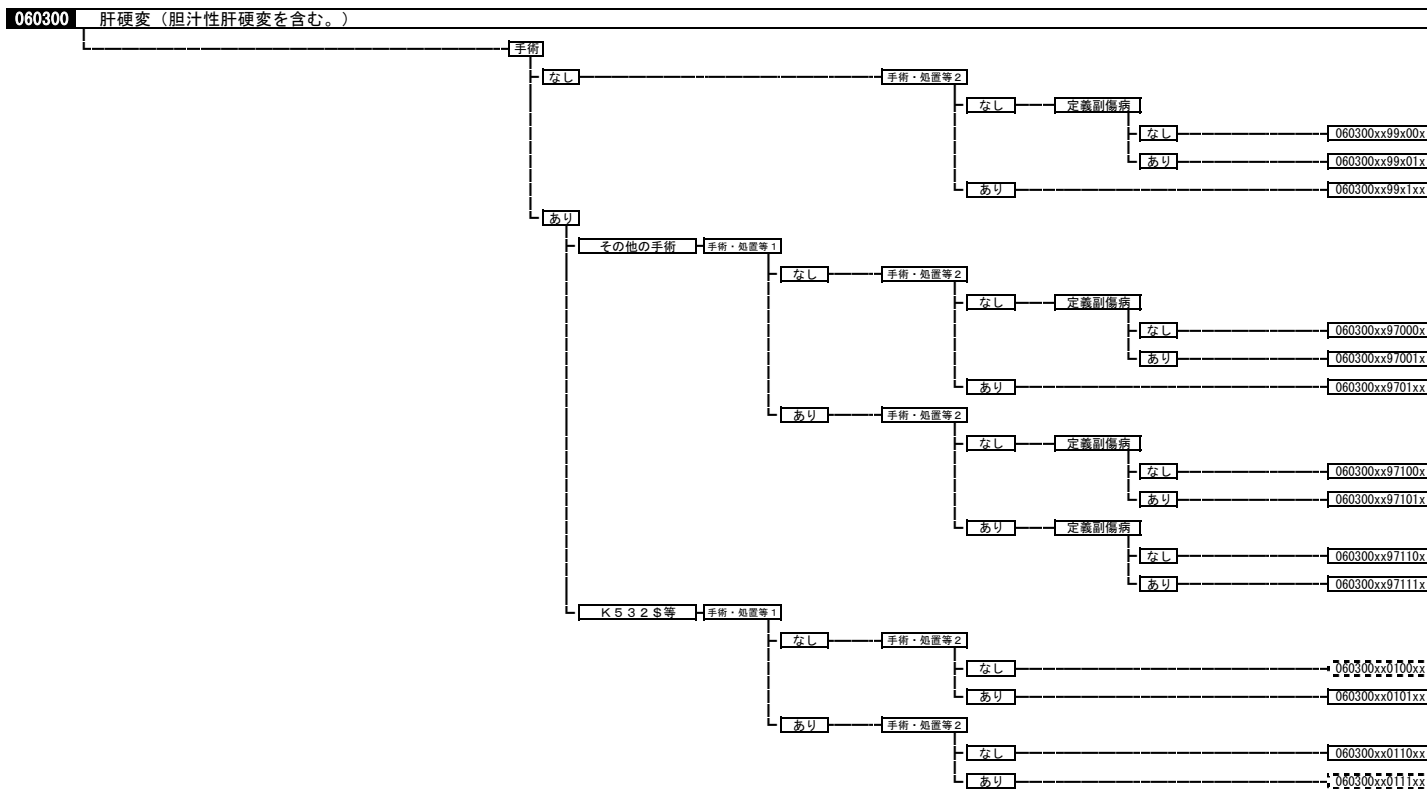
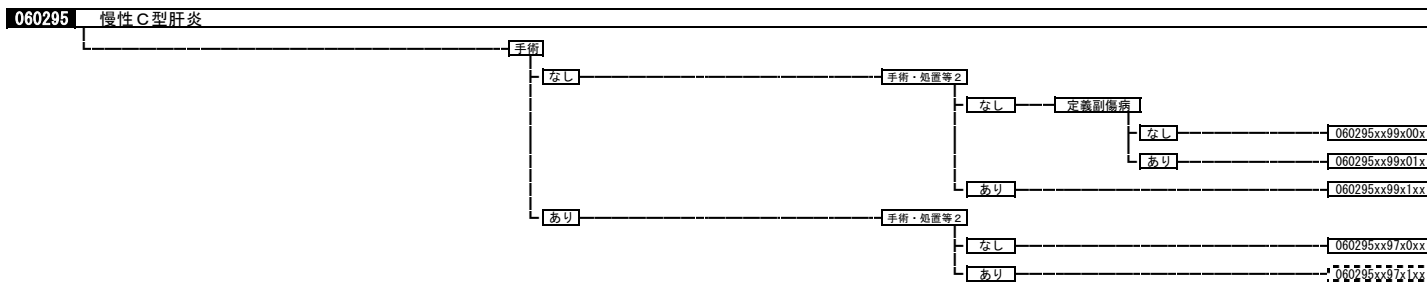
060190 虚血性腸炎



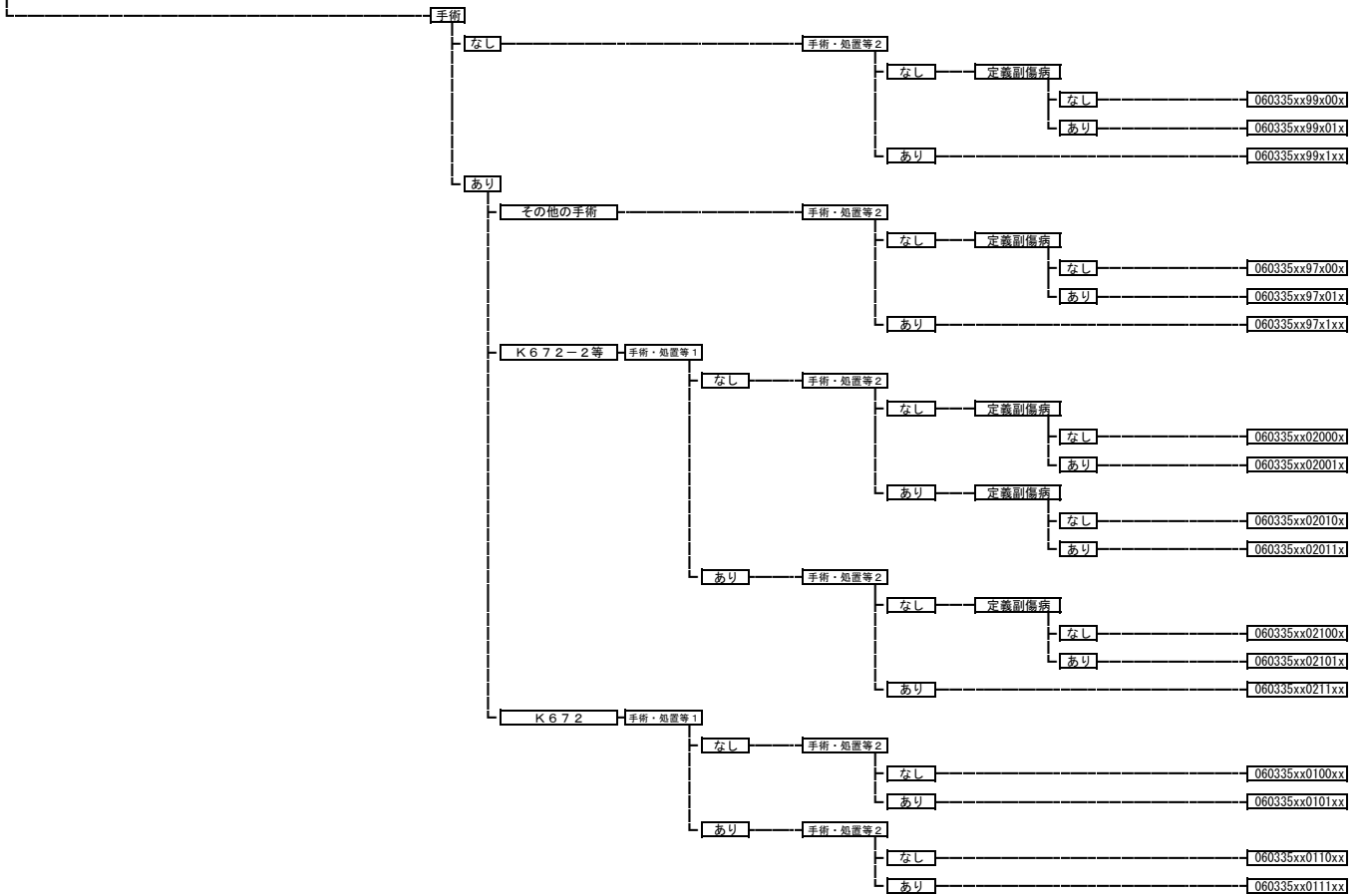
060210 ヘルニアの記載のない腸閉塞



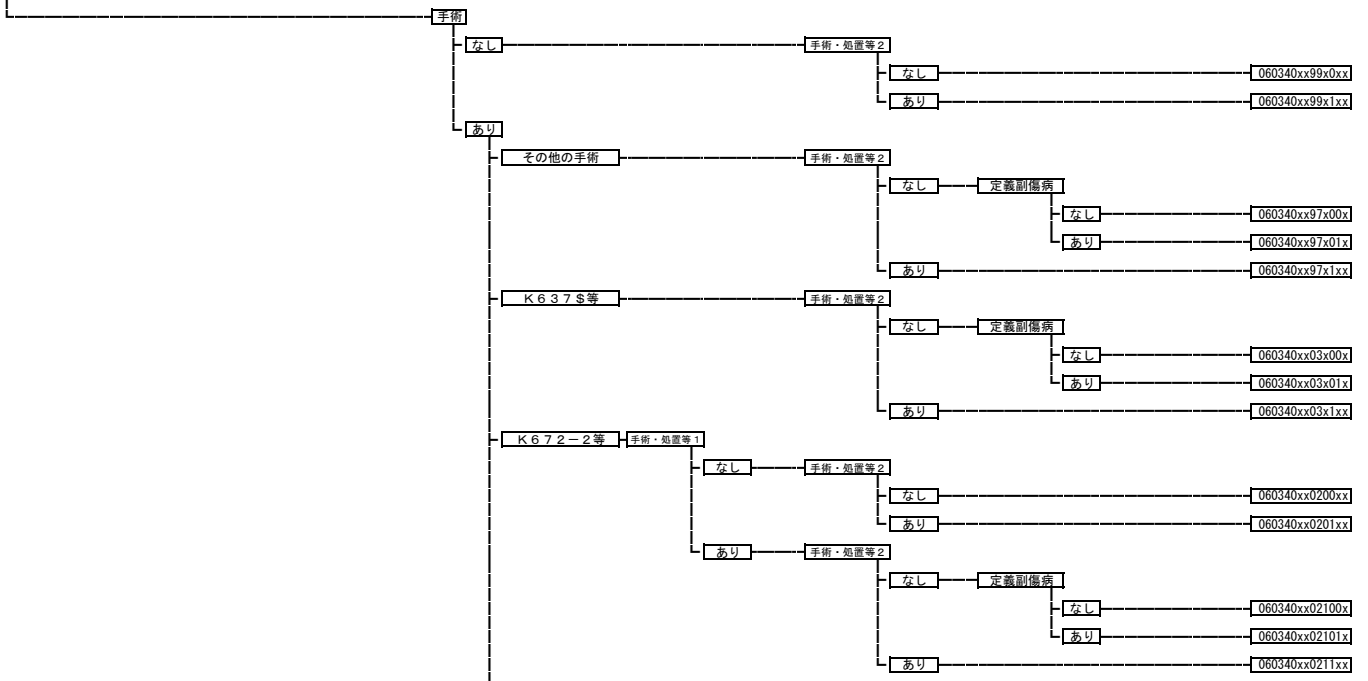


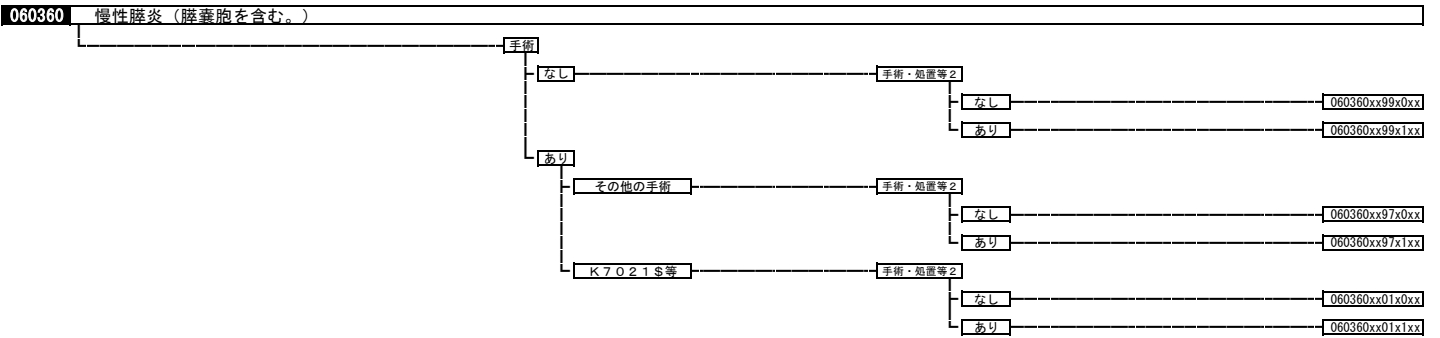
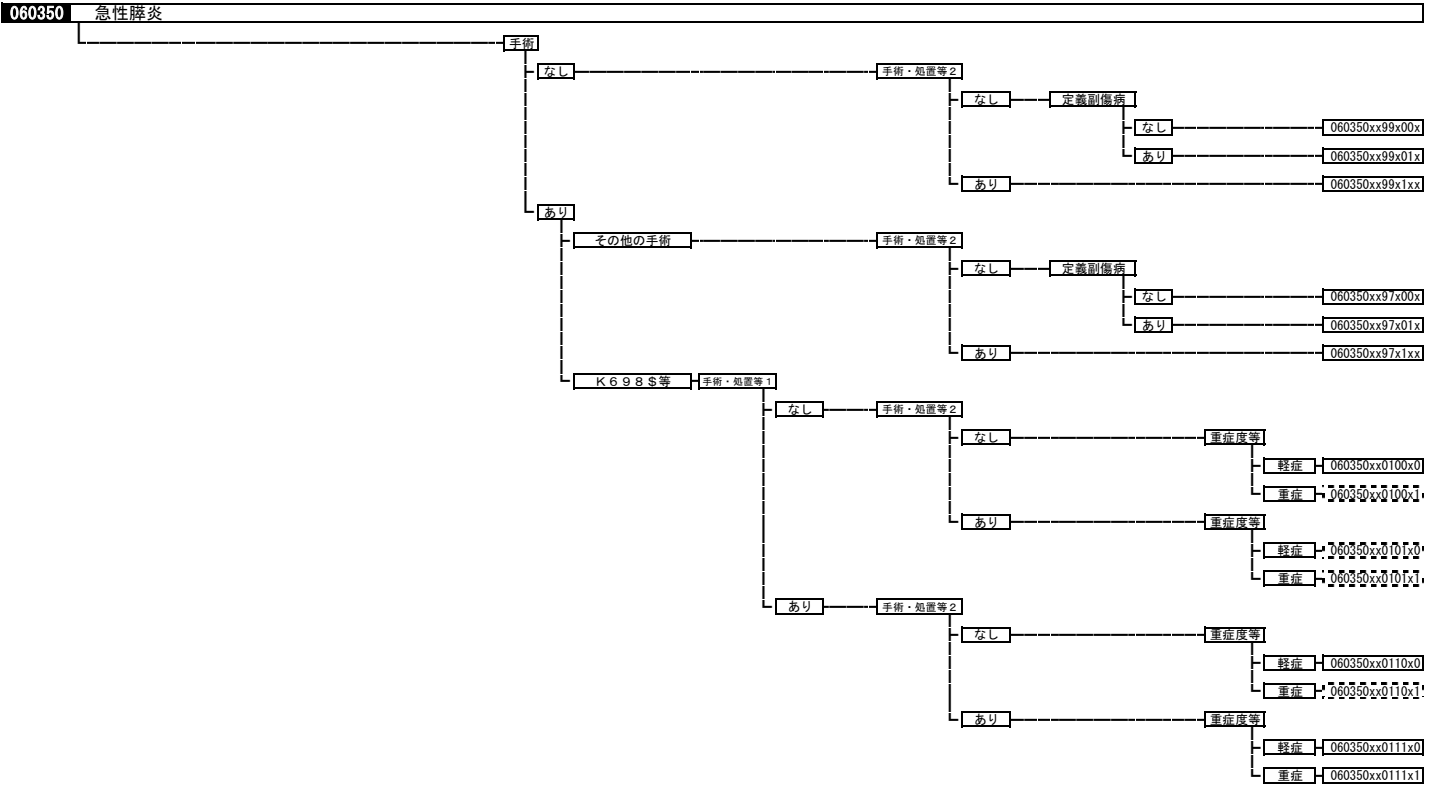
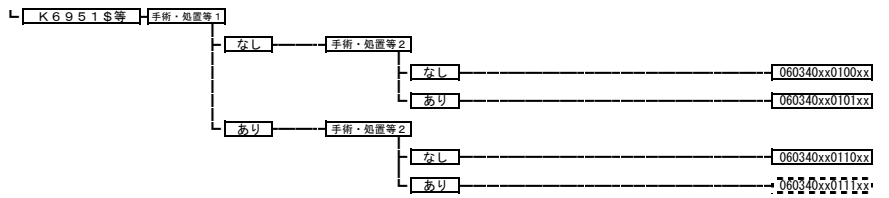


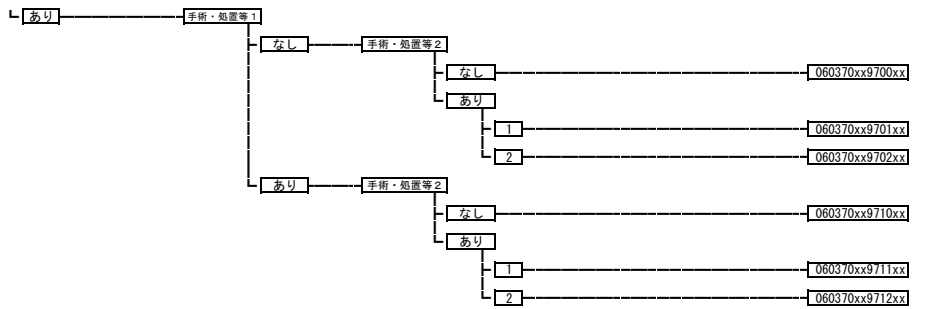
060335 胆嚢炎等



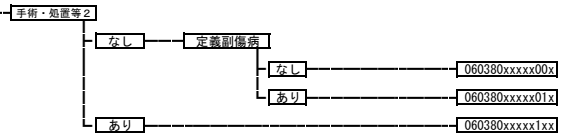
060340 胆管（肝内外）結石、胆管炎



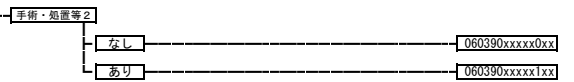




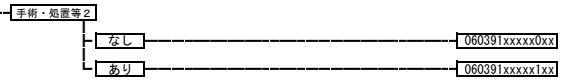
060380 ウイルス性腸炎



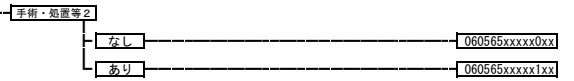
060390 細菌性腸炎



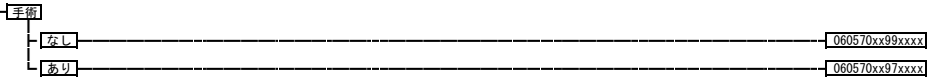
060391 偽膜性腸炎



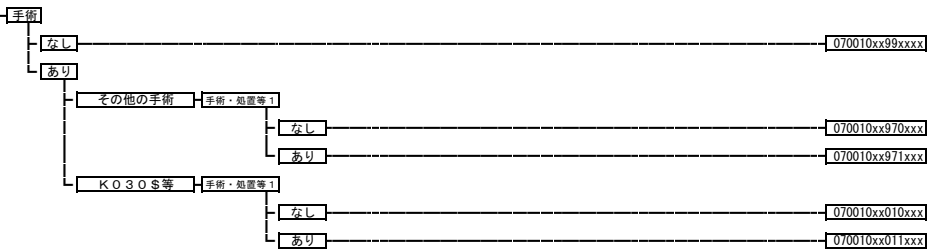
060565 頭変形症



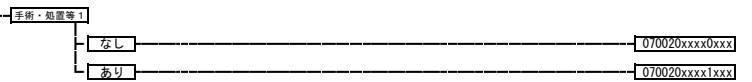
060570 その他の消化管の障害



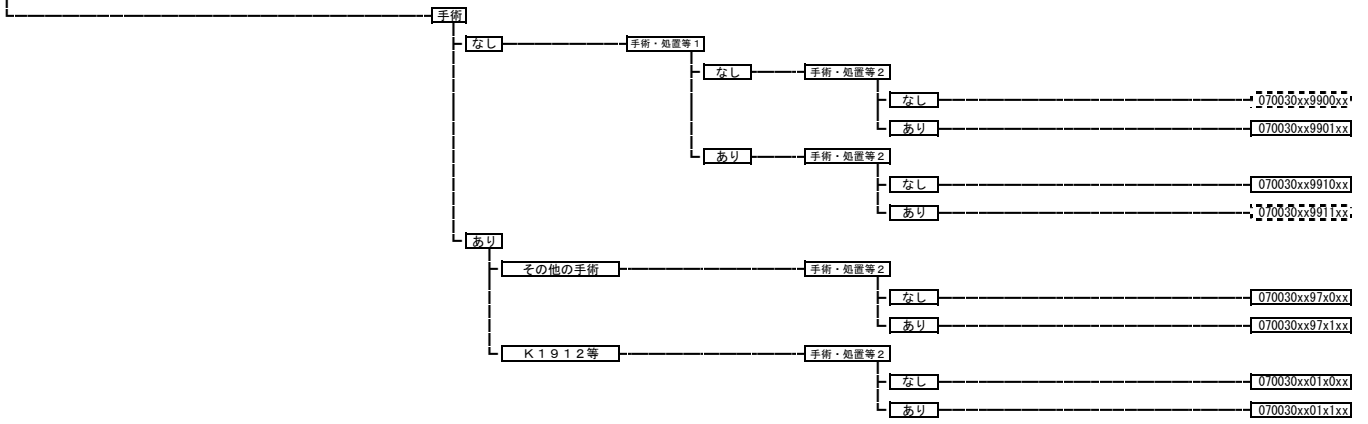
070010 骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）



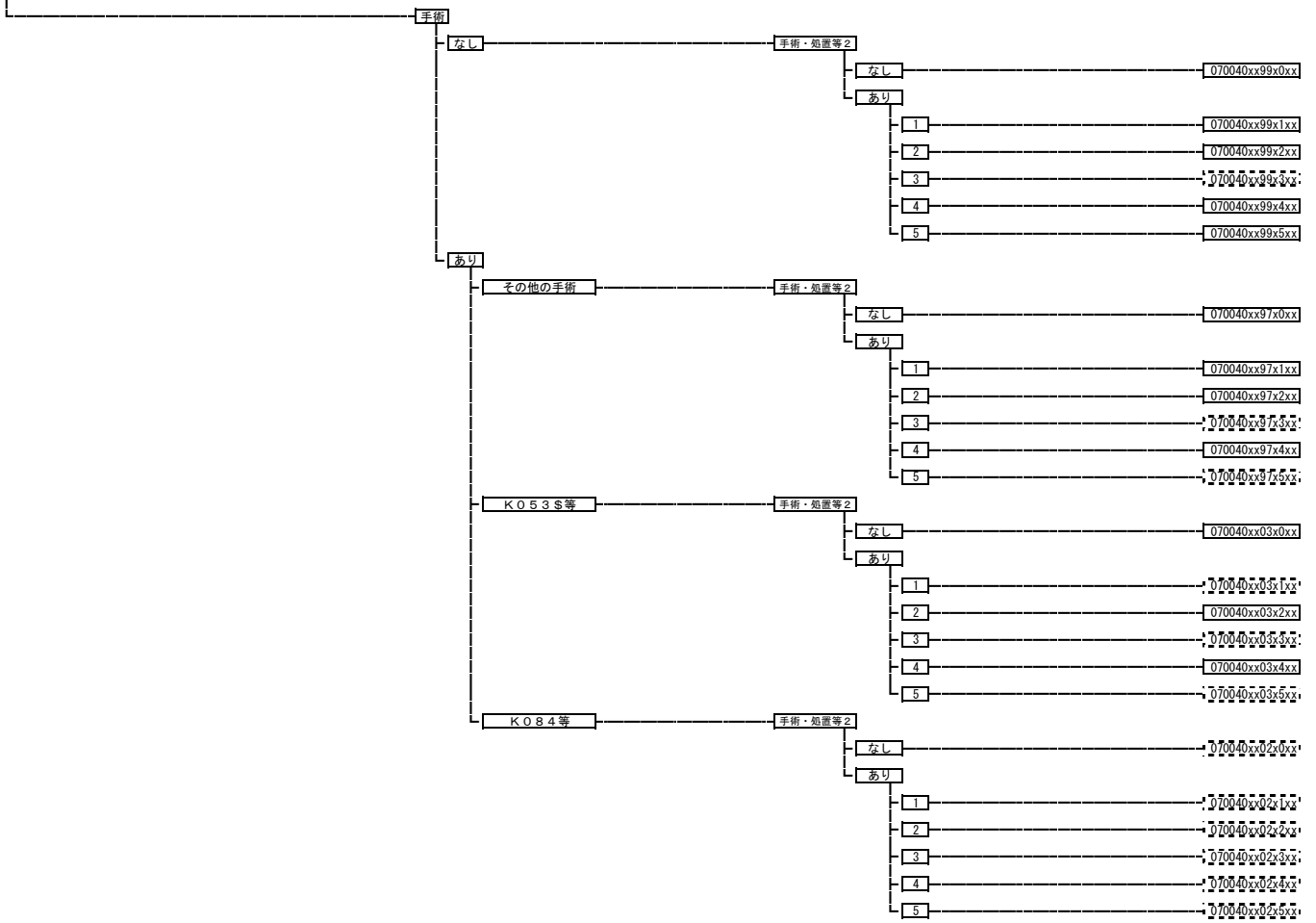
070020 神経の良性腫瘍



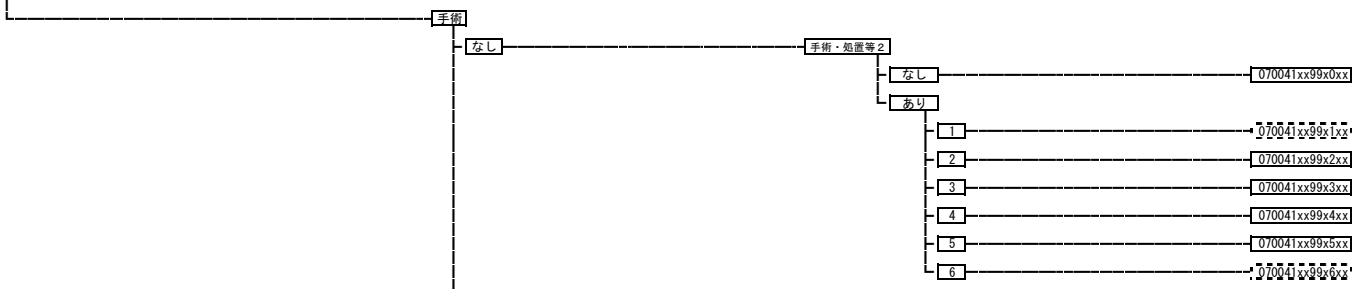
070030 脊椎・脊髄腫瘍

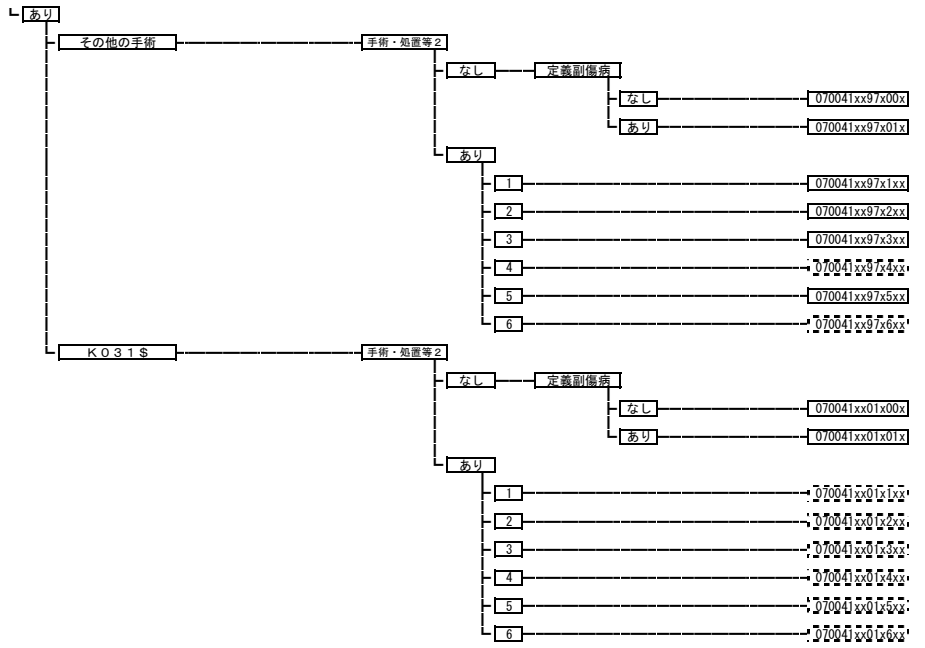


070040 骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。）

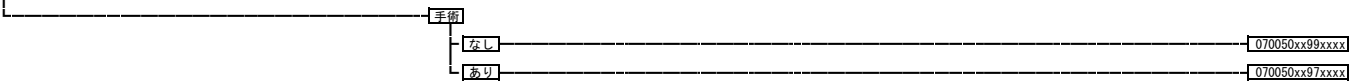


070041 軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）

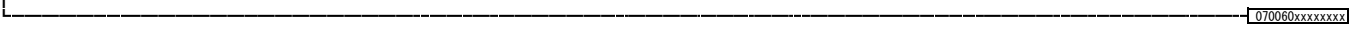




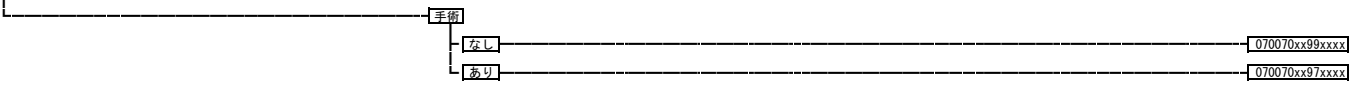
070050 肩関節炎、肩の障害（その他）



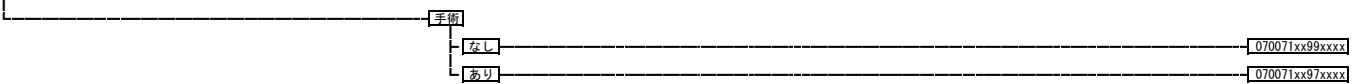
070060 手肘の関節炎



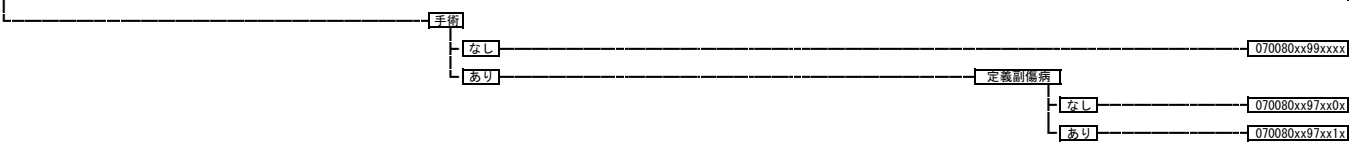
070070 骨髓炎（上肢）



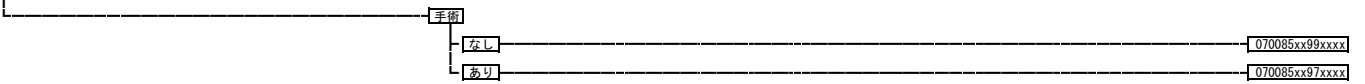
070071 骨髓炎（上肢以外）



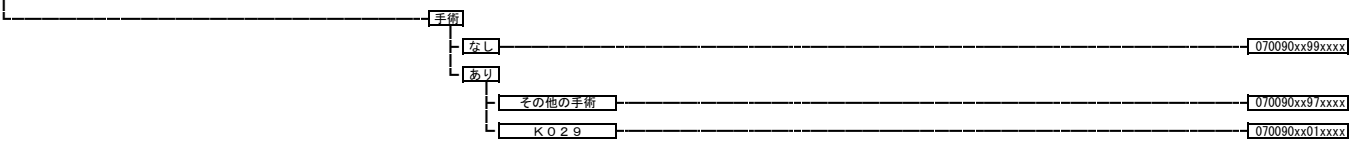
070080 滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢）



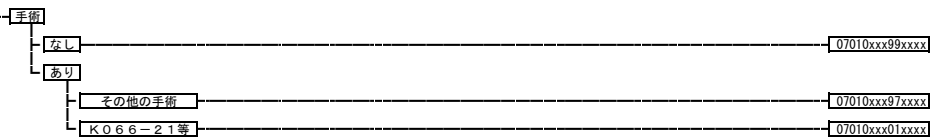
070085 滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢以外）



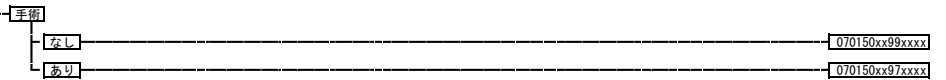
070090 筋炎（感染性を含む。）



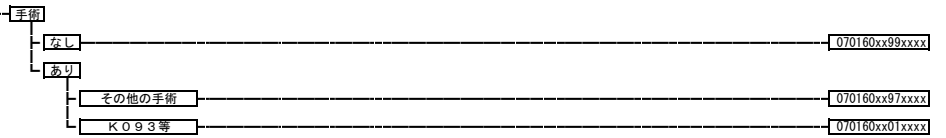
07010x	化膿性関節炎（下肢）	070101 化膿性・結核性股関節炎 070102 化膿性膝関節炎 070103 下肢（股関節以外）関節炎
---------------	------------	---



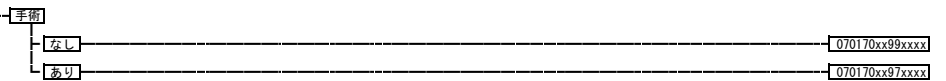
070150	上肢神経障害（胸郭出口症候群を含む。）
---------------	---------------------



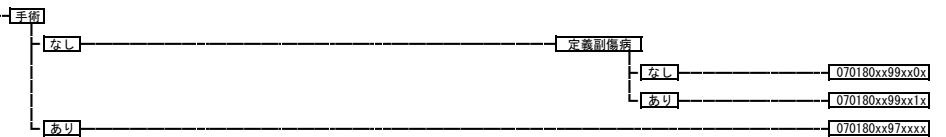
070160	上肢末梢神経麻痺
---------------	----------



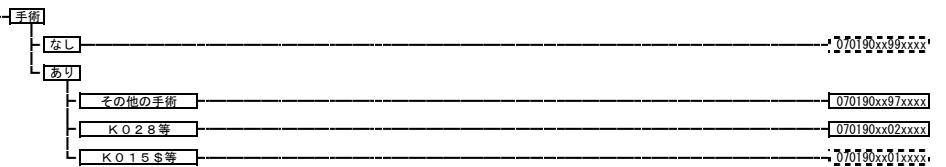
070170	下肢神経疾患
---------------	--------



070180	脊椎変形
---------------	------



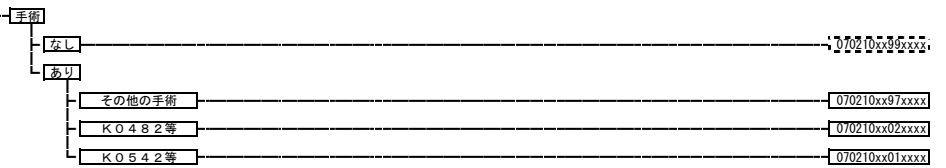
070190	上肢・手の変形（偽関節を除く。）
---------------	------------------



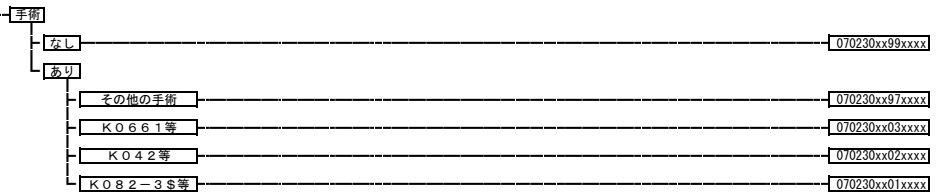
070200	手関節症（変形性を含む。）
---------------	---------------

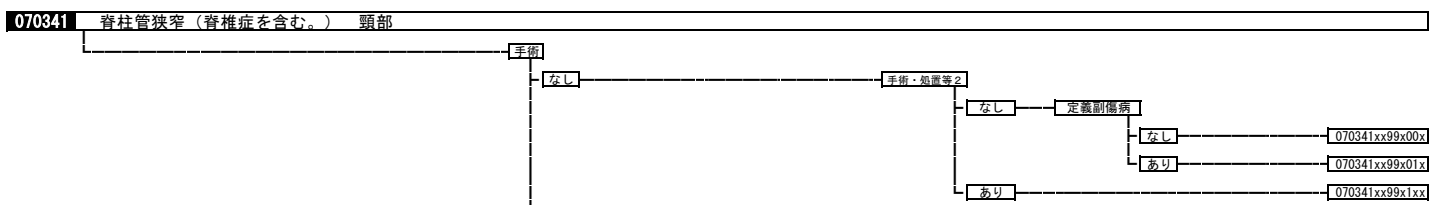
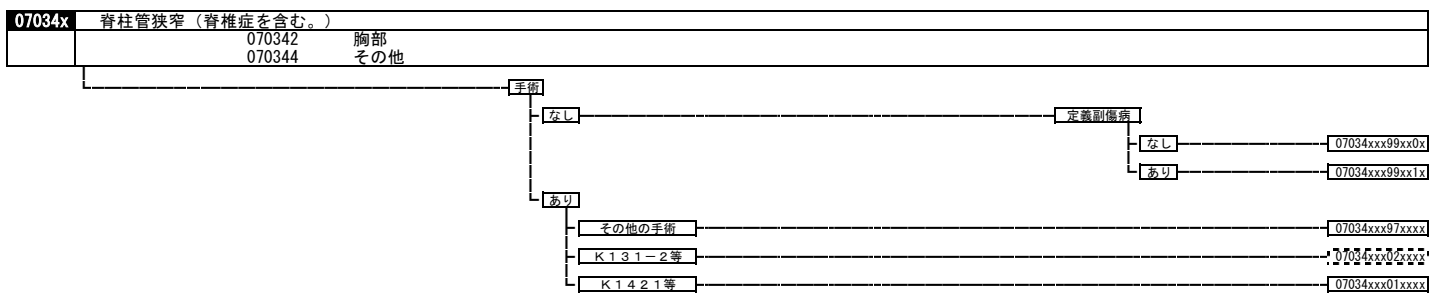
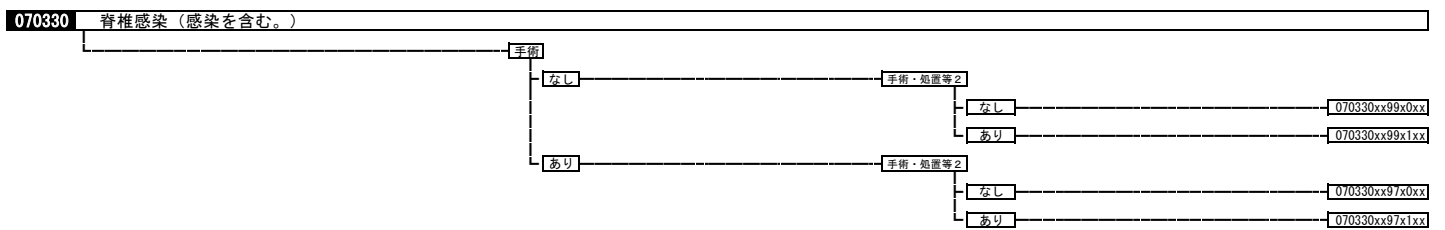
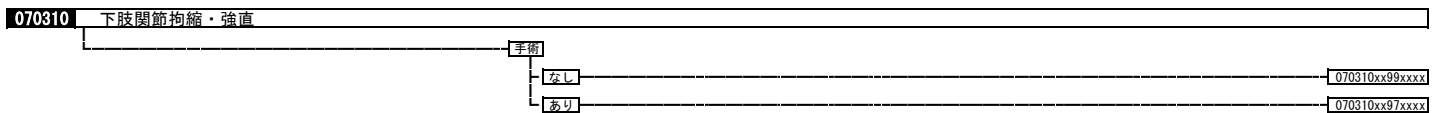
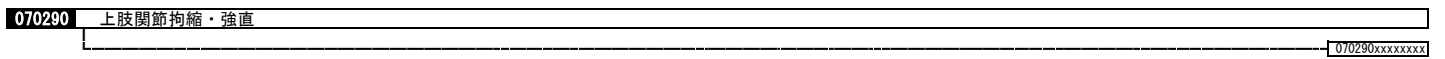
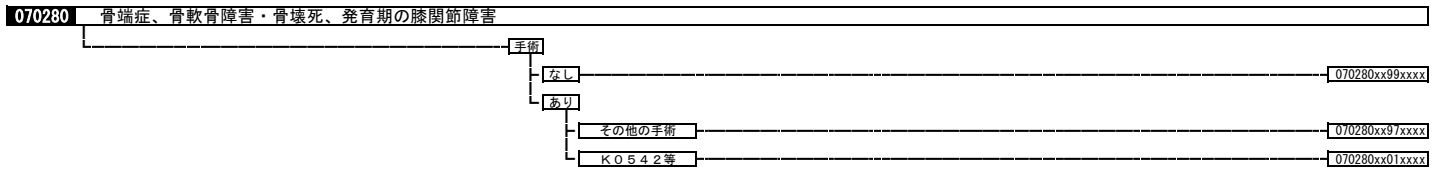
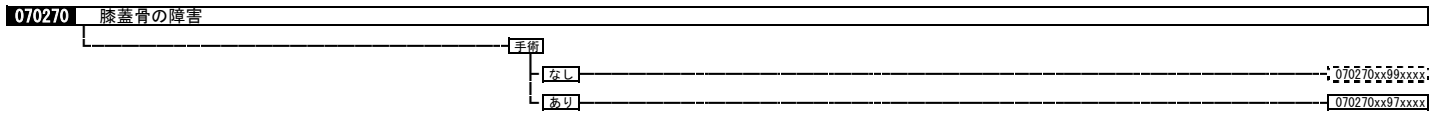
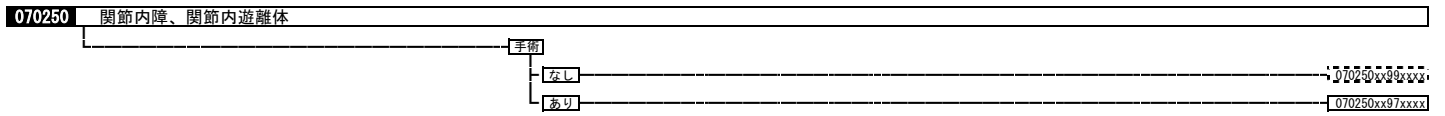
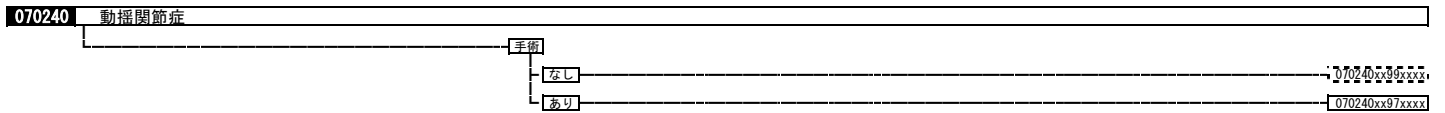


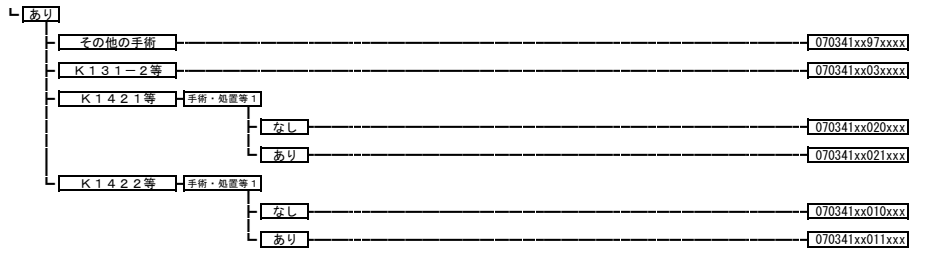
070210	下肢の変形
---------------	-------



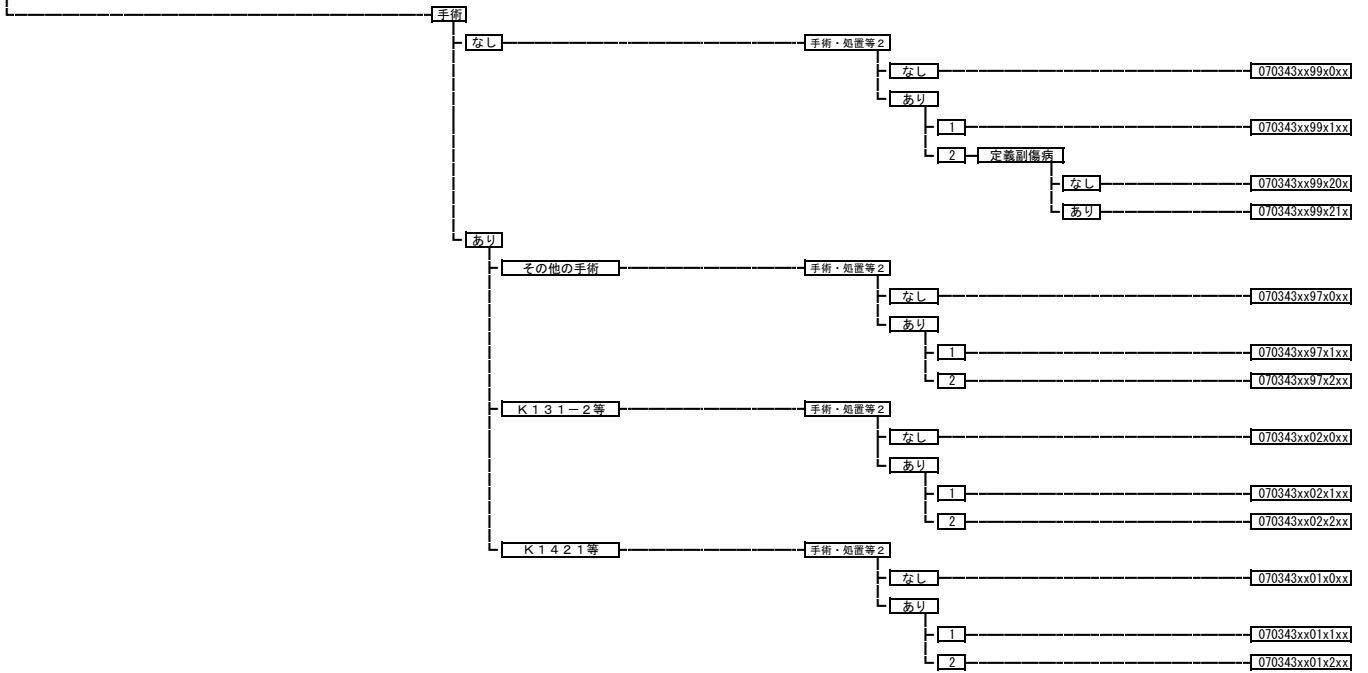
070230	膝関節症（変形性を含む。）
---------------	---------------



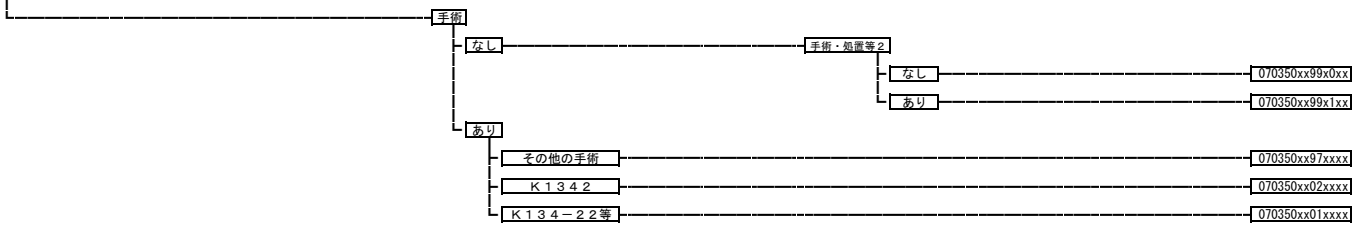




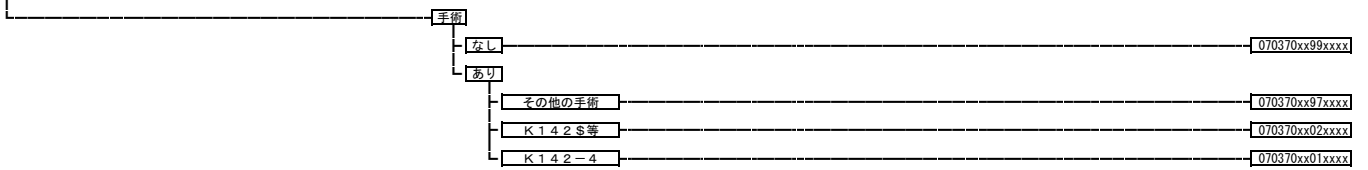
070343 脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎



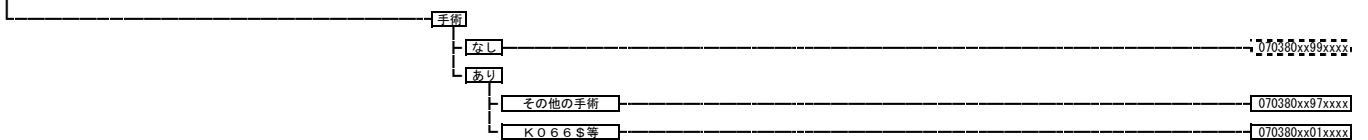
070350 椎間板変性、ヘルニア

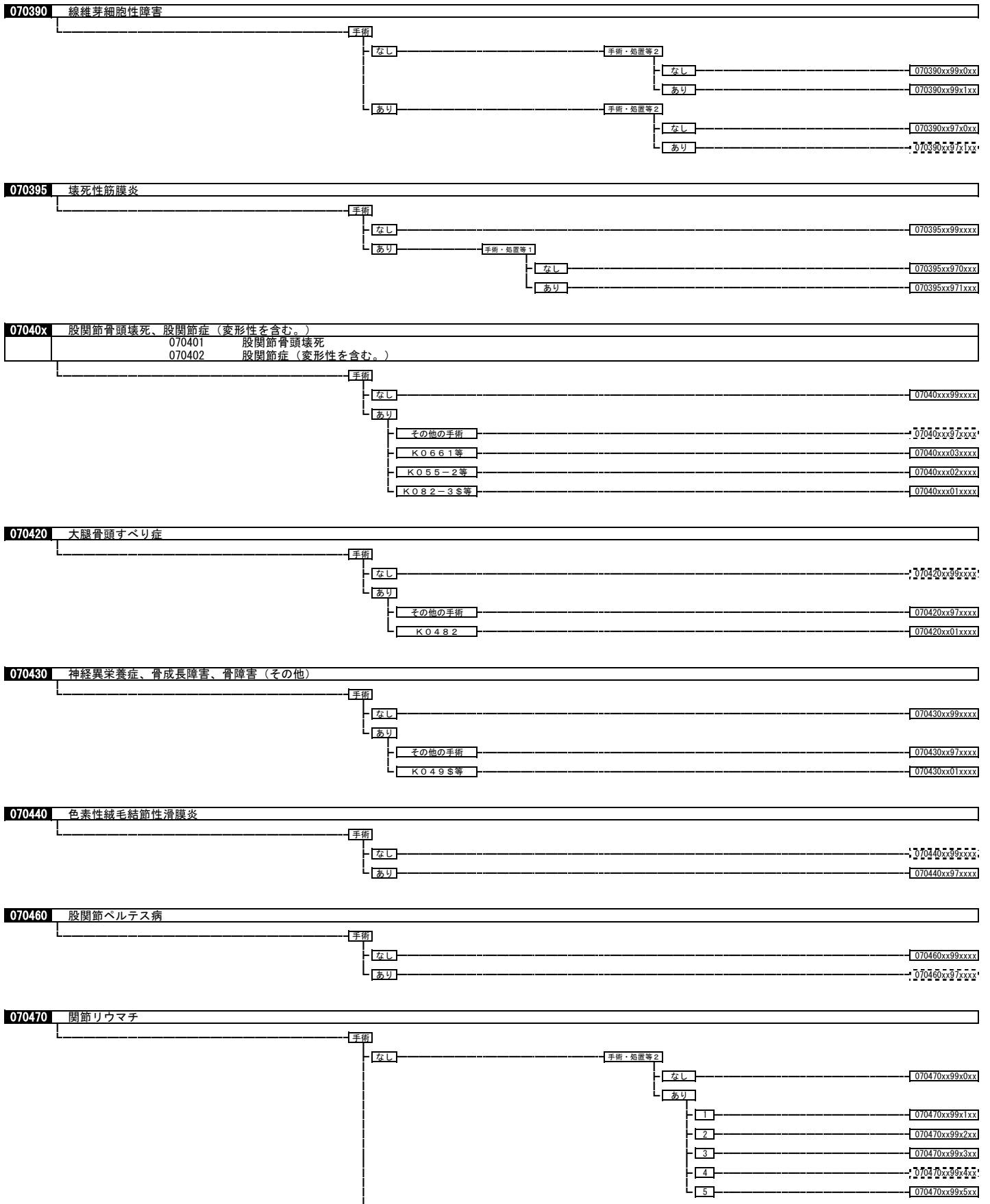


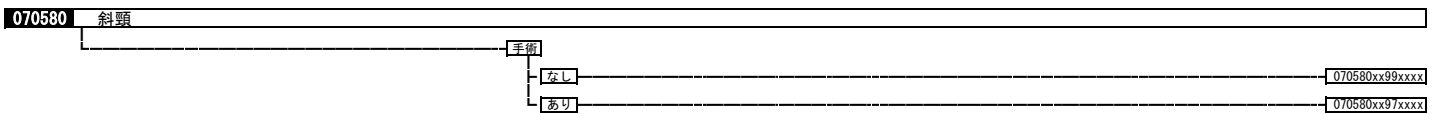
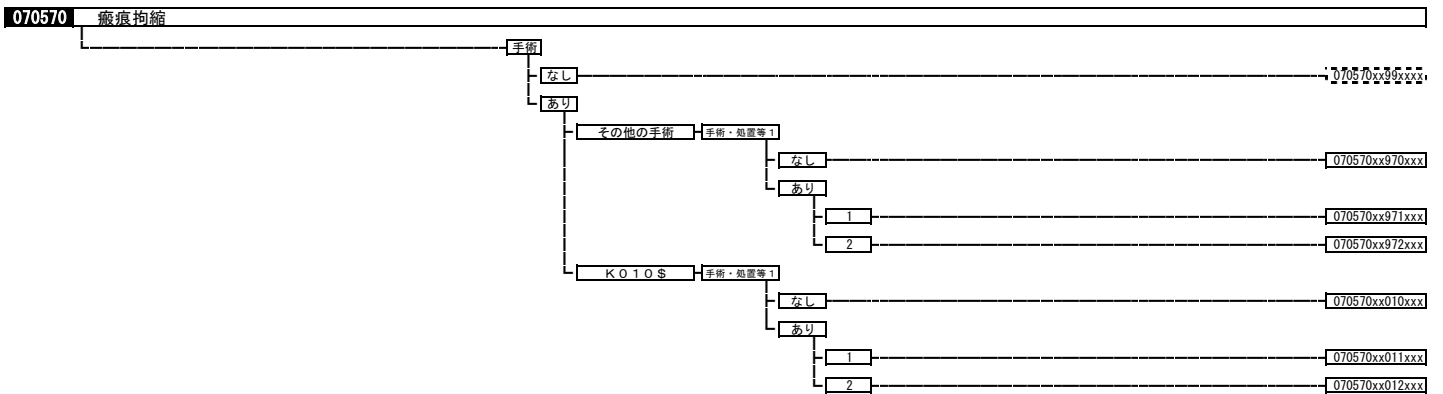
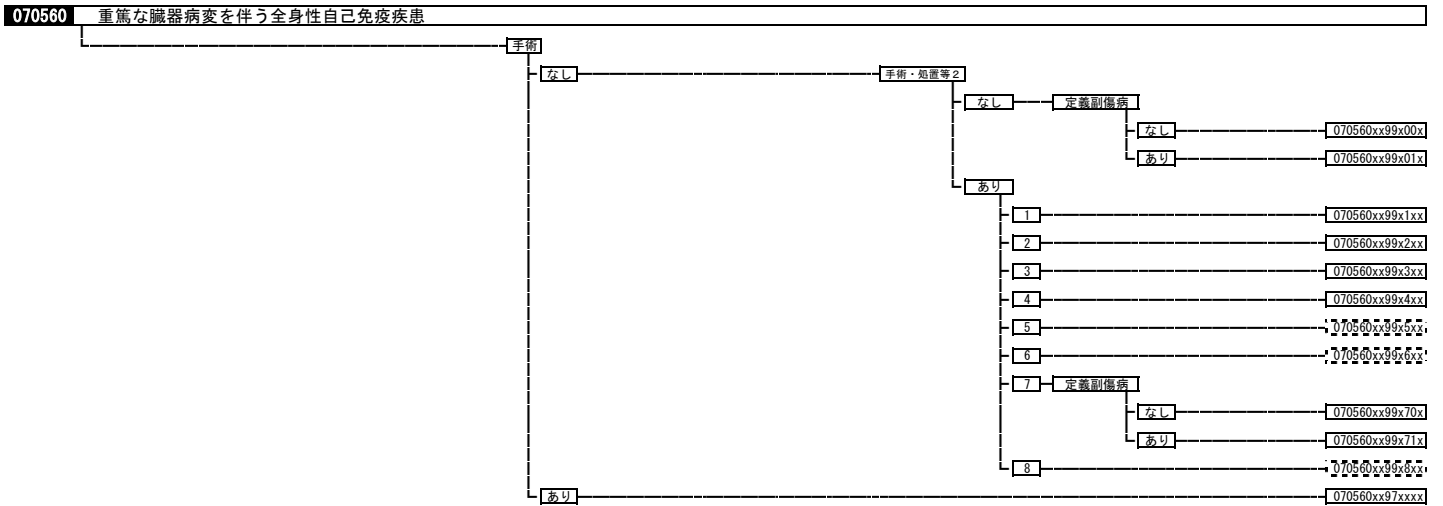
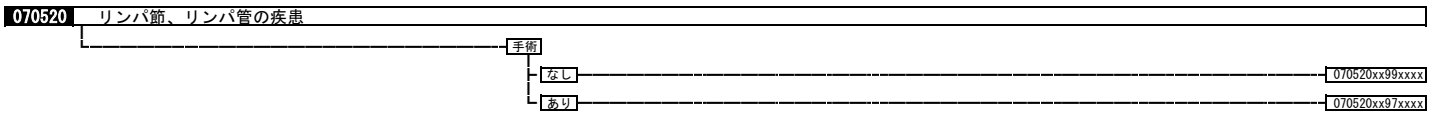
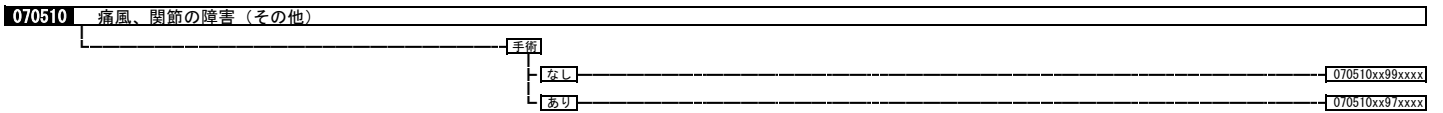
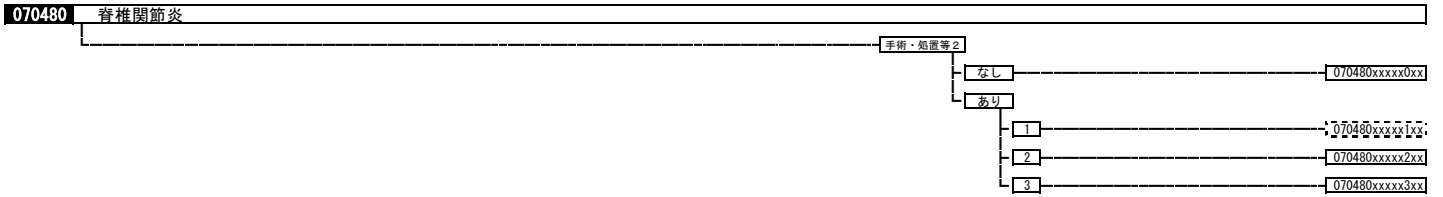
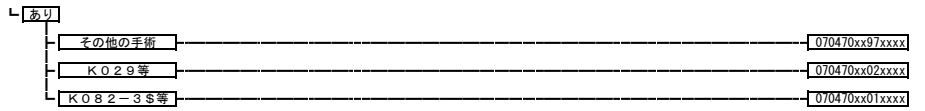
070370 脊椎骨粗鬆症

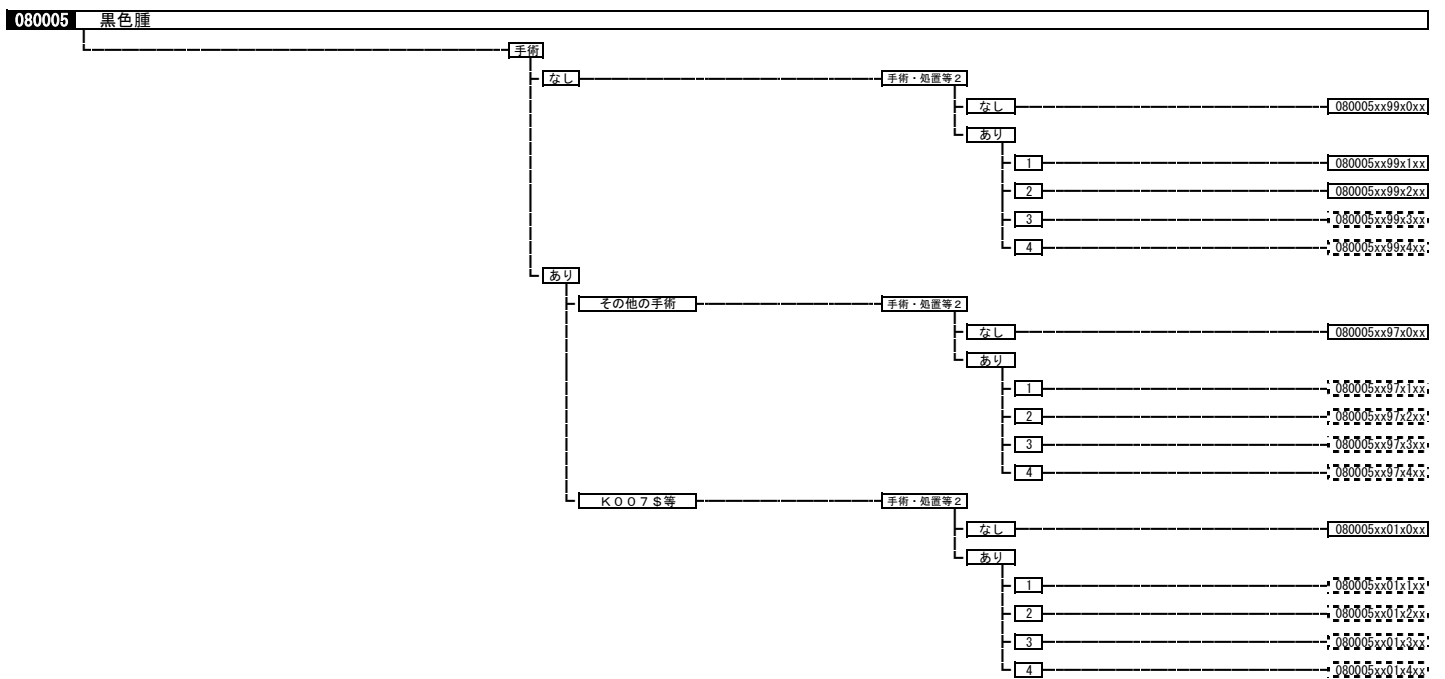
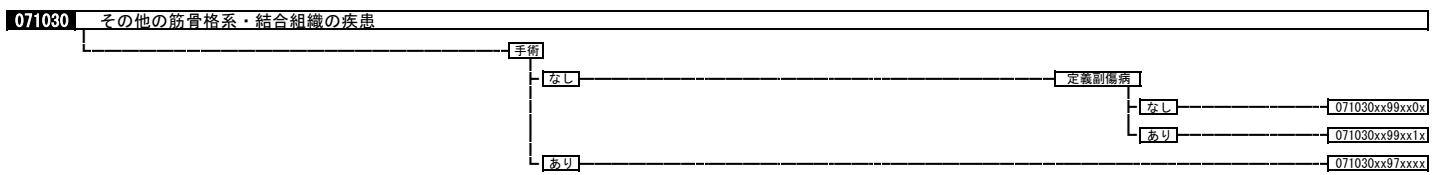
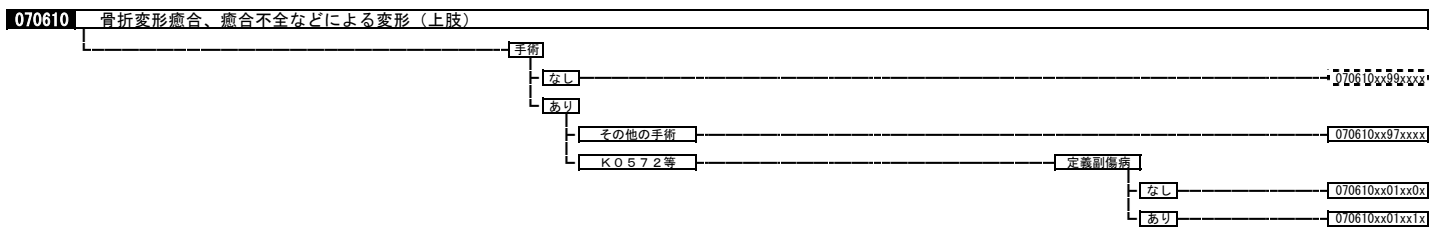
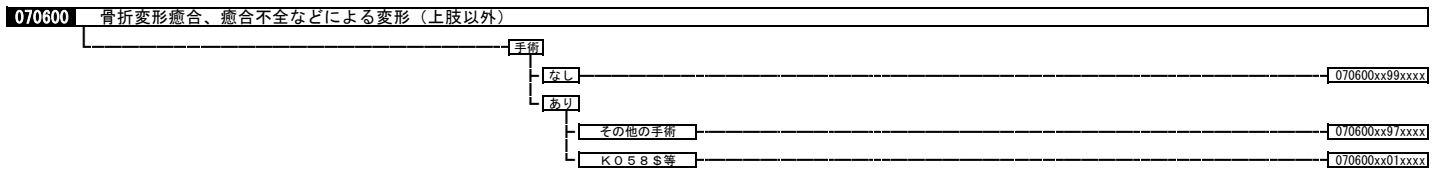
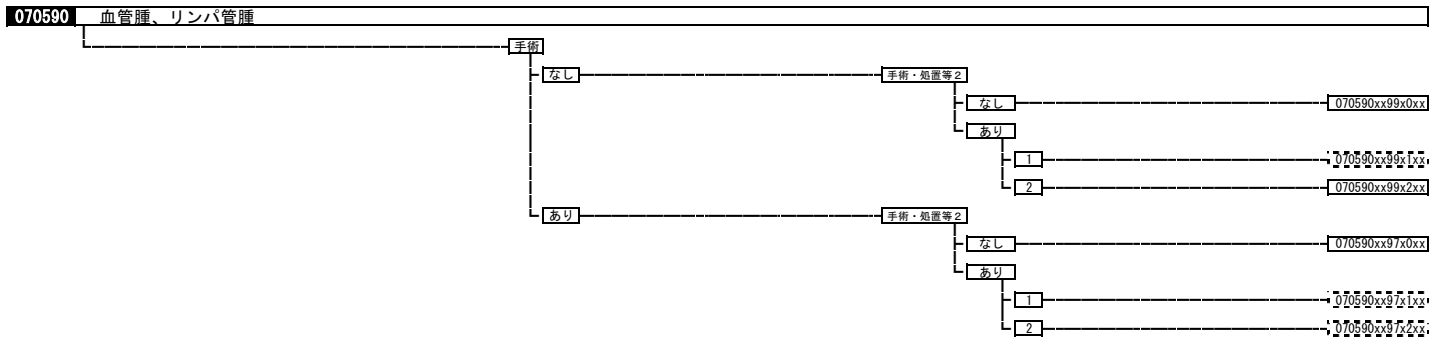


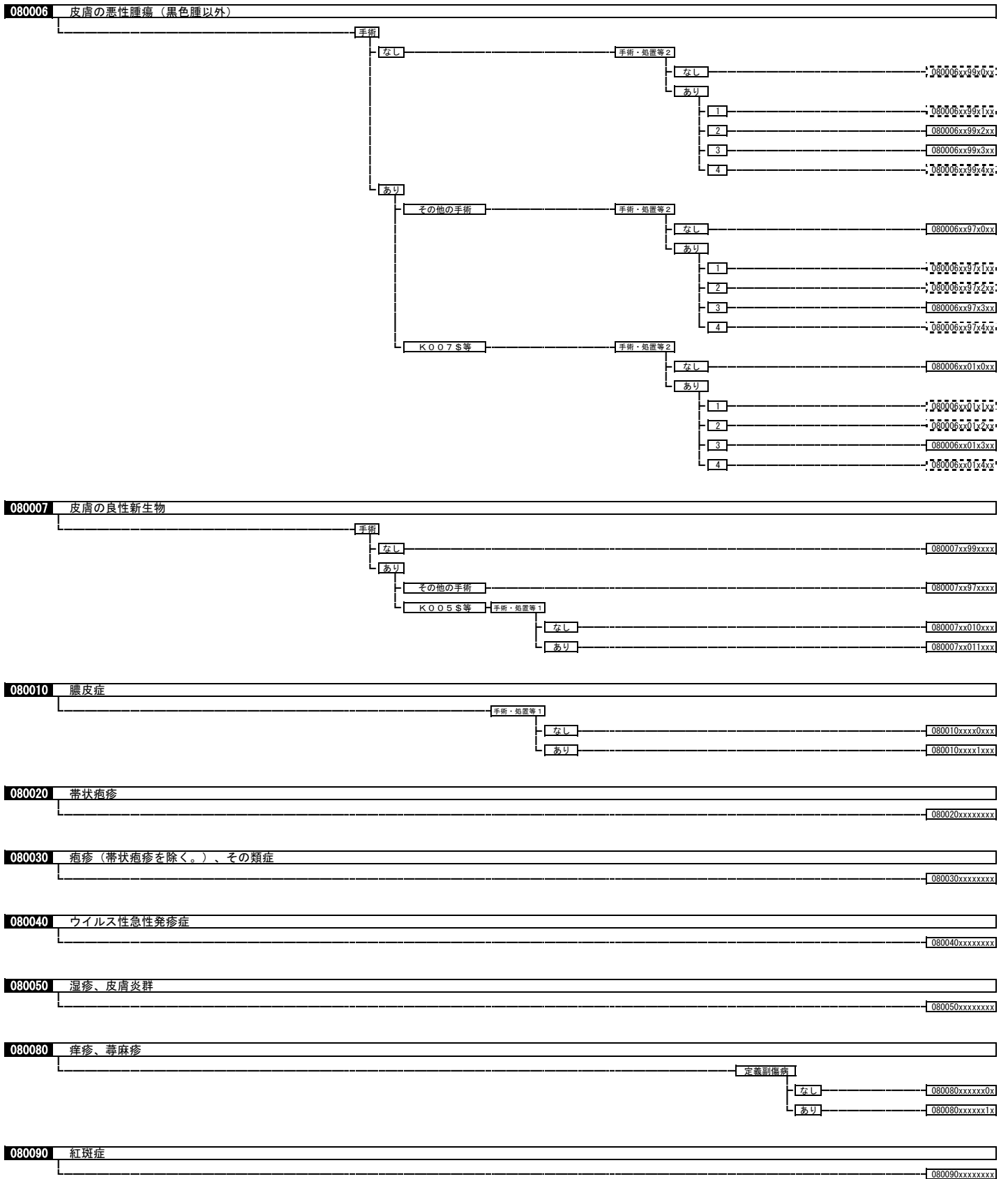
070380 ガングリオン

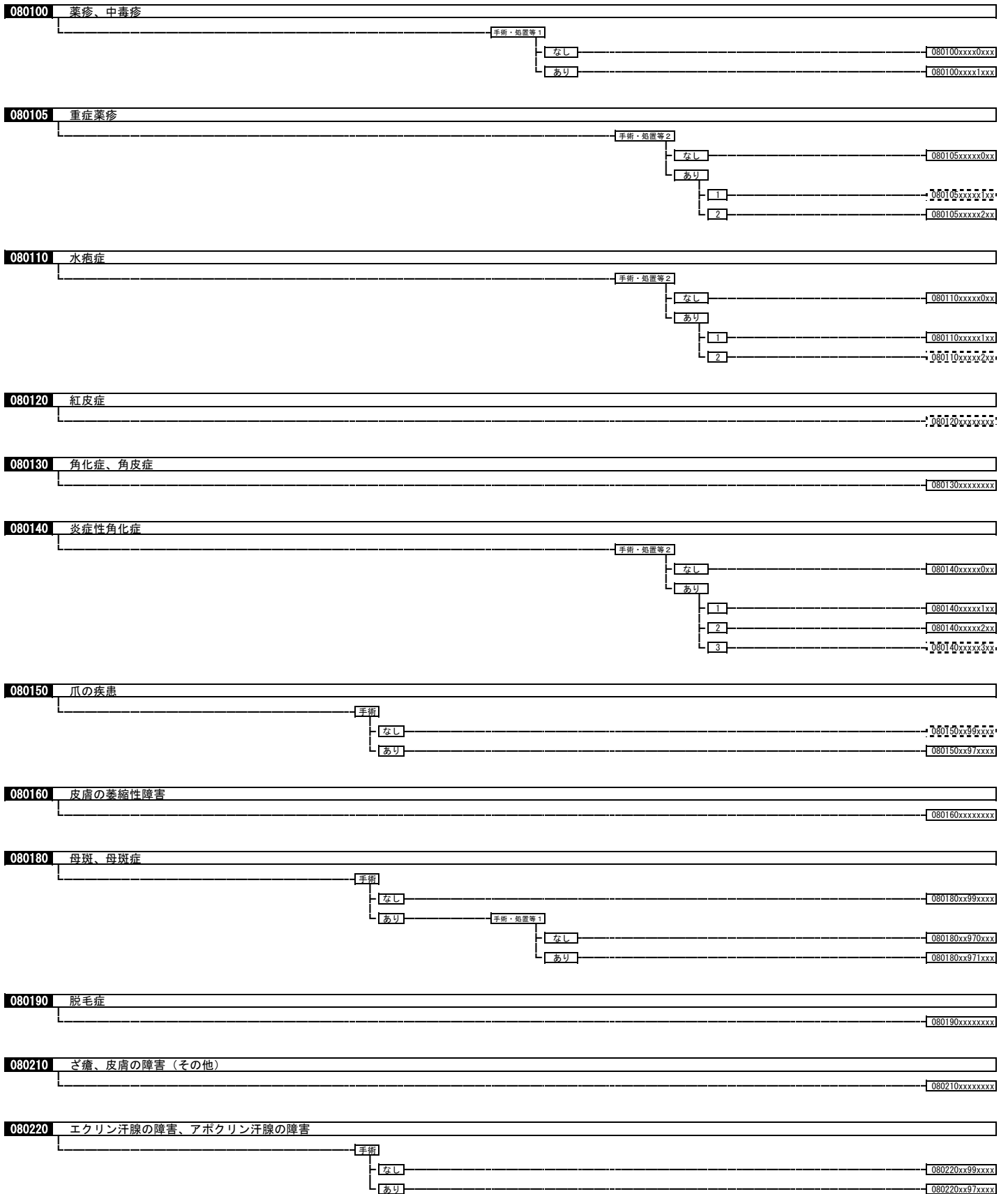


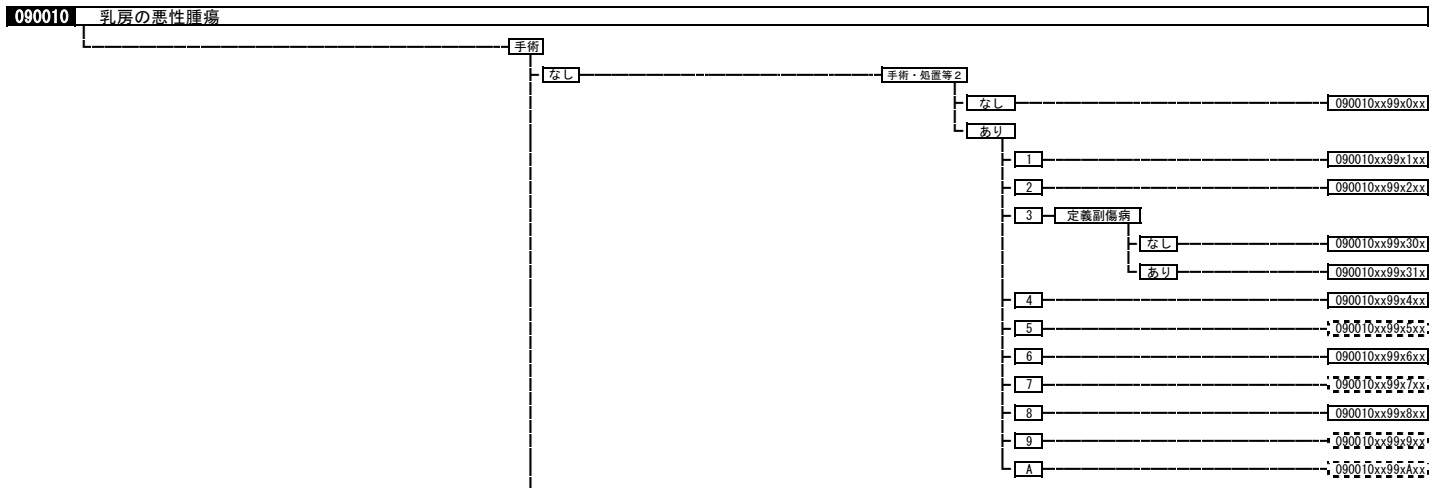
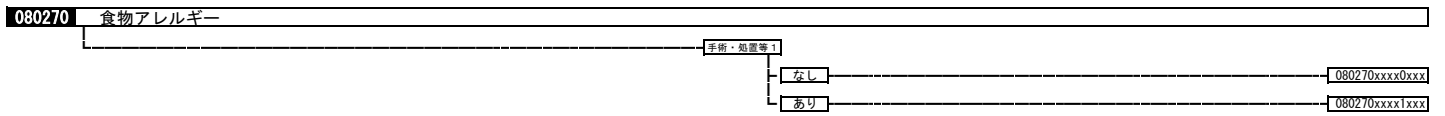
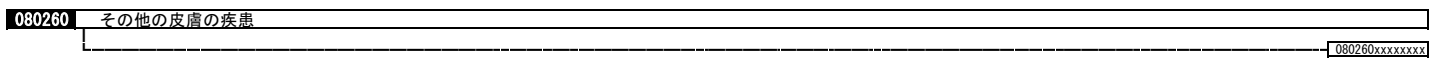
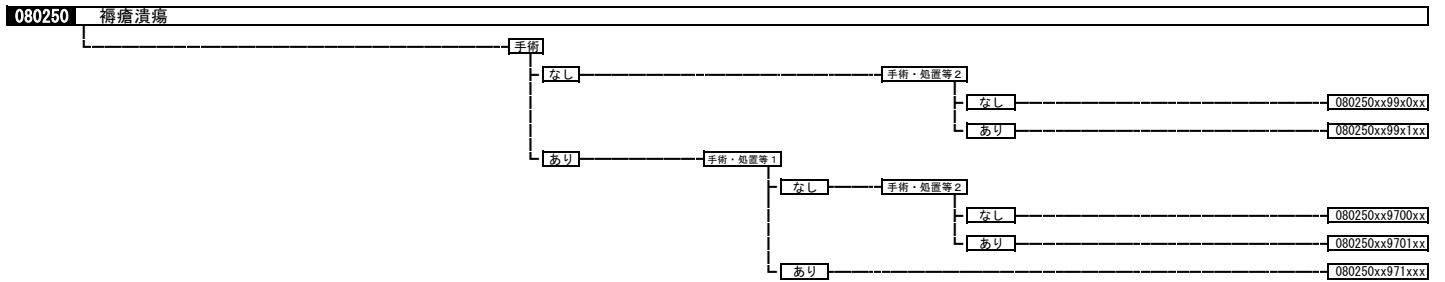
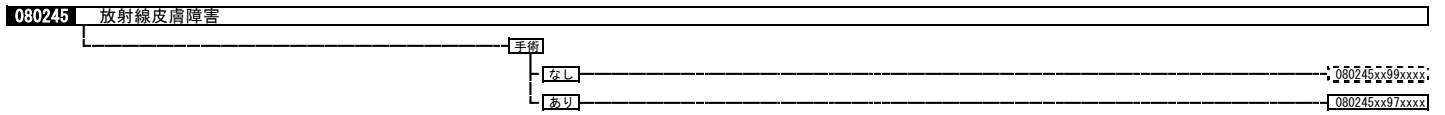
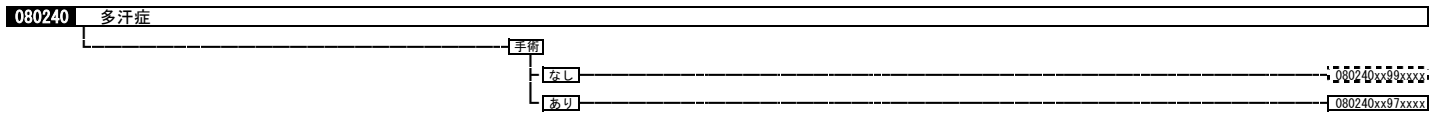
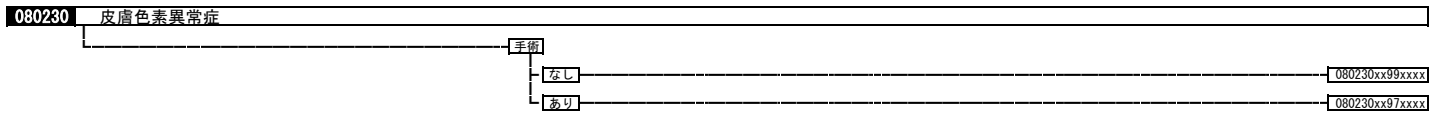


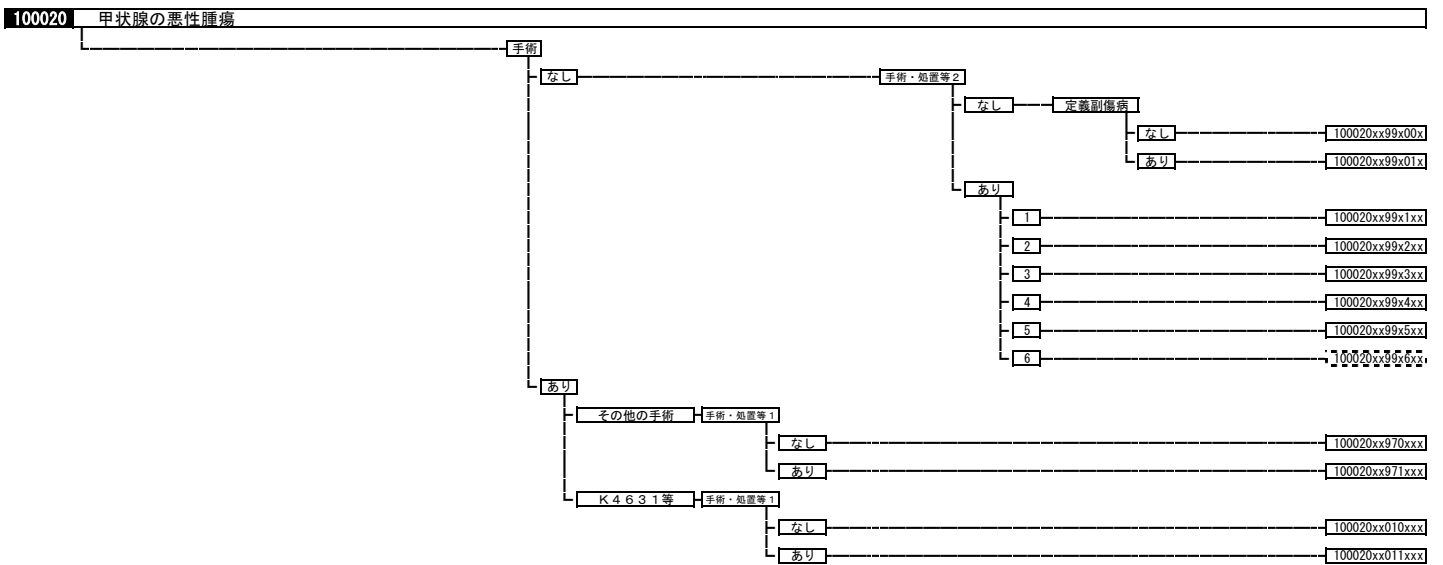
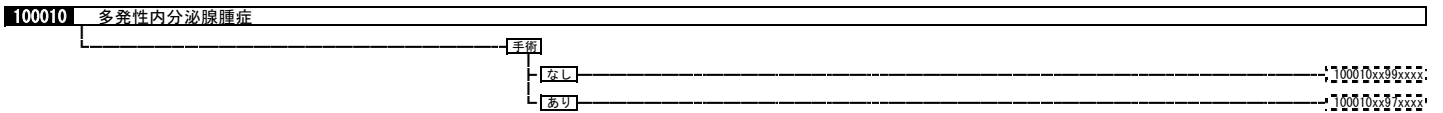
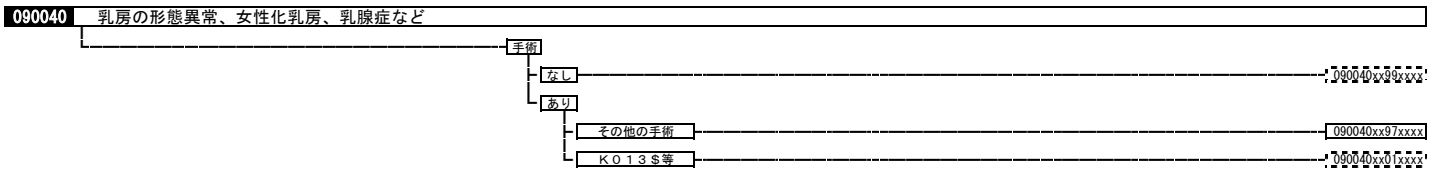
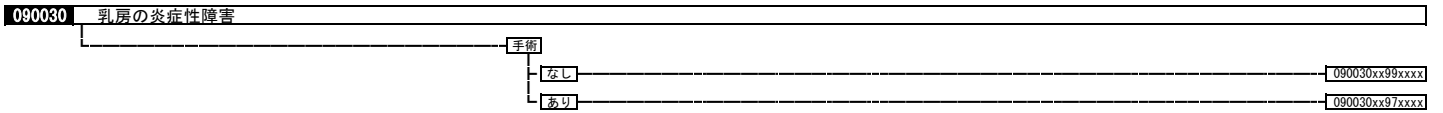
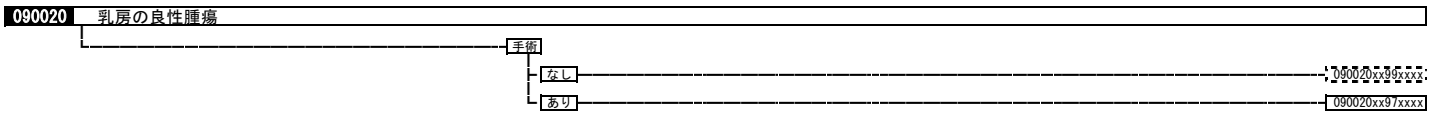
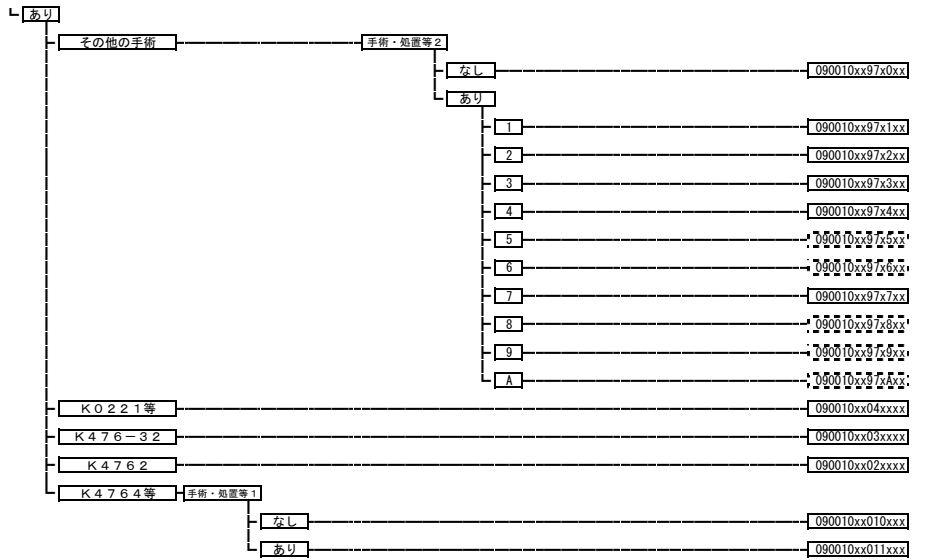


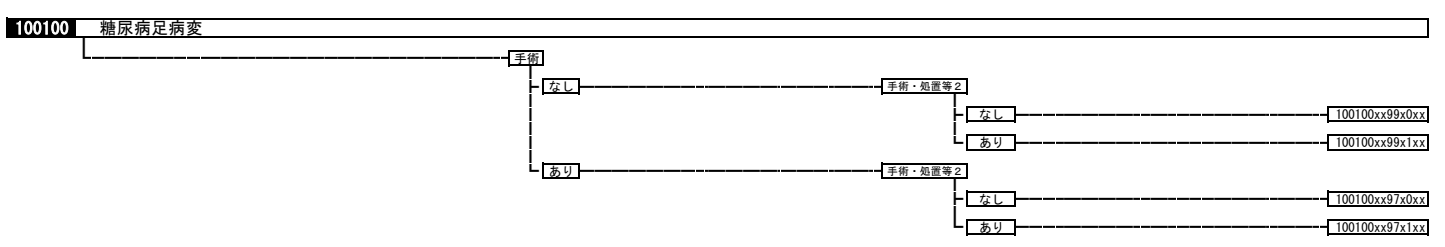
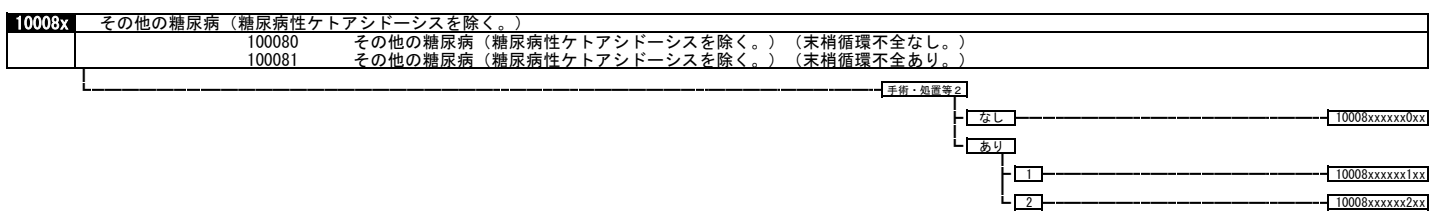
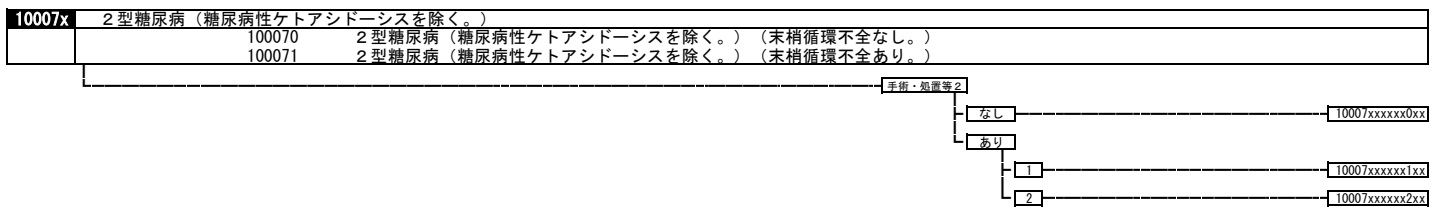
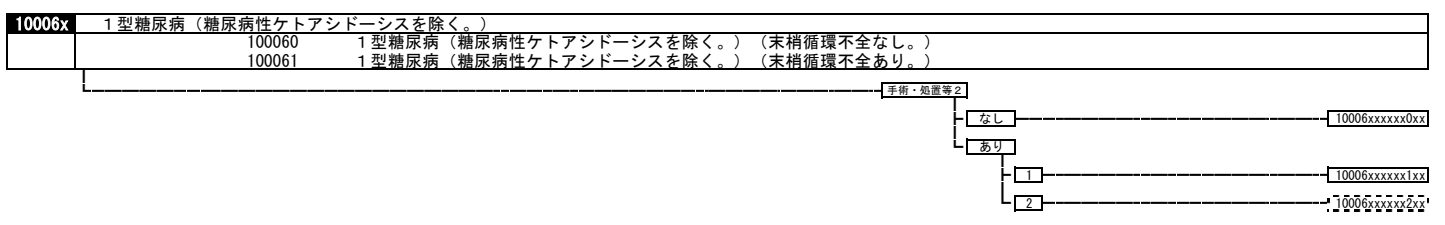
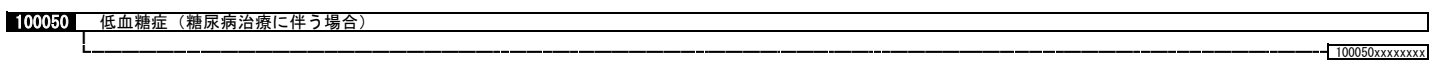
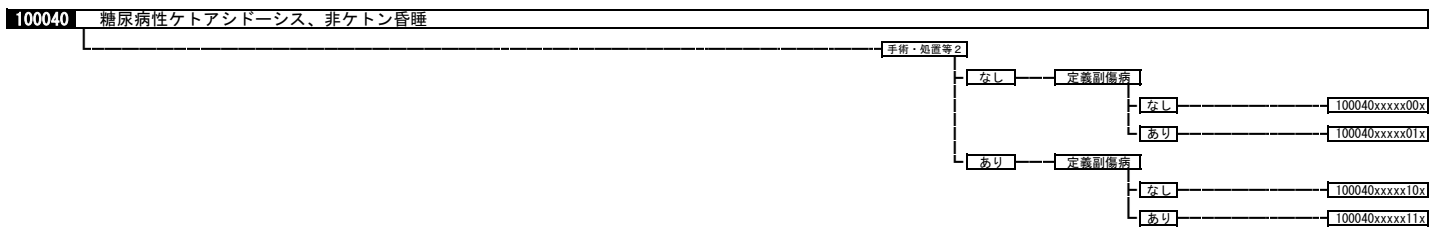
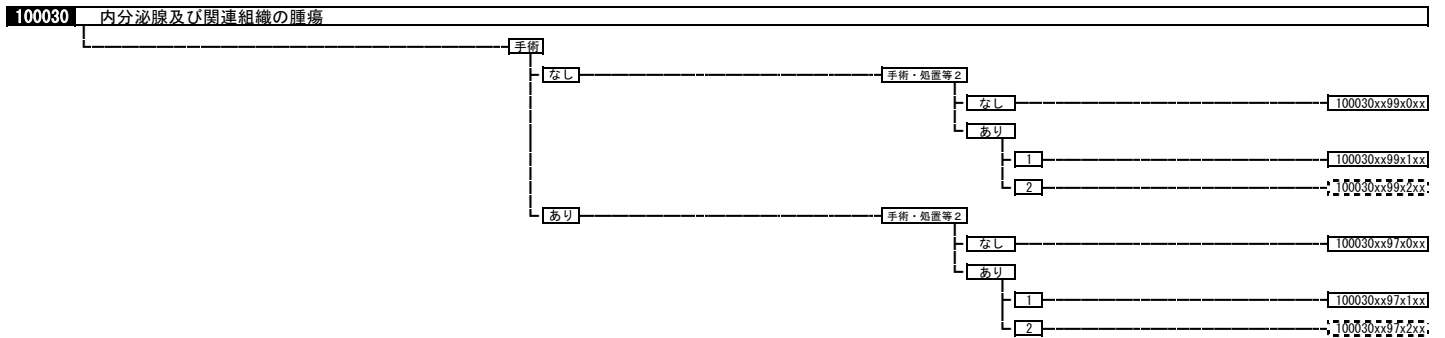


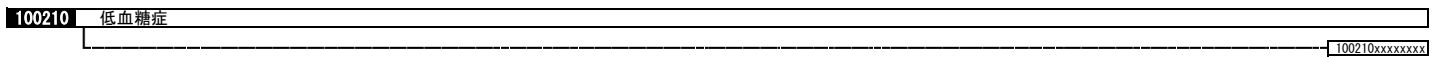
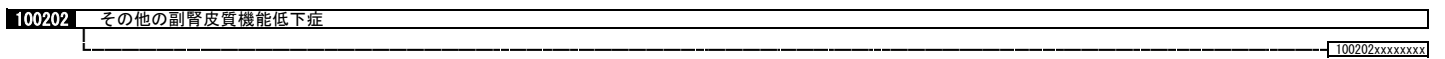
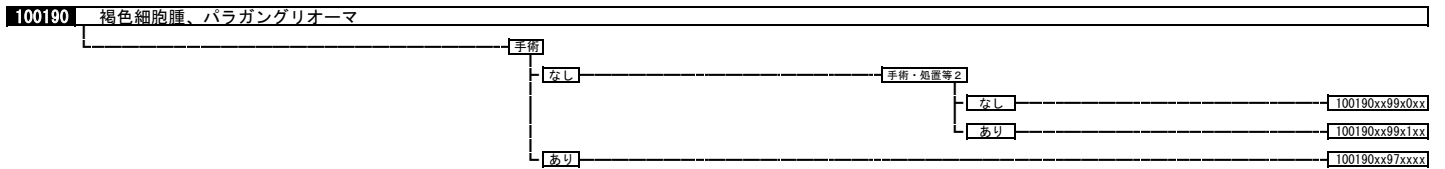
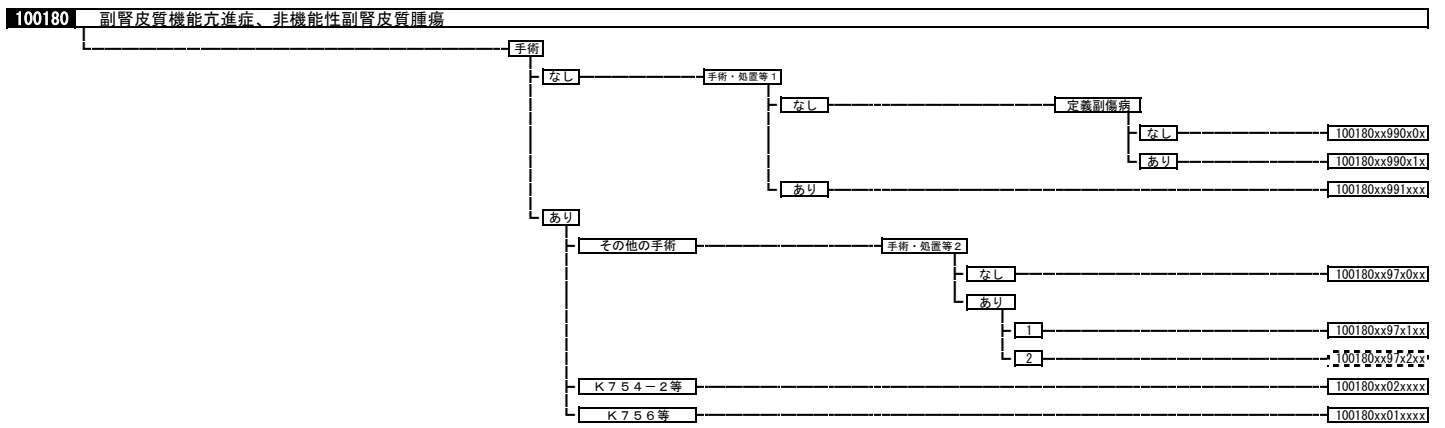
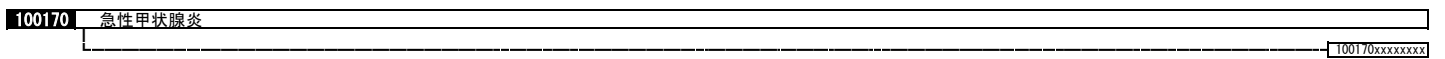
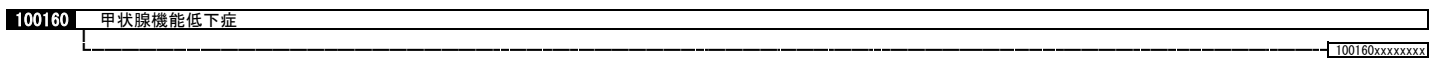
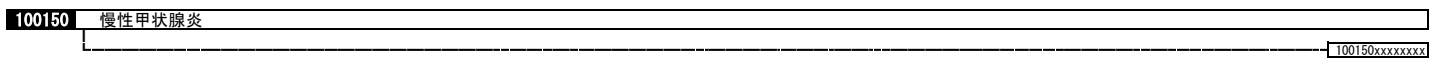
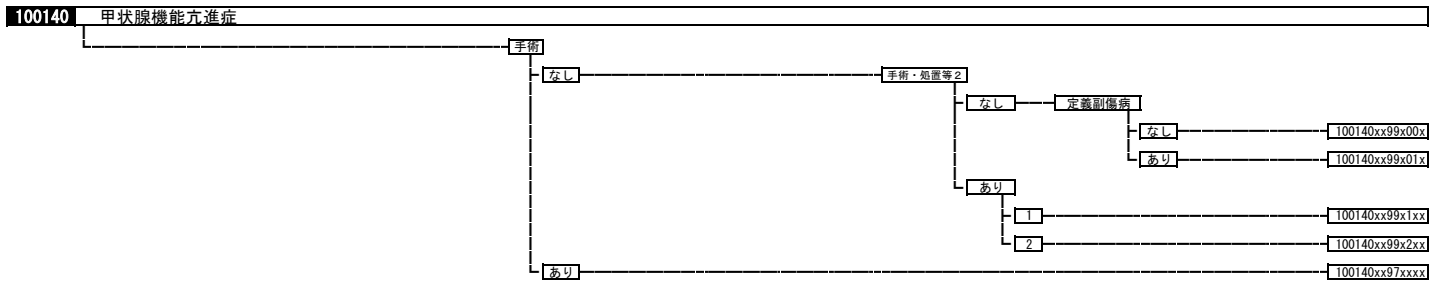
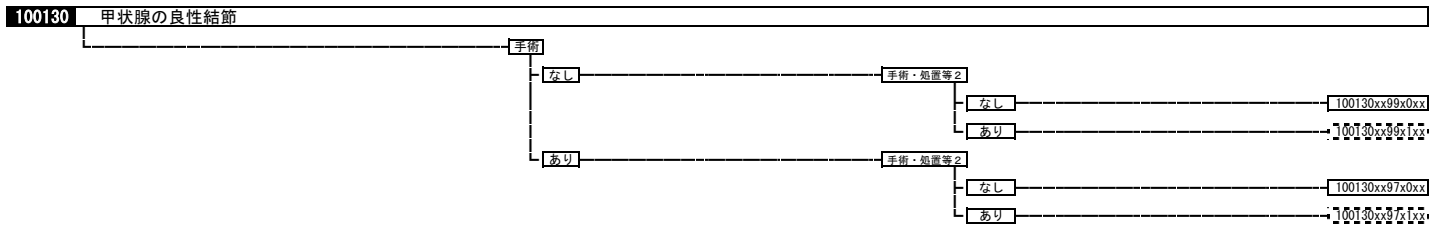
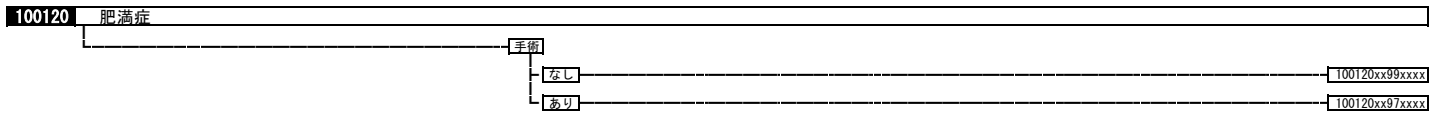


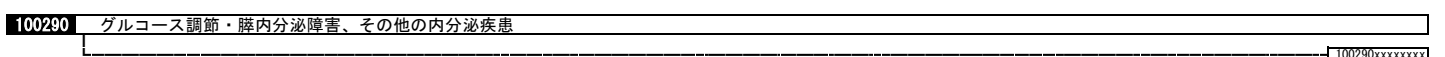
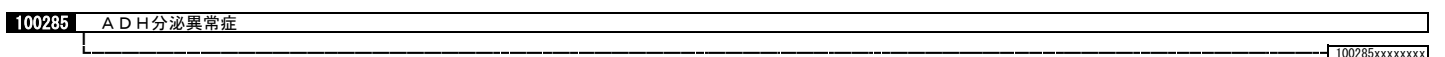
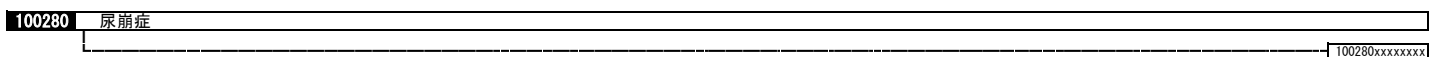
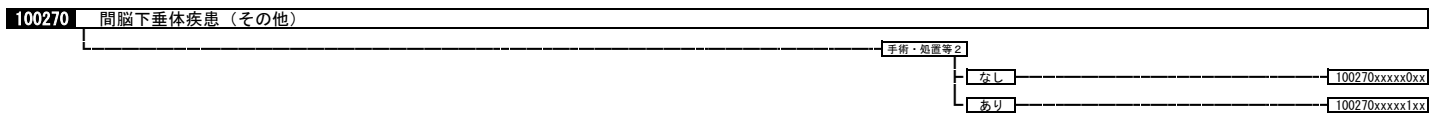
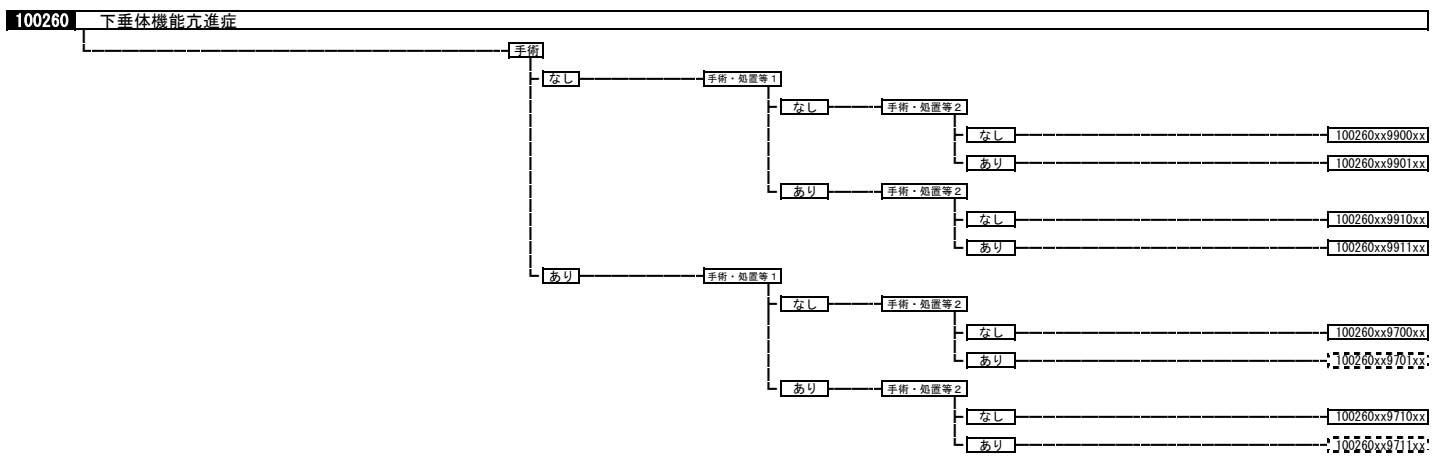
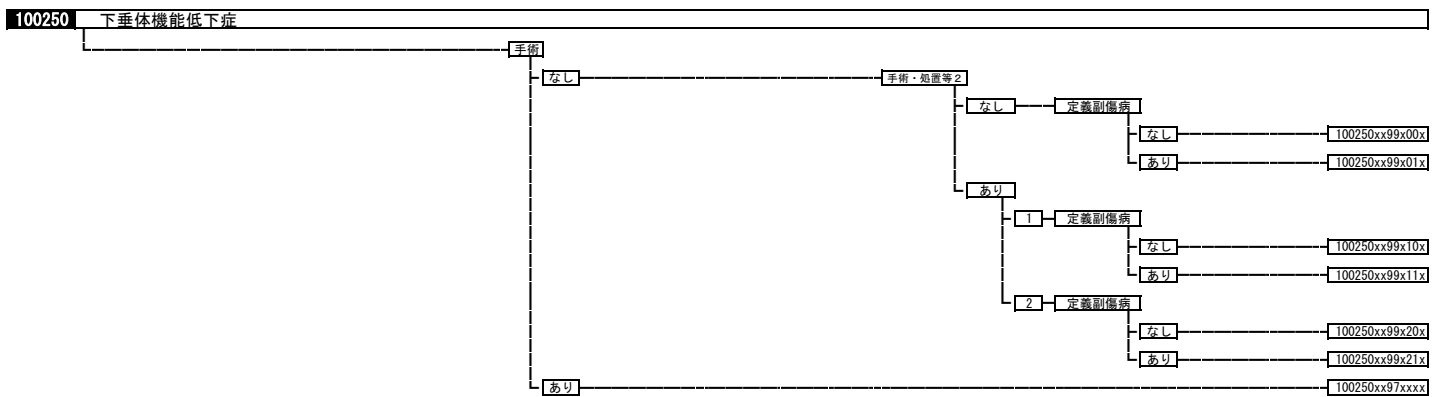
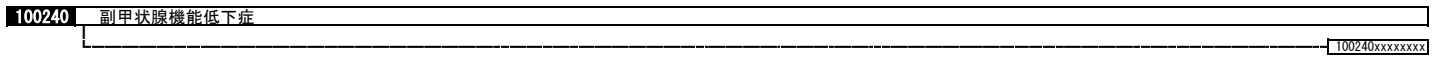
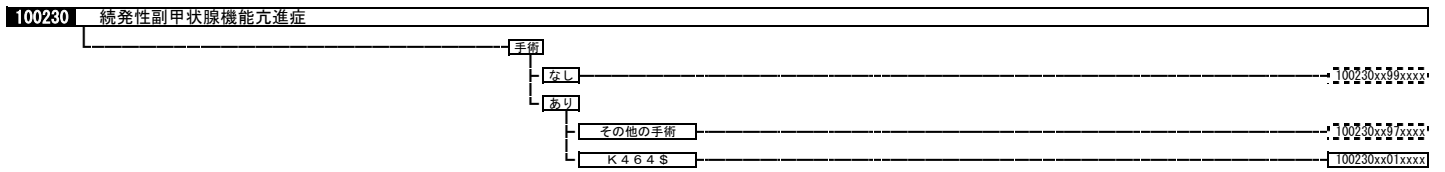
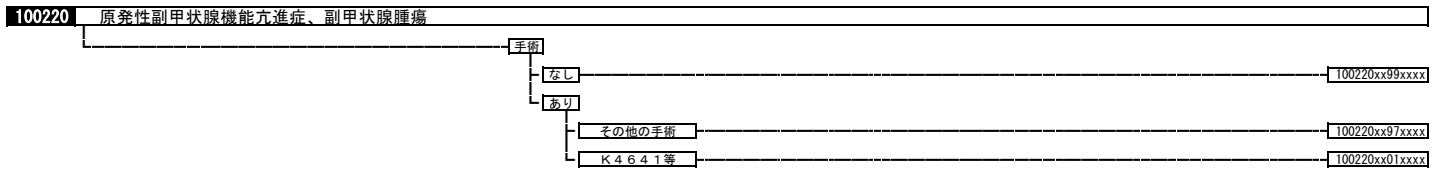


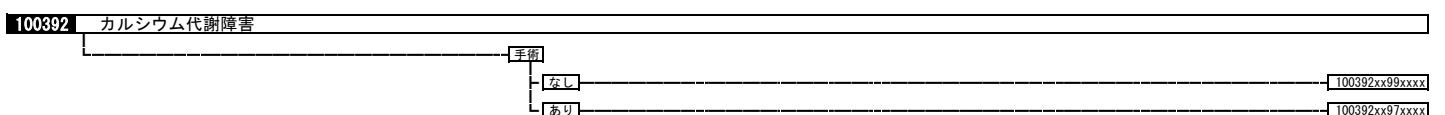
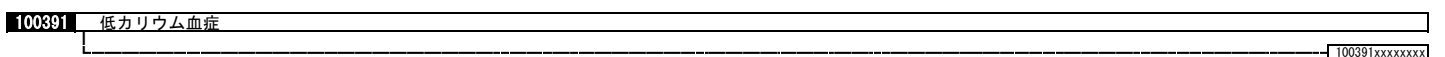
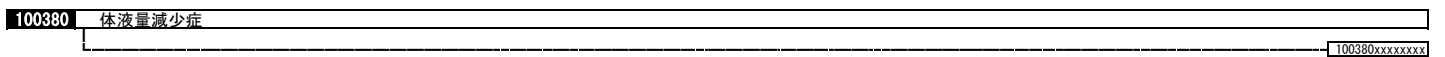
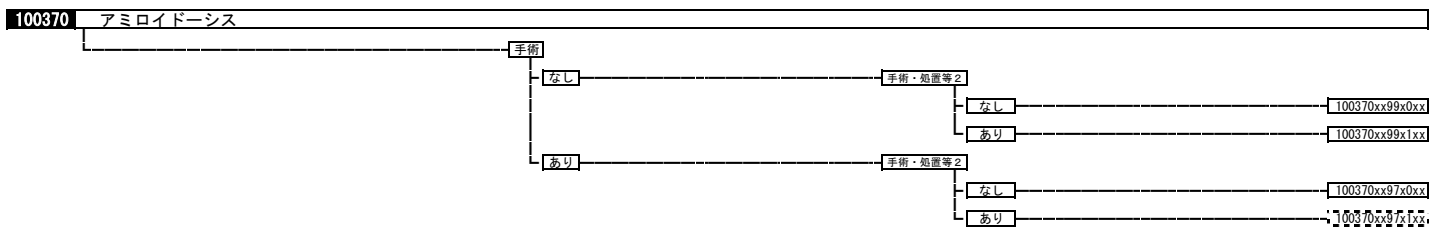
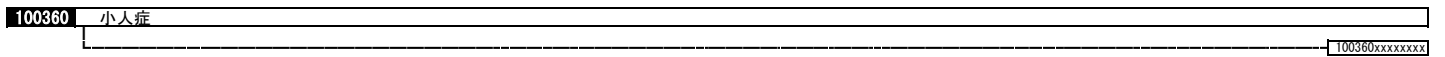
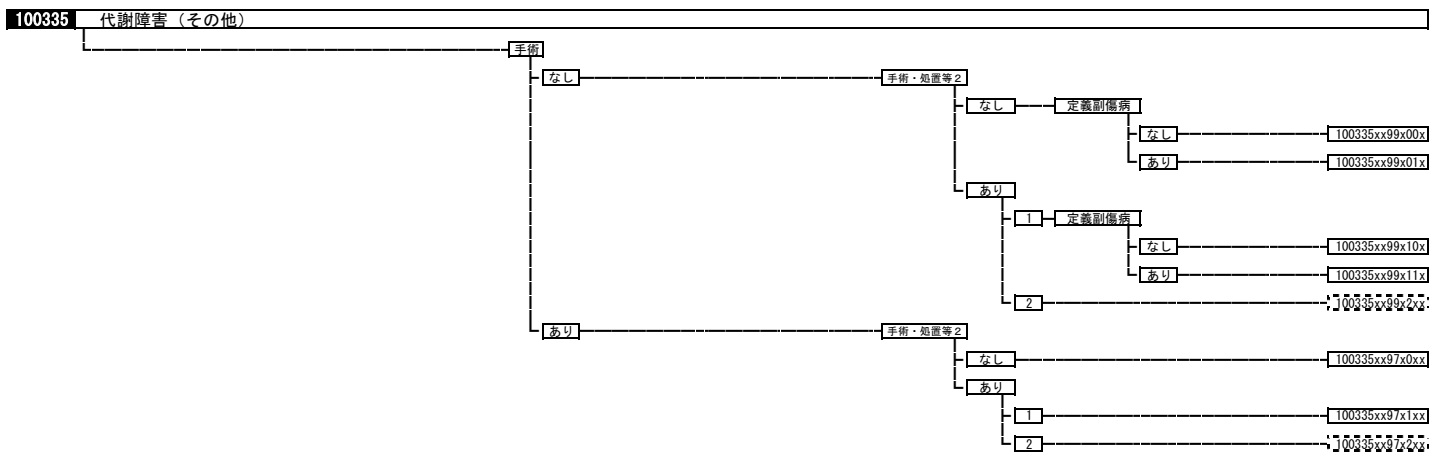
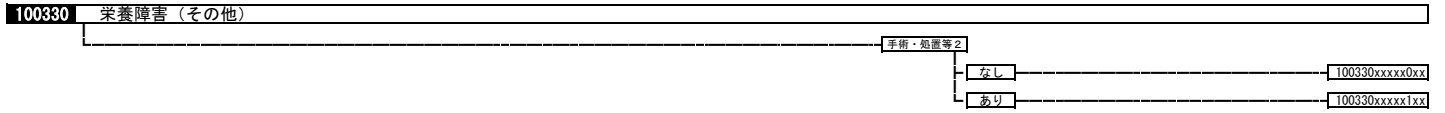
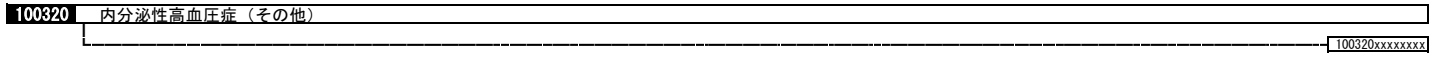
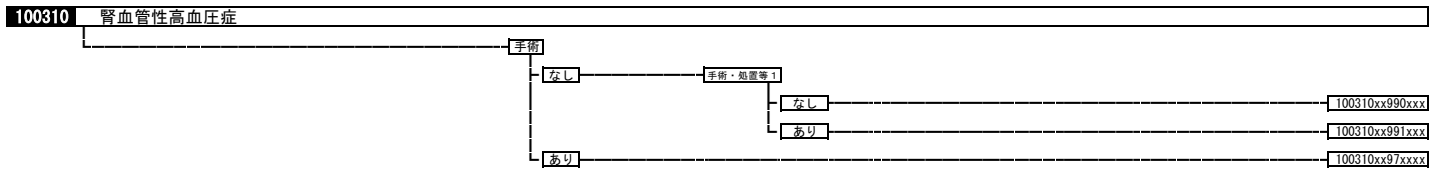
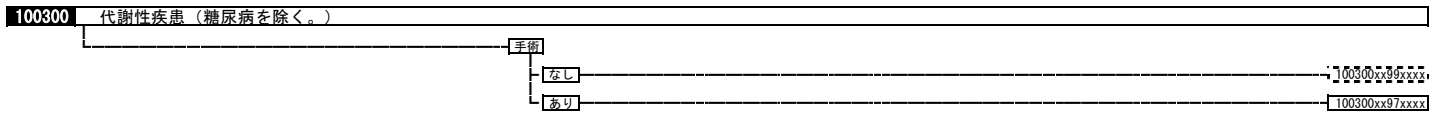


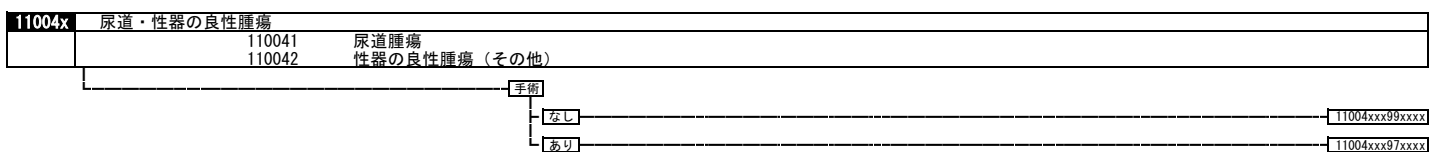
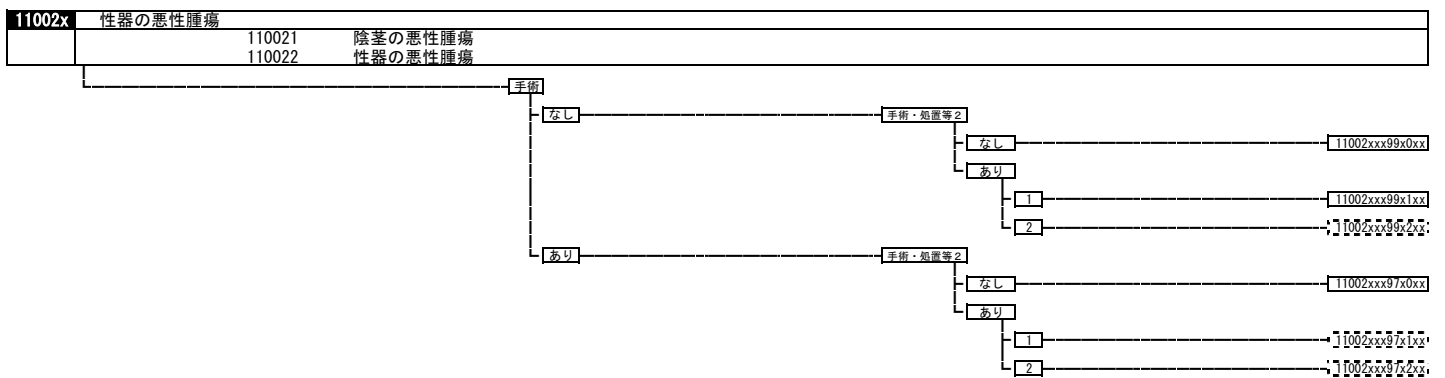
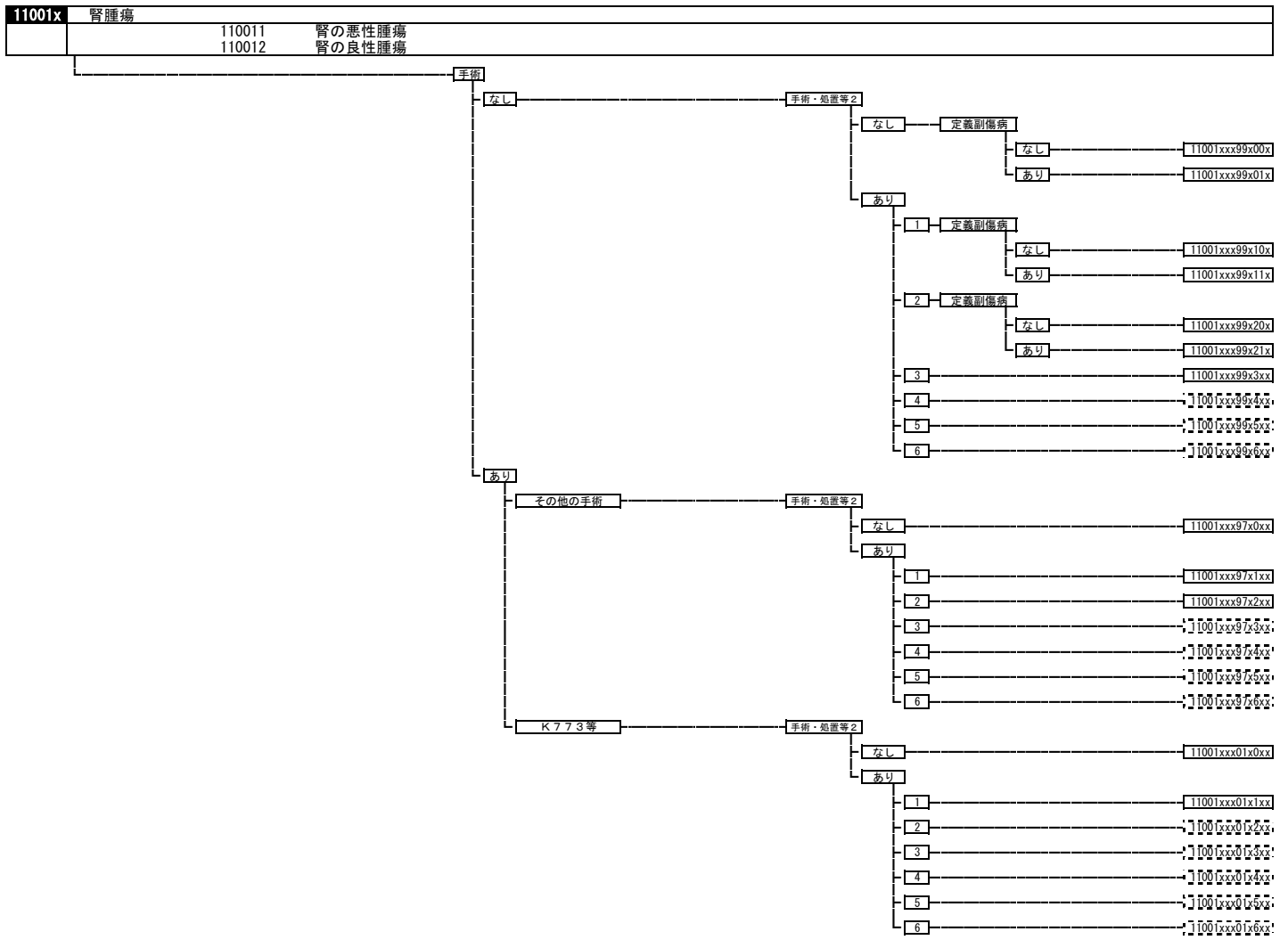
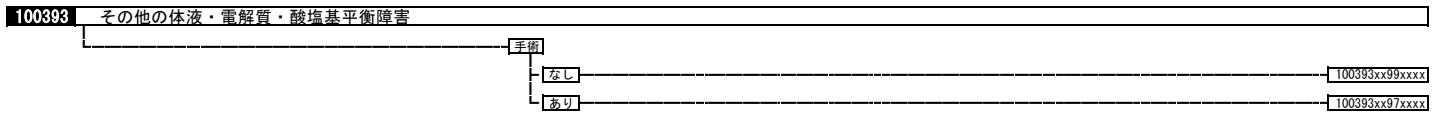


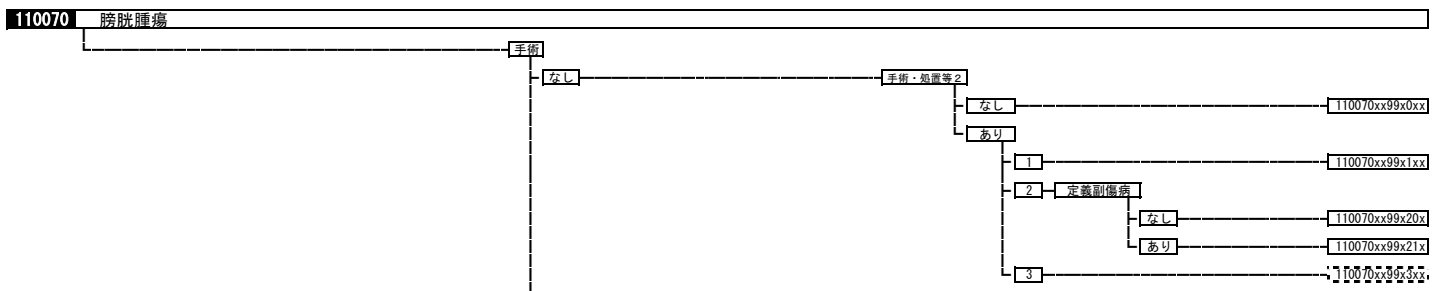
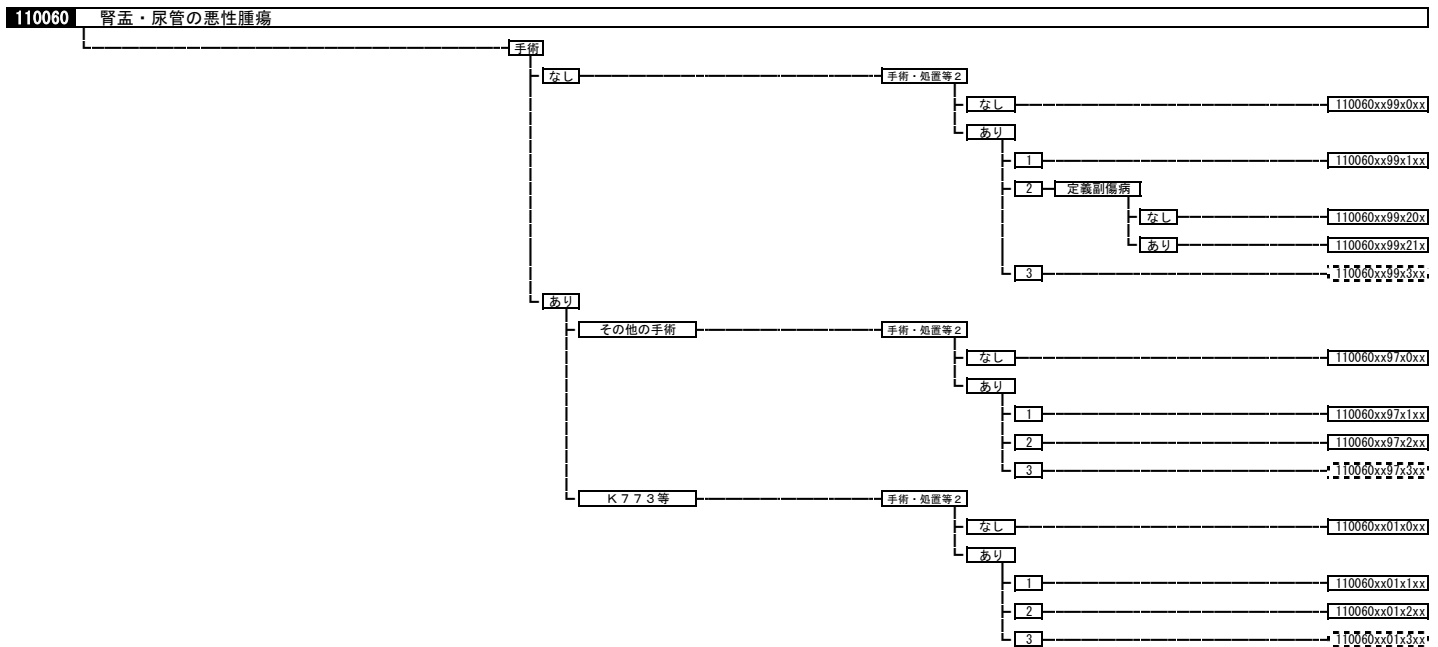
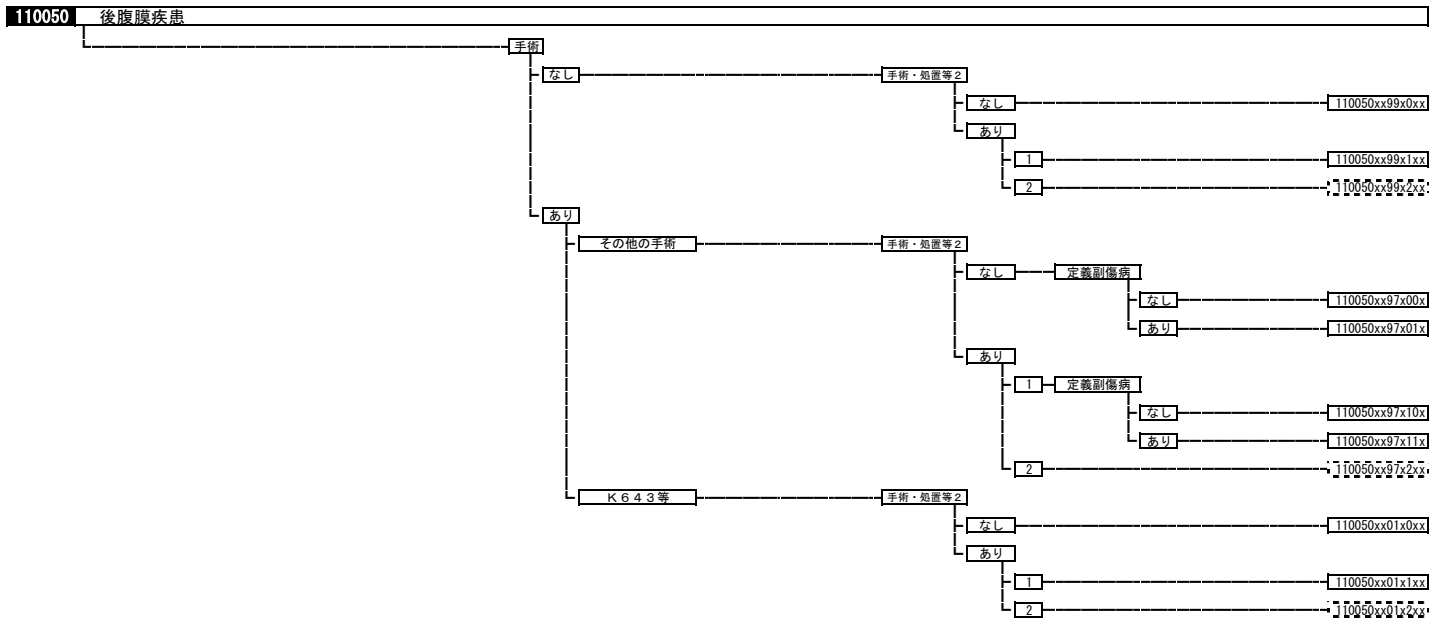


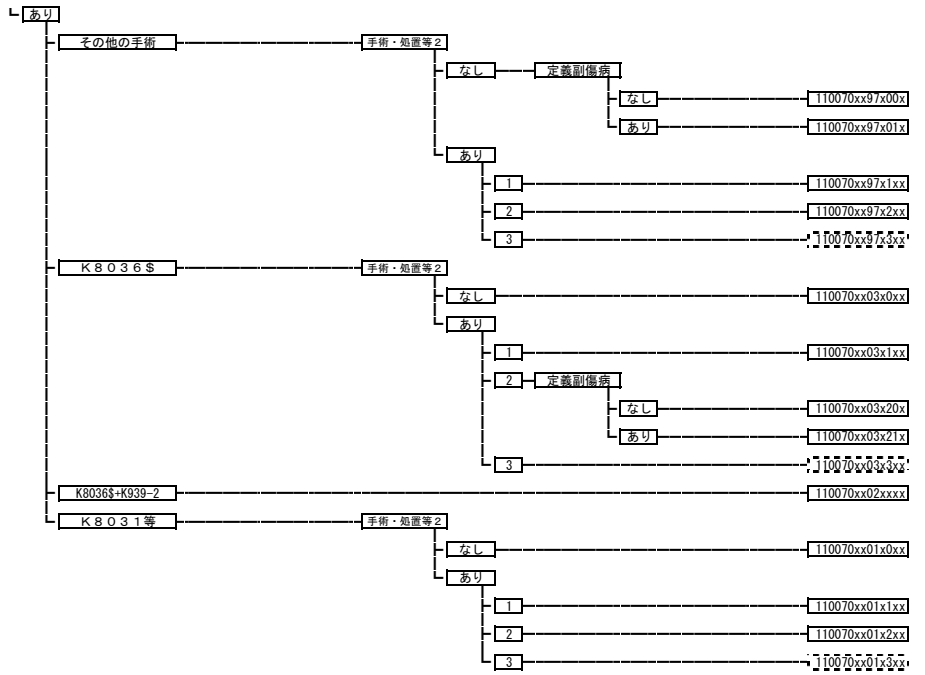




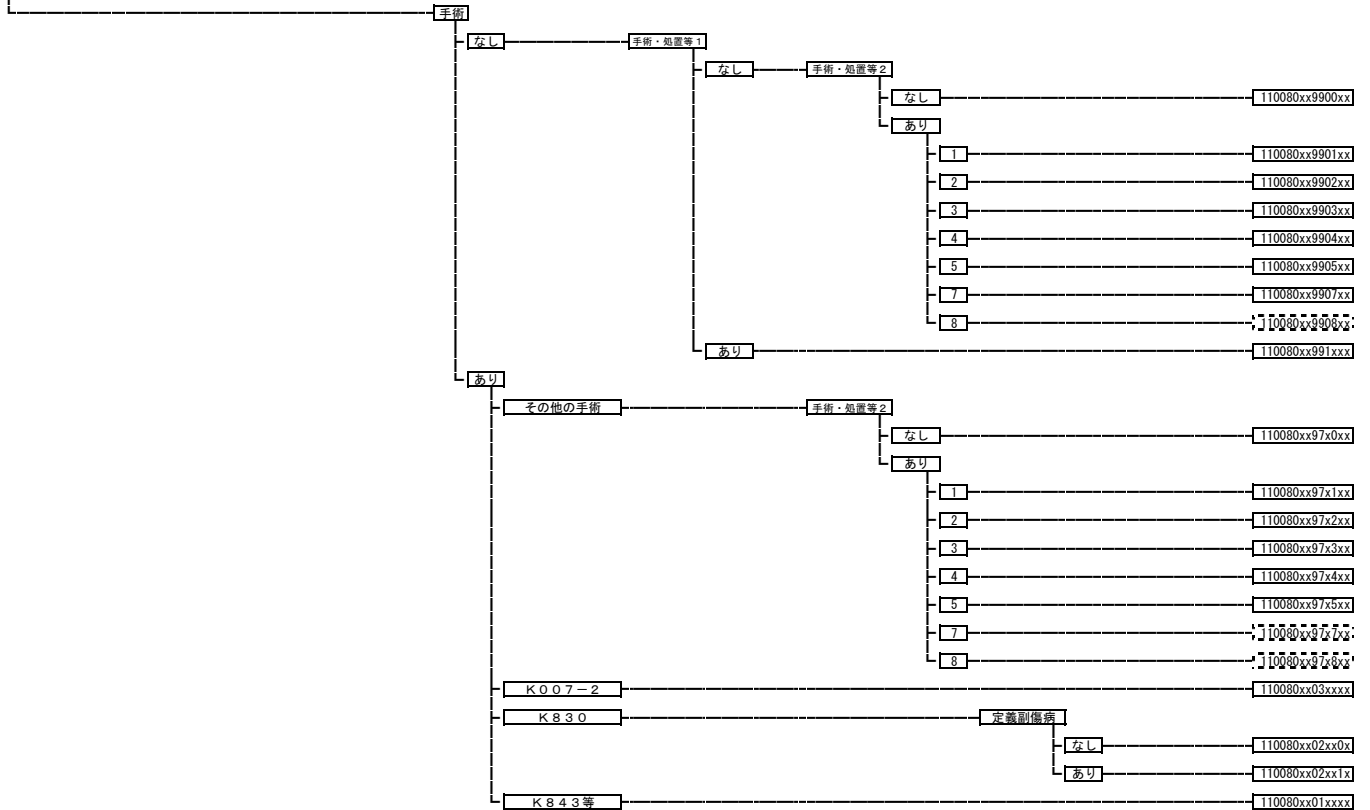


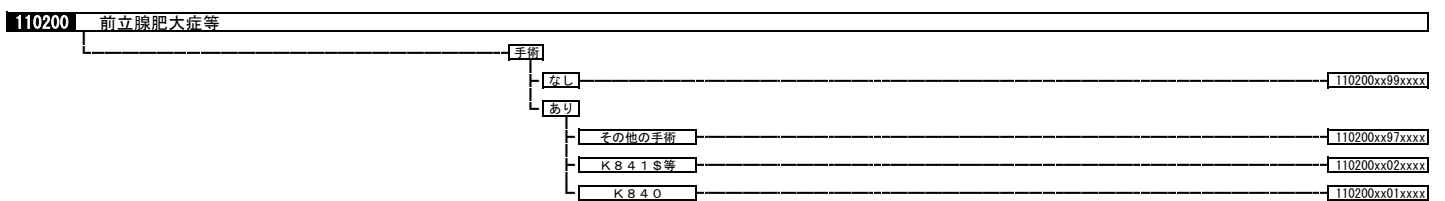
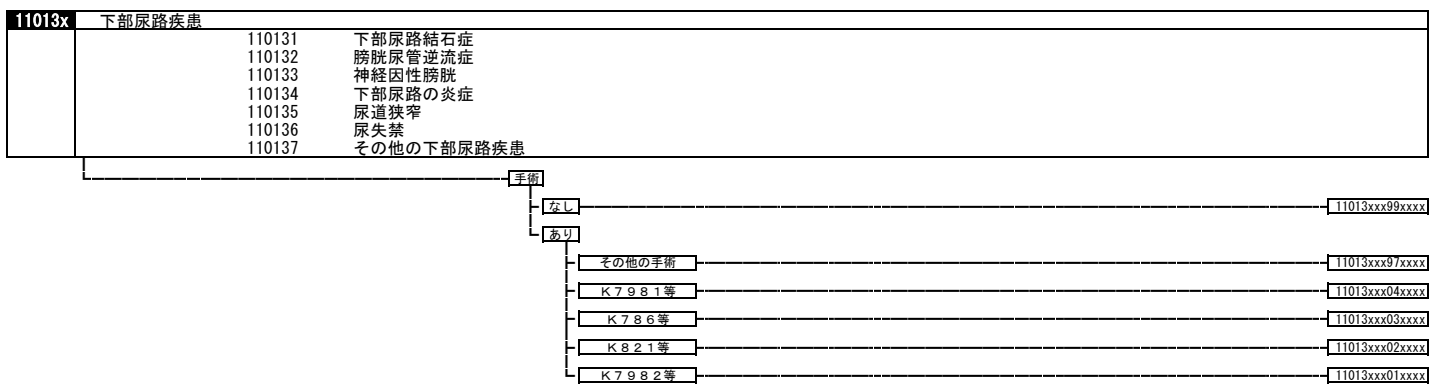
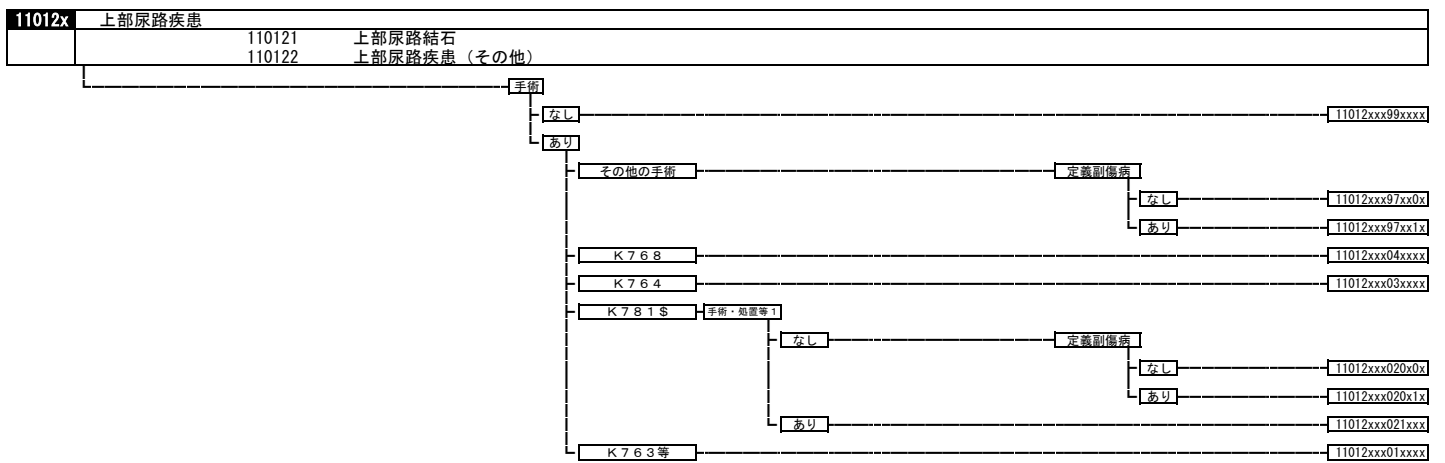
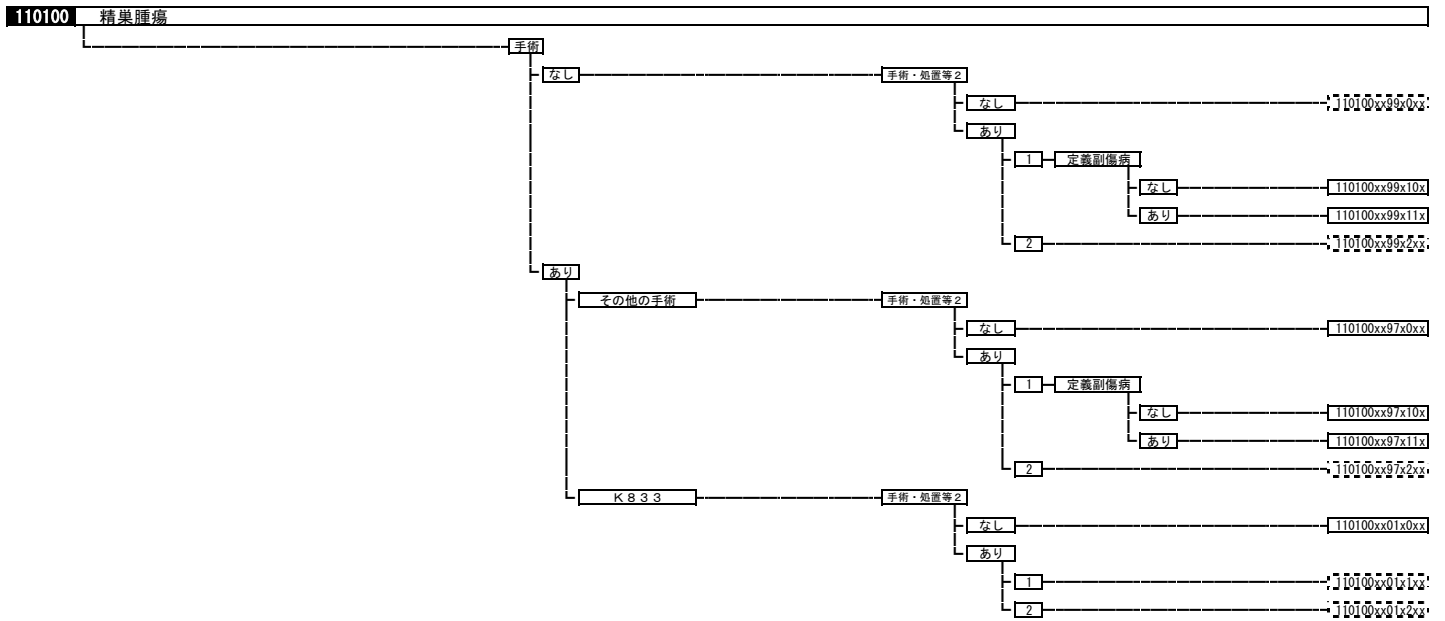




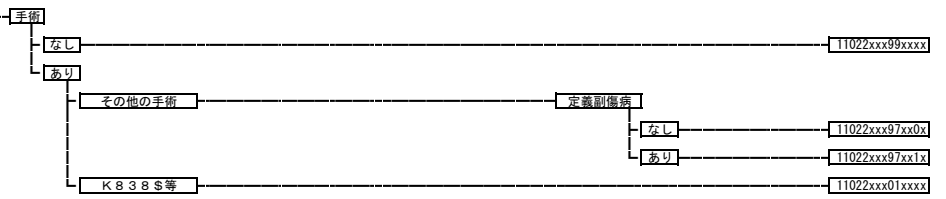


110080 前立腺の悪性腫瘍

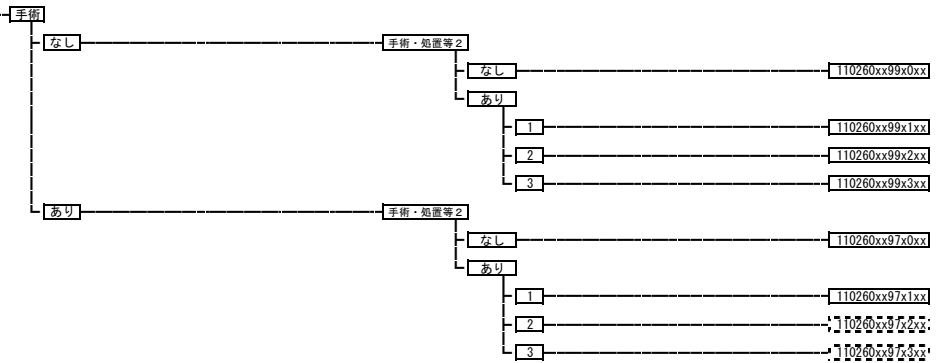




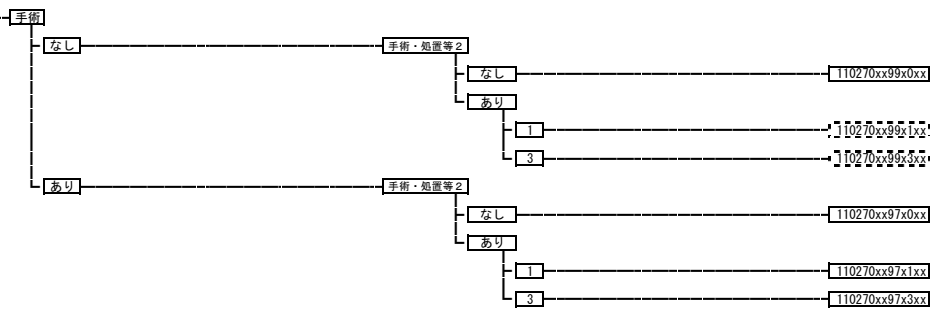
11022x	男性生殖器疾患	110221	男性生殖器炎症性疾患
		110222	陰茎・包皮の疾患
		110223	陰嚢内疾患（悪性、炎症性疾患を除く。）
		110224	男性生殖器の障害



110260	ネフローゼ症候群
---------------	----------



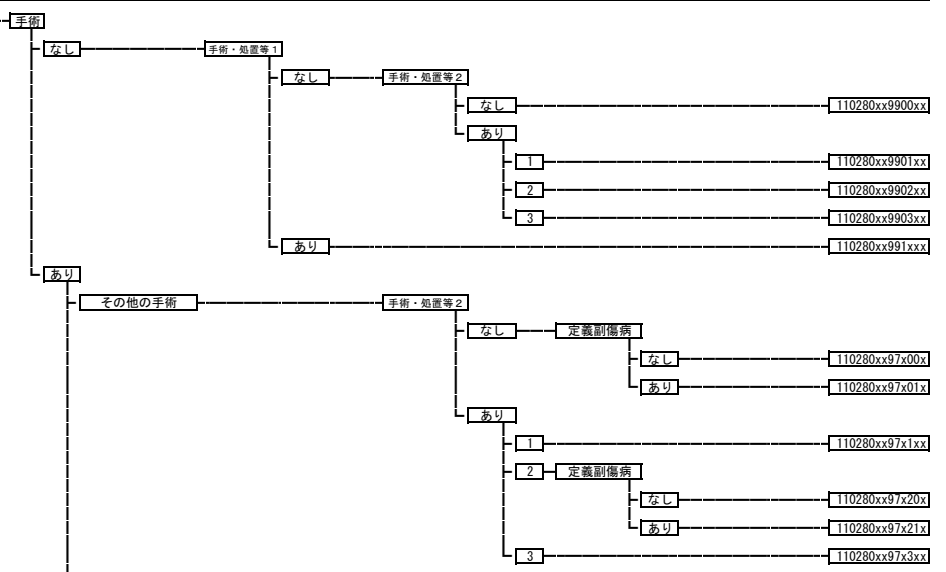
110270	急速進行性腎炎症候群
---------------	------------

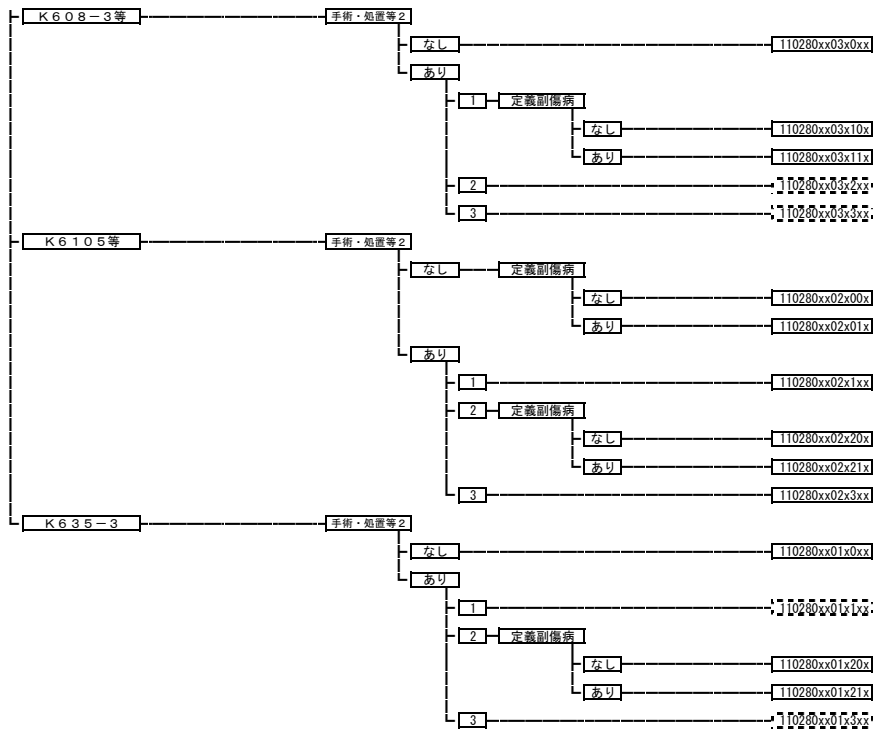


110275	急性腎炎症候群
---------------	---------

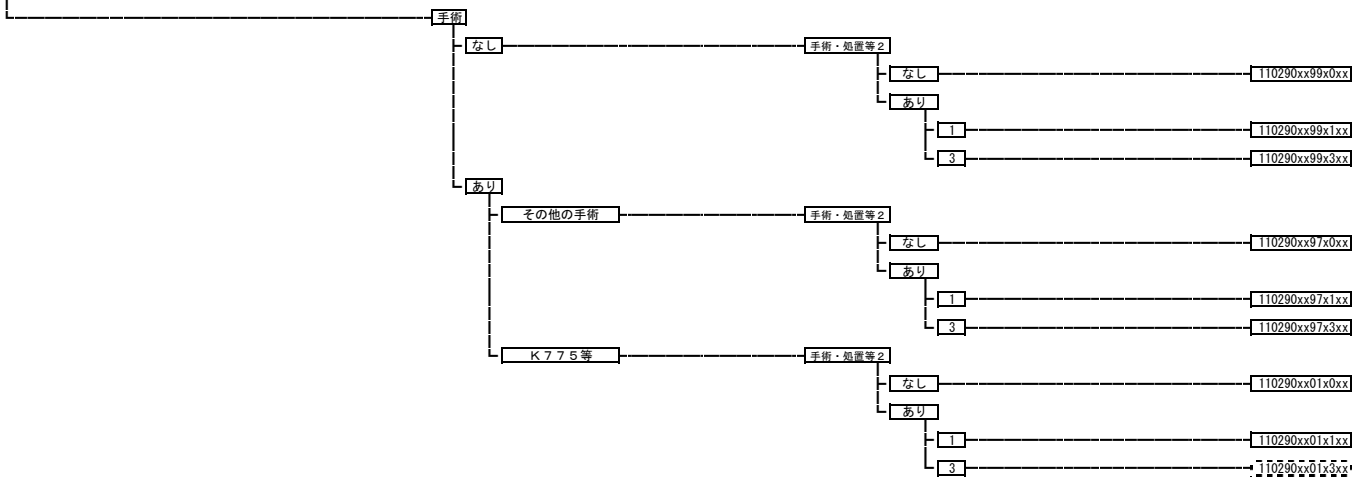
110275xxxxxxxxxx

110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全
---------------	-----------------------

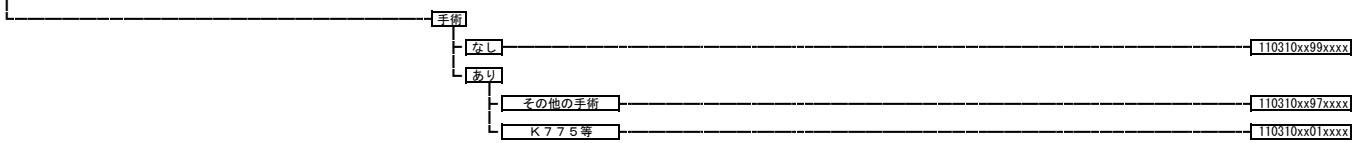




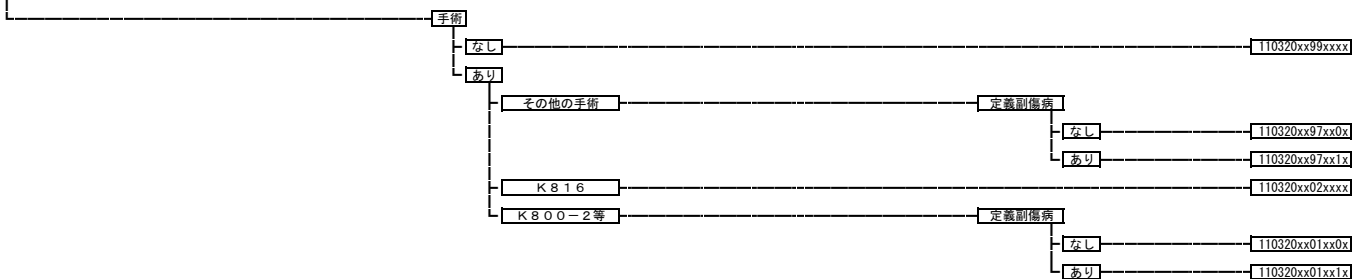
110290 急性腎不全

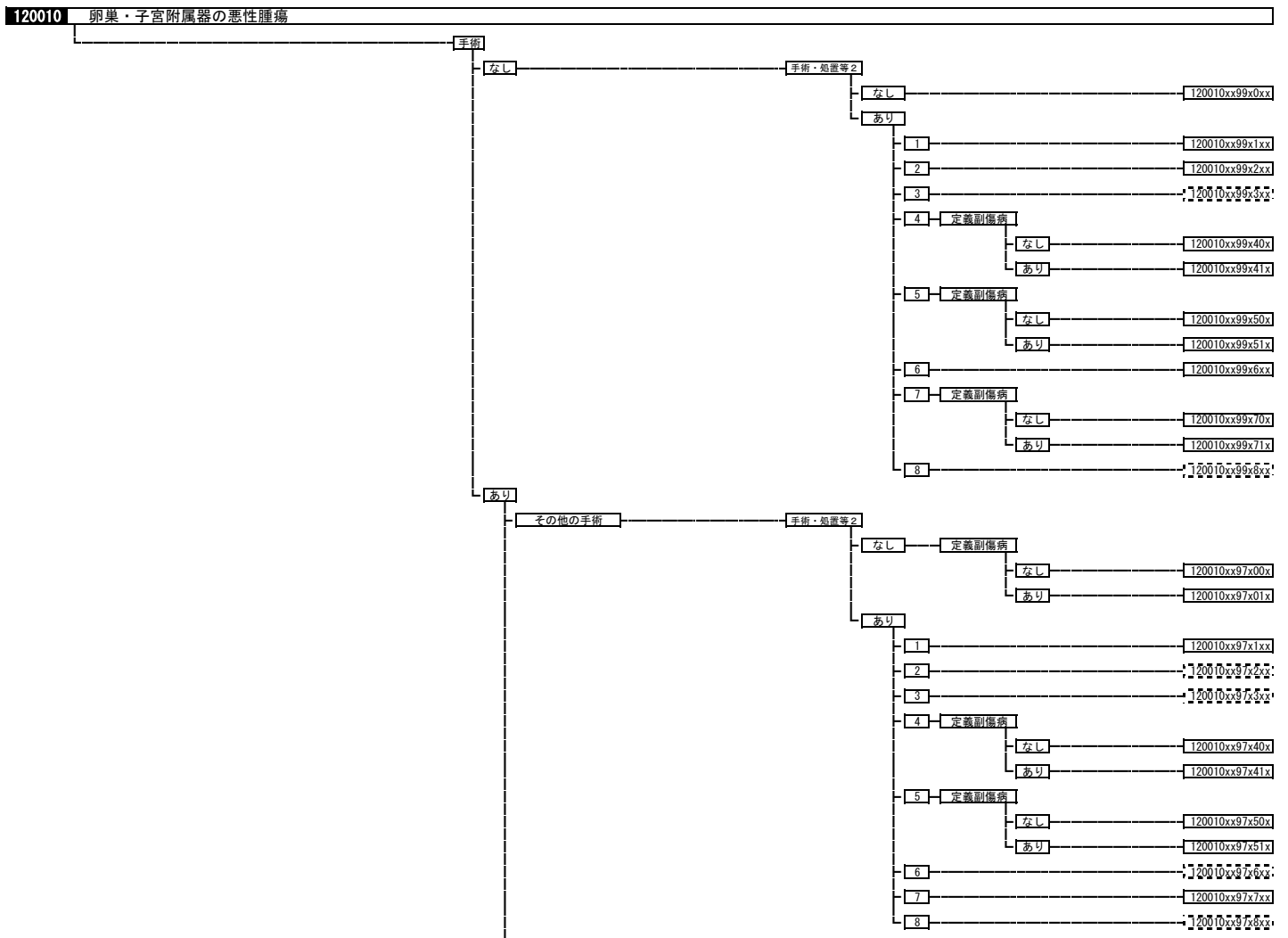
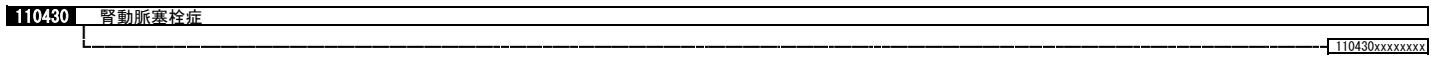
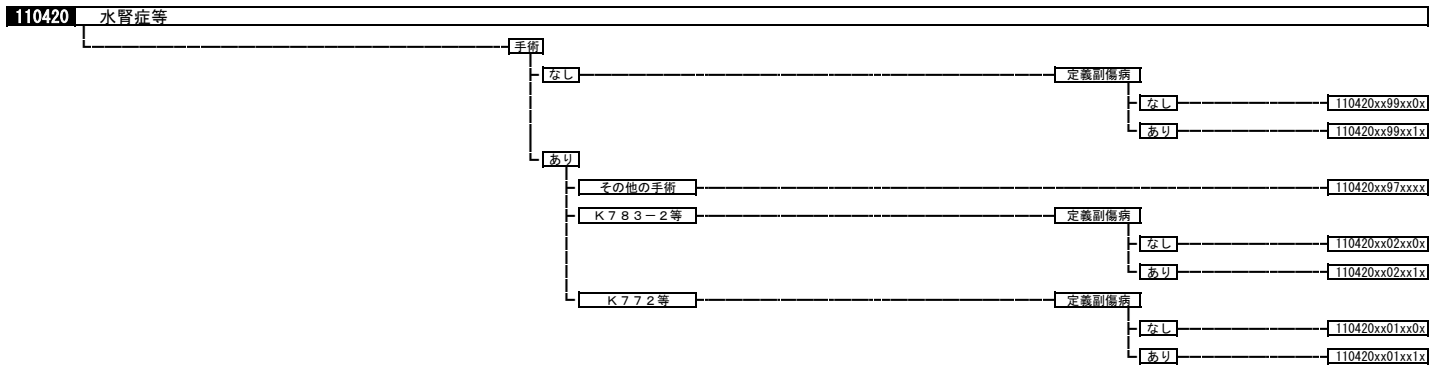


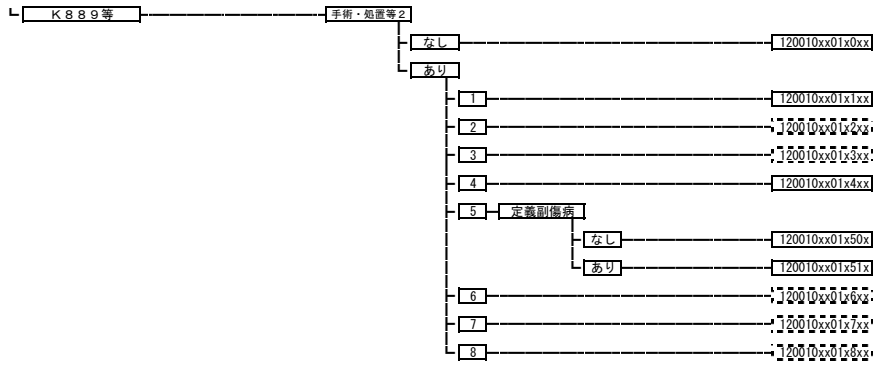
110310 腎臓又は尿路の感染症



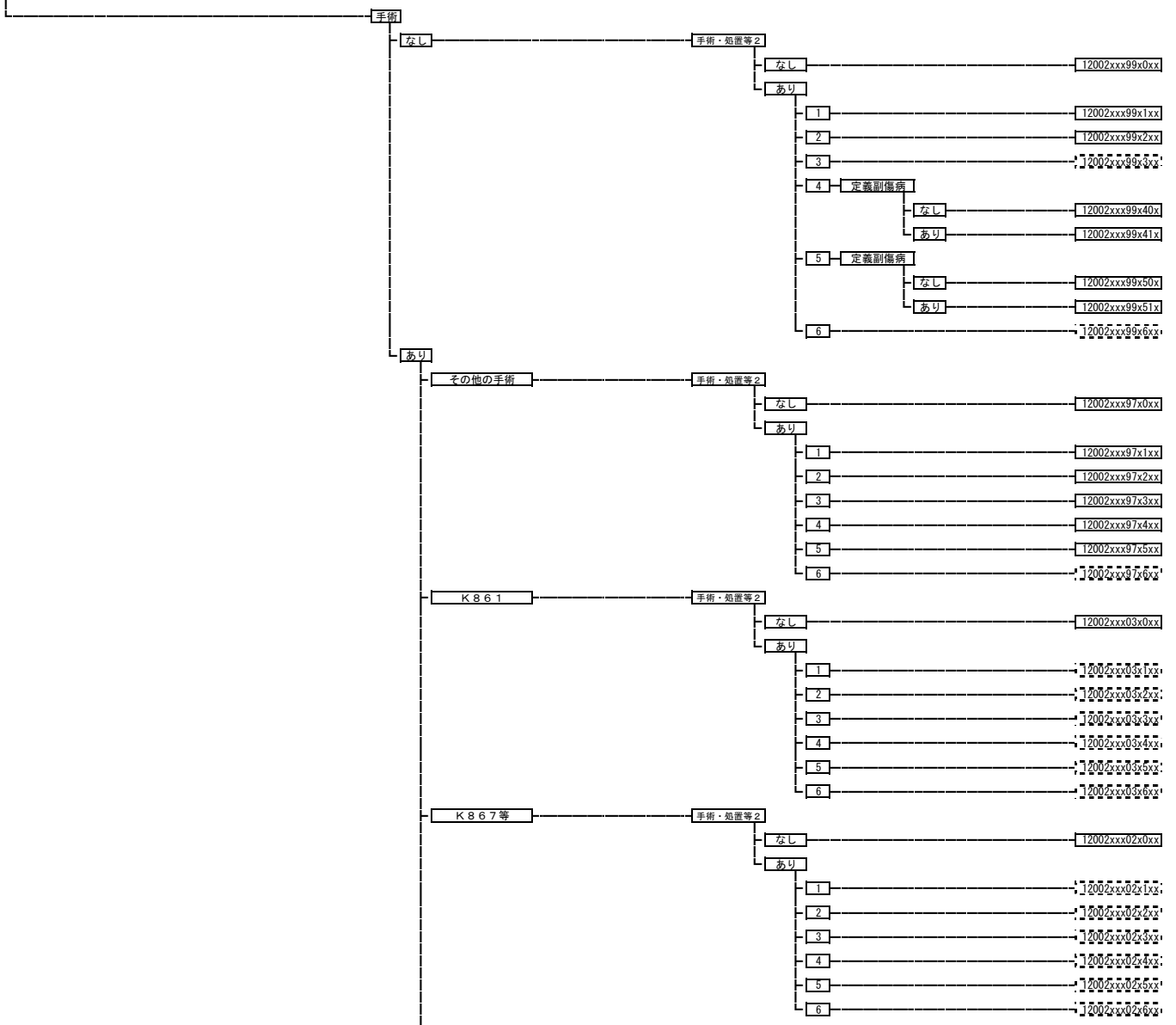
110320 腎、泌尿器の疾患（その他）

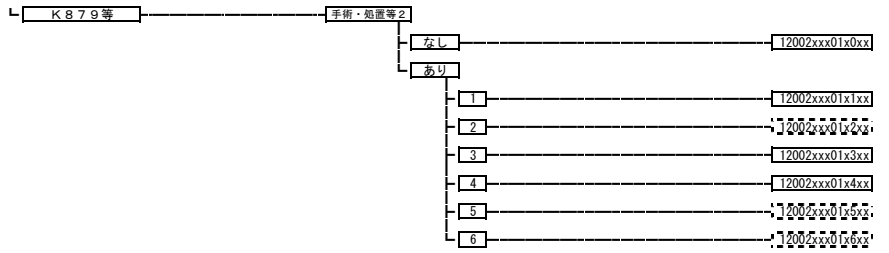




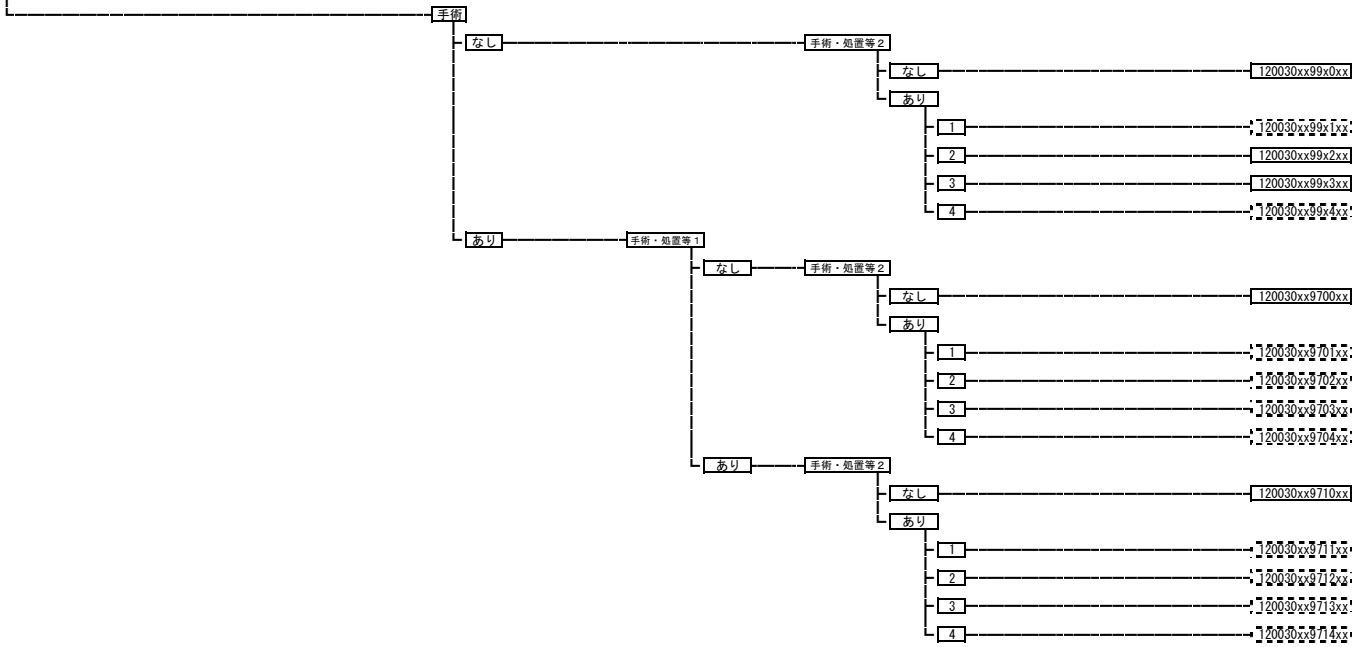


12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍
	120021 子宮頸部の悪性腫瘍
	120022 子宮体部の悪性腫瘍
	120023 子宮の悪性腫瘍（その他）

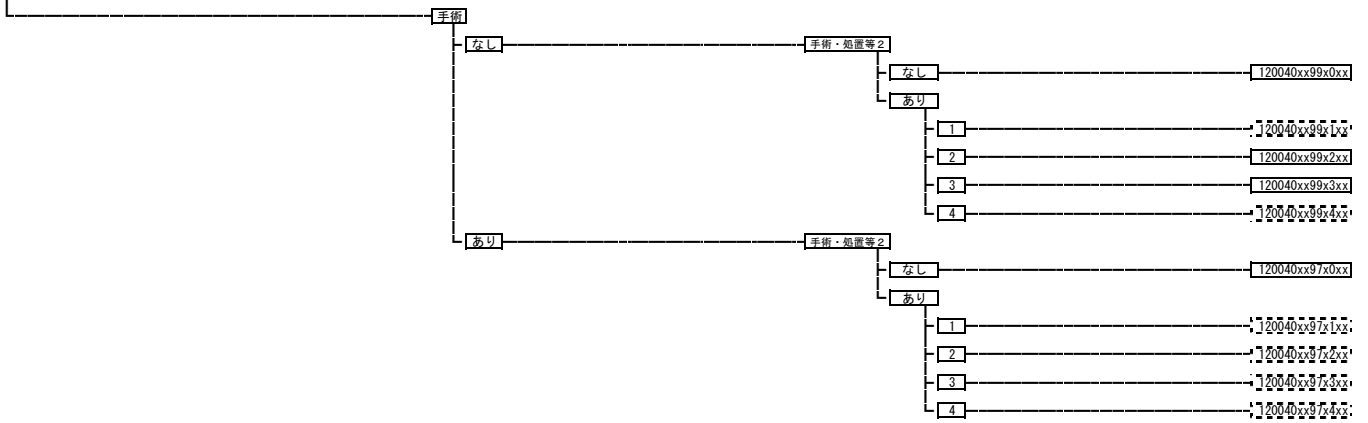


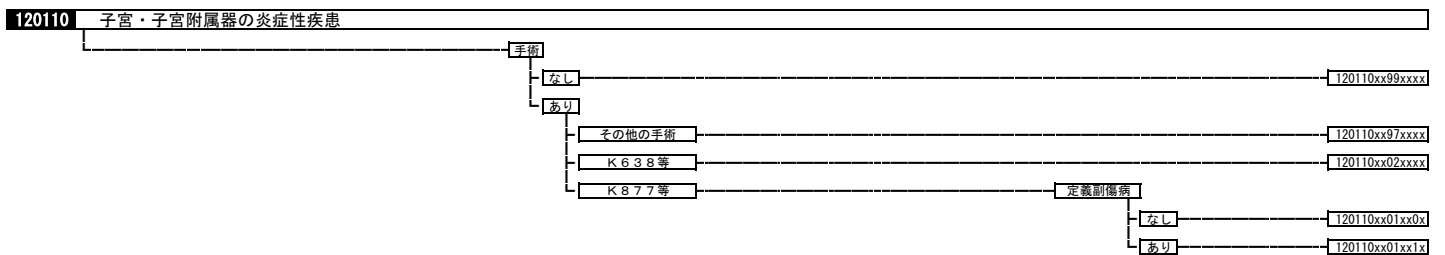
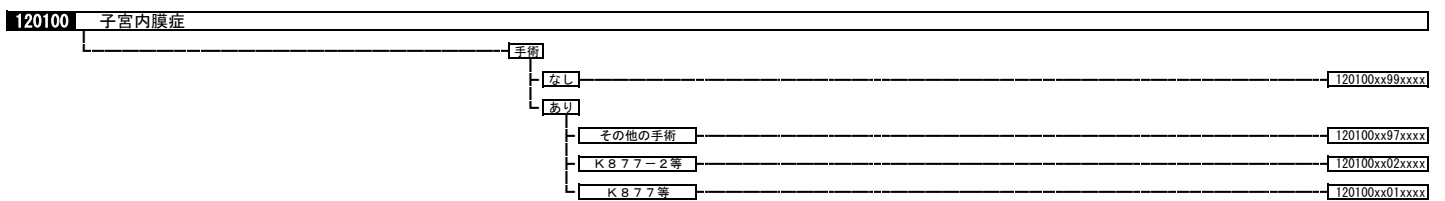
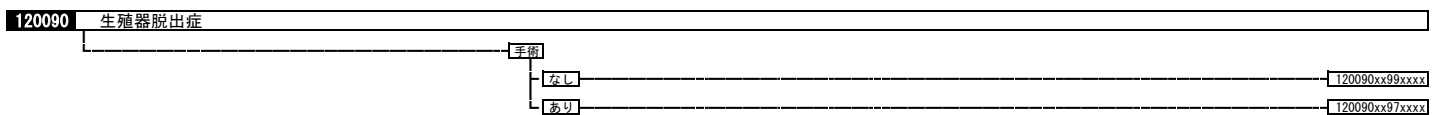
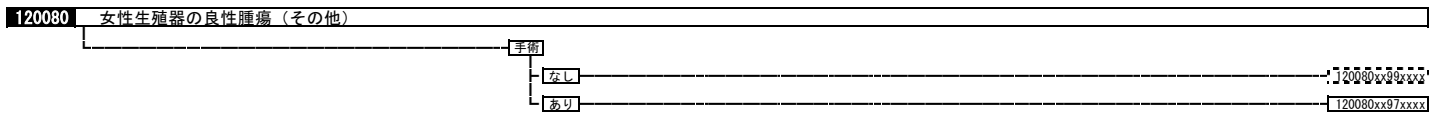
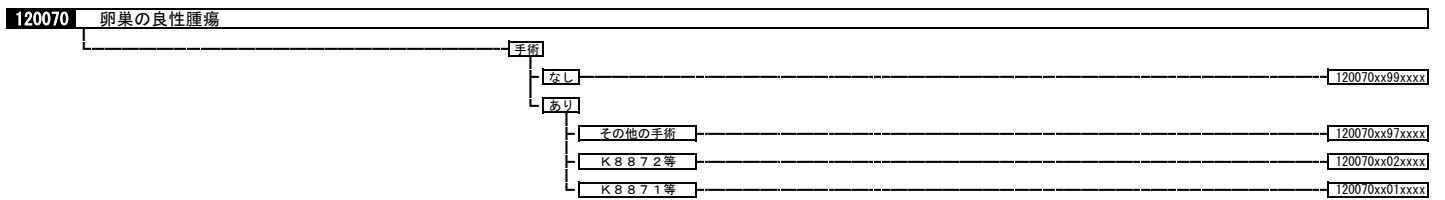
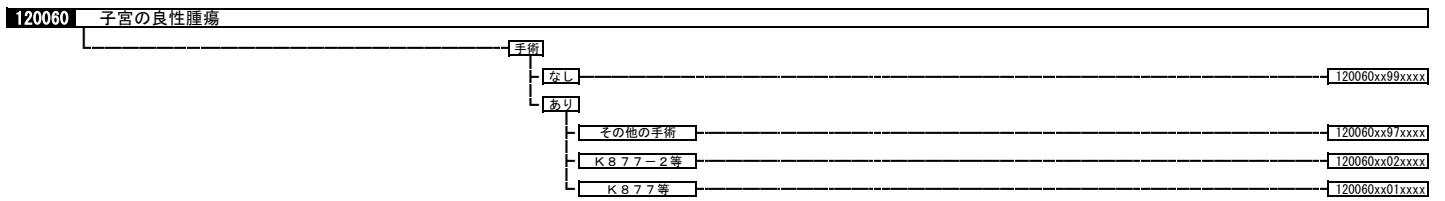
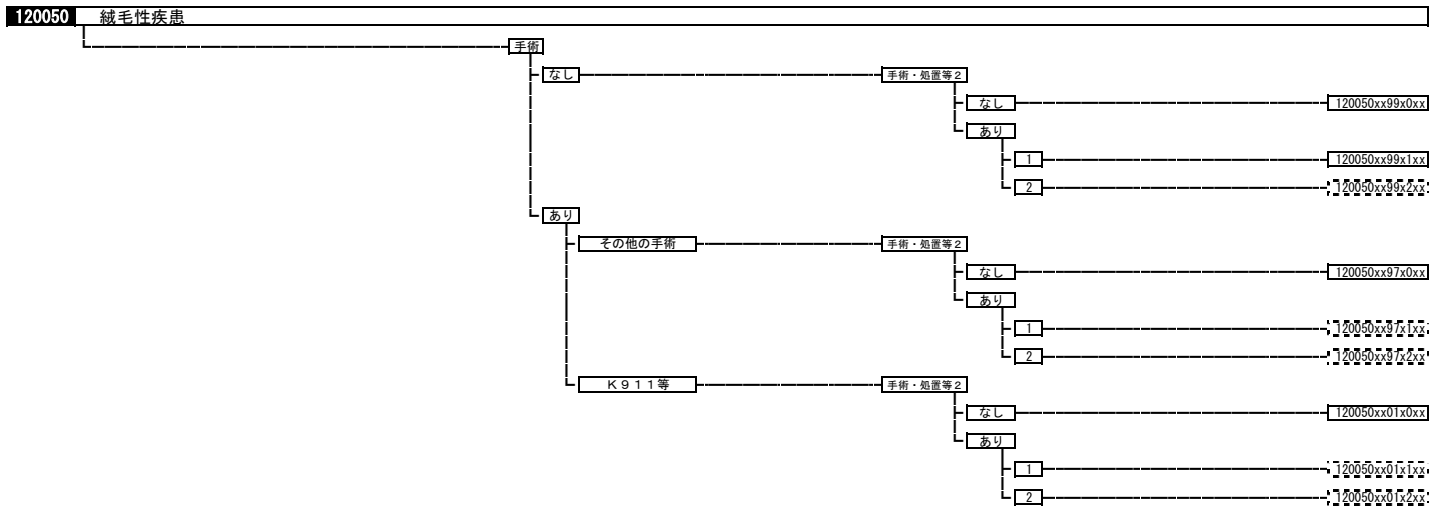


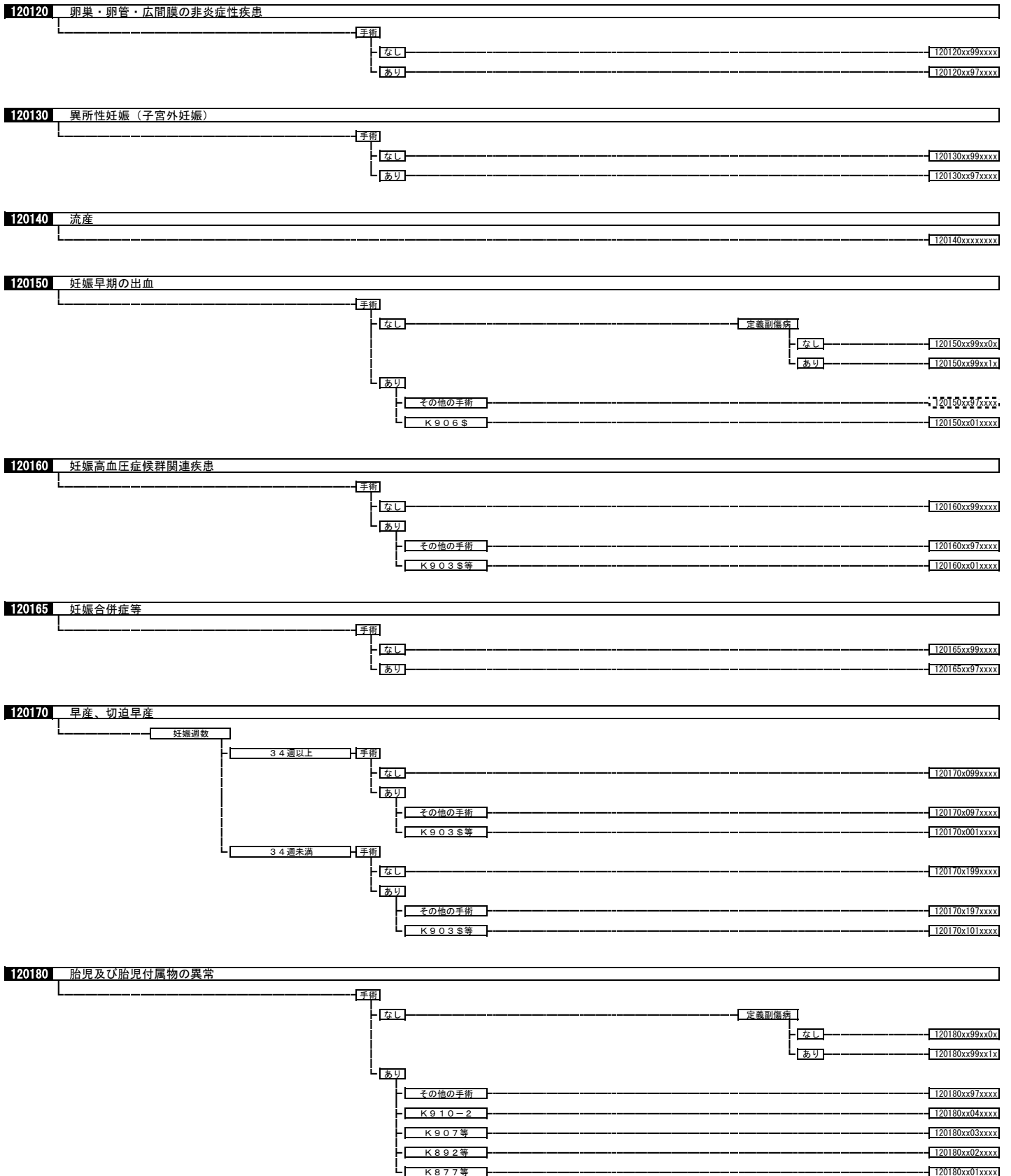
120030 外陰の悪性腫瘍

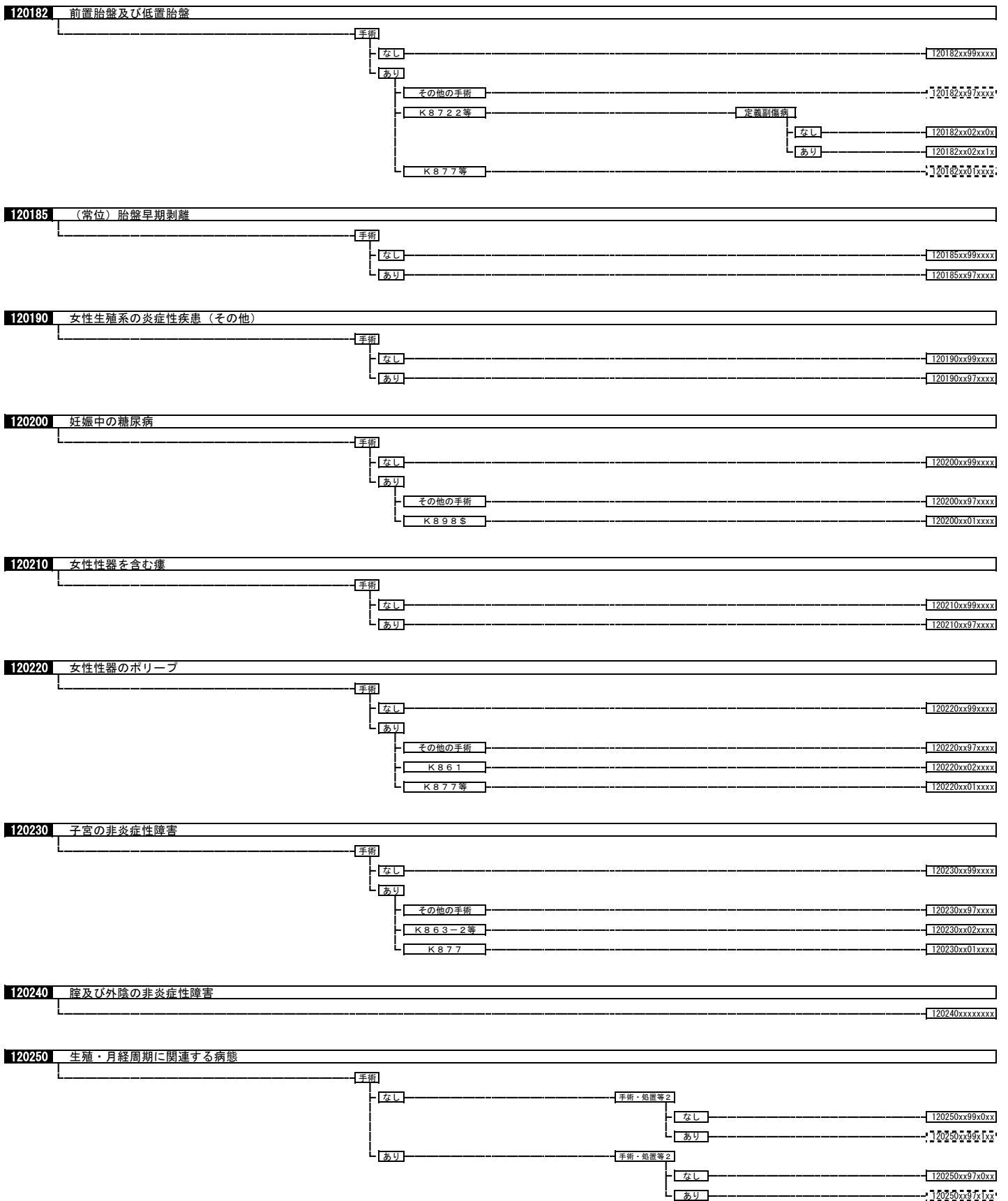


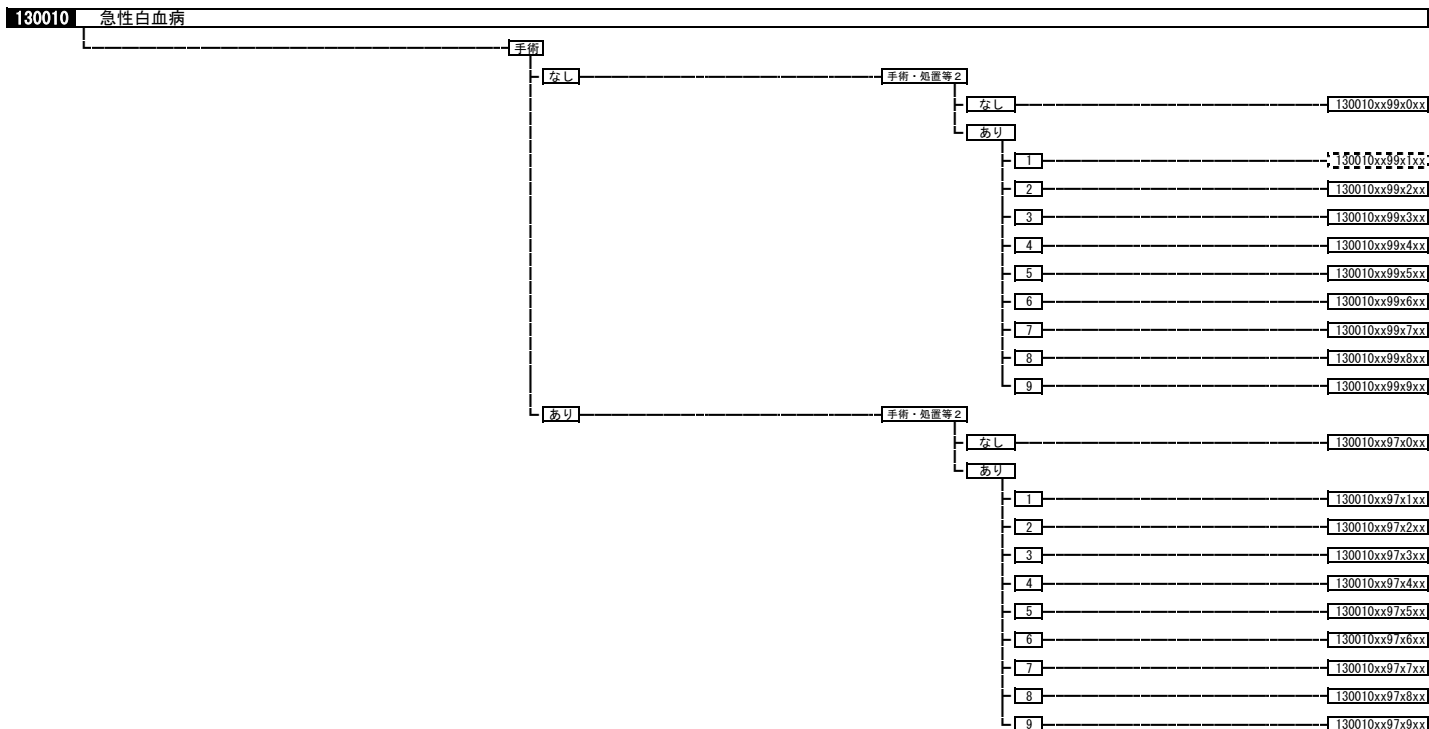
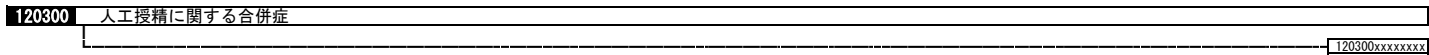
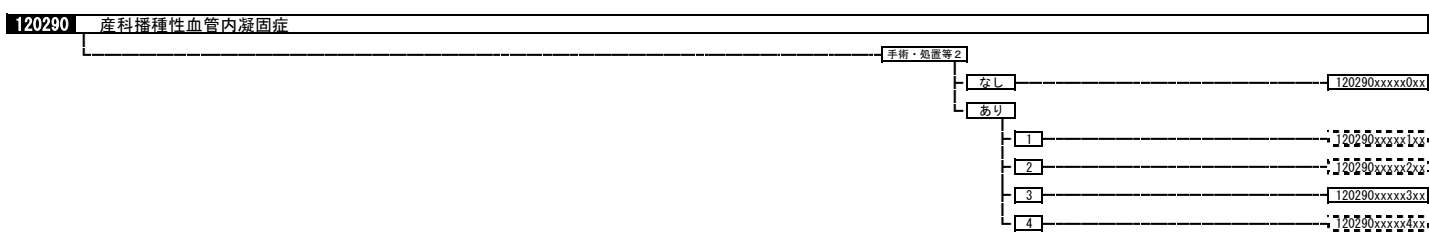
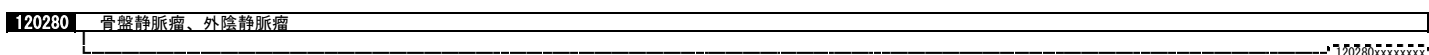
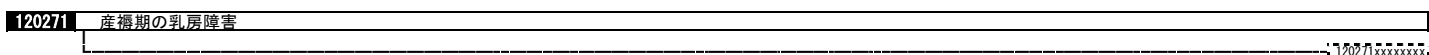
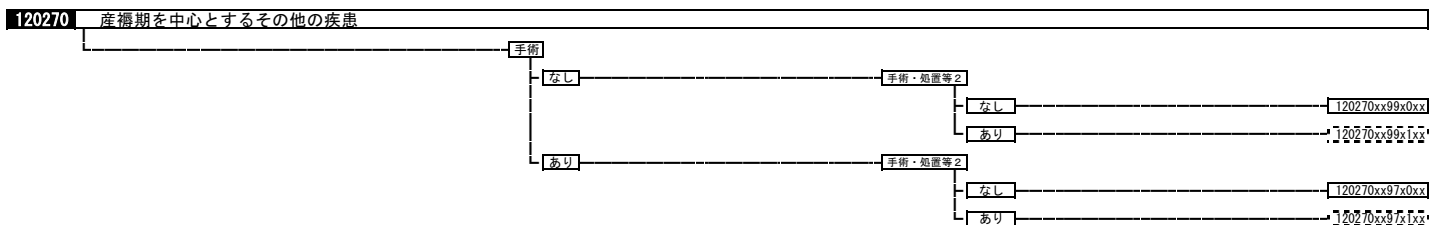
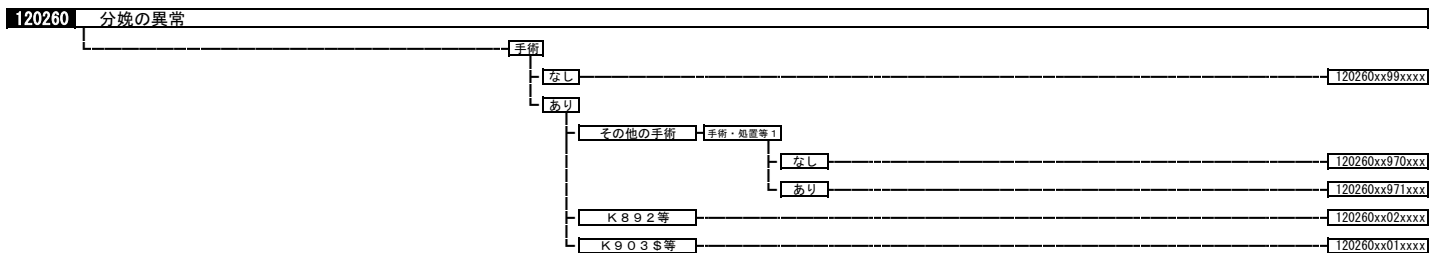
120040 腔の悪性腫瘍



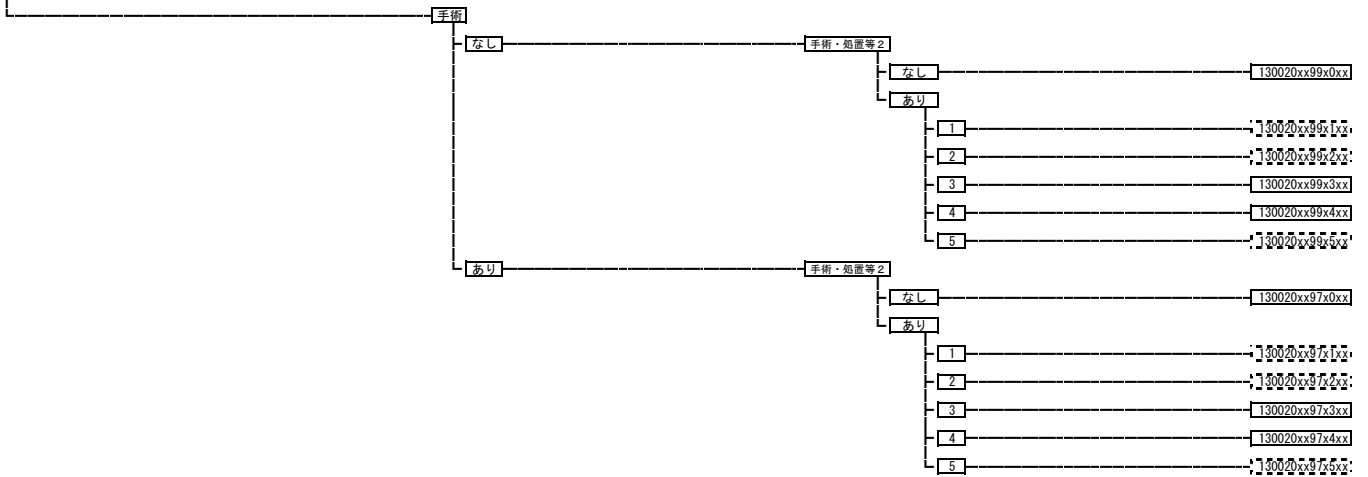




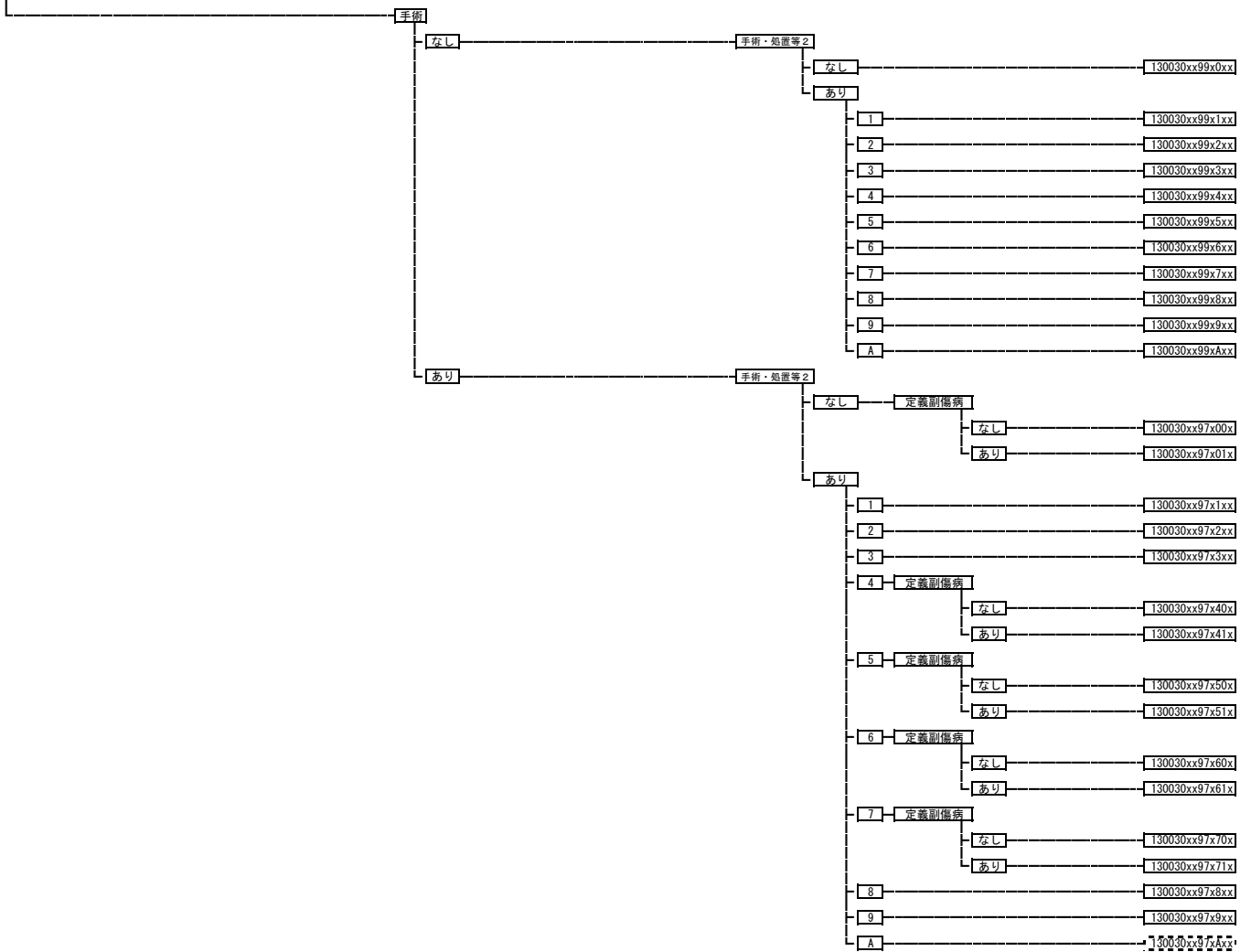




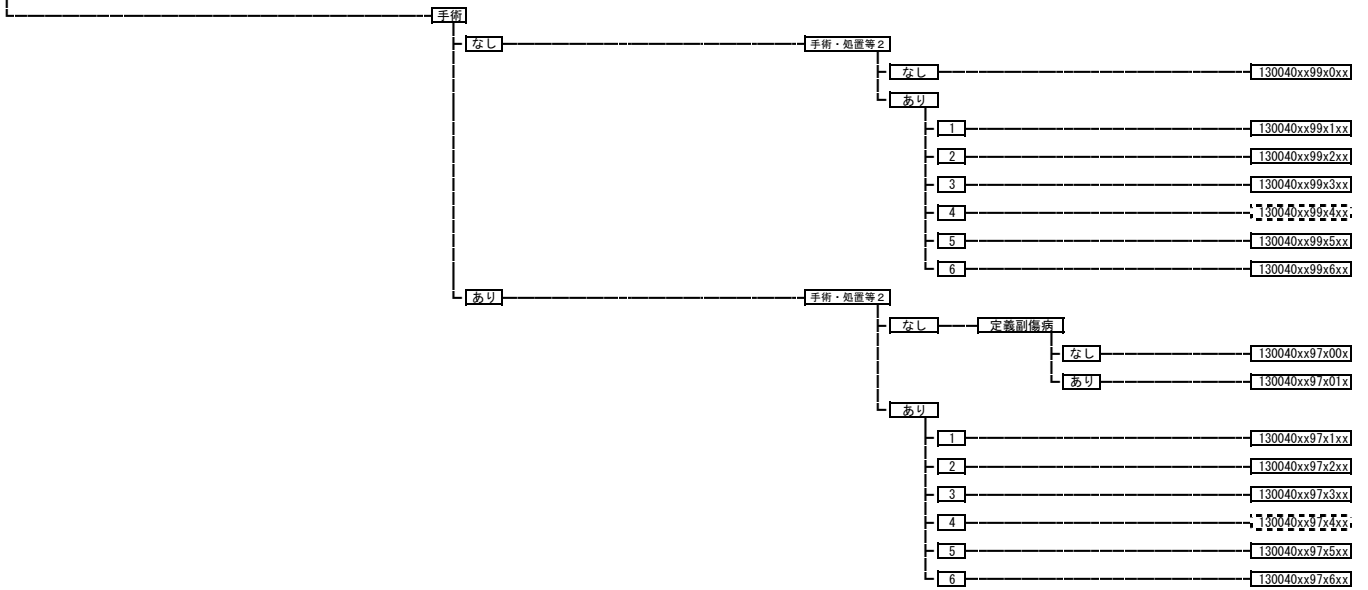
130020 ホジキン病



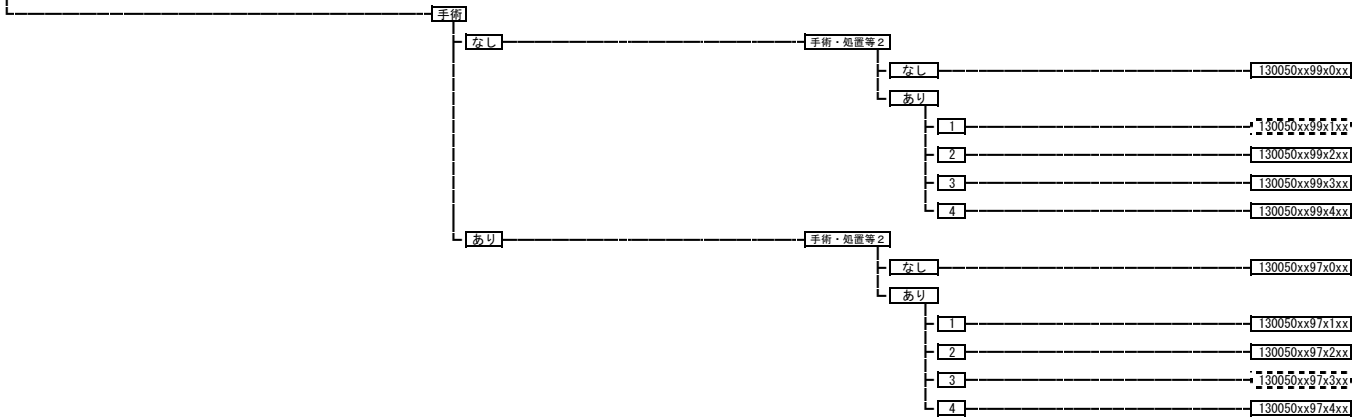
130030 非ホジキンリンパ腫



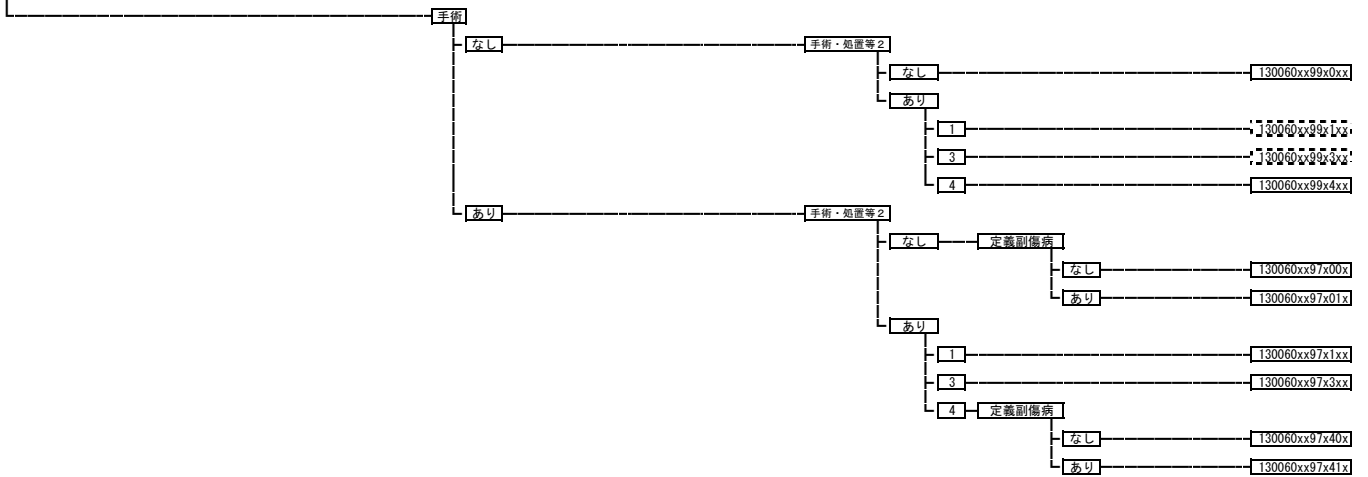
130040 多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物

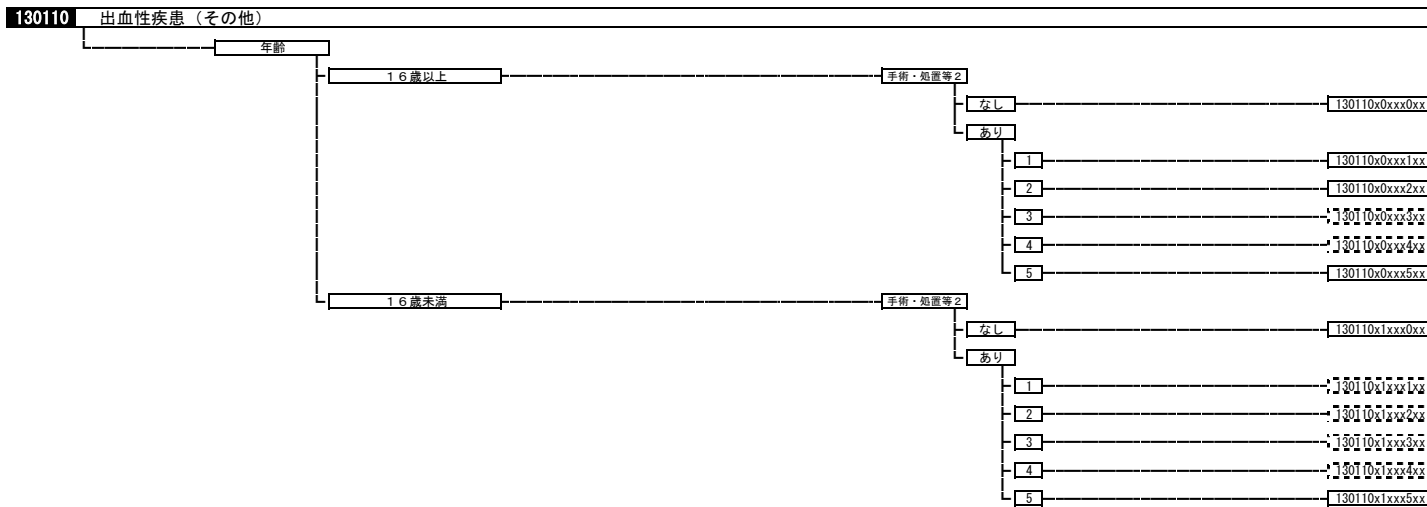
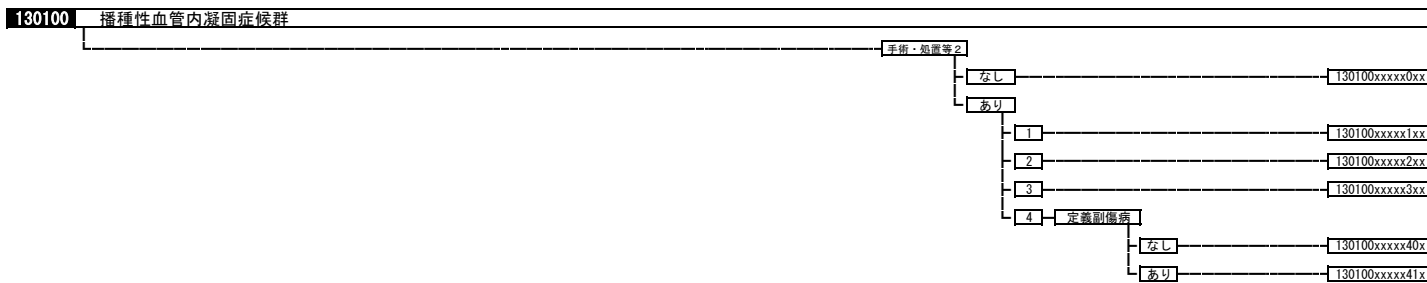
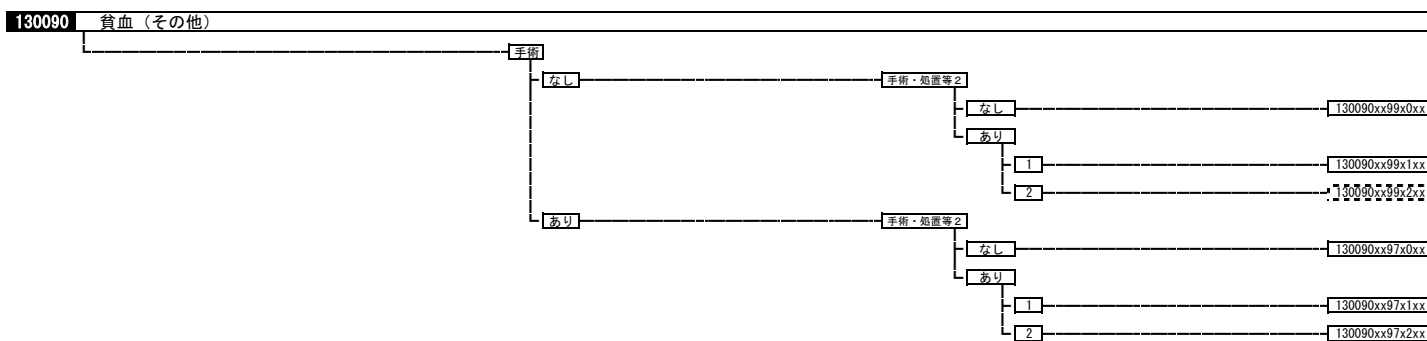
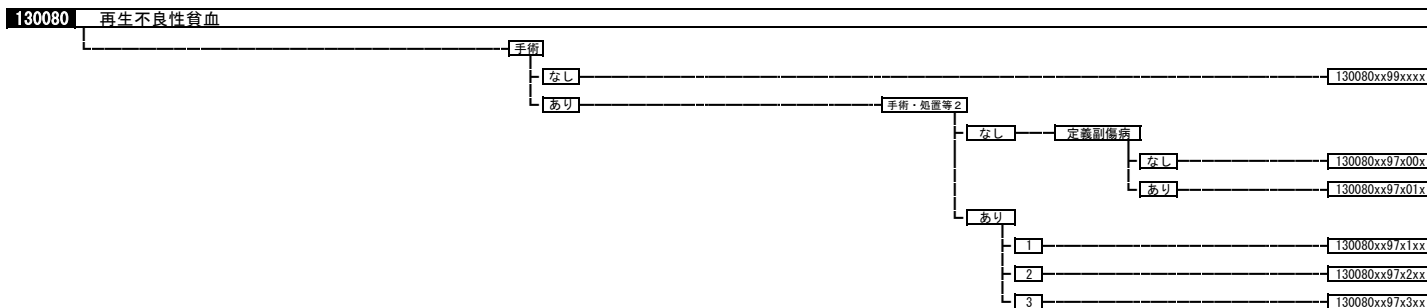
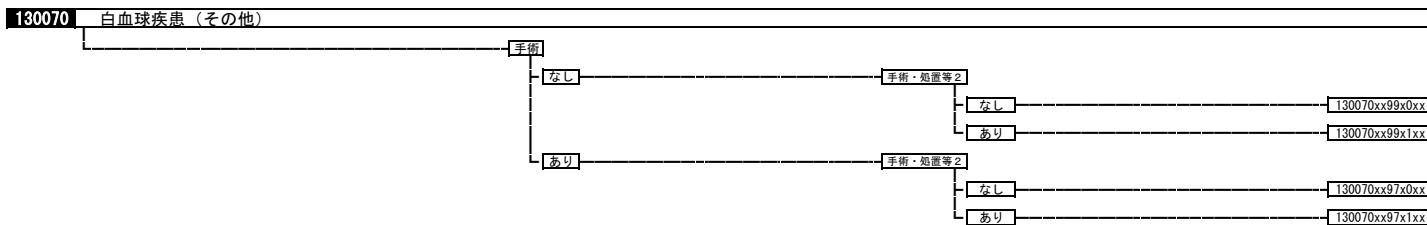


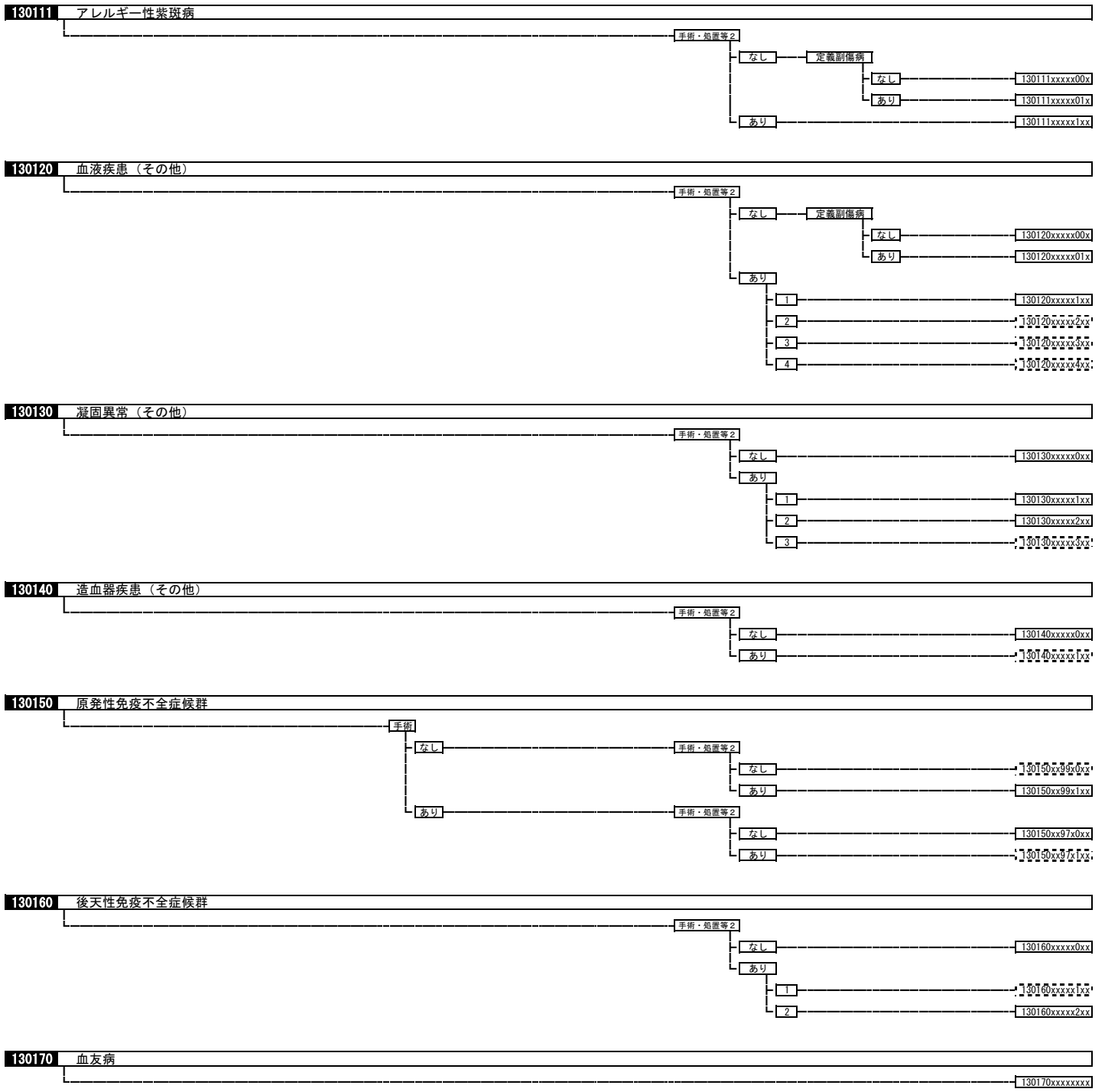
130050 骨髄増殖性腫瘍



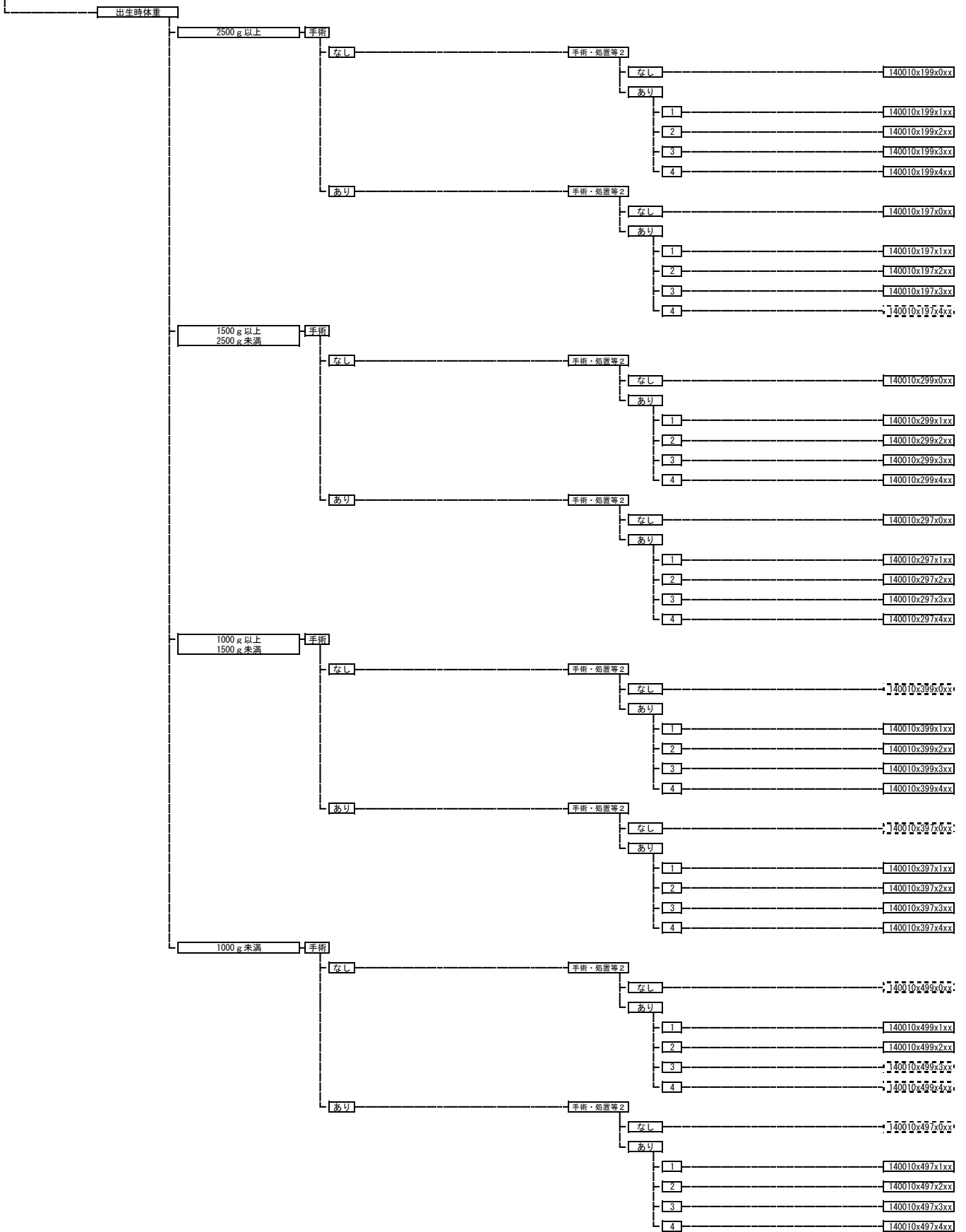
130060 骨髄異形成症候群

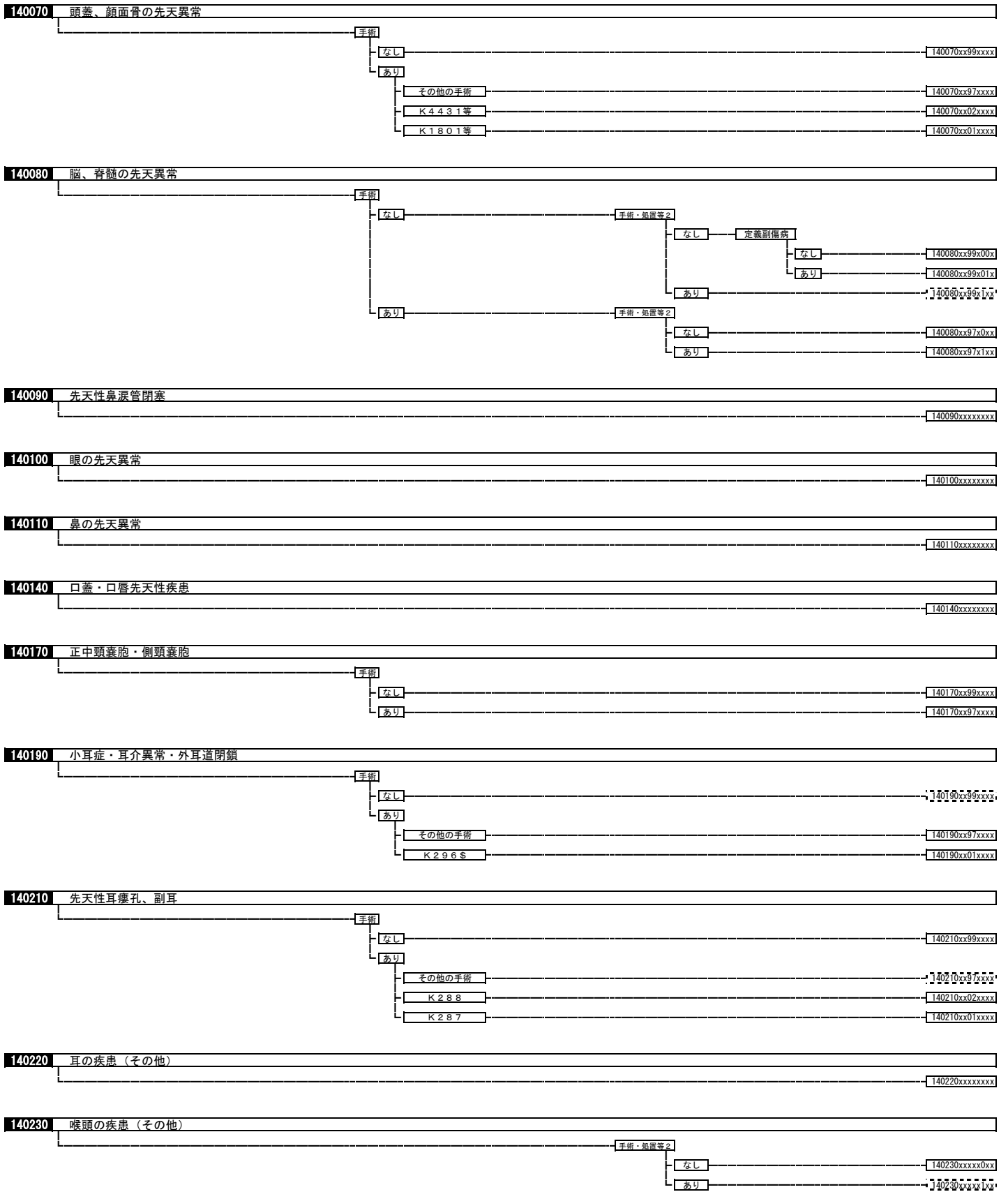


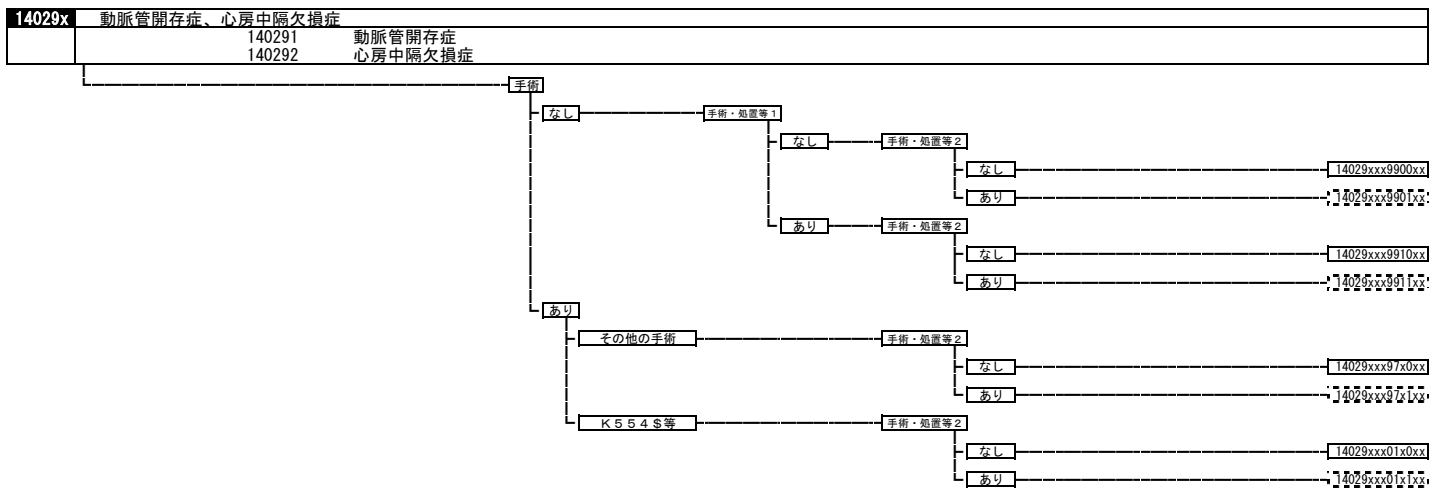
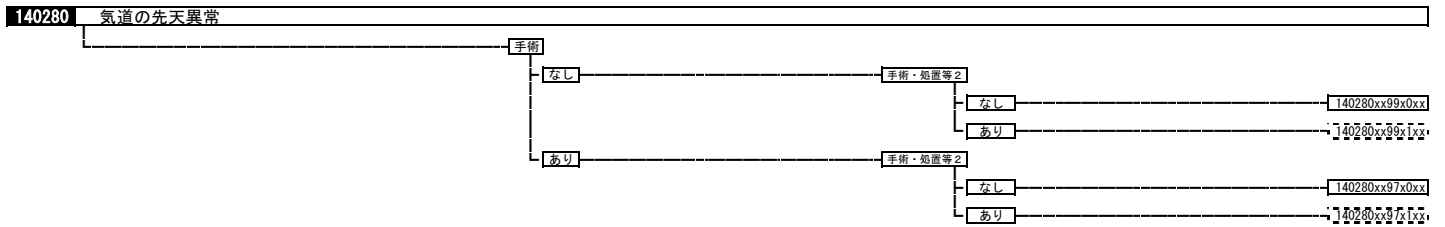
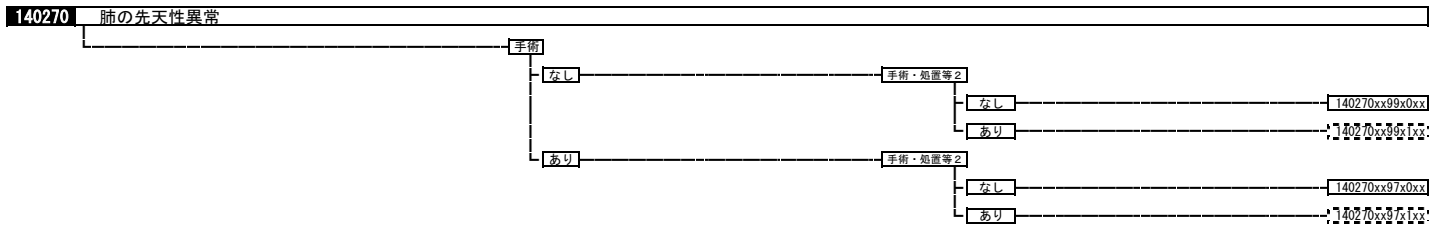
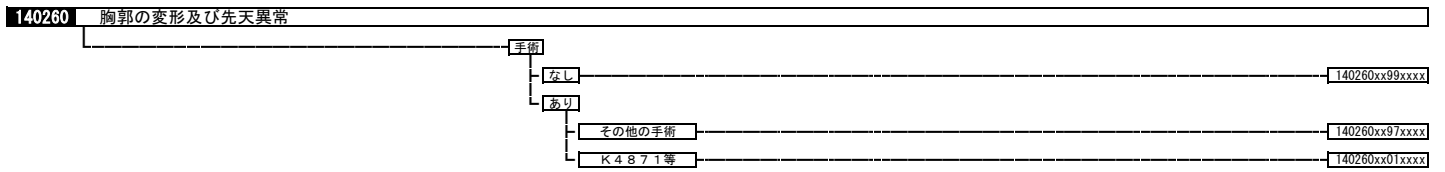
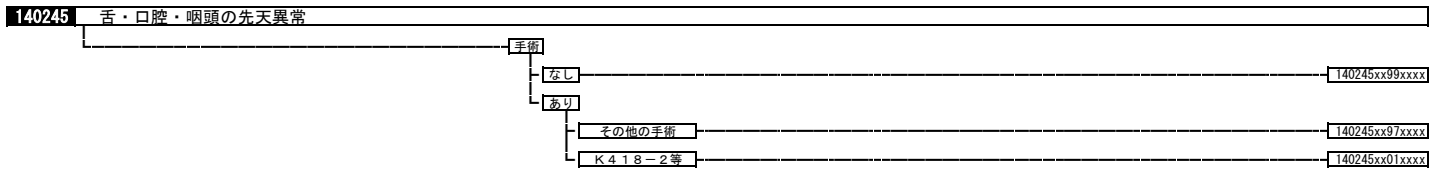




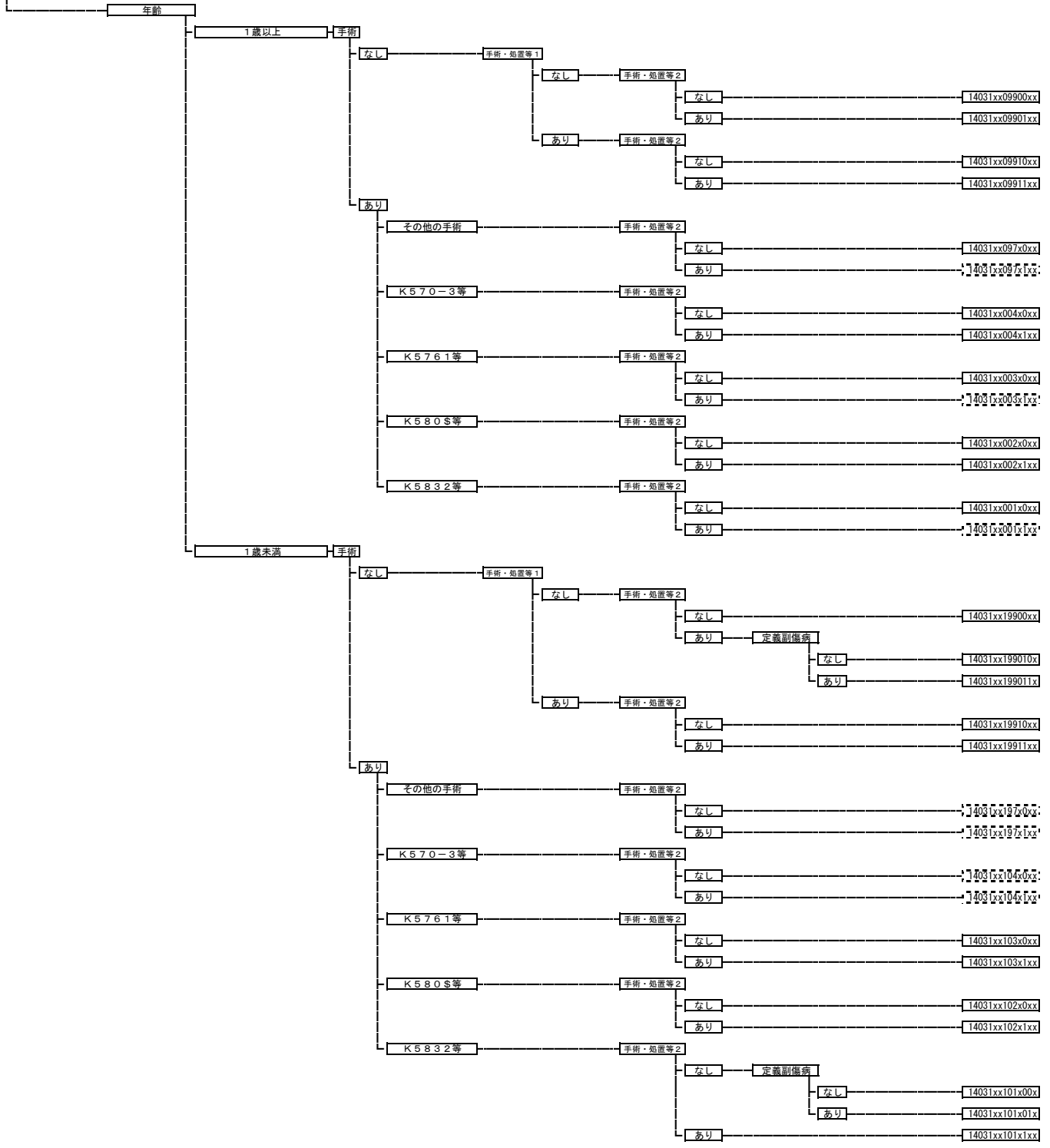
140010 妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害

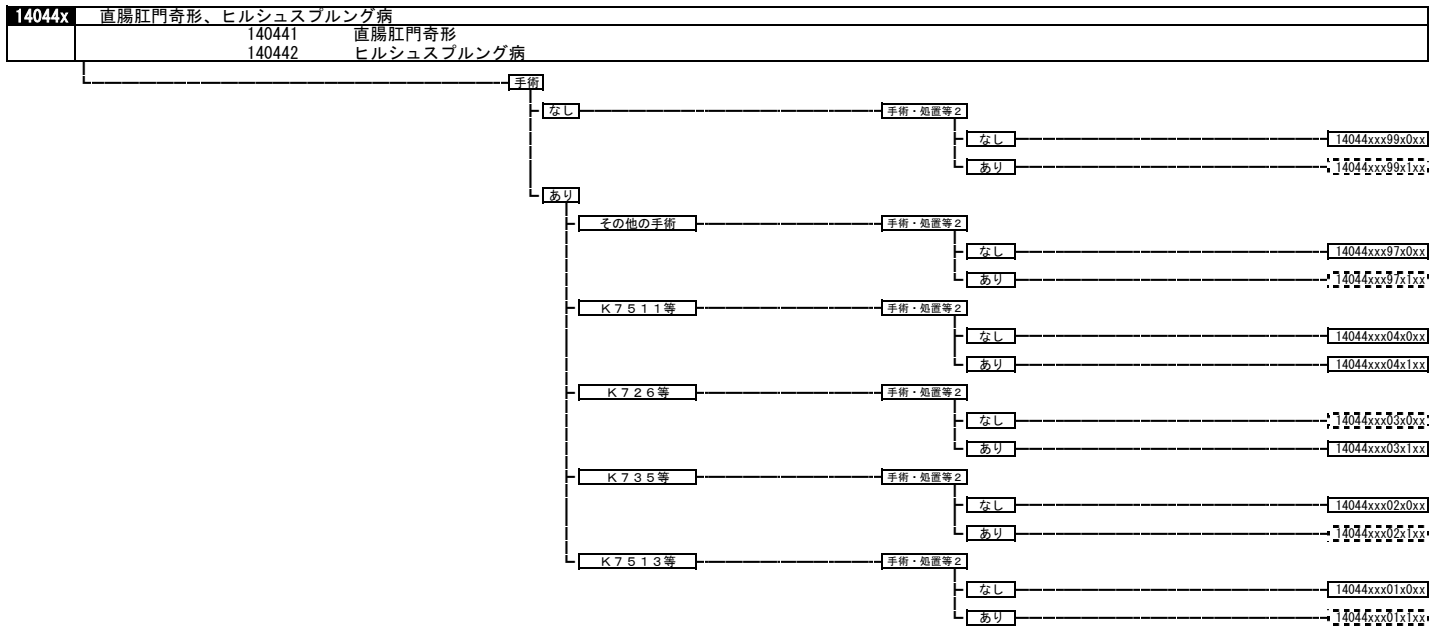
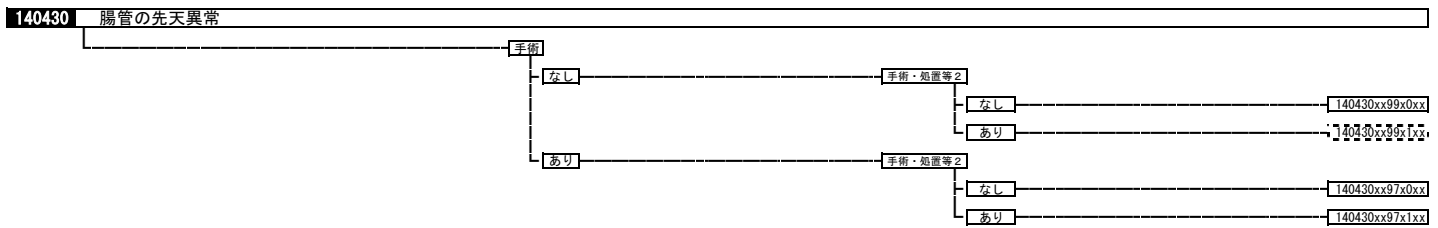
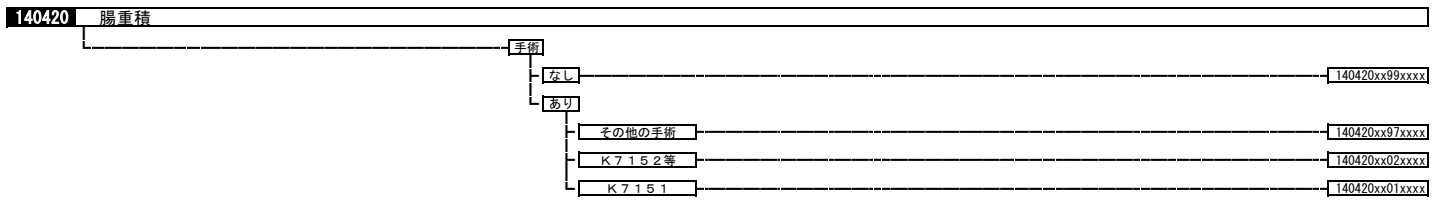
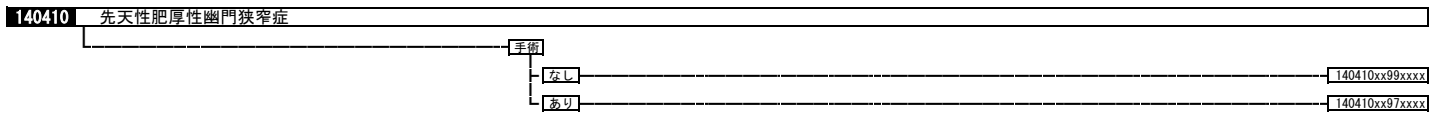
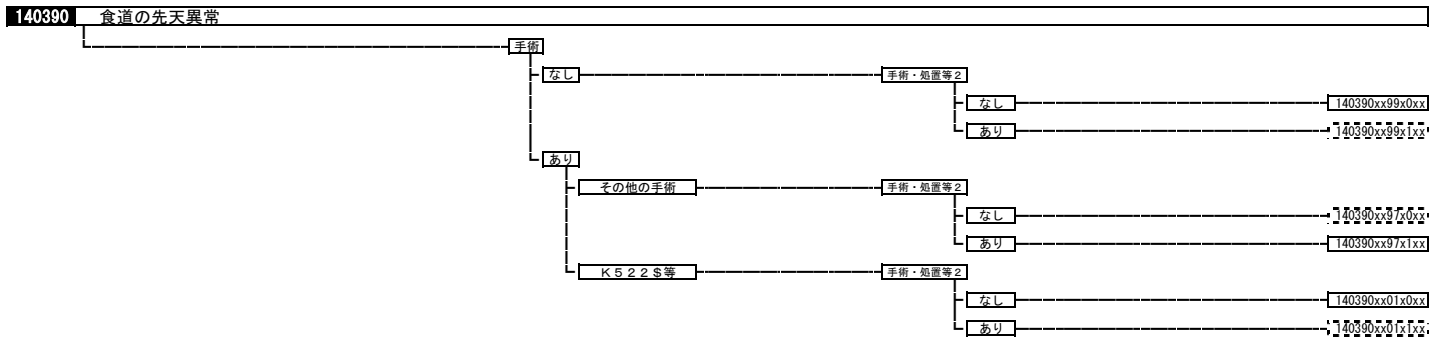


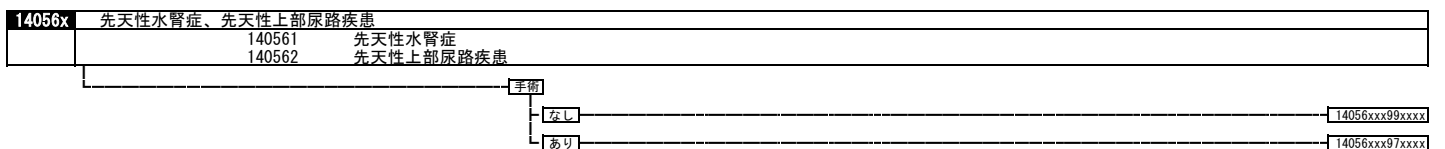
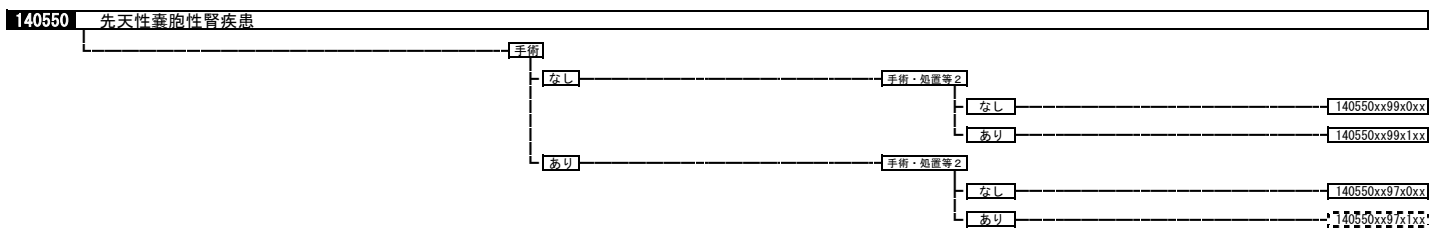
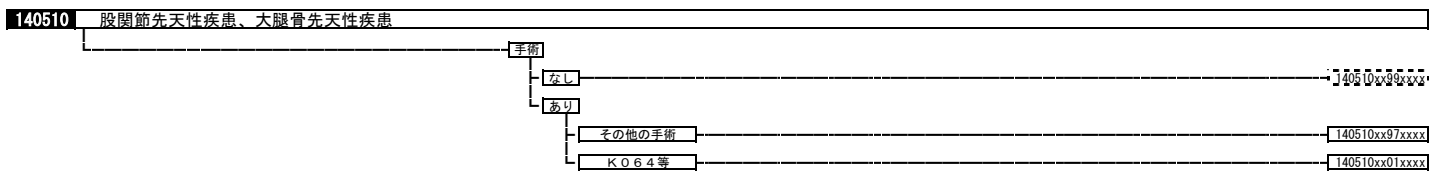
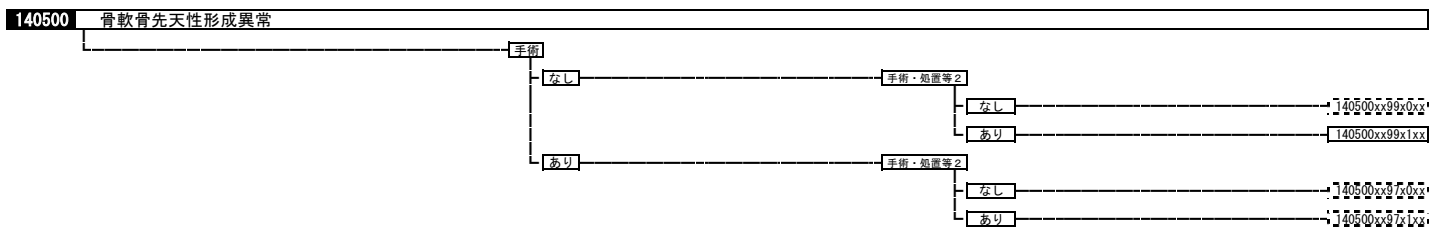
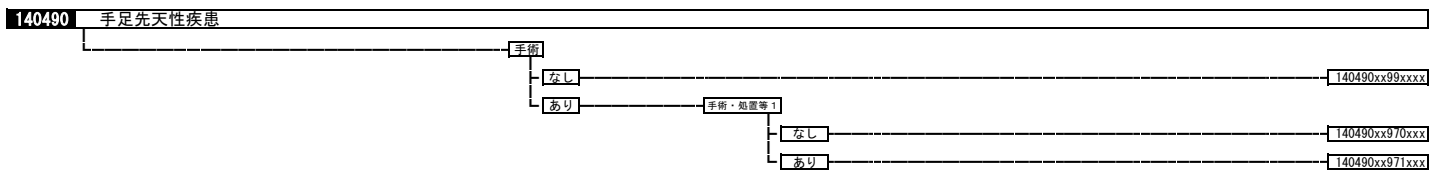
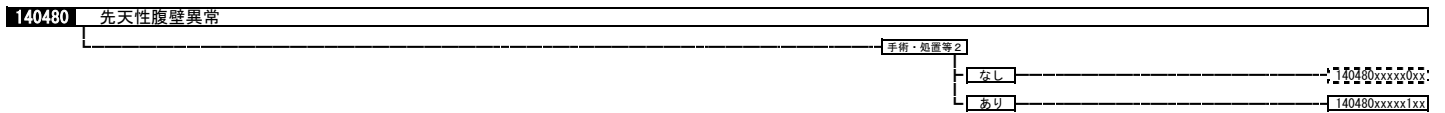
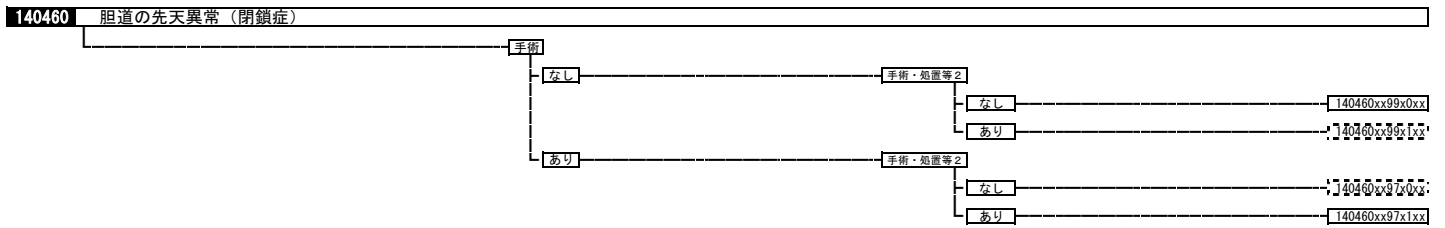
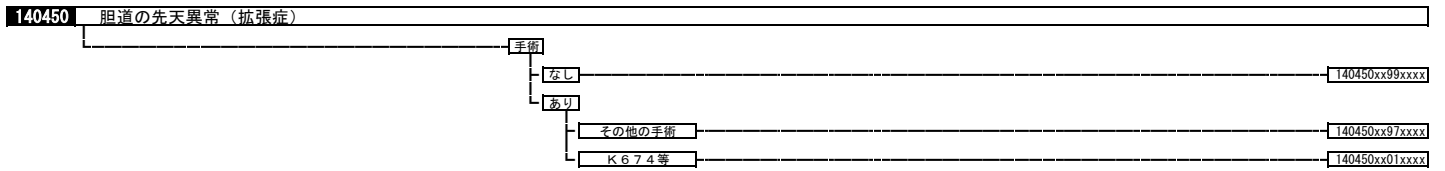


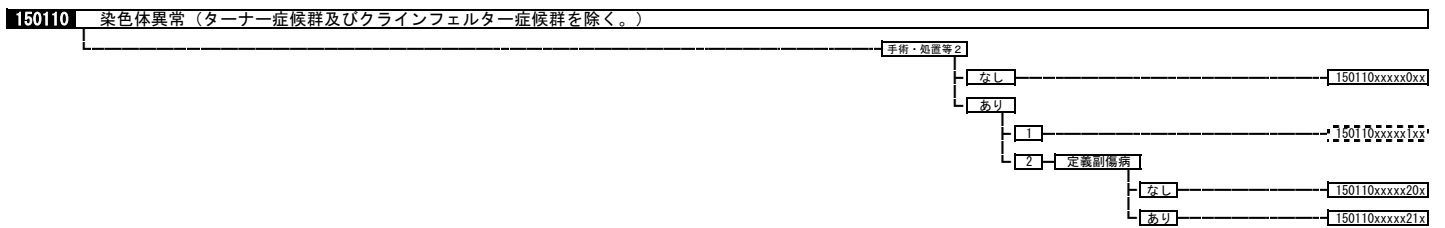
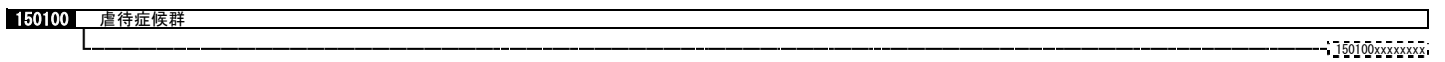
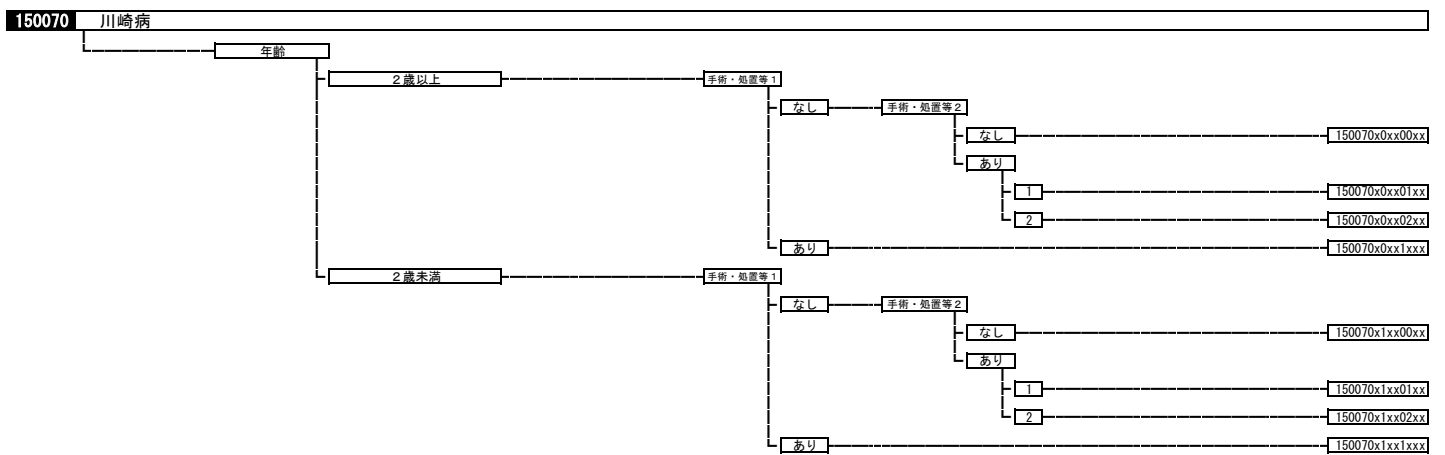
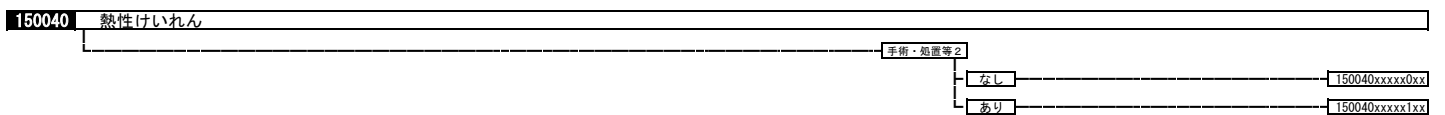
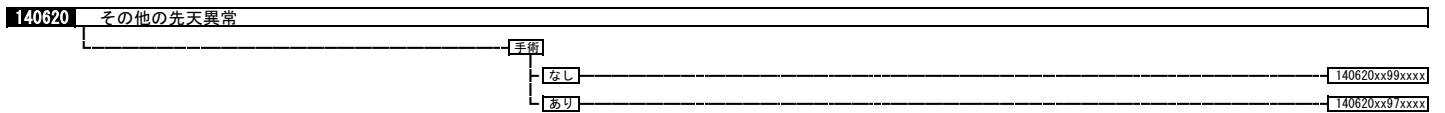
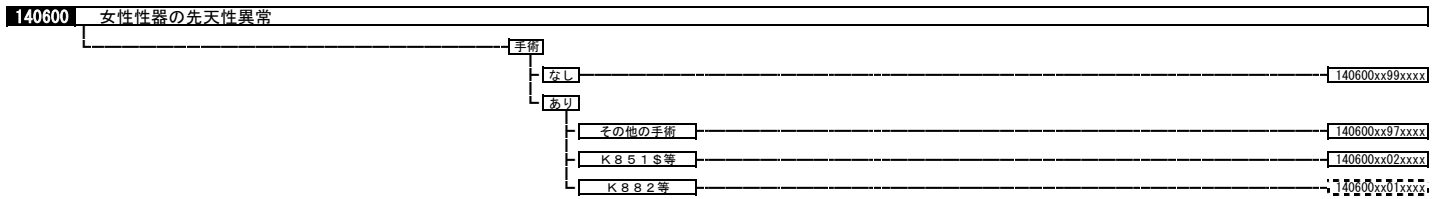
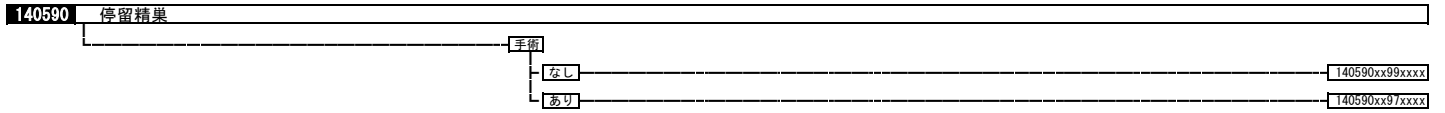
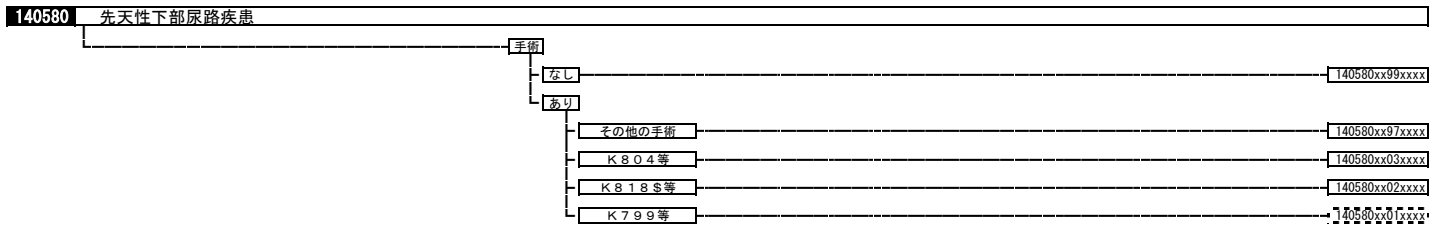


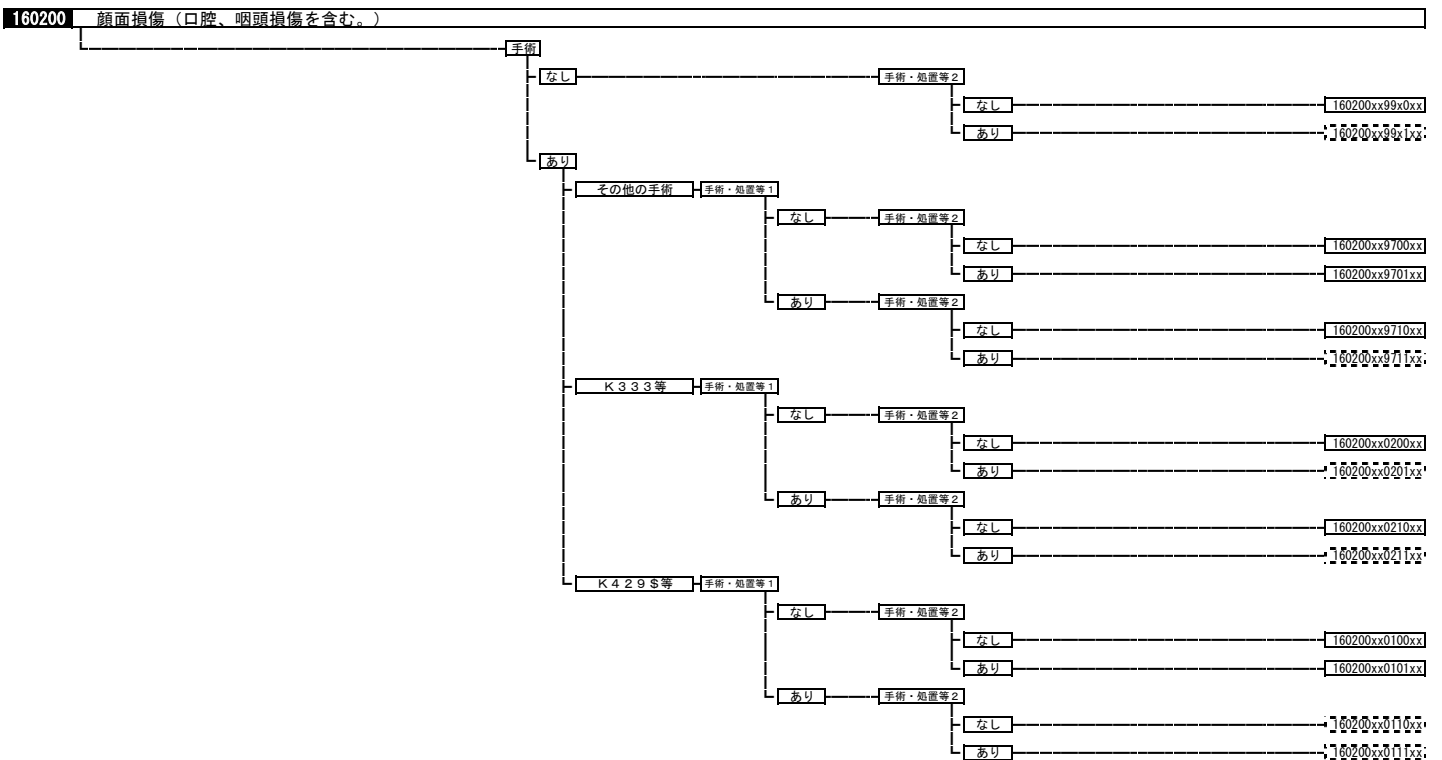
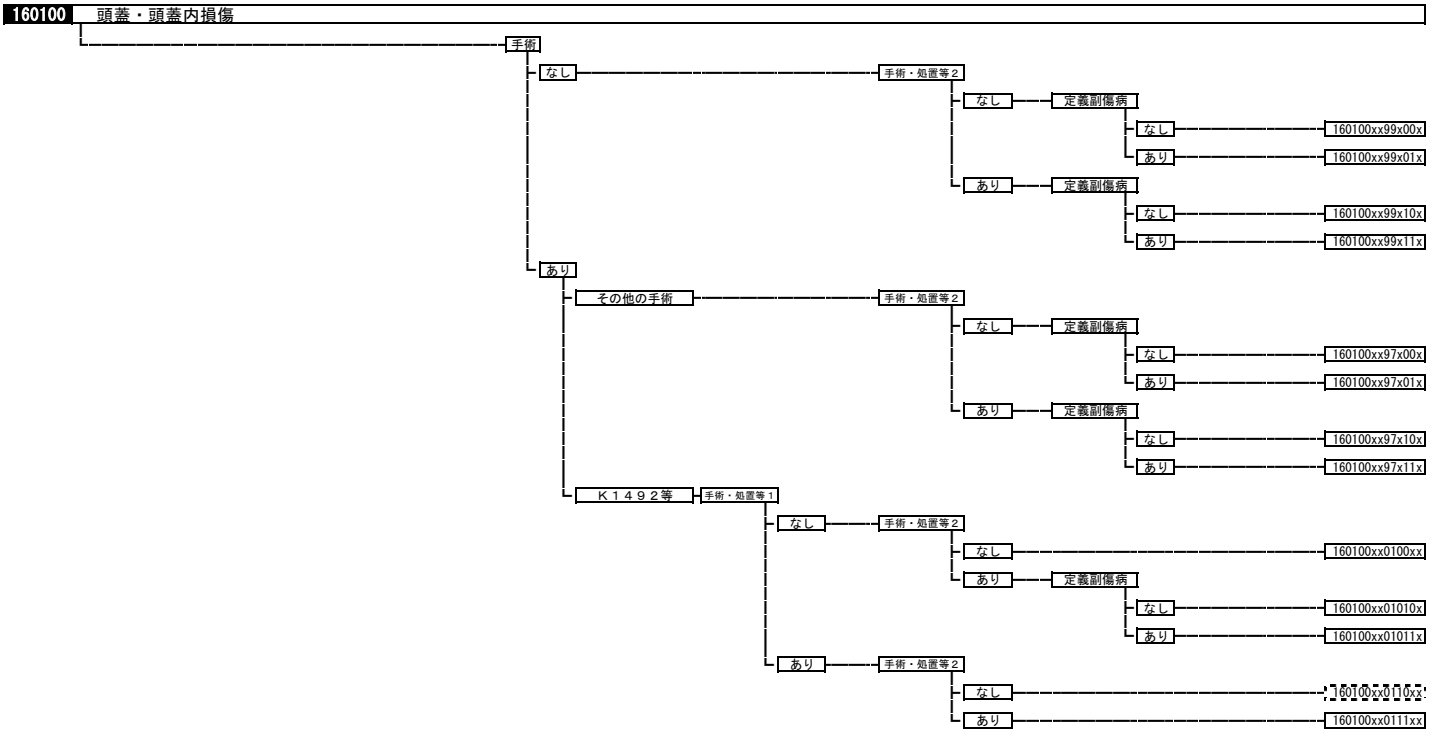
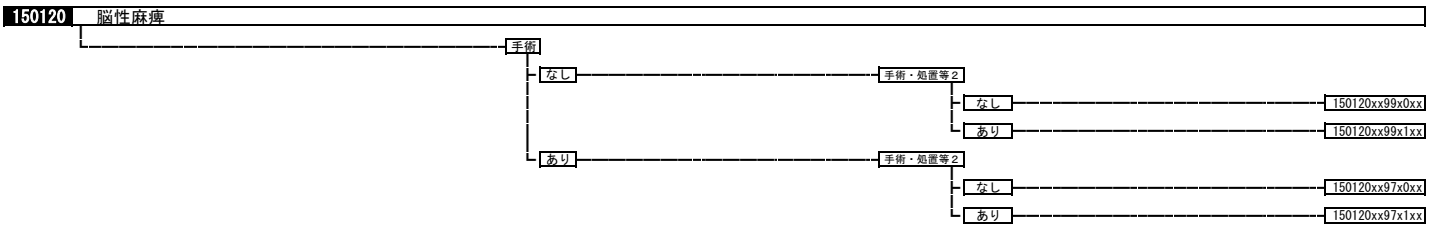
14031x	先天性心疾患（動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く。）
140311	心室中隔欠損症
140312	房室中隔欠損症
140313	その他の左右短絡性心奇形
140314	非短絡性心奇形
140315	ファロー四徴症
140316	新生児乳児の先天性心奇形
140317	その他の複雑心奇形
140318	その他の循環器系の先天性奇形

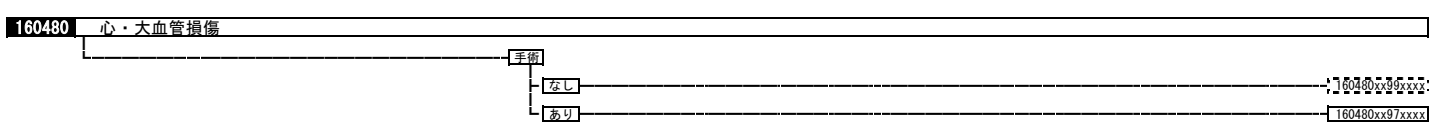
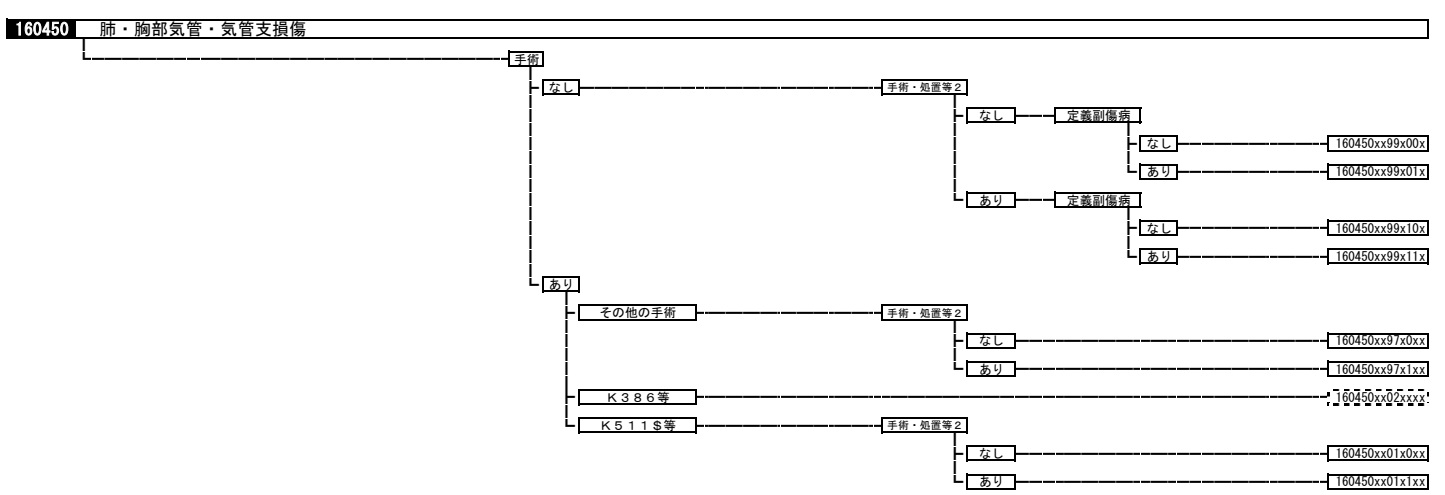
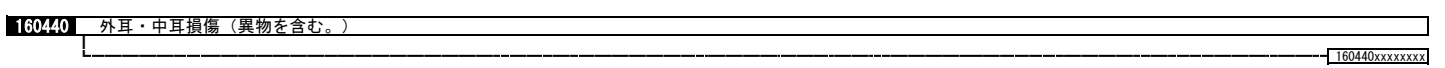
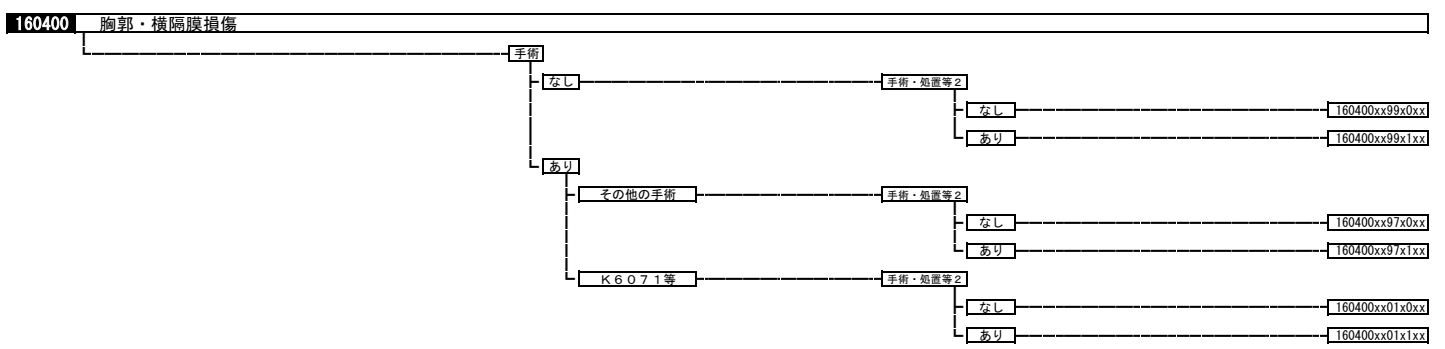
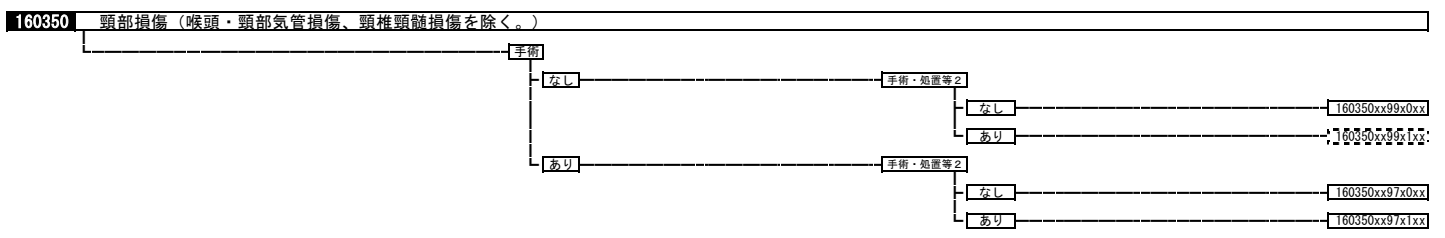
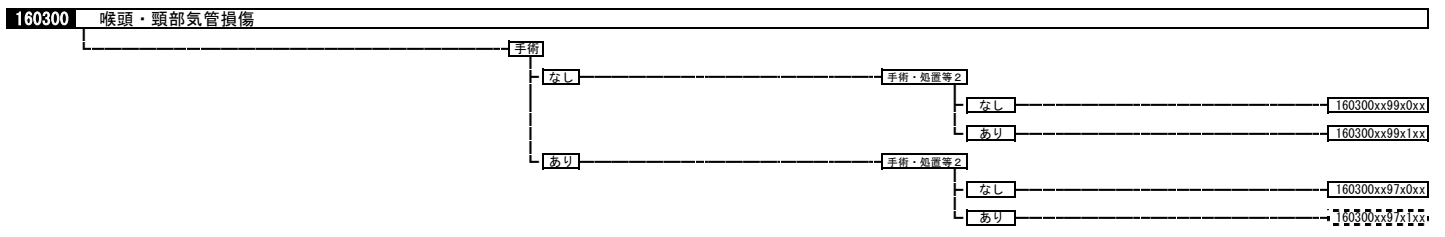
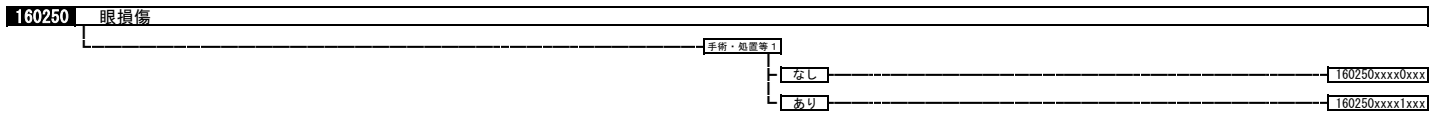


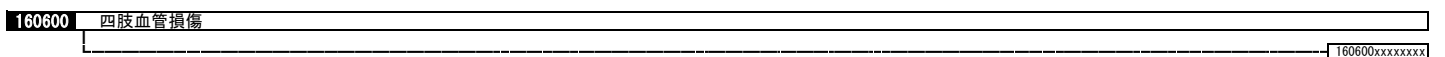
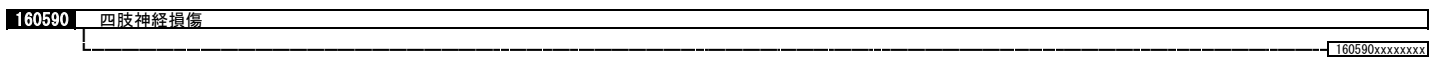
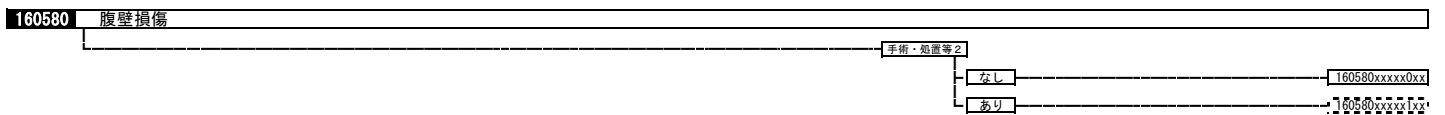
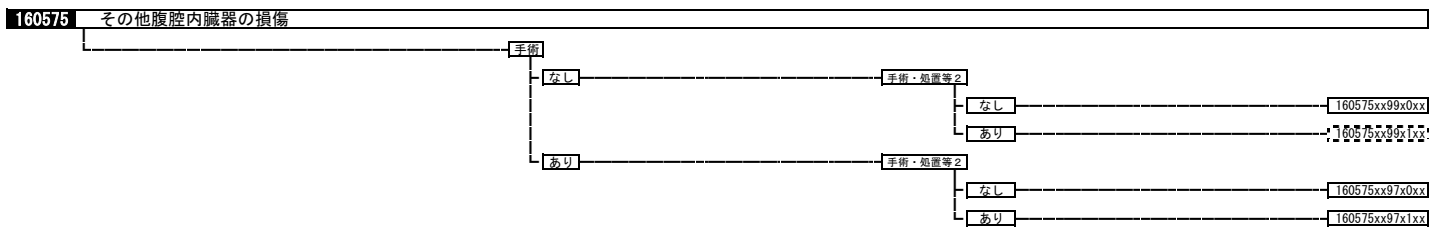
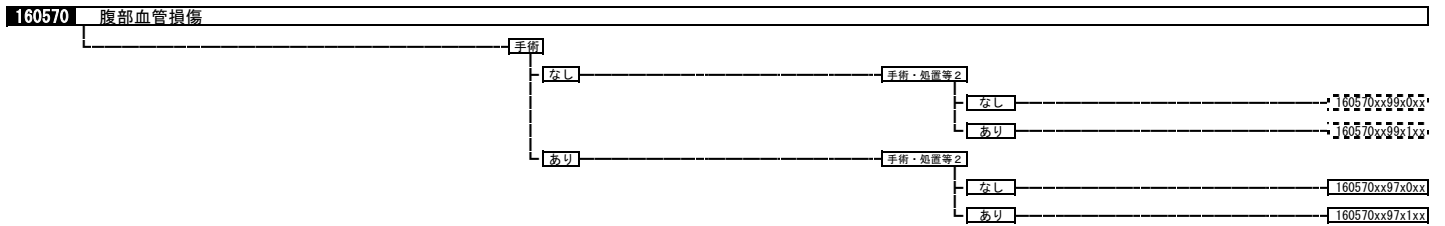
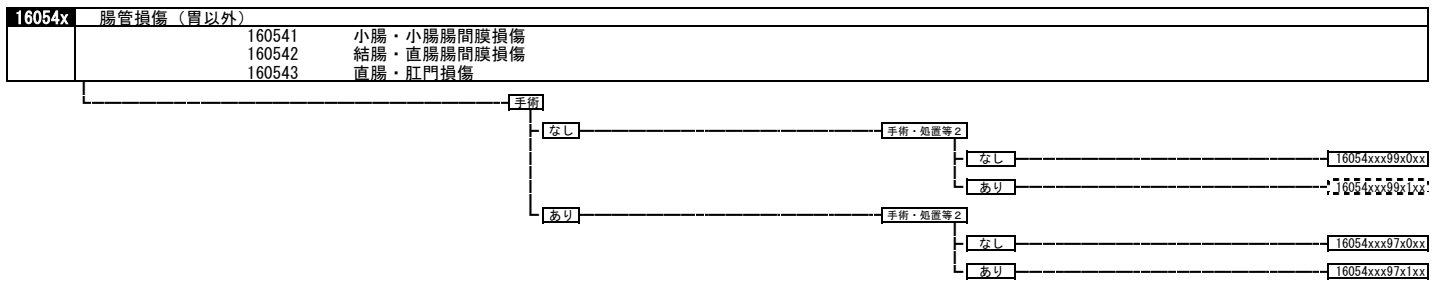
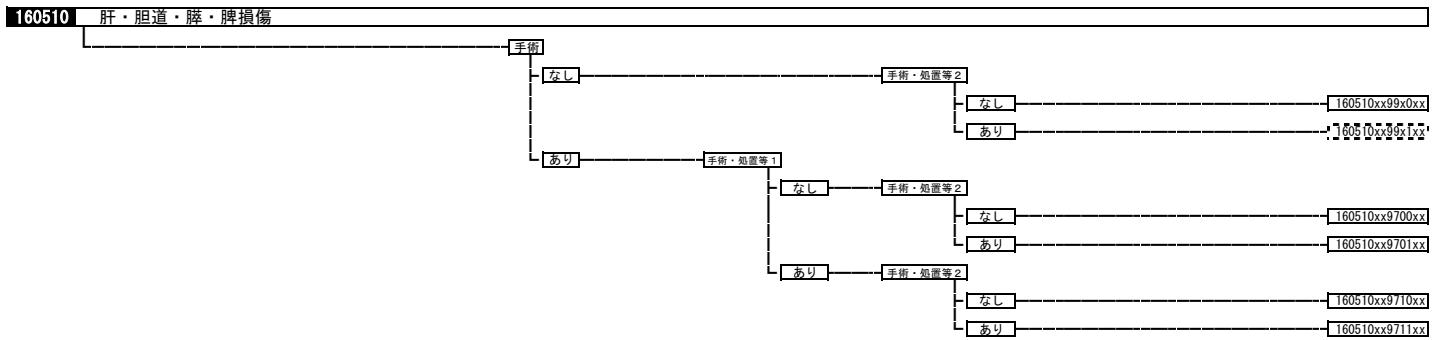
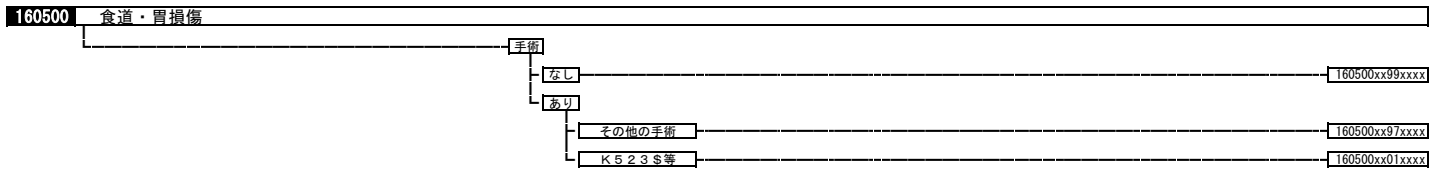




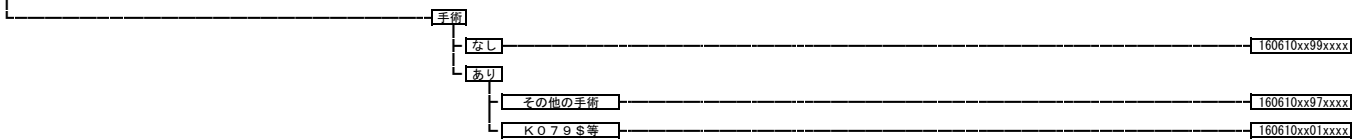




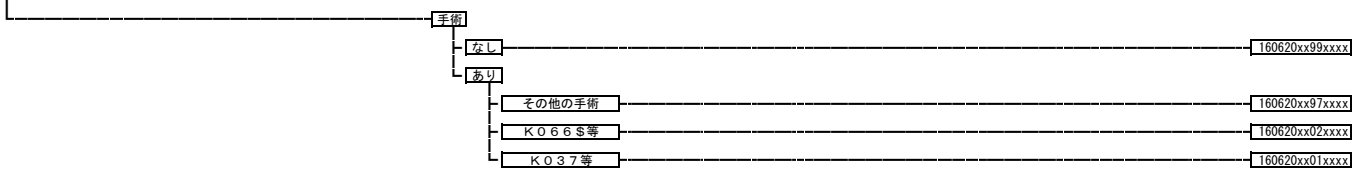




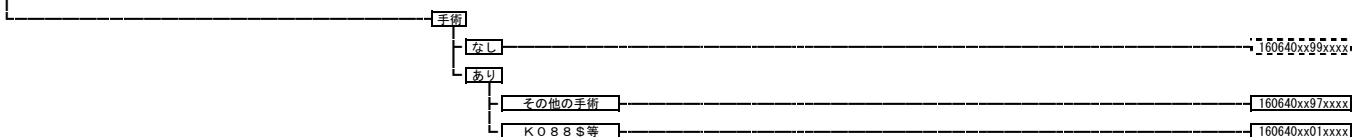
160610 四肢筋腱損傷



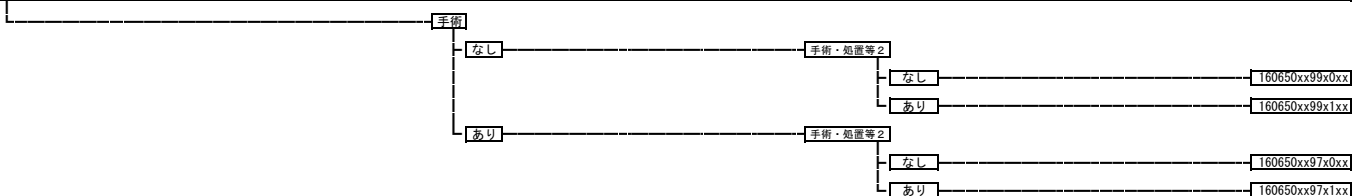
160620 肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）



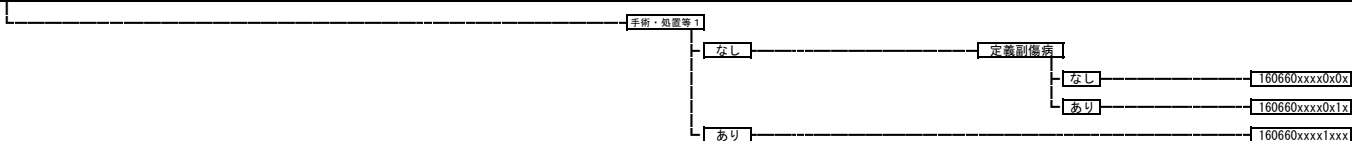
160640 外傷性切断



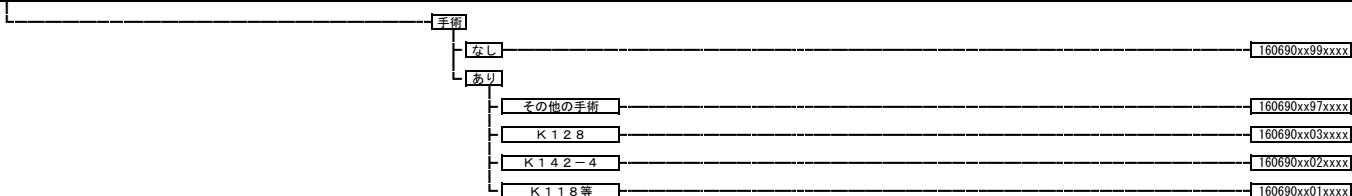
160650 コンパートメント症候群



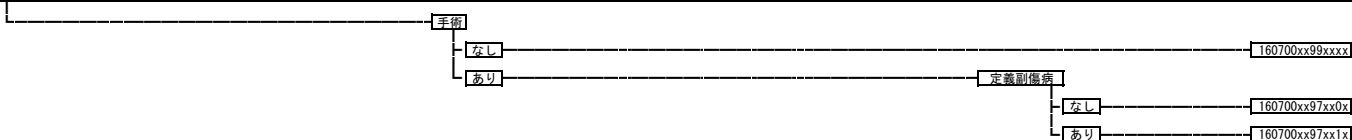
160660 皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創



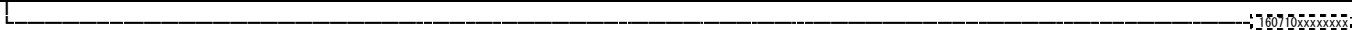
160690 胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）

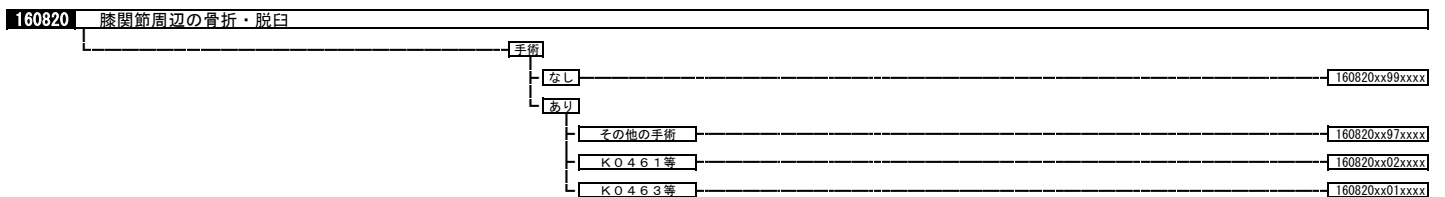
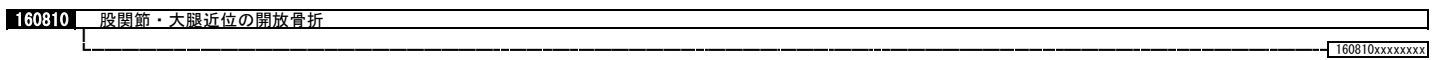
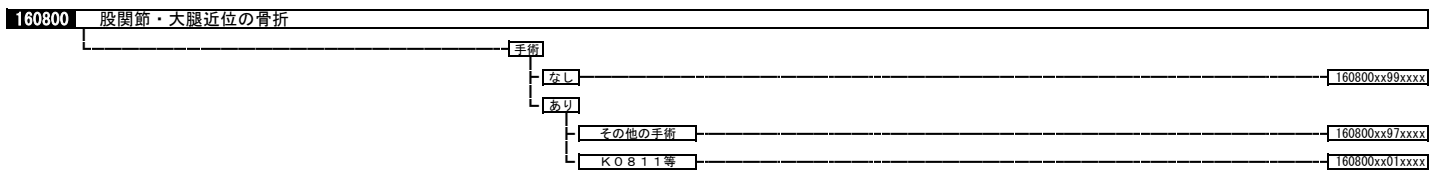
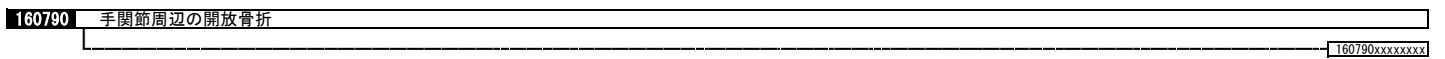
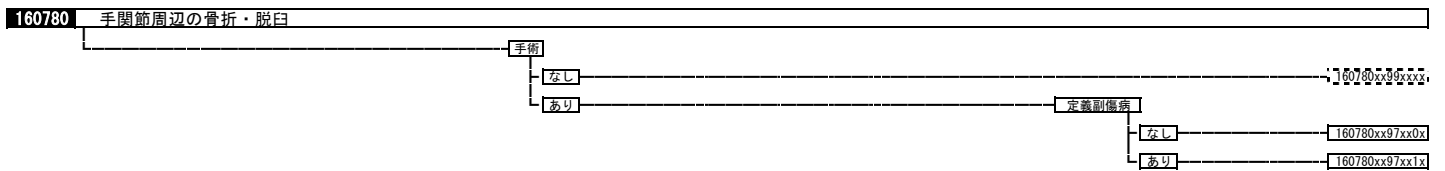
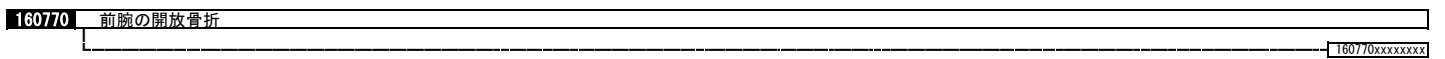
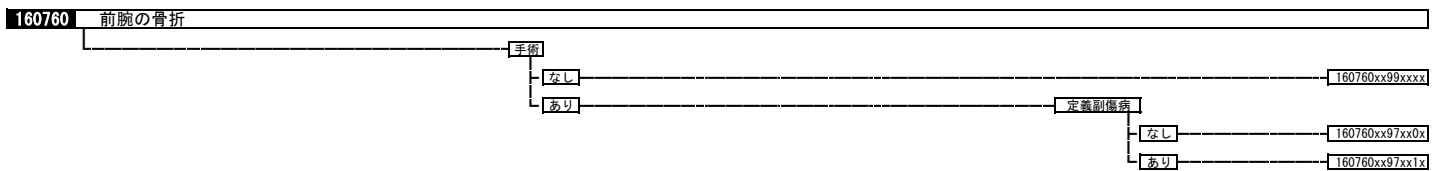
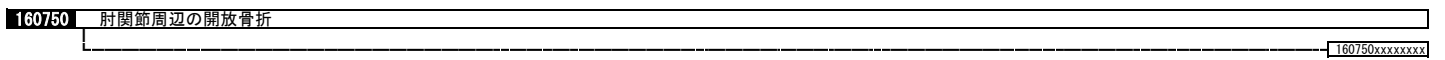
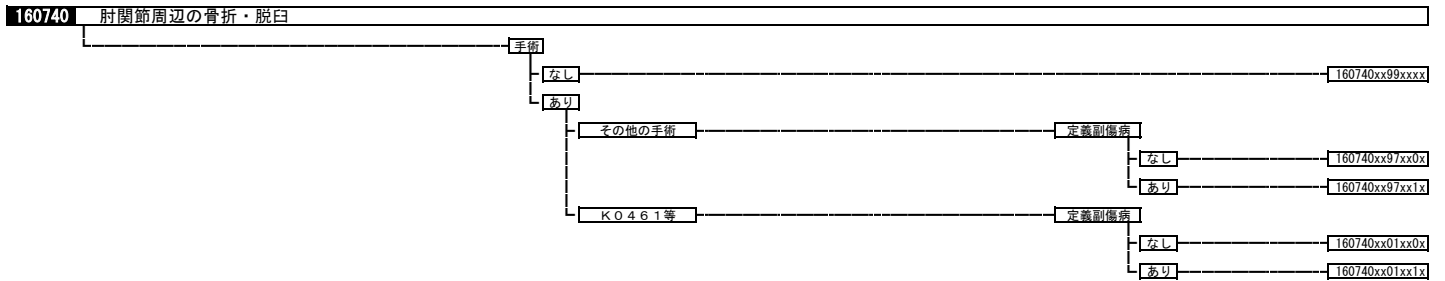
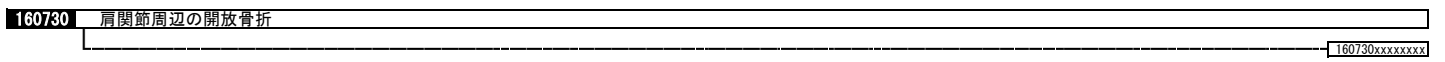


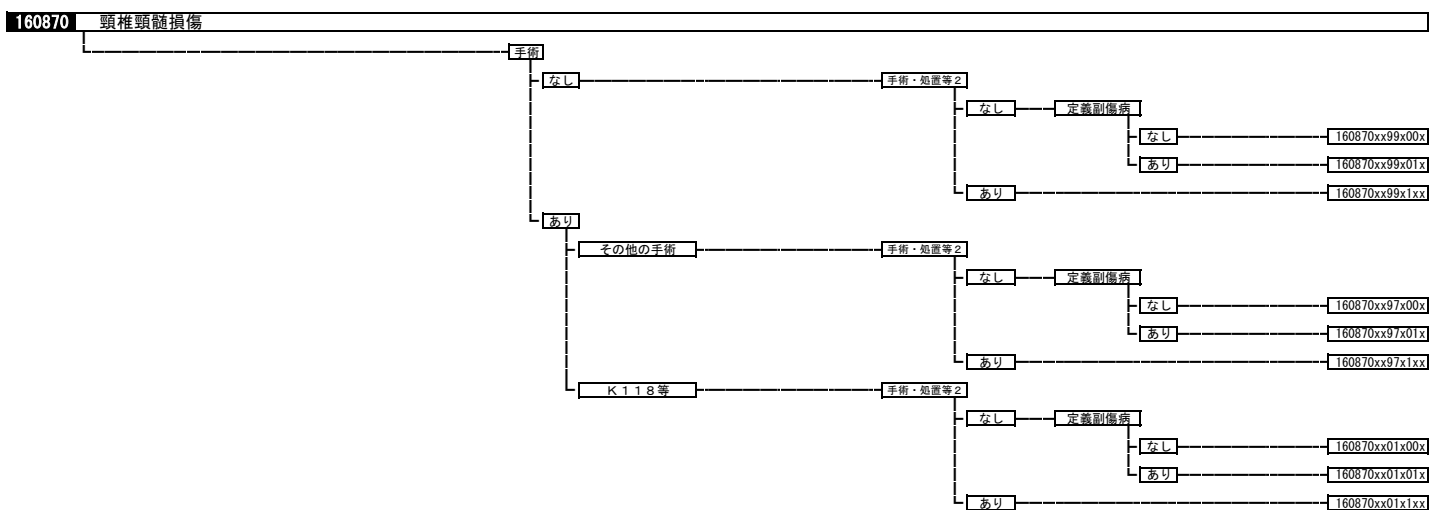
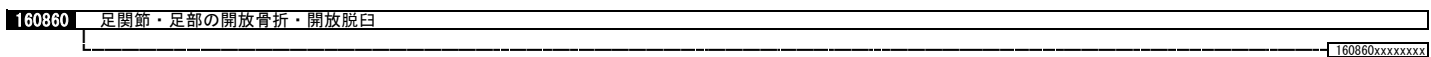
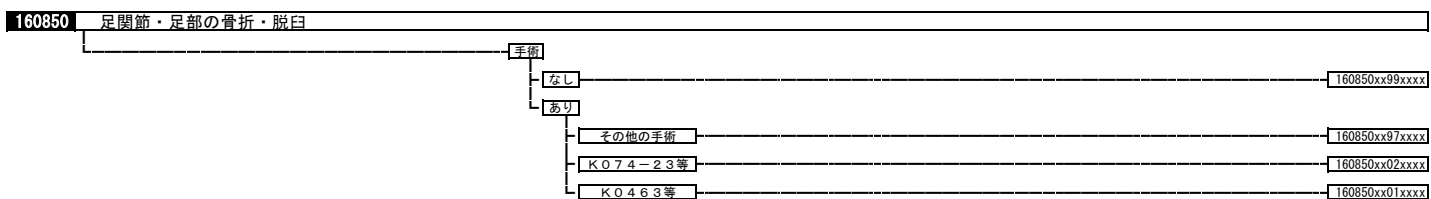
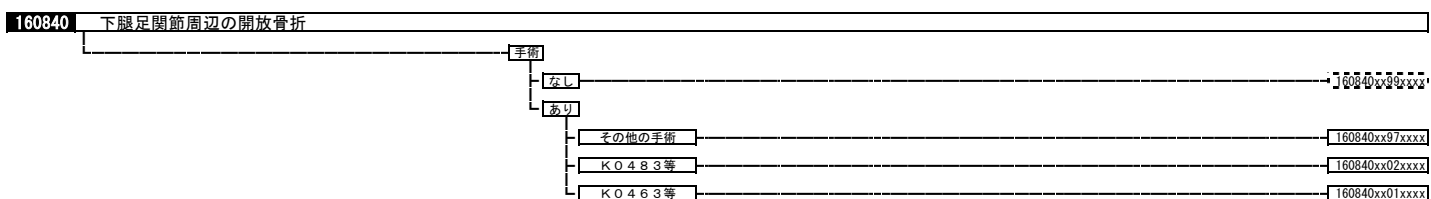
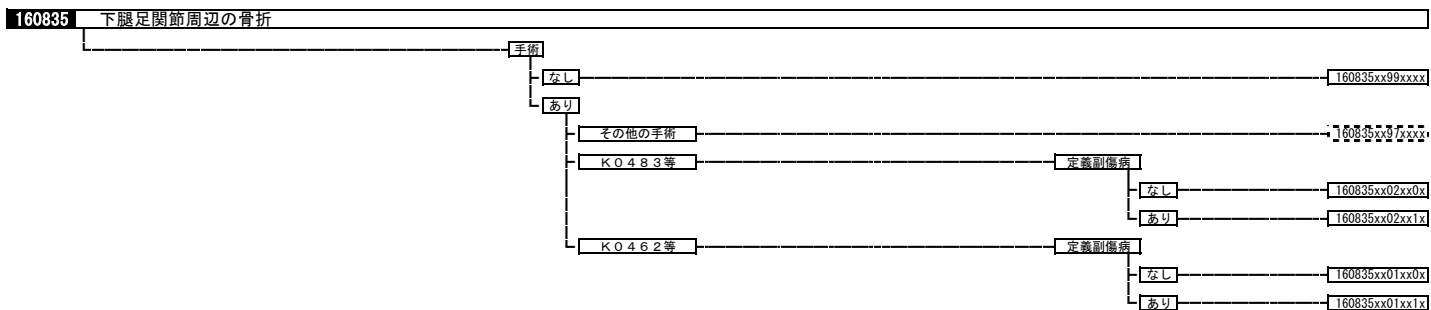
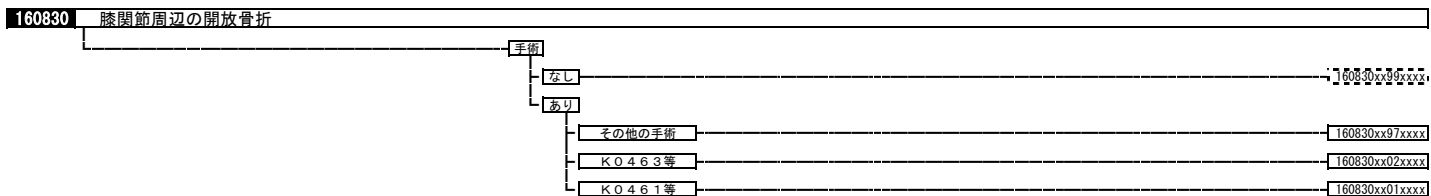
160700 鎖骨・肩甲骨の骨折

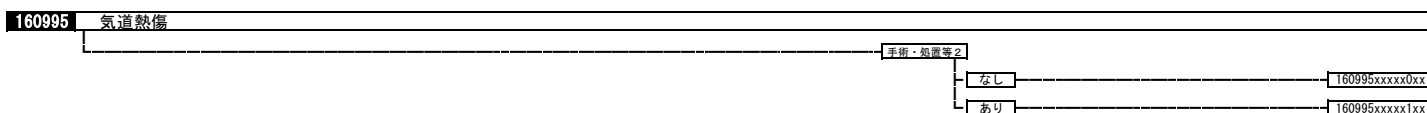
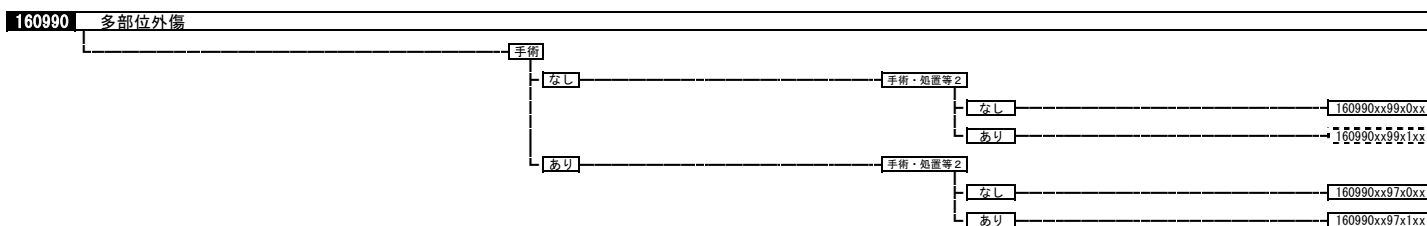
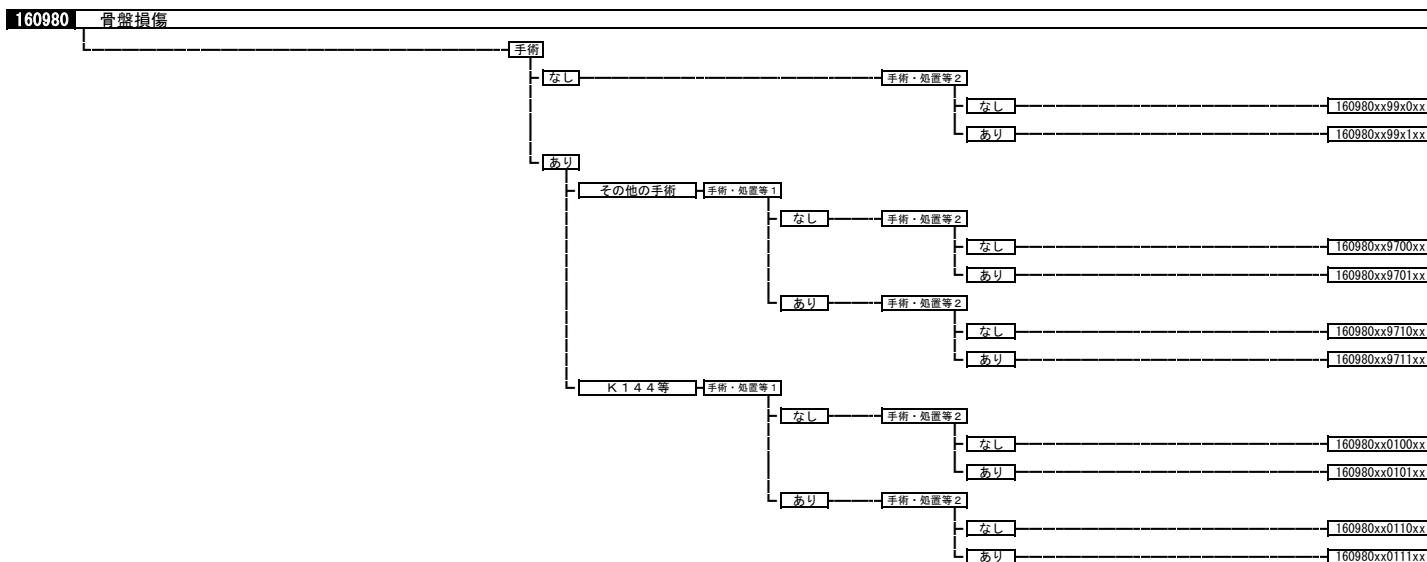
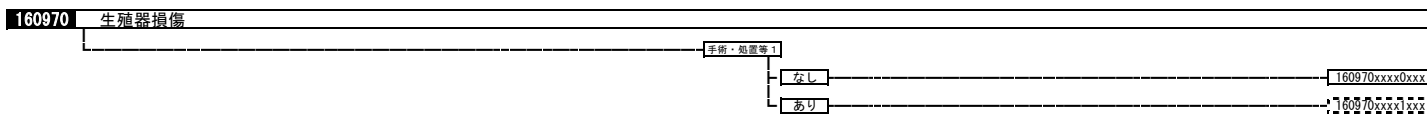
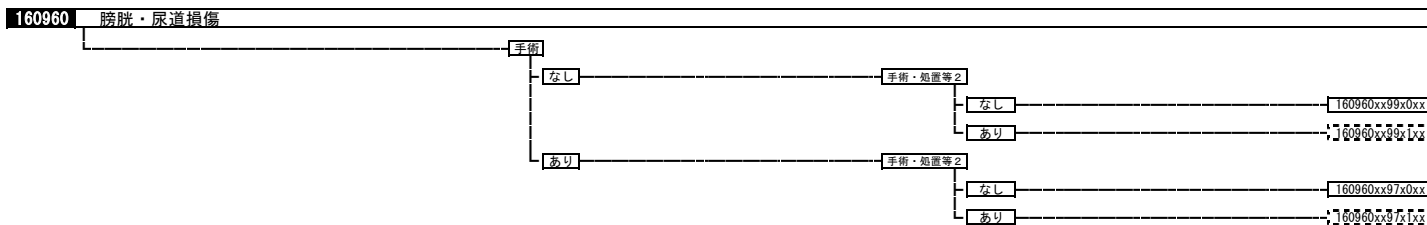
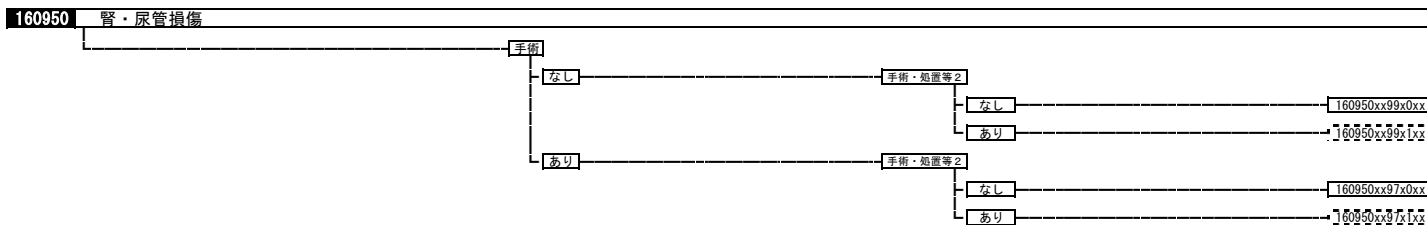


160710 鎖骨・肩甲骨の開放骨折

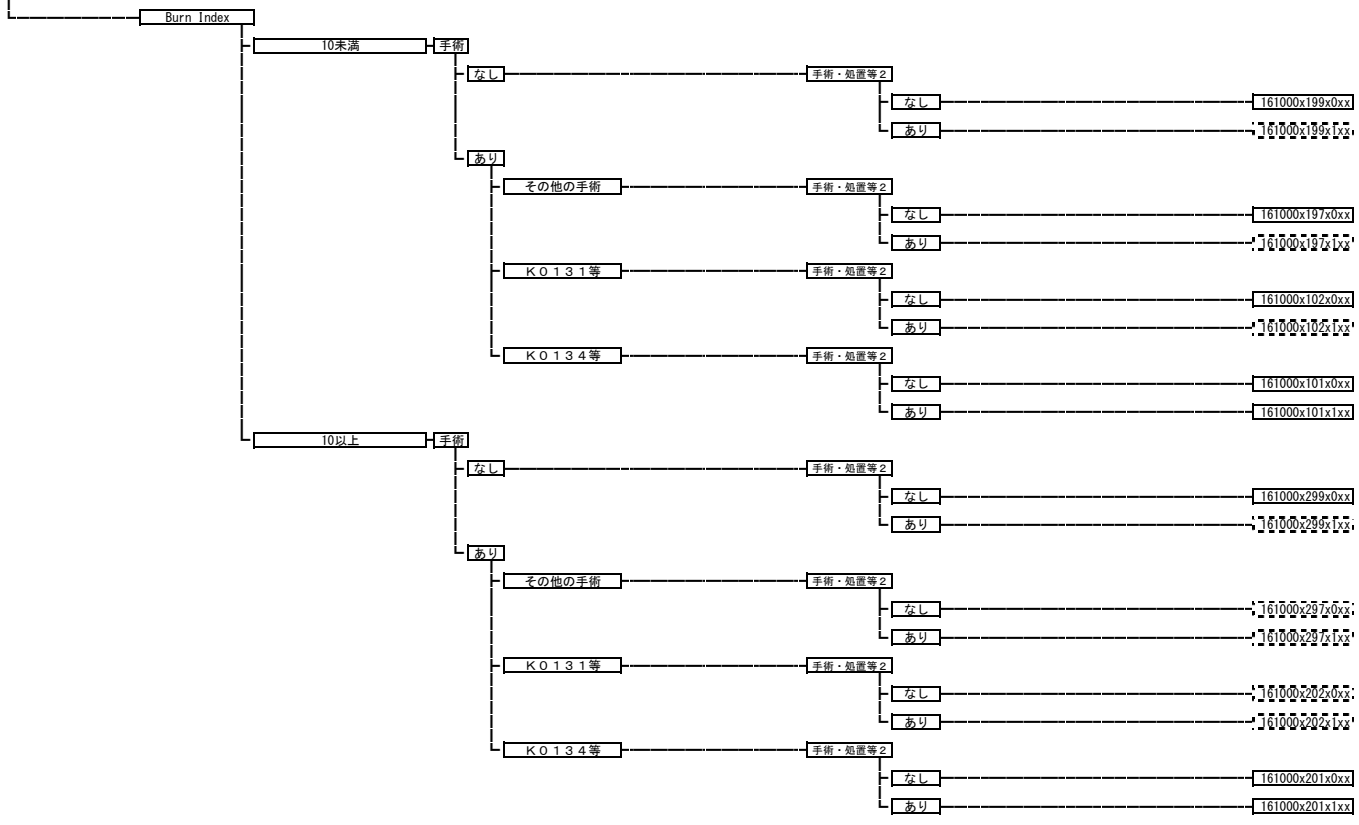




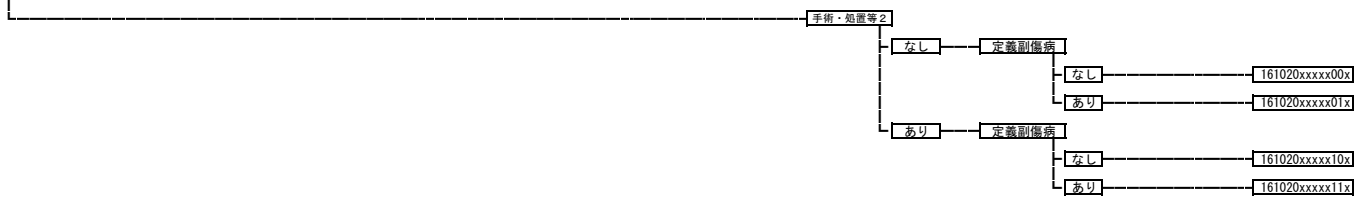




161000 熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷



161020 体温異常



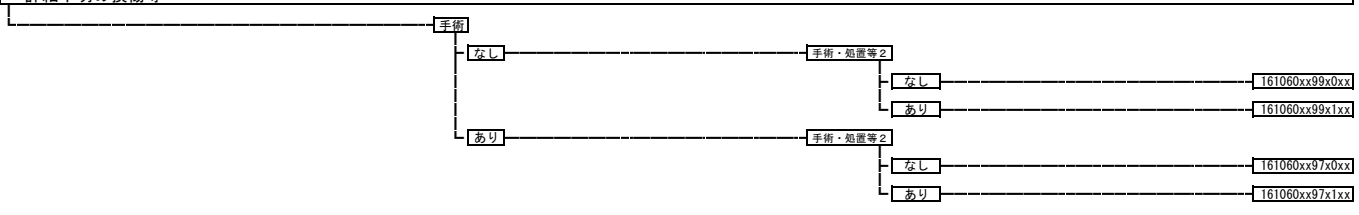
161030 気圧による損傷

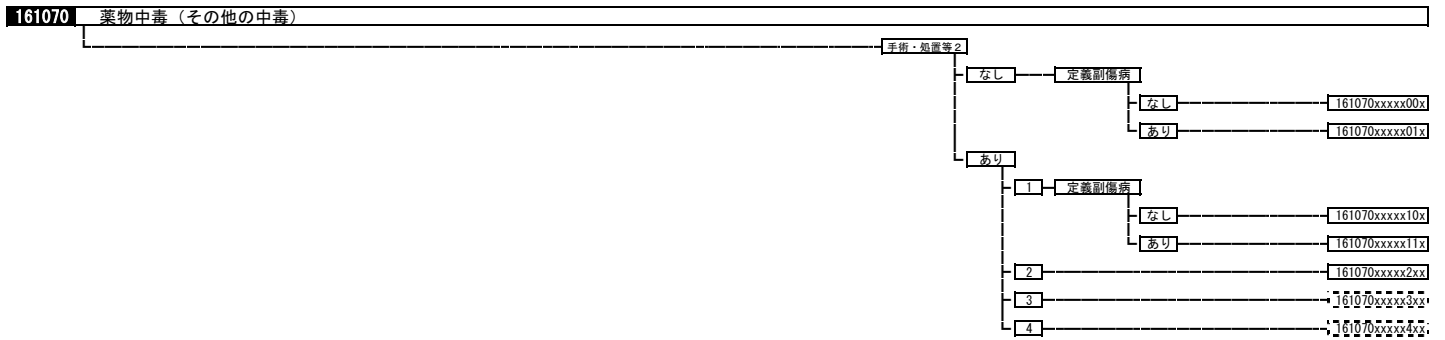
161030xxxxxxxxx

161040 損傷の続発性、後遺症

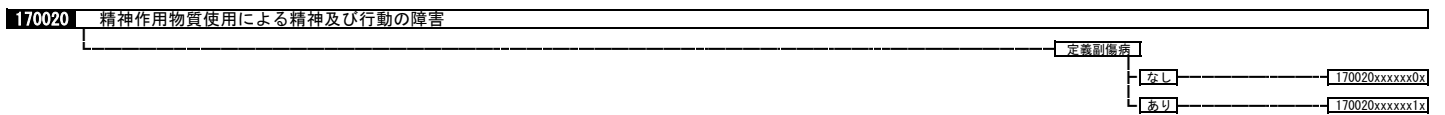
161040xxxxxxxxx

161060 詳細不明の損傷等





170010 アルコール依存症候群
170010xxxxxxxxx

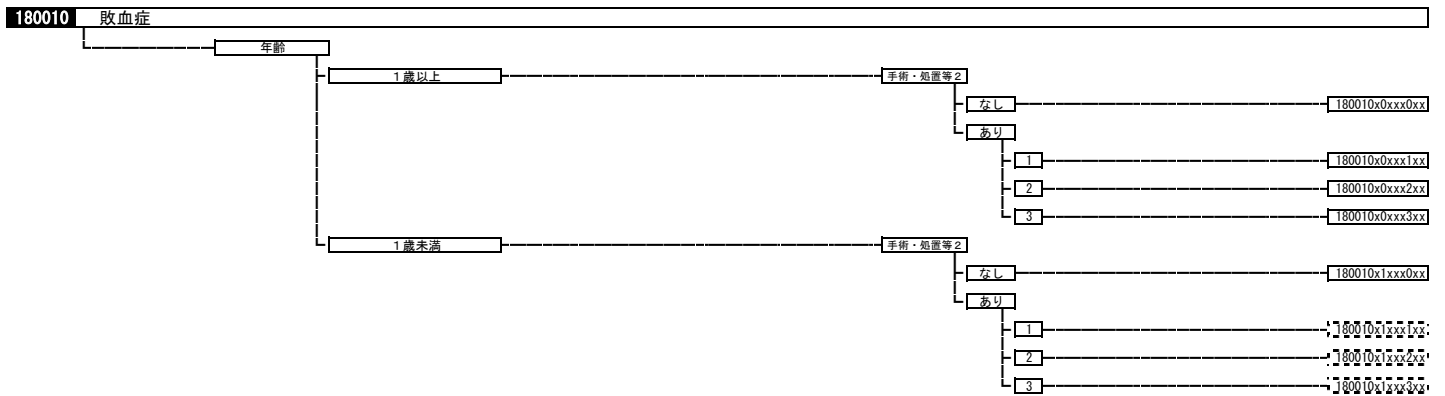


170030 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
170030xxxxxx2x

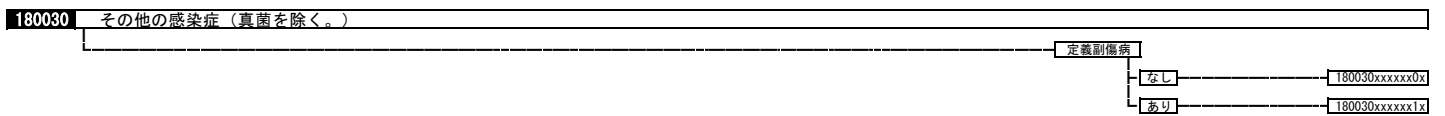
170040 気分〔感情〕障害
170040xxxxxxxxx

170050 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
170050xxxxxx3x

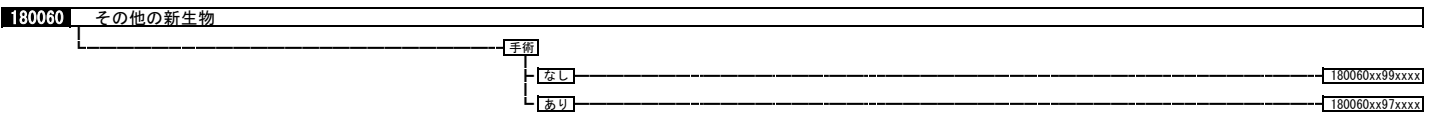
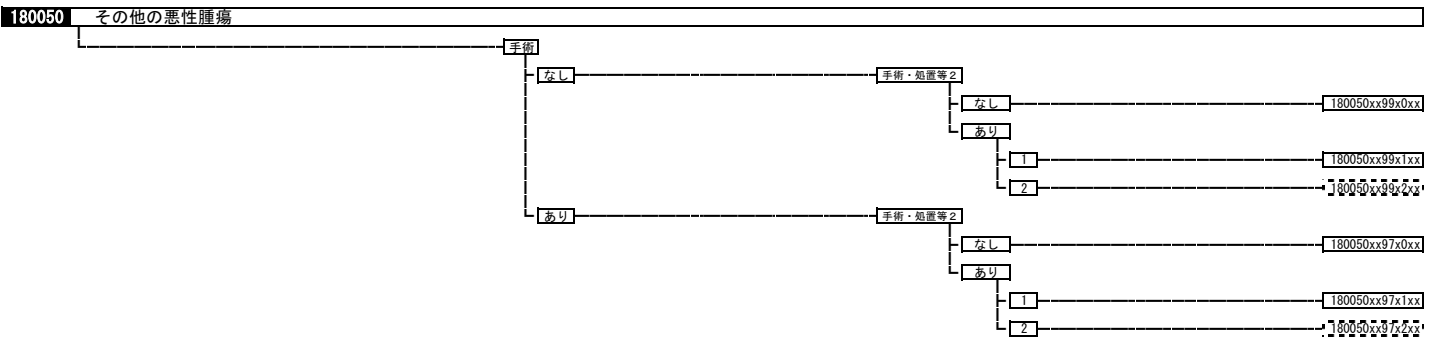
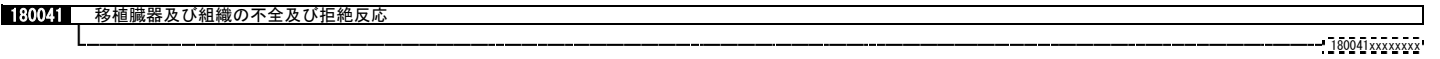
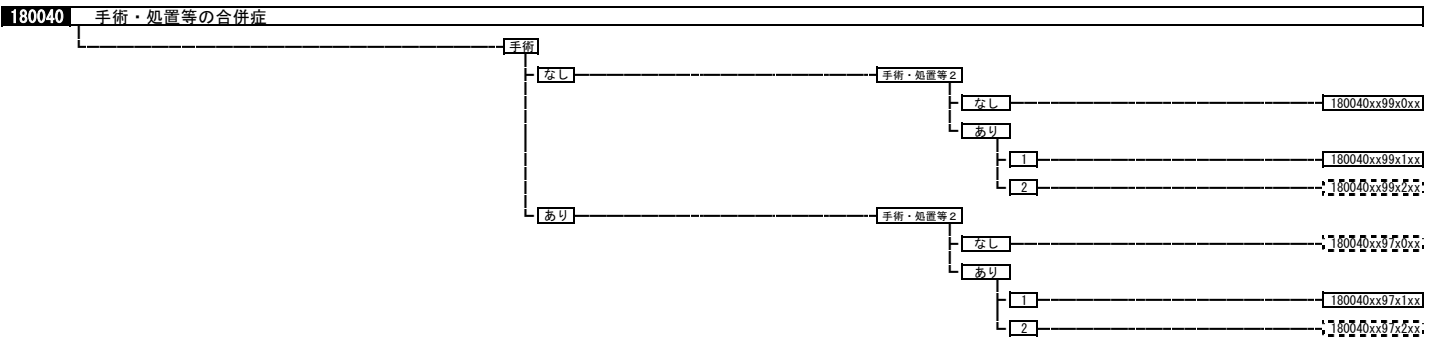
170060 その他の精神及び行動の障害
170060xxxxxx4x



180020 性感染症
180020xxxxxxxxx



180035 その他の真菌感染症
180035xxxxxxxxx



診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			椎骨動脈の動脈瘤及び解離	1726						脳動脈瘤頸部クリッピング等	01 02	脳動脈瘤頸部クリッピング	K177\$																
01	0040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫)	脳内出血	161\$				0 0	JCS10未満	手術なし	99 99	手術なし			1 1	ガンマナイフによる定位放射線治療	M001-2	1 6	直線加速器による放射線治療 定位放射線治療の場合	M001-31	1 2	肺炎等	040080	0 0		リハビリなし			
			頭蓋内出血(非外傷性)、詳細不明	1629				1 1	JCS10以上	その他の手術あり	97 97		その他のKコード		1 3	人工腎臓 其他の場合	J0384	1 1	リハビリあり										
			脳アミロイド血管症	1690						穿頭脳室ドレナージ術	02 05	穿頭脳室ドレナージ術	K145		1 2	中心静脈注射	G005												
			脳実質外血管の動静脈奇形	Q280						脳血管内手術+脳動静脈奇形摘出術等	01 01	脳血管内手術+脳動静脈奇形摘出術等	K178\$+K172\$		1 1	人工呼吸	J045\$												
			脳血管の動静脈奇形	Q282						脳動静脈奇形摘出術	01 01	脳動静脈奇形摘出術	K172\$																
			脳血管のその他の奇形	Q283						動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	01 02	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	K6101																
			硬膜下出血(急性)(非外傷性)	1620				0 0	JCS10未満	手術なし	99 99	手術なし			1 1	胃瘻閉鎖術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664\$	1 3	人工腎臓 其他の場合	J0384	1 3	てんかん	010230	0 0		リハビリなし			
			非外傷性硬膜外出血	1621				1 1	JCS10以上	その他の手術あり	97 97		その他のKコード		1 1	胃瘻閉鎖術	K665\$	1 2	中心静脈注射	G005	1 1	リハビリあり							
			慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術等							慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	02 02	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	K164-2		1 1	胃瘻去術	K665-2	1 1	人工呼吸	J045\$									
			穿頭脳室ドレナージ術							穿頭脳室ドレナージ術	02 03	穿頭脳室ドレナージ術	K147																
			穿頭脳室ドレナージ術							穿頭脳室ドレナージ術	02 04	穿頭脳室ドレナージ術	K145																
			頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの							頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの	01 01	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの	K1642																
01	0060	脳梗塞	脳梗塞	163\$				0 0	脳卒中発症4日目以降又は無症候性、かつ、JCS10未満	手術なし	99 99	手術なし			2 2	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合	E0033	5 9	tPA		2 1	肺炎等	040080	0 1	発症前Rankin Scale 5				
			脳卒中発症4日目以降又は無症候性、かつ、JCS10未満					1 1	JCS10以上	その他の手術あり	97 97		その他のKコード		1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	4 8	エダラポン		2 1	顕微性肺炎	040081	0 2	発症前Rankin Scale 4				
			脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満					2 2	経皮的脳血管形成術	02 01	経皮的脳血管形成術	K178-2		1 1	胃瘻閉鎖術	K665\$	3 7	SPECT	E101	2 1	呼吸器のアスベ ルギルス症	040151	0 3	発症前Rankin Scale 3					
			脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10以上					3 3	脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10以上	02 01	脳血管内手術	K178\$		1 1	胃瘻去術	K665-2	3 7	PET	E101-2\$	2 1	腎臓又は尿路の感染症	110310	1 4	発症前Rankin Scale 2					
			経皮的脳血管形成術							経皮的選択的脳血栓栓-塞栓溶解術	K178-3\$				3 7	非放射線性キセノン脳血流動態検査	E201	2 1	敗血症	180010	1 5	発症前Rankin Scale 1							
			経皮的脳血栓栓回収術							経皮的脳血栓栓回収術	K178-4				2 6	脳血管疾患等リハビリテーション科	H001-	2 1	その他の真菌感染症	180035	1 6	発症前Rankin Scale 0							
			経皮的脳血管ステント留置術							経皮的脳血管ステント留置術	K178-5				2 6	廃用症候群リハビリテーション科	H001-2\$	1 1	水頭症	010200									
			経皮的頭動脈ステント留置術							経皮的頭動脈ステント留置術	K609-2				1 3	人工腎臓 其他の場合	J0384	1 1	てんかん	010230									
			動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈等							動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈等	01 02	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	K6101		1 2	中心静脈注射	G005	1 1	顔面性不整脈	050070									
			動脈血栓内摘出術							動脈血栓内摘出術	01 03	動脈血栓内摘出術	K609\$		1 1	人工呼吸	J045\$	1 1	脳性麻痺	150120									
			減圧開頭術 其他の場合							減圧開頭術 其他の場合	01 04	減圧開頭術 其他の場合	K1492																
			頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの							頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	01 04	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	K1643																
			定位的脳内血腫除去術							定位的脳内血腫除去術	01 04	定位的脳内血腫除去術	K164-4																
			内視鏡下脳内血腫除去術							内視鏡下脳内血腫除去術	01 04	内視鏡下脳内血腫除去術	K164-5																
			動脈形成術、吻合術 其他の動脈							動脈形成術、吻合術 其他の動脈	01 04	動脈形成術、吻合術 其他の動脈	K6105																
01	0061	一過性脳虚血発作	一過性脳虚血発作及び関連症候群	G45\$				0 0	JCS10未満	手術なし	99 99	手術なし			1 1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合	E0033	1 4	SPECT	E101	1 4	肺炎等	040080	0 0		リハビリなし			
								1 1	JCS10以上	手術あり	97 97	手術あり			1 4	PET	E101-2\$	1 1	リハビリあり										
														1 4	非放射線性キセノン脳血流動態検査	E201													
01	0069	脳卒中の続発症	脳血管疾患の続発-後遺症	169\$				0 0	JCS10未満	手術なし	99 99	手術なし			1 1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合	E0033	2 4	SPECT	E101	1 1	顕微性肺炎	040081	0 0		リハビリなし			
			循環器系のその他の処置後障害、他に分類されないもの	1978				1 1	JCS10以上	手術あり	97 97	手術あり			2 4	PET	E101-2\$	1 2	腎臓又は尿路の感染症	110310	1 1	リハビリあり							
														2 4	非放射線性キセノン脳血流動態検査	E201													
														1 3	人工腎臓 其他の場合	J0384													
														1 2	中心静脈注射	G005													
														1 1	人工呼吸	J045\$													
01	0070	脳血管障害	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	G46\$				0 0	JCS10未満	手術なし	99 99	手術なし			1 1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合	E0033	2 4	SPECT	E101	1 2	てんかん	010230	0 0		リハビリなし			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢・出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病			重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
			脳卒中、脳出血又は脳梗塞と明示されないもの 脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの 脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの 脳動脈のアテローム<じゅく>粥>状>硬化(症) もやもや病<ウイルス動脈閉塞症> 頭蓋内静脈系の非化膿性血栓症 脳動脈炎、他に分類されないもの その他の明示された脳血管疾患 脳血管疾患、詳細不明 他に分類される感染症及び寄生虫 における脳動脈炎 他に分類されるその他の疾患における脳動脈炎 他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害	A64 165S 166S 1672 1675 1676 1677 1678 1679 1681 1682 1688				1 1	JCS10以上	その他の手術あり	97 02 97 02 97 02 97 03 97 03 97 97		頭蓋骨形成手術 頭蓋骨のみのもの 頭蓋骨形成手術 硬膜形成を伴うもの 頭蓋骨形成手術 骨移動を伴うもの 穿頭脳室ドレナージ術 水頭症手術 その他のKコード	K1801 K1802 K1803 K145 K174S K174S							2 4 2 4 1 3 1 2 1 1	PET E101-2S E201 J0384 G005 J045S									1 1	リハビリあり
01	0080	脳脊髄の感染を伴う炎症	アメーバ性脳膿瘍 リステリア性髄膜炎及び髄膜脳炎 髄膜炎菌性髄膜炎 急性灰白髄炎<ポリオ> 狂犬病 蚊媒ウイルス(性)脳炎 ダニ媒介ウイルス(性)脳炎 その他のウイルス(性)脳炎、他に分類されないもの 詳細不明のウイルス(性)脳炎 ウイルス(性)髄膜炎 中枢神経系のその他のウイルス感染症、他に分類されないもの 中枢神経系の詳細不明のウイルス感染症 ヘルペスウイルス(性)髄膜炎 ヘルペスウイルス(性)脳炎 水痘髄膜炎 水痘脳炎 帯状疱疹(性)脳炎 帯状疱疹(性)髄膜炎 麻疹、脳炎を合併するもの 麻疹、髄膜炎を合併するもの 麻疹、神経合併症を伴うもの ムンプス髄膜炎 ムンプス脳炎 カンジダ性髄膜炎 コクシジオイデス性髄膜炎 フェオモコシス性脳膿瘍 トキソプラズマ髄膜炎 細菌性髄膜炎、他に分類されないもの 他に分類されるその他の感染症及び寄生虫における髄膜炎 その他及び詳細不明の原因による髄膜炎 熱帯性けいこ症>性対麻痺 細菌性髄膜炎及び髄膜脊髄炎、他に分類されないもの その他の脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎 脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎、詳細不明 他に分類される疾患における脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎 頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽 他に分類される疾患における頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽 頭蓋内及び脊椎管内の静脈炎及び血栓(性)静脈炎 中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症 脳症<エンセファロパチ<シ>ン>、 詳細不明 その他の明示された脊髄疾患	A066 A321 A390 A80S A82S A83S A84S A85S A86 A87S A88S A89 B003 B004 B010 B011 B020 B021 B050 B051 B060 B261 B262 B375 B384 B431 B582 G00S G02S G03S G041 G042 G04S G04S G05S G06S G07 G08 G09 G934 G95S				0 0	JCS10未満	手術なし	99 99	手術なし	97 01 97 01		脳膿瘍全摘術 頭蓋内腫瘍摘出術	K166 K167		1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	4 9 1 4 1 2 1 1	ガンマグロブリン インターフェロン 中心静脈注射 人工呼吸	1 2 1 2 1 2 1 1	てんかん G005 J045S	010230 070370 10007x トランスを除外	0 0	1 1	15歳未満 15歳以上					
01	0083	結核性髄膜炎、髄膜脳炎	神経系結核 他に分類される細菌性疾患における髄膜炎	A17S G01						99 99 97 97		手術なし 手術あり				1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1 9 1 3 1 2 1 1	ガンマグロブリン 人工腎臓 其他の場合 中心静脈注射 人工呼吸									0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
01	0086	プリオン病	クロイツフェルト・ヤコブ<Creutzfeldt-Jakob>病 進行性多量性白質脳症 中枢神経系のその他の非定型ウイルス感染症 中枢神経系の非定型ウイルス感染症。詳細不明	A810 A812 A818 A819							99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	3	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0089	亜急性硬化性全脳炎	亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	A811							99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	3	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0090	多発性硬化症	多発性硬化症 視神経脊髄炎[デビック<Devic>病]	G35 G360				0 0 JCS10未満 1 1 JCS10以上			99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	4	9	ナタリズマブ グラチラマー酢酸塩 インターフェロン 血漿交換療法 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$ J039 G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0100	脱髄性疾患(その他)	急性播種性脳炎 急性及び亜急性出血性白質脳炎[ハースト<Hurst>] その他の明示された急性播種性脱髄疾患 急性播種性脱髄疾患。詳細不明 中枢神経系のその他の脱髄疾患	G040 G361 G368 G369 G373				0 0 JCS10未満 1 1 JCS10以上			99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	2	中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0110	免疫介在性・炎症性ニューロパ	炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー	G61\$ G61\$				00 0 6歳以上 06 1 6歳未満			99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	4	9	ガンマグロブリン 血漿交換療法 中心静脈注射 人工呼吸	J039 G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0111	遺伝性ニューロパチ	新生物<腫瘍>関連ニューロミオパチ<シ>ー及びニューロパチ<シ>ー 他に分類される疾患における脳神経障害 その他の単ニューロパチ<シ>ー 他に分類される疾患における単ニューロパチ<シ>ー 遺伝性及び特発性ニューロパチ<シ>ー その他の多発(性)ニューロパチ<シ>ー 他に分類される疾患における多発(性)ニューロパチ<シ>ー 末梢神経系のその他の障害	G130 G53\$ G58\$ G59\$ G60\$ G62\$ G63\$ G64				00 0 6歳以上 06 1 6歳未満			99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	2	中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0120	特発性(単)ニューロパチ	三叉神経障害 その他の脳神経障害	G50\$ G52\$						手術なし	99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	3	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0130	重症筋無力症	重症筋無力症 ランバート-イートン<Lambert-Eaton>症候群	G700 G731n						手術なし	99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	4	9	ガンマグロブリン 血漿交換療法 中心静脈注射 人工呼吸	J039 G005 J045\$			0	0	リハビリなし
01	0140	筋疾患(その他)	中毒性神経筋障害 先天性及び発達上の筋無力症	G701 G702				00 0 15歳以上 15 1 15歳未満		手術あり	99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	2	中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$			0	0	リハビリなし

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			他に分類される疾患における脊髄の亜急性通合変性症 進行性血管性白質脳症 若血性脳症	G320 I673 I674																							
01	0230	てんかん	てんかん てんかん重症(状態)	G40\$ G41\$				00 0 1歳以上 01 1 1歳未満	手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 機能的定位脳手術		K154\$		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	2 4 SPECT 2 4 PET 2 4 PET-CT	E101-2\$ E101-3\$		1 1 脳膿性肺炎	040081	0 0	リハビリなし リハビリあり						
01	0240	片頭痛、頭痛症候群(その他)	片頭痛 その他の頭痛症候群	G43\$ G44\$					手術なし	99 99 手術なし															0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり	
01	0260	ウェルニッケ脳症	ウェルニッケ<Wernicke>脳症<エンセファロパチ<シ>ン>	E512				0 0 JCS10未満 1 1 JCS10以上	手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 97 手術あり				1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1 2 中心静脈注射	G005										0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり
01	0270	中毒性脳症	ボツリスム<ボツリスヌ>中毒 中毒性脳症	A051 G82				0 0 JCS10未満 1 1 JCS10以上	手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 97 手術あり				1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1 5 血漿交換療法 1 3 人工腎臓 其他の場合 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	J039 J0384 G005 J045\$									0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり	
01	0280	ジストニー、筋無力症	薬物誘発性ジストニア 特発性家族性ジストニア 特発性非家族性ジストニア 特発性口顔面ジストニア その他のジストニア ジストニア、詳細不明	G240 G241 G242 G244 G248 G249					手術なし	99 99 手術なし		97 01 機能的定位脳手術 97 02 脳刺刺激装置植込術 97 02 頭蓋内電極植込術 97 03 脳刺刺激装置交換術 97 97	K154\$ K181\$ K181-6\$ K181-2 その他のKコード		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1 9 A型ボツリスヌ毒素										0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり
01	0290	自律神経系の障害	特発性末梢性自律神経ニューロパチ<シ>ン> 家族性自律神経異常症<ライリー-デイ<Riley-Day>症候群<ホルネル<Homer>症候群<自律神経の異常反射<自律神経系<の<他の<障害<自律神経系の障害、詳細不明	G900 G901 G902 G904 G908 G909					手術なし	99 99 手術なし		97 01 顔面神経麻痺形成手術 97 02 眼瞼下垂症手術 97 03 交感神経節切除術 胸部 97 04 脊髄刺刺激装置植込術 97 05 交感神経節切除術 頭部 97 06 ベースメーカー移植術 心筋電極の場合 97 06 ベースメーカー移植術 経静脈電極の場合 97 07 交感神経節切除術 腰部 97 97	K011\$ K219\$ K1962 K190\$ K1961 K5971 K5972 K1963 その他のKコード		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1 3 人工腎臓 其他の場合 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	J0384 G005 J045\$									0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり
01	0300	睡眠障害	睡眠の導入及び維持の障害<不眠症<過度の傾眠<過眠症<睡眠・覚醒スケジュール障害<ナルコレプシー及びカタレプシー<その他の睡眠障害<睡眠障害、詳細不明	G470 G471 G472 G474 G478 G479					手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 97 手術あり					1 1 人工呼吸	J045\$										0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり
01	0310	脳の障害(その他)	髄体外路障害及び異常運動、詳細不明 アルコールによる神経系の変性 他に分類される疾患における神経系のその他の明示された変性障害 片麻痺 対麻痺及び四肢麻痺 上肢の前(側)麻痺 下肢の単麻痺 上肢の単麻痺 単麻痺、詳細不明 その他の明示された麻痺性症候群 麻痺性症候群、詳細不明 脳の<欠<乏>症 無酸素性脳損傷、他に分類されないもの 良性頭蓋内圧亢進症 ウイルス感染後疲労症候群 脳圧迫 脳浮腫 ライ<Rye>症候群 脳のその他の明示された障害 脳の障害、詳細不明 他に分類される疾患における脳のその他の障害 中枢神経系<の<他の<障害<神経系<の<処置後<障害、他に分類されないもの 神経系<の<他の<障害、他に分類されないもの	G259 G312 G328 G81\$ G82\$ G830 G831 G832 G833 G838 G839 G830 G831 G832 G933 G935 G936 G937 G938 G939 G94\$ G96\$ G97\$ G98						手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 頭蓋内腫瘍摘出術 97 02 穿頭術<トレパナチオン> 97 03 減圧開頭術 其他の場合 97 04 水頭症手術 シェント手術 97 05 髄液漏閉鎖術 97 06 脊髄刺刺激装置植込術 97 07 関節切除術 97 07 関節形成手術 肩、股、膝 97 07 関節鏡下肩関節鏡形成術 97 08 筋切離術 97 08 皮膚筋筋移植術 97 08 腱切離・切除術<関節鏡下によるものを含む。> 97 08 腱切離・切除術<関節鏡下によるものを含む。> 97 08 腱延長術 97 08 腱移植術<関節鏡下によるものを含む。> 97 08 腱延長術 97 08 腱移行術 其他のもの 97 08 筋骨筋腱移植術形成術 97 08 視血的関節助動術 胸鎖、肘、手、足 97 08 視血的関節助動術 肩鎖、指<手、足> 97 08 視血的関節助動術 胸鎖、肘、手、足 97 08 視血的関節助動術 肩鎖、指<手、足> 97 08 視血的関節助動術 肩鎖、指<手、足>	K167 K147 K1492 K1742 K179 K190\$ K072\$ K0801 K080-5\$ K024 K026 K034 K034+K038 K035 K038 K0402 K040-3 K0762 K0763 K0772 K0773 K0782 K0783		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、K664 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	G005 J045\$		1 3 呼吸不全<その他>	040130	0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義別傷病			重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、涙腺及び涙管	D315						手術あり	97 01	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)	K005\$		1	6	放射線療法										0	0	片眼	
			老人性白内障	H25\$						手術なし	99 99	手術なし			1	1	角膜移植術	K259									0	0	片眼	
02	0110	白内障、水晶体の疾患	乳児、若年及び初老期白内障 外傷性白内障 併発白内障	H260 H261 H262						手術あり	97 02 97 07 97 97	水晶体再建術 後発白内障手術	K282\$ K282-2 その他のKコード													1	1	両眼		
			薬物誘発性白内障 後発白内障 その他の明示された白内障 白内障、詳細不明 水晶体のその他の障害 他に分類される疾患における白内障及 び水晶体のその他の障害 先天(性)水晶体畸形 眼内レンズの機械的合併症	H263 H264 H268 H269 H27\$ H28\$ O12\$ T852						手術なし	99 99 97 02 97 97	手術なし 虹彩修復・瞳孔形成術	K269 その他のKコード													0	0	片眼		
02	0120	前部ぶどう膜炎	虹彩毛様体炎	H20\$						手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり														0	0	片眼		
02	0130	原田病	その他の網脈絡膜の炎症	H308						手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり														0	0	初回		
02	0140	網脈絡膜炎・網膜炎・急性網膜	ヘルペスウイルス(性)眼疾患	B00\$						手術なし	99 99	手術なし			1	1	水晶体再建術	K282\$	1	5	全身麻酔						0	0	初回	
			網脈絡膜の局在性炎症 網脈絡膜の散在性炎症 後部毛様体炎 網脈絡膜の炎症、詳細不明	H300 H301 H302 H309						手術あり	97 01 97 02 97 03 97 97	網膜剥離術 硝子体切除術 線内障手術 その他のKコード	K275 K279 K268\$ その他のKコード												0	0	片眼			
02	0150	斜視(外傷性・産着性を除く)	麻痺性斜視	H49\$						手術なし	99 99	手術なし														0	0	初回		
			共同性内斜視 共同性外斜視 上下斜視 眼欠<数>性斜視 その他及び詳細不明の斜視 斜位 機械的斜視 その他の明示された斜視 斜視、詳細不明	H500 H501 H502 H503 H504 H505 H506 H508						手術あり	97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 06 97 97	眼筋移動術 斜視手術 直筋の前後転法及び斜筋手術の併 斜視手術 斜筋手術 斜視手術 前転法及び後転法の併施 斜視手術 後転法 斜視手術 前転法 その他のKコード	K244 K242\$ K2424 K2423 K2422 K2421 その他のKコード													0	0	片眼		
02	0160	網膜剥離	網膜剥離、網膜裂孔を伴うもの 拡散性網膜剥離 網膜裂孔、剥離を伴わないもの 牽引性網膜剥離 その他の網膜剥離	H330 H332 H333 H334 H335						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 04 97 05 97 97	手術なし 網膜剥離術 硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 増殖性硝子体網膜症手術 網膜光凝固術 網膜冷凍凝固術 その他のKコード	K282\$ K275 K280\$ K280-2 K281 K276\$ K277 その他のKコード		1	1	水晶体再建術	K282\$	1	5	全身麻酔							0	0	片眼
02	0180	糖尿病性増殖性網膜症	糖尿病(性)網膜症	H360						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 97	手術なし 増殖性硝子体網膜症手術 硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 網膜光凝固術 その他のKコード	K268\$ K271 K272 K282\$ K276\$ その他のKコード		1	1	線内障手術	K268\$	2	6	アフリベルセプト							0	0	片眼
			毛様体光凝固術 毛様体冷凍凝固術 水晶体再建術							手術あり	97 01 97 02 97 02 97 03 97 97	増殖性硝子体網膜症手術 硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 網膜光凝固術 その他のKコード	K281 K280\$ K280-2 K276\$ その他のKコード		1	1	毛様体光凝固術 毛様体冷凍凝固術 水晶体再建術	K271 K272 K282\$	2	6	ラニズマブ 全身麻酔 人工腎臓 その他の場合	J0384					1	1	両眼	
02	0190	未熟児網膜症	未熟児網膜症	H351						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 97	手術なし 網膜光凝固術 網膜冷凍凝固術 網膜剥離術 網膜剥離術 網膜剥離術 その他のKコード	K2762 K281 K277 K275 その他のKコード													0	0	片眼		
			網膜光凝固術 網膜冷凍凝固術 網膜剥離術 網膜剥離術 網膜剥離術 その他のもの 増殖性硝子体網膜症手術 網膜光凝固術							手術あり	97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 97	硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 硝子体茎頭微鏡下離断術 増殖性硝子体網膜症手術 網膜光凝固術 その他のもの	K277-2 K2801 K280-2 K2802 K281 K276\$ その他のKコード														0	0	片眼	
02	0200	黄斑、後極変性	黄斑及び後極の変性網膜障害、詳細不明	H353 H359						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 04 97 97	手術なし 黄斑下手術 硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 硝子体茎頭微鏡下離断術 硝子体茎頭微鏡下離断術 硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜光凝固術 その他のもの	K277-2 K2801 K280-2 K2802 K281 K276\$ その他のKコード		1	1	水晶体再建術	K282\$	2	2	アフリベルセプト ラニズマブ ベガブタニブナトリウム							0	0	片眼
02	0210	網膜血管閉塞症	網膜血管閉塞症 単純性網膜症及び網膜血管変化 その他の増殖網膜症	H348 H350 H352						手術なし 手術あり	99 99 97 02 97 02	手術なし 硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	K268\$ K282\$ K2801 K280-2		1	1	アフリベルセプト ラニズマブ									0	0	片眼		
			網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)							手術あり	97 02	硝子体茎頭微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	K2801 K280-2		1	1	水晶体再建術	K282\$	1	1	ラニズマブ					0	0	片眼		

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等															
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等								
													97 03 硝子体茎頭微鏡下離断術 その他のもの K2802 97 04 網膜光凝固術 その他特殊なもの(一連につき) K2762 97 05 硝子体切除術 K279 97 07 網膜冷凍凝固術 K277 97 97 その他のKコード K281																								
02	0220	緑内障	緑内障の疑い 原発開放隅角緑内障 原発閉塞隅角緑内障 眼の外傷に続発する緑内障 眼の炎症に続発する緑内障 その他の眼疾患に続発する緑内障 薬物による続発緑内障 その他の緑内障 緑内障、詳細不明 内分泌、栄養及び代謝疾患における緑内障 他に分類されるその他の疾患における緑内障 眼球の変性病態 前眼部の先天奇形 先天(性)緑内障	H400 H401 H402 H403 H404 H405 H406 H408 H409 H420 H428 H445 Q138 Q150						手術なし その他の手術あり	99 99 手術なし 97 04 緑内障手術 虹彩切除術 97 05 毛様体光凝固術 97 07 緑内障手術 流出路再建術 97 07 緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのないもの) 97 07 緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの) 97 07 緑内障手術 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術 97 08 毛様体冷凍凝固術 97 09 隅角光凝固術 97 12 虹彩整復・瞳孔形成術 97 13 眼球摘出術 97 14 眼球内容除去術 97 15 虹膜台包埋術 97 97 その他のKコード K2683	K2802 K279 K277 K281		1	1	水晶体再建術	K282\$	1	3	人工腎臓 その他の場合	J0384									0	0	片眼	1	1	両眼		
02	0230	眼瞼下垂	眼瞼下垂 先天(性)眼瞼下垂	H024 Q100						手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 眼瞼下垂症手術 97 02 眼筋移動術 97 97 その他のKコード	K219\$ K244 その他のKコード		1	5	全身麻酔											0	0	片眼	1	1	両眼					
02	0240	硝子体疾患	硝子体の障害	H438						手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 増殖性硝子体網膜症手術 97 02 硝子体茎頭微鏡下離断術 97 02 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 97 03 硝子体切除術 97 97 その他のKコード	K281 K280\$ K280-2 K279 その他のKコード		1	1	水晶体再建術	K282\$												0	0	片眼	1	1	両眼			
02	0250	結膜の障害	トラコーマ クラミア結膜炎 アデノウイルスによる結膜炎 急性流行性出血性結膜炎(エンテロウイルス性) その他のウイルス(性)結膜炎 ウイルス(性)結膜炎、詳細不明 結膜炎 結膜のその他の障害 他に分類される疾患における結膜の障害	A718 A740 B301 B303 B308 B309 H108 H118 H138						手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 翼状片手術(弁の移植を要するもの) 97 02 結膜嚢形成手術 97 03 結膜結石除去術 97 04 結膜下異物除去術 97 05 結膜腫瘍冷凍凝固術 97 97 その他のKコード	K224 K223\$ K221\$ K222 K225 その他のKコード															0	0	片眼	1	1	両眼					
02	0270	強膜の障害	強膜の障害	H158						手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 強膜移植術 97 97 その他のKコード	K260 その他のKコード															0	0	片眼	1	1	両眼					
02	0280	角膜の障害	アデノウイルスによる角膜炎 角膜炎 角膜癒着及び混濁 角膜のその他の障害 他に分類される疾患における強膜及び角膜の障害	B300 H168 H178 H188 H198						手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 角膜移植術 97 02 角膜新生血管手術(冷凍凝固術を含む。) 97 02 顕微鏡下角膜抜糸術 97 03 角膜潰瘍掻爬術、角膜潰瘍焼灼術 97 04 角膜切開術 97 06 角膜潰瘍結膜被覆術 97 07 角膜表層除去併用結膜被覆術 97 08 治療的角膜切除術 97 09 強角膜穿孔閉鎖術 97 10 角膜形成手術 97 11 瞼縁縫合術(瞼板縫合術を含む。) 97 97 その他のKコード	K259 K248 K248-2 K249 K250 K256 K257 K254\$ K255 K261 K207 その他のKコード																		0	0	片眼	1	1	両眼		
02	0290	涙嚢の疾患	涙道の急性及び詳細不明の炎症 涙道の慢性炎症 涙道の狭窄及び不全 涙道におけるその他の変化	H043 H044 H045 H046						手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 涙嚢鼻腔吻合術 97 01 眼結膜嚢切開術 97 02 涙点、涙小管形成術 97 03 涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術 97 04 涙管チューブ挿入術 97 05 涙嚢切開術 97 06 先天性鼻涙管閉塞開放術 97 07 涙嚢摘出術 97 08 涙小管形成手術 97 97 その他のKコード	K204 K209 K199 K200-2 K202\$ K200 K201 K203 K206 その他のKコード																	0	0	初回	0	0	片眼	1	1	両眼

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等												
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等							
			中耳真珠腫 乳突洞閉鎖術後腔の再発性真珠腫	H71 H950									97 04 神経移植術 K198 97 04 鼓室開放術 K301 97 04 上鼓室開放術 K302 97 04 上鼓室乳突洞開放術 K303 97 04 乳突洞開放術(アントロミー) K304 97 04 嚢体部手術 K306 97 04 乳突充填術 K310 97 04 鼓膜穿孔閉鎖術(一連につき) K311 97 04 鼓膜鼓室肉芽切除術 K312 97 04 S状洞血栓(静脈炎)手術 K316 97 04 中耳根治手術 K317 97 04 アブミ骨摘出術・可動化手術 K320 97 97 その他のKコード																			
03	0450	外耳の障害(その他)	外耳炎 その他の外耳障害 他に分類される疾患における外耳障害	H605 H615 H625						手術なし 手術あり			99 99 手術なし 97 01 皮膚切開術 K0015 97 01 皮弁作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 K0155 97 01 外耳道骨増生(外骨腫)切除術 K290 97 01 外耳道骨腫切除術 K290-2 97 01 外耳道腫瘍摘出術(外耳道真珠腫手術を含む。) K292 97 97 その他のKコード																			
03	0460	中耳・乳棘突起の障害	麻疹、中耳炎を合併するもの 急性化膿性中耳炎 化膿性中耳炎、詳細不明 他に分類される疾患における中耳炎 その他の耳管障害 鼓膜穿孔 鼓膜のその他の障害 中耳及び乳棘突起のその他の障害 他に分類される疾患における中耳及び乳棘突起のその他の障害 乳突洞閉鎖術に誘発するその他の障害 耳及び乳棘突起のその他の処置後障害 耳及び乳棘突起の処置後障害、詳細不明	B053 H660 H664 H675 H695 H725 H735 H745 H755 H951 H958 H959						手術なし その他の手術あり			99 99 手術なし 97 02 鼓膜形成手術 K318 97 03 鼓室開放術 K301 97 03 上鼓室開放術 K302 97 03 上鼓室乳突洞開放術 K303 97 03 乳突洞開放術(アントロミー) K304 97 03 乳突閉鎖術 K305 97 03 嚢体部手術 K306 97 03 乳突充填術 K310 97 03 鼓膜穿孔閉鎖術(一連につき) K311 97 03 鼓膜鼓室肉芽切除術 K312 97 03 S状洞血栓(静脈炎)手術 K316 97 03 中耳根治手術 K317 97 03 アブミ骨摘出術・可動化手術 K320 97 97 その他のKコード																			
03	0470	内耳の障害(その他)	他に分類される疾患におけるめまい 眩暈>症候群 迷路炎 迷路機能異常 その他の明示された内耳疾患 内耳疾患、詳細不明	H82 H830 H832 H838 H839						手術なし			99 99 手術なし 97 01 アブミ骨摘出術・可動化手術 K320 97 02 迷路摘出術 K3255 97 03 内耳閉鎖術 K327 97 97 その他のKコード																			
03	0475	耳硬化症	耳硬化症 耳小骨の先天奇形	H805 Q163						手術なし 手術あり			99 99 手術なし 97 01 アブミ骨摘出術・可動化手術 K320 97 97 その他のKコード																			
03	0490	上気道の疾患(その他)	鼻の腫瘍、せつくフルンケル>及びよ うくカルブンケル> 鼻甲介の肥厚 慢性鼻咽炎及び慢性鼻咽炎	J340 J343 J375						手術なし 手術あり			99 99 手術なし 97 97 手術あり		1	1	人工呼吸	J0455														
03	0500	唾液腺の疾患(その他)	唾液腺萎縮 唾液腺肥大 唾液腺癌 唾液の分泌障害 その他の唾液腺疾患 唾液腺疾患、詳細不明	K110 K111 K114 K117 K118 K119						手術なし 手術あり			99 99 手術なし 97 97 手術あり																			
04	0010	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍	胸腺の悪性新生物<腫瘍> 心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>、前縦隔 心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>、後縦隔 心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>、縦隔、部位不明 心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>、心臓、縦隔及び胸膜の境界部 病巣 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍> リンパ節の統廃性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>、胸腔内リンパ節 縦隔の統廃性悪性新生物<腫瘍> 中耳並びにその他及び部位不明の呼吸器の統廃性悪性新生物<腫瘍>	C37 C381 C382 C383 C388 C395 C771 C781 C783						手術なし その他の手術あり 縦隔悪性腫瘍手術等				99 99 手術なし 97 97 01 01 縦隔悪性腫瘍手術 01 01 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 01 02 縦隔腫瘍、胸腺摘出術 01 03 縦隔郭清術 01 04 肺切除術	K6015 +補助 術費加算 K5045 K504-2 K502 K503 K515	1	1	人工心臓(1日につき)+補助循環	K6015 +補助 術費加算	3	8	化学療法ありかつ放射線療法なし	J0455	1	2	白血球疾患(その他)	130070 (他)					

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等				
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物<腫瘍>、胸腺 中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、胸	D150 D384																					
04	0020	縦隔の良性腫瘍	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物<腫瘍>、縦隔 良性脂肪腫性新生物<腫瘍>(脂肪腫を含む)、胸腔内臓器 中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、縦 胸腺の過形成遺残 胸腺の疾患、詳細不明	D152 D174 D383 E320 E329 Q341						手術なし 手術あり	99 99 97 01	手術なし 縦隔腫瘍、胸腺摘出術		1 1	人工心肺(1日につき)	K601\$	1 1	人工呼吸	J045\$						
04	0030	呼吸器系の良性腫瘍	中耳及び呼吸器系の良性新生物<腫瘍>、気管 中耳及び呼吸器系の良性新生物<腫瘍>、気管支及び肺 中耳及び呼吸器系の良性新生物<腫瘍>、呼吸器系、部位不明 中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、気管、気管支及び肺 中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、呼吸器、部位不明	D142 D143 D144 D381 D386						手術なし その他の手術あり 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除を伴う肺切除等	99 99 97 97 01 01 01 01	手術なし 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除 気管支形成手術		その他のK コード K5116 K518\$		1 1	人工呼吸	J045\$							
04	0040	肺の悪性腫瘍	気管の悪性新生物<腫瘍> 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 肺の統廃性悪性新生物<腫瘍> 中耳及び呼吸器系の上皮内癌、気管 中耳及び呼吸器系の上皮内癌、気管支及び肺 中耳及び呼吸器系の上皮内癌、呼吸器系、部位不明	C33 C34\$ C780 D021 D022 D024						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 04 97 05 97 05 97 06 97 07 97 97	手術なし 肺悪性腫瘍手術 気管支形成手術 輪状切除術 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 気管支腫瘍摘出術(気管支鏡又は気管支ファイバースコープによるもの) 気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術 胸腔内(胸膜内)血腫除去術 気管支狭窄拡張術(気管支鏡によるもの)	K514\$ K5182 K514-2\$ K510 K510-3 K494 K508 その他のK コード		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 7 13 6 12 6 12 6 12 6 11 5 10 5 10 5 10 5 10 5 9 4 8 3 7 2 6 1 2 1 1	1 16 1 16 9 16 9 16 8 15 8 14 7 13 6 12 6 12 6 12 6 11 5 10 5 10 5 10 5 10 5 9 4 8 3 7 2 6 1 2 1 1	ニボルマブ ベムプロシズマブ アテゾリズマブ デュルバルマブ ラムシムマブ ヘパシズマブ ベメレキセドナトリウム クリゾチニブ アレクチニブ塩酸塩 セリチニブ ロルチニブ エストレクチニブ オンメルチニブメシル酸塩 ケフィチニブ アファチニブマレイン酸塩 エルロチニブ ダコチニブ カルボプラチン+ハバクリタキセルあり 化学療法ありかつ放射線療法なし 化学療法ありかつ放射線療法あり 化学療法なしかつ放射線療法あり 中心静脈注射 人工呼吸	J045\$	1 1 1 2 1 3	肺炎等 白血球疾患(その他) 骨の悪性腫瘍(骨髄を除く。)	040080 130070 070040				
04	0050	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>、胸膜 胸膜中皮腫 心臓中皮腫 胸膜の統廃性悪性新生物<腫瘍> 中皮組織の良性新生物<腫瘍>、胸膜の中皮組織 中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、胸	C384 C450 C452 C782 D190 D382				00 0 15歳以上 15 1 15歳未満		手術なし その他の手術あり 肺切除術 1側肺全摘等	99 99 97 97 01 01 01 01 01 01 01 02 01 02 01 02 01 03 01 05 01 05 01 06 01 06	手術なし 肺切除術 1側肺全摘 肺悪性腫瘍手術 隣接臓器合併切除を伴う肺切 肺悪性腫瘍手術 胸膜肺全摘 肺悪性腫瘍手術 壁側・臓側胸膜全切除(横隔 膜、心臓合併切除を伴うもの) 胸壁悪性腫瘍摘出術 胸壁形成手術を併施する もの 胸壁悪性腫瘍摘出術 その他のもの 胸骨悪性腫瘍摘出術 胸壁腫瘍摘出術 胸腔鏡下肺切除術 胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術 肋骨切除術 その他の肋骨 胸骨切除術、胸骨骨折親血手術	K015\$ K016 K0172 K019 K013\$ K013-2\$ K4842 K484-2\$ K485 K513\$ K513-3 K4822 K483		1 2 4 9 3 8 2 6 1 2 1 1	2 皮弁作成術、移動術、切断術、遅延皮弁 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 複合組織移植術 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K016 K0172 K019 K013\$ K013-2\$	5 10 4 9 3 8 2 6 1 2 1 1	ニボルマブ ベメレキセドナトリウム 化学療法ありかつ放射線療法なし 放射線療法あり 中心静脈注射 人工呼吸	J045\$					

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
										97 02 植込型除細動器交換術 K599-2\$ 97 97 その他のKコード			0 0 体外ペースメーカーリング術 K596												
05	0130	心不全	心不全	150\$						手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 03 経皮的冠動脈形成術 K546\$ 97 03 経皮的冠動脈粥硬切除術 K547 97 03 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高速回転式経皮経管アテレトミカテーテルによるもの K5481 97 03 経皮的冠動脈ステント留置術 K549\$ 97 03 冠動脈内血栓溶解療法 K550 97 03 経皮的カテーテル心筋焼灼術 K595\$ 97 04 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの K5482 97 05 ベースメーカー移植術 K597\$ 97 05 ベースメーカー交換術 K597-2 97 05 両心室ペースメーカー移植術 K598\$ 97 05 植込型除細動器移植術 K599-2\$ 97 05 両室ベレーシング機能付き植込型除細動器移植術 K599-3\$ 97 05 両室ベレーシング機能付き植込型除細動器交換術 K599-4\$ 97 97 その他のKコード			5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日ににつき) K600\$ 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) K602\$ 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) K602-2\$ 5 5 補助人工心臓(1日につき) K603\$ 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) D206\$ 0 0 体外ペースメーカーリング術 K596			2 6 シンチグラム E100\$ 2 6 SPECT E101 2 4 持続緩和式血液濾過 J038-2 2 4 人工腎臓 その他の場合 J0384 2 3 中心静脈注射 G005 1 2 人工呼吸 J045\$ 0 1 開腹的膀胱吸入法 J026 0 1 心大血管リハビリテーション科 H000\$			1 3 敗血症 180010						
05	0140	高血圧性疾患	本態性(原発性<一性性>)高血圧(症) 高血圧性心疾患 高血圧性腎疾患	110 111\$ 113\$						手術なし 99 99 手術なし 手術あり 97 97 手術あり			1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) D206\$ 2 4 持続緩和式血液濾過 J038-2 2 4 人工腎臓 その他の場合 J0384 2 3 中心静脈注射 G005 1 2 人工呼吸 J045\$			2 4 持続緩和式血液濾過 J038-2 2 4 人工腎臓 その他の場合 J0384 2 3 中心静脈注射 G005 1 2 人工呼吸 J045\$			1 2 胸水、胸膜の疾患(その他) 040190						
05	0161	解離性大動脈瘤	大動脈の解離[各部位]	1710						手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 02 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 K5603\$ 97 02 オープン型ステントグラフト内挿術 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術 K560-22\$ 97 03 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 弓部大動脈 K5602 97 03 オープン型ステントグラフト内挿術 弓部大動脈 K560-21 97 04 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの K56014 97 04 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術 K5601D 97 04 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈 自己弁温存型大動脈基部置換術 K5601A 97 05 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 胸部大動脈 K5605 97 06 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈 その他のもの K5601-2 97 07 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 下行大動脈 K5604 97 07 オープン型ステントグラフト内挿術 下行大動脈 K560-23 97 08 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 腹部大動脈(分枝血管の再植を伴うもの) K5606 97 09 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 腹部大動脈(その他のもの) K5607 97 10 冠動脈、大動脈バイパス移植術 K552\$ 97 10 弁形成術 K554\$ 97 10 胸腔鏡下弁形成術 K554-2\$ 97 10 弁置換術 K555\$ 97 10 胸腔鏡下弁置換術 K555-3\$ 97 97 その他のKコード			5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日ににつき) K600\$ 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) K602\$ 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) K602-2\$ 5 5 補助人工心臓(1日につき) K603\$ 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) D206\$ 0 0 体外ペースメーカーリング術 K596			2 4 持続緩和式血液濾過 J038-2 2 4 人工腎臓 その他の場合 J0384 1 3 中心静脈注射 G005 2 4 人工呼吸 J045\$									
05	0162	破裂性大動脈瘤	胸部大動脈瘤、破裂性 腹部大動脈瘤、破裂性 胸腹部大動脈瘤、破裂性 部位不明の大動脈瘤、破裂性	1711 1713 1715 1718						手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 10 冠動脈、大動脈バイパス移植術 K552\$ 97 10 弁形成術 K554\$ 97 10 胸腔鏡下弁形成術 K554-2\$ 97 10 弁置換術 K555\$			5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日ににつき) K600\$ 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) K602\$ 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) K602-2\$ 5 5 補助人工心臓(1日につき) K603\$ 0 0 体外ペースメーカーリング術 K596			2 4 持続緩和式血液濾過 J038-2 2 4 人工腎臓 その他の場合 J0384 1 3 中心静脈注射 G005 1 2 人工呼吸 J045\$									

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等					
			巨大結腸、他に分類されないもの 潰瘍性大腸炎における関節障害 潰瘍性大腸炎における若年性関節炎	K593 M075\$ M092\$				06 1	6歳未満	その他の手術あり 結腸切除術等	97 97 01 02	その他のKコード 結腸切除術	K726-2 K719\$	1 2 0 1	腹腔鏡下人工肛門造設術 カプセル型内視鏡	K726-2 J041-2	5 8 4 5	ゴリムマップ 血球成分除去療法												
06	0190	虚血性腸炎	腸の血行障害	K55\$						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 02 97 02 97 03 97 03 97 04 97 04 97 05 97 06 97 07 97 08 97 09 97 97	手術なし 小腸切除術 その他のもの+人工肛門造設術 腹腔鏡下小腸切除術+人工肛門造設術 結腸切除術+人工肛門造設術 腹腔鏡下結腸切除術+人工肛門造設術 小腸切除術 その他のもの 結腸切除術 腹腔鏡下小腸切除術 腹腔鏡下結腸切除術 人工肛門造設術 小腸瘻閉鎖術 結腸瘻閉鎖術 人工肛門閉鎖術 腸狭窄部切開縫合術 腸管癒着症手術 その他のKコード	K7162+K726 K716-2\$+K726 K719\$+K726 K719-2\$+K726 K7162 K719\$ K719-2\$ K719-2\$ K726 K730\$ K731\$ K732\$ K728 K714 その他のKコード	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 2 1 1	敗血症	180010					
06	0210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	痙攣性イレウス 輪捻(転) 胆石性イレウス その他の腸管かんく致>頓 閉塞を伴う腸癒着[薬染物] その他及び詳細不明の腸閉塞 イレウス、詳細不明 術後腸閉塞	K560 K562 K563 K564 K565 K566 K567 K913						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 02 97 03 97 03 97 04 97 04 97 04 97 97	手術なし 腸管癒着症手術 腹腔鏡下腸管癒着剥離術 小腸切除術 その他のもの 結腸切除術 人工肛門造設術 腹腔鏡下人工肛門造設術 小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡によるもの) 下部消化管ステント留置術 その他のKコード	K714 K714-2 K7162 K719\$ K726 K726-2 K735-2 K735-4 その他のKコード	1 1	イレウス用ロングチューブ挿入法	J034	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 2 1 1	腸膿性肺炎	040081								
06	0220	直腸脱、肛門脱	肛門脱<脱肛> 直腸脱	K622 K623						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 02 97 03 97 05 97 06 97 06 97 07 97 08 97 08 97 97	手術なし 直腸脱手術 直腸挙上固定を行うもの 直腸脱手術 骨盤底形成を行うもの 直腸脱手術 腹圧からのもの(腸切除を含む) 腹腔鏡下直腸脱手術 直腸脱手術 経陰陰によるもの 肛門括約筋形成手術 人工肛門造設術 痔核手術(脱肛を含む。) 根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴わないもの) 痔核手術(脱肛を含む。) 根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴うもの) 痔核手術(脱肛を含む。) PPH 肛門形成手術 直腸粘膜脱形成手術 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 その他のKコード	K7422 K7423 K7424 K742-2 K7421\$ K750\$ K726 K7434 K7435 K7436 K7522 K015\$ K016 その他のKコード	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$								
06	0230	肛門周囲膿瘍	肛門膿瘍 直腸膿瘍 肛門直腸膿瘍 坐骨直腸膿瘍 (肛門)括約筋内膿瘍 肛門及び直腸のその他の明示された疾患	K610 K611 K612 K613 K614 K628						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 02 97 03 97 97	手術なし 直腸周囲膿瘍切開術 肛門周囲膿瘍切開術 痔瘻根治手術 高位直腸膿瘍手術 肛門括約筋形成手術 組織置換によるもの 人工肛門造設術 その他のKコード	K737 K745 K746\$ K746-2 K7502 K726 その他のKコード	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$											
06	0235	痔瘻	痔瘻 直腸瘻 肛門直腸瘻	K603 K604 K605						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04	手術なし 痔瘻根治手術 複雑なもの+肛門括約筋形成手術 組織置換によるもの 痔瘻根治手術 複雑なもの 高位直腸瘻手術 痔瘻根治手術 単純なもの 人工肛門造設術	K7462+K7502 K7462 K746-2 K7461 K726	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$											

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
												97 05 肛門括約筋形成手術 組織置換によるもの 97 97 その他のKコード	K7502																			
06	0241	痔核	肛門及び直腸の出血 痔核及び肛門周囲静脈血栓症	K625 K645						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 02 97 02 97 02 97 02 97 02 97 03 97 97	手術なし 手術あり	痔核手術(脱肛を含む。)根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴わないもの) 痔核手術(脱肛を含む。)根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴うもの) 痔核手術(脱肛を含む。)PPH 痔核手術後狭窄拡張手術 硬化療法 硬化療法(四段階注射法によるもの) 結紮術、焼灼術、血栓摘出術 肛門括約筋切開術 直腸狭窄形成手術	K7434 K7435 K7436 K743-4 K7431 K7432 K7433 K743-2 K741 その他のKコード					1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$											
06	0250	尖圭コンジローム	肛門性器(性病性)いぼ<疣><疣贅>	A630						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97	手術なし 手術あり	肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術	K747 その他のKコード									1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$							
06	0260	裂肛、肛門狭窄	急性裂肛 慢性裂肛 裂肛、詳細不明 肛門及び直腸の狭窄	K600 K601 K602 K624						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 97	手術なし 手術あり	痔核手術(脱肛を含む。)根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴わないもの) 痔核手術(脱肛を含む。)根治手術(硬化療法(四段階注射法によるもの)を伴うもの) 痔核手術後狭窄拡張手術 裂肛又は肛門潰瘍根治手術 肛門拡張術(親血的なもの) 肛門括約筋形成手術 肛門形成手術 肛門狭窄形成手術	K7434 K7435 K743-4 K744 K749 K750\$ K7521 その他のKコード					1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$											
06	0270	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎	急性A型肝炎、肝性昏睡を伴うもの 急性A型肝炎、肝性昏睡を伴わないもの 急性B型肝炎、デルタ因子(重複感染)及び肝性昏睡を伴うもの 急性B型肝炎、デルタ因子(重複感染)を伴い、肝性昏睡を伴わないもの 急性B型肝炎、デルタ因子を伴わず、肝性昏睡を伴うもの 急性B型肝炎、デルタ因子及び肝性昏睡を伴わないもの B型肝炎キャリア<病原体保有者>の急性デルタ(重)感染症 急性C型肝炎 急性E型肝炎 その他の明示された急性ウイルス性肝炎 急性ウイルス性肝炎、詳細不明 詳細不明のウイルス性肝炎 サイトメガロウイルス(性)肝炎 胆汁うっ滞を伴う中毒性肝疾患 肝え<壊>死を伴う中毒性肝疾患 急性肝炎を伴う中毒性肝疾患 中毒性肝疾患、詳細不明 急性及び亜急性肝不全 中心性出血性肝え<壊>死 肝梗塞	B150 B159 B160 B161 B162 B169 B170 B171 B172 B178 B179 B198 B251 K710 K711 K712 K719 K720 K762 K763						手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり											4 6 4 5 1 4 1 3 1 2 1 1	吸着式血液浄化法 血漿交換療法 持続緩徐式血液濾過 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J041 J039 J038-2 J0384 G005 J045\$							
06	0280	アルコール性肝障害	アルコール性肝疾患	K705						手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり											1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$							
06	0290	慢性肝炎(慢性C型肝炎を除く。)	慢性B型肝炎、デルタ因子(重複感染)を伴うもの 慢性B型肝炎、デルタ因子(重複感染)を伴わないもの その他の慢性ウイルス性肝炎 慢性ウイルス性肝炎、詳細不明 慢性持続性肝炎を伴う中毒性肝疾患 慢性小葉(性)肝炎を伴う中毒性肝疾患 慢性活動性肝炎を伴う中毒性肝疾患 肝炎を伴う中毒性肝疾患、他に分類されないもの その他の肝障害を伴う中毒性肝疾患 慢性肝炎、他に分類されないもの 高芽腫性肝炎、他に分類されないもの 自己免疫性肝炎	B180 B181 B188 B189 K713 K714 K715 K716 K718 K738 K753 K754					手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり												2 9 1 5	IFN-β(7日以上投与した場合に限る。) IFN-α	J06270 J045\$	1 2 劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎						

診断群分類			医療資源を最も投入した病名			病態等分類			年齢、出生時体重等			手術					手術・処置等1				手術・処置等2				定義副病名		重症度等															
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対 応 コ ード	フ ラ グ	病態区分	コ ー ド	フ ラ グ	年齢、出生時体重	手術 分 岐	対 応 コ ード	フ ラ グ	点 数 表 名 称	区 分 番 号 等	対 応 コ ード	フ ラ グ	処 置 等 名 称	区 分 番 号 等	対 応 コ ード	フ ラ グ	処 置 等 名 称	区 分 番 号 等	対 応 コ ード	フ ラ グ	疾 患 名	疾患 コ ー ド または ICD コ ー ド	対 応 コ ード	フ ラ グ	重 症 度 等												
			その他の明示された炎症性肝疾患 脂肪肝<肝の脂肪化>、他に分類され ないもの 慢性(変動性)うっ血肝 他に分類される疾患における肝障害	K758 K760 K761 K775																																						
06	0295	慢性C型肝炎	慢性C型ウイルス性肝炎	B182						手術なし	99	99	手術なし								1	10	ダクタシル塩酸塩 /アズナブレビル/ペ クラゾビル塩酸塩	1	2	肝・肝内胆管の 悪性腫瘍(結発 性を含む。)	060050															
			門脈血栓症	I81						手術あり	97	97	手術あり								1	10	グラゾプレビル/エル バズビルあり	1	10	アズナブレビル/ダクタ シル塩酸塩あり	1	10	レゾバスビル アセト ン付加物/ソホスビ ル	1	10	ソホスビル	1	10	ソホスビル/ベルバ タシル	1	10	グレカプレビル/ピ レンタシル				
06	0300	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	門脈血栓症 バッド・キアリ<Budd-Chiari>症候 群 出血を伴う食道静脈瘤 出血を伴わない食道静脈瘤 胃静脈瘤 他に分類される疾患における出血を伴 わない食道静脈瘤 他に分類される疾患における出血を伴 う食道静脈瘤 肝線維症及び肝硬変を伴う中毒性肝 疾患 慢性肝不全 肝不全、詳細不明 肝線維症 肝硬化症 肝硬化症を伴う肝線維症 原発性胆汁性肝硬変 続発性胆汁性肝硬変 胆汁性肝硬変、詳細不明 その他及び詳細不明の肝硬変 肝静脈閉塞性疾患 門脈圧亢進(症)	I81 I820 I850 I859 I864 I982 I983 K717 K721 K729 K740 K741 K742 K743 K744 K745 K746 K765 K766						手術なし	99	99	手術なし		その他のK コード	1	3	限局性腹腔腫瘍手術	K637\$	1	4	持続緩徐系血液濾過	J038- 2	1	3	人工腎臓 その他の 場合	J0384	1	1	胸水、胸膜の疾 患(その他)	040190											
			肝硬変(細菌性、寄生性疾患を含む。)	A064						手術あり	97	01	肝切除術	K695\$	1	2	急性汎発性腹膜炎手術	K639	1	3	人工腎臓 その他の 場合	J0384	1	2	中心静脈注射	G005	1	3	播種性血管内凝 固症候群	130100												
			肝線維症	K750						手術あり	97	01	肝切除術	K695\$	1	2	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	K639- 3	1	2	中心静脈注射	G005	1	1	人工呼吸	J045\$																
			門脈の静脈炎	K751						手術あり	97	01	腹腔鏡下肝切除術	K695-2\$	1	2	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	1	人工呼吸	J045\$																				
			非特異的反応性肝炎	K752						手術あり	97	02	限局性腹腔腫瘍手術 横隔膜下腫瘍	K6371	1	2	胃瘻閉鎖術	K665\$	1	2	胃瘻閉鎖術	K665- 2	1	2	腸瘻、虫垂瘻造設術	K725	1	2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	K725- 2	1	2	人工肛門造設術	K726	1	1	肝内胆管外瘻造設術 開腹によるもの	K6971	1	1	肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6972
			肝線維症	K753						手術あり	97	02	肝線維症切開術	K691\$	1	2	腸瘻、虫垂瘻造設術	K725	1	2	人工肛門造設術	K726	1	2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	K725- 2	1	2	人工肛門造設術	K726	1	1	肝内胆管外瘻造設術 開腹によるもの	K6971	1	1	肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6972				
06	0320	肝嚢胞	その他の明示された肝疾患	K768						手術なし	99	99	手術なし								1	2	限局性腹腔腫瘍手術	K637\$	1	3	人工腎臓 その他の 場合	J0384														
			肝嚢胞	K770						手術あり	97	01	肝切除術	K695\$	1	2	経皮的腹腔腫瘍ドレーナージ術	K637- 2	1	2	中心静脈注射	G005	1	2	中心静脈注射	G005	1	1	人工呼吸	J045\$												
			胆嚢炎	K771						手術あり	97	01	腹腔鏡下肝切除術	K695-2\$	1	2	急性汎発性腹膜炎手術	K639	1	1	人工呼吸	J045\$																				
			胆嚢嚢腫	K772						手術あり	97	02	胆嚢嚢腫切開術	K692	1	2	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	K639- 3	1	1	人工呼吸	J045\$																				
			胆嚢嚢腫	K773						手術あり	97	02	腹腔鏡下肝嚢胞切開術	K692-2	1	2	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	2	腸瘻、虫垂瘻造設術	K725	1	2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	K725- 2	1	2	人工肛門造設術	K726	1	1	肝内胆管外瘻造設術 開腹によるもの	K6971	1	1	肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6972				
06	0330	胆嚢疾患(胆嚢結石など)	胆のうく囊>炎を伴わない胆のうく囊 >結石	K802						手術なし	99	99	手術なし								1	2	限局性腹腔腫瘍手術	K637\$	1	3	人工腎臓 その他の 場合	J0384														

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病			重症度等																																																			
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等																																												
06	0390	細菌性腸炎	コレラ	A008				00	0	6歳以上				99	99	手術なし								1	1	人工呼吸	J0455																																															
			腸チフス及びパラチフス	A018										06	1	6歳未満								97	97	手術あり																																																
			サルモネラ菌炎	A020				06	1	6歳未満																																																																
			局所的サルモネラ感染症	A022																																																																						
			その他の明示されたサルモネラ感染症	A028																																																																						
			サルモネラ感染症、詳細不明	A029																																																																						
			志賀菌による細菌性赤痢	A030																																																																						
			フレクスター菌による細菌性赤痢	A031																																																																						
			ボイド菌による細菌性赤痢	A032																																																																						
			ソネバ菌による細菌性赤痢	A033																																																																						
			その他の細菌性赤痢	A038																																																																						
			細菌性赤痢、詳細不明	A039																																																																						
			腸管病原性大腸菌感染症	A040																																																																						
			腸管毒素原性大腸菌感染症	A041																																																																						
腸管組織壊壊性大腸菌感染症	A042																																																																									
腸管出血性大腸菌感染症	A043																																																																									
その他の大腸菌性腸管感染症	A044																																																																									
カンピロバクター菌炎	A045																																																																									
エルシニア エンテロコロリカによる腸	A046																																																																									
その他の明示された細菌性腸管感染	A048																																																																									
細菌性腸管感染症、詳細不明	A049																																																																									
ブドウ球菌性食中毒	A050																																																																									
ウェルシュ菌食中毒	A052																																																																									
腸炎ビブリオ食中毒	A053																																																																									
セラウス菌食中毒	A054																																																																									
その他の明示された細菌性食中毒	A058																																																																									
細菌性食中毒、詳細不明	A059																																																																									
06	0391	偽膜性腸炎	クロストリジウム・ディフィシルによる腸炎	A047				00	0	6歳以上				99	99	手術なし																																																										
														06	1	6歳未満																	97	97	手術あり																																							
06	0565	顎変形症	顎顎顔面(先天)異常[不正咬合を含む]	K078										99	99	手術なし																																																										
														97	01	下顎骨部分切除術																	K437																																									
														97	01	下顎骨離断術																	K438																																									
														97	01	上顎骨形成術 単純な場合																	K4431																																									
														97	01	上顎骨形成術 複雑な場合及び2次的再建の場合																	K4432																																									
														97	01	上顎骨形成術 骨移動を伴う場合																	K4433																																									
														97	01	下顎骨形成術 おとがい形成の場合																	K4441																																									
														97	01	下顎骨形成術 短縮又は伸長の場合																	K4442																																									
														97	01	下顎骨形成術 再建の場合																	K4443																																									
														97	01	下顎骨形成術 骨移動を伴う場合																	K4444																																									
														97	01	下顎骨延長術																	K444-2S																																									
														97	01	顎関節形成術																	K445																																									
														97	01	顎関節内嵌位術																	K447S																																									
														97	02	顎関節授動術																	K446S																																									
														97	03	粘膜移植術																	K021S																																									
														97	03	粘膜弁手術																	K021-2S																																									
														97	03	骨移植術(軟骨移植術を含む。)																	K059S																																									
														97	97	その他のKコード																	その他のKコード																																									
														06	0570	その他の消化管の障害																	歯の発育及び萌出の障害	K008										99	99	手術なし																												
																																												手術あり	97	01																皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	K015S											
																																												埋伏歯	K018	97																02	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	K016										
うく鼻>鼻	K02S	97	03	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 其他の場合	K0172																																																																					
歯の硬組織のその他の疾患	K03S					97	04	複合組織移植術	K019																																																																	
歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	K04S									97	05	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	K020																																																													
歯肉炎及び歯周疾患	K05S																97	06	骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K059S																																																						
歯肉及び歯肉瘻のその他の障害	K06S																				97	07	骨長頸手術	K058S																																																		
歯及び歯の支持組織のその他の障害	K08S																								97	08	顎関節形成術	K445																																														
口腔部のうく鼻>鼻、他に分類されないもの	K09S																												97	09	上顎骨形成術 単純な場合	K4431																																										
顎骨のその他の疾患	K10S																																											97	09																				上顎骨形成術 複雑な場合及び2次的再建の場合	K4432								
舌の疾患	K14S																																																																		97	09	上顎骨形成術 骨移動を伴う場合	K4433				
胃及び十二指腸の疾患、詳細不明	K319																																																																						97	10	下顎骨形成術 おとがい形成の場合	K4441
便秘	K590																																																																									
機能性下痢	K591																																													97																10	下顎骨形成術 再建の場合	K4443										
神経性腸症、他に分類されないもの	K592	97	10	下顎骨形成術 骨移動を伴う場合	K4444																																																																					
肛門けいれん<虚壁>	K594					97	10	下顎骨延長術	K444-2S																																																																	
その他の明示された腸の機能障害	K598									97	11	抜歯手術(1歯につき)	K404S																																																													
腸の機能障害、詳細不明	K599																97	12	顎関節授動術	K446S																																																						
肛門及び直腸の疾患、詳細不明	K629																				97	13	顎関節内嵌位術	K447S																																																		
腹膜のその他の障害	K66S																								97	14	胃腸所切術	K654-2																																														
炎症性疾患、詳細不明	K759													97	14	腹腔鏡下胃腸所切術													K654-3S																																													
肝臓疾患	K764																													97	14	胃切除術 単純切除術	K6551																																									
肝疾患、詳細不明	K769																																	97	14	腹腔鏡下胃切除術 単純切除術	K655-21																																					
消化器系のその他の処置後障害、他に分類されないもの	K918																																					97	15	胃全摘術 単純全摘術	K6571																																	
消化器系の処置後障害、詳細不明	K919																																																																									

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等			
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術岐	対応コード	点数表名称	区分番号等	対応コード	処置等名称	区分番号等	対応コード	処置等名称	区分番号等	対応コード	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	重症度等	
			リウマチ後慢性関節障害〔ジャーク<Jaccoud>病〕肩甲骨 カシバベック<Kaschin-Beck>病 肩甲骨 関節炎性関節腫 肩甲骨 外傷性関節障害 肩甲骨 その他の明示された関節障害、他に分類されないもの 肩甲骨 多発性関節炎、詳細不明 肩甲骨 多発性関節炎、詳細不明 上腕 単(発性)関節炎、他に分類されないもの 肩甲骨 単(発性)関節炎、他に分類されないもの 上腕 その他の明示された関節炎 肩甲骨 その他の明示された関節炎 上腕 関節炎、詳細不明 肩甲骨 関節炎、詳細不明 上腕 その他の関節の原発性関節症 肩甲骨 その他の関節の外傷後関節症 肩甲骨 その他の結核性関節症 肩甲骨 その他の明示された関節症 肩甲骨 関節症、詳細不明 肩甲骨 出血性関節症 肩甲骨 関節の瘻(孔) 肩甲骨 関節の瘻(孔) 上腕 関節の瘻(孔) 前腕 関節滲出液貯留 肩甲骨 骨髄 肩甲骨 その他の明示された関節障害 肩甲骨 回旋腱板症候群 その他の肩の傷害<損傷> 肩の傷害<損傷>、詳細不明	M1201 M1211 M1241 M1251 M1281 M1301 M1302 M1311 M1312 M1381 M1382 M1391 M1392 M1901 M1911 M1921 M1981 M1991 M2501 M2511 M2512 M2513 M2541 M2571 M2581 M751 M758 M759																				
07	0060	手肘の関節炎	ブドウ球菌性(多発性)関節炎 上腕 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 前腕 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 手 肺炎球菌性(多発性)関節炎 上腕 肺炎球菌性(多発性)関節炎 前腕 肺炎球菌性(多発性)関節炎 手 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 上腕 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 前腕 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 手 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 上腕 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 前腕 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 手 化膿性関節炎、詳細不明 上腕 化膿性関節炎、詳細不明 前腕 化膿性関節炎、詳細不明 手 髄膜炎菌性関節炎 上腕 髄膜炎菌性関節炎 前腕 髄膜炎菌性関節炎 手 結核性関節炎 上腕 結核性関節炎 前腕 結核性関節炎 手 ライム<Lyme>病における関節炎 上腕 ライム<Lyme>病における関節炎 前腕 ライム<Lyme>病における関節炎 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 上腕 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 前腕 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 手 風疹性関節炎 上腕 風疹性関節炎 前腕 風疹性関節炎 手 他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎 上腕 他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎 前腕 他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎 手 真菌症における関節炎 前腕 真菌症における関節炎 手 他に分類されるその他の感染症及び寄生虫症における関節炎 上腕 他に分類されるその他の感染症及び寄生虫症における関節炎 前腕	M0002 M0003 M0004 M0012 M0013 M0014 M0022 M0023 M0024 M0082 M0083 M0084 M0092 M0093 M0094 M0102 M0103 M0104 M0112 M0113 M0114 M0122 M0123 M0124 M0132 M0133 M0134 M0142 M0143 M0144 M0152 M0153 M0154 M0163 M0164 M0182 M0183		00 0 6歳以上 06 1 6歳未満		99 99 手術なし 97 01 関節切開術 胸鎖、肘、手、足 97 01 化膿性又は結核性関節炎掻爬術 胸鎖、肘、手、足 97 01 観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足 97 01 関節形成手術 胸鎖、肘、手、足 97 02 骨掻爬術 97 02 関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足 97 02 関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足) 97 02 関節鏡下関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足 97 02 関節鏡下関節滑膜切除術 肩鎖、指(手、足) 97 02 滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足 97 02 滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足) 97 02 関節鏡下滑液膜摘出術 胸鎖、肘、手、足 97 02 関節鏡下滑液膜摘出術 肩鎖、指(手、足) 97 02 掌指関節滑膜切除術 97 02 関節鏡下掌指関節滑膜切除術 97 97	K0602 K0603-2 K0782 K0802 K043\$ K0662 K0663 K066-22 K066-23 K066-32 K066-33 K066-42 K066-43 K066-7 K066-8 その他のKコード	1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K059\$	1 1 人工呼吸	J045\$											

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			他に分類される原虫及び寄生虫感染症における筋炎 他に分類されるその他の感染症における筋炎 他に分類される疾患におけるその他の筋障害 二頭筋腱炎 筋(肉)痛 神経痛及び神経炎、詳細不明 皮下脂肪組織炎、詳細不明 軟部組織内の残留異物 (四) 疼痛 上腕 (四) 疼痛 前腕 (四) 疼痛 手 (四) 疼痛 下腿 (四) 疼痛 足関節部及び足	M631 M632 M638 M752 M791\$ M792\$ M793\$ M795\$ M7962 M7963 M7964 M7966 M7967																							
07	010x	化膿性関節炎(下肢)	070101 化膿性・結核性股関節炎 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 骨盤部及び大腿 肺炎球菌性(多発性)関節炎 骨盤部及び大腿 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 骨盤部及び大腿 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 骨盤部及び大腿 化膿性関節炎、詳細不明 骨盤部及び大腿 髄膜炎菌性関節炎 骨盤部及び大腿 結核性関節炎 骨盤部及び大腿 ライム<Lyme>病における関節炎 骨盤部及び大腿 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 骨盤部及び大腿 真菌性関節炎 骨盤部及び大腿 他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎 骨盤部及び大腿 他に分類されるその他の感染症及び寄生虫症における関節炎 骨盤部及び大腿 髄膜炎菌感染後関節炎 骨盤部及び大腿 他に分類される疾患におけるその他の感染後関節障害 骨盤部及び大腿 他に分類されるその他の疾患における反応性関節障害 骨盤部及び大腿 関節の瘻(孔) 下腿 070102 化膿性膝関節炎 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 下腿 肺炎球菌性(多発性)関節炎 下腿 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 下腿 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 下腿 化膿性関節炎、詳細不明 下腿 髄膜炎菌性関節炎 下腿 結核性関節炎 下腿 ライム<Lyme>病における関節炎 下腿 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 下腿 真菌性関節炎 下腿 他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎 下腿 真菌症における関節炎 下腿 他に分類されるその他の感染症及び寄生虫症における関節炎 下腿 膿/バイパスに続発する関節障害 下腿 赤痢後関節障害 下腿 予防接種後関節障害 下腿 髄膜炎菌感染後関節炎 下腿 梅毒における感染後関節障害 下腿 他に分類される疾患におけるその他の感染後関節障害 下腿 他に分類されるその他の疾患における反応性関節障害 下腿 多発性関節炎、詳細不明 下腿 単(発性)関節炎、他に分類されないもの 下腿 その他の明示された関節炎 下腿 明節炎、詳細不明 下腿 070103 下腿(股関節以外)関節炎 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 足関節部及び足	M0005 M0015 M0025 M0085 M0095 M0105 M0115 M0125 M0135 M0145 M0155 M0185 M0305 M0325 M0365 M2516 M0006 M0016 M0026 M0086 M0096 M0106 M0116 M0126 M0136 M0146 M0156 M0166 M0186 M0206 M0216 M0226 M0306 M0316 M0326 M0366 M1306 M1316 M1386 M1999 M0007	00 0 6歳以上 06 1 6歳未満	手術なし その他の手術あり	99 99 手術なし 97 02 骨腫術 97 02 骨部分切除術 97 02 腐骨摘出術 前腕、下腿 97 02 腐骨摘出術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他 97 02 偽関節手術 97 02 変形治療骨折矯正手術 前腕、下腿 97 02 変形治療骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他 97 02 関節切開術 肩、股、膝 97 02 化膿性又は結核性関節炎摘除術 肩、股、膝 97 02 関節滑膜切除術 肩、股、膝 97 02 滑液膜摘出術 肩、股、膝 97 02 膝蓋骨滑液囊切除術 97 02 掌指関節滑膜切除術 97 02 半月板切除術 97 02 関節切除術 肩、股、膝 97 02 親血的関節固定術 肩、股、膝 97 02 人工骨頭挿入術 肩、股、膝 97 02 人工関節置換術 肩、股、膝 97 02 人工関節除去術 肩、股、膝 97 02 人工関節再置換術 肩、股、膝 97 02 四肢関節離断術 肩、股、膝 97 97 01 01 関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝 01 01 関節鏡下滑液膜摘出術 肩、股、膝 01 01 関節鏡下膝蓋骨滑液囊切除術 01 01 関節鏡下掌指関節滑膜切除術 01 01 関節鏡下半月板切除術	K043\$ K049\$ K0502 K0503 K056\$ K0572 K0573 K0601 K060-31 K0661 K066-31 K066-5 K066-7 K068 K0721 K0781 K0811 K0821 K082-21 K082-31 K0851 その他のKコード K066-21 K066-41 K066-6 K066-8 K068-2	1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。) K059\$	1 1 人工呼吸 J045\$																	

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			下重手足又は下重足(後天性) 足関節部及び足 扁平足(後天性) 後天性性しこ濁>手、内反手、胸爪足及び内反足 下腿 後天性性しこ濁>手、内反手、胸爪足及び内反足 足関節部及び足 足首及び足のその他の後天性変形 (四)肢不等長(後天性) 下腿 (四)肢不等長(後天性) 足関節部及び足 (四)肢のその他の明示された後天性変形 下腿 (四)肢のその他の明示された後天性変形 足関節部及び足 (四)肢のその他の明示された後天性変形 詳細不明 下腿 (四)肢のその他の明示された後天性変形 詳細不明 足関節部及び足 出血性関節症 下腿 短アキレス腱(後天性)	M2137 M2148 M2156 M2157 M2168 M2176 M2177 M2186 M2187 M2196 M2197 M2506 M670							手術なし 01 02 神経剥離術 01 03 変形治療骨折矯正手術 01 03 関節脱臼非観血的整復術 01 04 偽関節手術 前腕、下腿、手舟状骨 01 04 偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く)、足、指(手、足)その他			K188\$ K057\$ K061\$ K0562 K0563																
07	0230	膝関節症(変形性を含む。)	神経障害性関節障害 膝関節症[膝の関節症] 関節滑出液貯留 下腿 骨棘 下腿 その他の明示された関節障害 下腿 関節障害、詳細不明 下腿	M146 M17\$ M2546 M2576 M2586 M2596						手術なし その他の手術あり 関節滑膜切除術 肩、股、膝、腕等 関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝 関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝 関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝 関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝 関節鏡下膝蓋骨滑液囊切除術 半月板切除術 関節鏡下半月板切除術 観血的関節授動術 肩、股、膝 関節鏡下関節授動術 肩、股、膝 観血的関節授動術 肩、股、膝 骨穿孔術等 人工関節再置換術等			99 99 手術なし 97 97 03 04 関節滑膜切除術 肩、股、膝 03 04 関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝 03 04 滑液膜摘出術 肩、股、膝 03 04 関節鏡下滑液膜摘出術 肩、股、膝 03 04 膝蓋骨滑液囊切除術 03 04 関節鏡下膝蓋骨滑液囊切除術 03 04 半月板切除術 03 04 関節鏡下半月板切除術 03 04 観血的関節授動術 肩、股、膝 03 04 関節鏡下関節授動術 肩、股、膝 03 04 観血的関節授動術 肩、股、膝 02 03 骨穿孔術 02 03 骨切り術 前腕、下腿 02 03 関節形成手術 肩、股、膝 01 01 人工関節再置換術 01 02 人工関節置換術		1 2 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管橋付きのもの) 1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。)					1 1 人工呼吸	J045\$			0 0 片側 1 1 両側						
07	0240	動揺関節症	靭帯の障害 上腕 靭帯の障害 前腕 靭帯の障害 手 靭帯の障害 下腿 靭帯の障害 足関節部及び足 関節の病的脱臼及び亜脱臼、他に分類されないもの 上腕 関節の病的脱臼及び亜脱臼、他に分類されないもの 前腕 関節の病的脱臼及び亜脱臼、他に分類されないもの 手 関節の病的脱臼及び亜脱臼、他に分類されないもの 下腿 関節の病的脱臼及び亜脱臼、他に分類されないもの 足関節部及び足 関節の反復性脱臼及び亜脱臼 上腕 関節の反復性脱臼及び亜脱臼 前腕 関節の反復性脱臼及び亜脱臼 手 関節の反復性脱臼及び亜脱臼 下腿 関節の反復性脱臼及び亜脱臼 足関節部及び足 動揺関節 多部位 動揺関節 肩甲骨 動揺関節 上腕 動揺関節 前腕 動揺関節 手 動揺関節 骨盤部及び大腿 動揺関節 下腿 動揺関節 足関節部及び足 動揺関節 その他 動揺関節 部位不明 関節のその他の不安定症 多部位 関節のその他の不安定症 肩甲骨 関節のその他の不安定症 上腕 関節のその他の不安定症 前腕 関節のその他の不安定症 手 関節のその他の不安定症 骨盤部及び大腿 関節のその他の不安定症 下腿 関節のその他の不安定症 足関節部及び足 関節のその他の不安定症 その他 関節のその他の不安定症 部位不明 使用、使い過ぎ及び圧迫に関連するその他の軟部組織障害 骨盤部及び大	M2422 M2423 M2424 M2426 M2427 M2432 M2433 M2434 M2436 M2437 M2442 M2443 M2444 M2446 M2447 M2520 M2521 M2522 M2523 M2524 M2525 M2526 M2527 M2528 M2529 M2530 M2531 M2532 M2533 M2534 M2535 M2536 M2537 M2538 M2539 M7085					手術なし 手術あり 97 01 腔鏡筋群神経離断術 97 01 腔鏡筋群神経離断術(関節鏡下によるものを含む。) 97 01 関節脱臼観血的整復術 97 01 観血的関節授動術 97 01 関節鏡下関節授動術 97 01 観血的関節授動術 97 01 観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足 97 01 靭帯断裂形成手術 97 01 関節鏡下靭帯断裂形成手術 97 01 関節形成手術 肩鎖、指(手、足) 97 01 足三関節固定(ランプリステイ)手術 97 02 関節脱臼非観血的整復術 97 97		1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。)				1 1 人工呼吸	J045\$														

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等				
08	0245	放射線皮膚障害	非電離放射線の慢性曝露による皮膚変化 放射線皮膚炎 皮膚及び皮下組織の放射線に関連するその他の明示された障害 皮膚及び皮下組織の放射線に関連する障害、詳細不明	L575 L585 L598 L599						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 97	手術なし 創傷処理 皮膚切開術 デブリードマン 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) その他のKコード	97 97 K000\$ K001\$ K002\$ K005\$ K006\$ K059\$	その他のKコード	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1	皮膚作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 組織拡張器による再建手術(一連につき) 骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K0222 K059\$	1 1	人工呼吸	J045\$									
08	0250	褥瘡潰瘍	じく>褥>癒性潰瘍及び圧迫領域	L89\$						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 97	手術なし 創傷処理 皮膚切開術 デブリードマン 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) その他のKコード	99 99 K000\$ K001\$ K002\$ K005\$ K006\$ K013\$	その他のKコード	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1	皮膚作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 組織拡張器による再建手術(一連につき) 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K0222 K013\$ K013-2\$	1 2 1 1	局所陰圧閉鎖処置 産褥褥瘡処置	J003\$ J001-4\$									
08	0260	その他の皮膚の疾患	乳房切断後リンパ浮腫症候群 おむつナブキン>皮膚炎 他に分類される疾患における丘疹落せ つく屑><りんせつく屑>>性障 毛髪の色及び毛幹の異常 多毛症 酒<しゆ>さ うおのめ<黴眼>及びべんち<膀胱 点状(掌蹠<手掌足底>)角化症 その他の明示された表皮肥厚 表皮肥厚、詳細不明 他に分類される疾患における角皮症 軽表皮性排除疾患 斑状強皮症[モルフェア] 線状強皮症 皮膚石灰沈着症 ゴットロン<Gottron>丘疹 血管性多形皮膚萎縮症 アインフム<特発性指趾離断症> その他の明示された限局性結合組織障害 限局性結合組織障害、詳細不明 人工皮膚炎 皮膚のムチン(沈着)症 皮膚及び皮下組織のその他の浸潤性障害 皮膚及び皮下組織の障害、詳細不明 他に分類される疾患における皮膚及び皮下組織のその他の障害	I972 L22 L45 L67\$ L68\$ L71\$ L84 L852 L858 L859 L86 L87\$ L940 L941 L942 L944 L945 L946 L948 L949 L981 L985 L986 L989 L99\$							手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり	99 99 97 97															
08	0270	食物アレルギー	有害食物反応によるアナフィラキシーショック その他の有害食物反応、他に分類されないもの	T780 T781						手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり	99 99 97 97																
09	0010	乳房の悪性腫瘍	乳房の悪性新生物<腫瘍> 乳房の上皮内癌	C50\$ D05\$						手術なし その他の手術あり	99 99 97 06 97 07 97 97 04 08 04 09 03 05 02 04	手術なし 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) 抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用超込型カテーテル設置 頭部部その他に設置した場合 その他のKコード 組織拡張器による再建手術(一連につき)乳房(再建手術)の場合 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後) 動脈(皮)弁及び筋(皮)弁を用いた乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	99 99 K474-3\$ K6113 K019 K0221 K476-4 K476-32 K4762	その他のKコード	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1	皮膚作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K016 K0171 K019 K020 K059\$ K013\$ K013-2\$	A 16 A 16 9 15 8 14 7 13 6 12 6 11 5 10	ベムプロシズマブ アネソリズマブ トラスツズマブ エムタンシン ベルツズマブ ペバシズマブ バクリタキセル(アルブミン懸濁型) トラスツズマブ エリブリンメシル酸塩	1 2 1 1	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)	070040	0 0 1 1	片側 両側					

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			副腎性器障害、詳細不明 原発性アルドステロン症 続発性<二次性>アルドステロン症 アルドステロン症、詳細不明 その他の副腎皮質機能亢進症	E259 E260 E261 E269 E270																										
10	0190	褐色細胞腫、パラングリオーマ	副腎の悪性新生物<腫瘍>、副腎髄質 その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物<腫瘍>、大動脈小体及びその他のパラングリア<傍神経節>内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、大動脈小体及びその他のパラングリア<傍神経節> 副腎髄質機能亢進症	C741 D356 D447 E275						手術なし 手術あり	99 99 97 01	手術なし 後腹膜悪性腫瘍手術									1 8	化学療法					0 0	1 1	一側 両側	
10	0202	その他の副腎皮質機能低下症	酵素欠損による先天性副腎器障害 原発性副腎皮質機能不全(症) アジソン<Addison>>クリーゼ<発症> 薬物誘発性副腎皮質機能不全(症) その他及び詳細不明の副腎皮質機能不全(症) 治療後副腎皮質(=髄質)機能低下症	E250 E271 E272 E273 E274 E896																	1 2	中心静脈注射	G005							
10	0210	低血糖症	非糖尿病性低血糖性昏睡 その他の低血糖症 低血糖症、詳細不明	E15 E161 E162																	1 2	中心静脈注射	G005							
10	0220	原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、上皮小体<副甲状腺> その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物<腫瘍>、上皮小体<副甲状腺> 原発性副甲状腺<上皮小体>機能亢進症 その他の副甲状腺<上皮小体>機能亢進症 副甲状腺<上皮小体>機能亢進症、詳細不明 その他の明示された副甲状腺<上皮小体>障害 副甲状腺<上皮小体>障害、詳細不明	C750 D351 E210 E212 E213 E214 E215						手術なし その他の手術あり	99 99 97 04	手術なし リンパ節摘出術										1 1	頸部郭清術	K469\$						
10	0230	続発性副甲状腺機能亢進症	副甲状腺<上皮小体>機能低下症 治療後副甲状腺<上皮小体>機能低下症	E208 E892						手術なし その他の手術あり	99 99 97 97	手術なし 副甲状腺(上皮小体)腫瘍過形成手術																		
10	0240	副甲状腺機能低下症	副甲状腺<上皮小体>機能低下症 治療後副甲状腺<上皮小体>機能低下症	E208 E892						手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり																		
10	0250	下垂体機能低下症	下垂体機能低下症 薬物誘発性下垂体機能低下症 その他の下垂体障害 下垂体障害、詳細不明	E230 E231 E236 E237						手術なし 手術あり	99 99 97 01	手術なし 経鼻的下垂体腫瘍摘出術										2 2	内分泌負荷試験 下垂体前葉負荷試験を2種類以上		1 2	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	10007x			
10	0260	下垂体機能亢進症	下垂体機能低下症 薬物誘発性下垂体機能低下症 その他の下垂体障害 下垂体障害、詳細不明	E230 E231 E236 E237						手術なし 手術あり	99 99 97 01	手術なし 経鼻的下垂体腫瘍摘出術										1 1	内分泌負荷試験 下垂体前葉負荷試験	D2871\$	1 9	ソマトスタチンアナログ		1 9	ベグピソマント	

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分枝	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
12	0182	前置胎盤及び低置胎盤	前置胎盤	O448						手術なし	01 02	子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	K8721																
										01 01	帝王切開術	K8988																	
12	0185	(常位)胎盤早期剥離	胎盤早期剥離、詳細不明	O459						子宮内反症修復手術(腹式、腹式)	01 02	子宮内反症修復手術(腹式、腹式)	K9058																
										99 99	手術なし																		
										97 04	骨盤位娩出術	K892																	
										97 04	吸引娩出術	K893																	
										97 04	鉗子娩出術	K8948																	
										97 04	胎児輸小術(娩出術を含む。)	K899																	
										97 04	胎帯還納術	K900																	
										97 04	脱垂肢整復術	K900-2																	
										97 04	子宮双手圧迫術(大動脈圧迫術を含む。)	K901																	
										97 04	胎盤用手剥離術	K902																	
										97 05	分娩時頸部切開術(縫合を含む。)	K891																	
										97 05	会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時)	K895																	
										97 05	会陰(陰室)裂創縫合術(分娩時)	K8968																	
										97 05	頸管裂創縫合術(分娩時)	K897																	
										97 06	胎児外回転術	K907																	
										97 06	胎児内(双合)回転術	K908																	
										97 97	その他のKコード																		
										02 02	帝王切開術	K8988																	
										02 02	子宮内反症修復手術(腹式、腹式)	K9058																	
										01 01	子宮全摘術	K877																	
										01 01	子宮破裂手術	K9038																	
										01 01	妊娠子宮摘出術(ポロー手術)	K904																	
										1 4	試験開腹術	K636																	
										1 4	腹腔鏡下試験開腹術	K636-3																	
										1 4	腹腔鏡下試験切除術	K636-4																	
										1 4	胆嚢摘出術	K672																	
										1 4	腸管癒着症手術	K714																	
1 4	小腸切除術 其他のもの	K7162																											
1 4	虫垂切除術	K7188																											
1 4	結腸切除術	K7198																											
1 3	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K6158																											
1 2	子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	K8721																											
1 2	子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 開腹による	K8881																											
1 1	子宮頸管縫縮術	K9068																											

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
			意義不明の単クローングロブリン血症 (MGUS) リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の他の明示された新生物<腫瘍> リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>。詳細不明	D472 D477 D479							97	97	手術あり															
13	0150	原発性免疫不全症候群	多形核好中球機能障害 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 複合免疫不全症 その他の大きな欠損に関連する免疫不全症 分類不能型免疫不全症 その他の免疫不全症	D71 D808 D818 D828 D838 D848				00 0 6歳以上 06 1 6歳未満	手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり							1 1 1 1			乾燥濃縮人C1ーイン アクチベーター イカチハント酢酸塩							
13	0160	後天性免疫不全症候群	感染症及び寄生虫を起したヒト免疫不全ウイルス[HIV]病 悪性新生物<腫瘍>を起したヒト免疫不全ウイルス[HIV]病 その他の明示された疾患を起したヒト免疫不全ウイルス[HIV]病 その他の病態を起したヒト免疫不全ウイルス[HIV]病 詳細不明のヒト免疫不全ウイルス[HIV]病 カポジ<Kaposi>肉腫	B208 B218 B228 B238 B24 C468						99 99 97 97	手術なし 手術あり							2 3 1 2			化学療法 中心静脈注射 G005							
13	0170	血友病	遺伝性第Ⅷ因子欠乏症 遺伝性第Ⅸ因子欠乏症 現在の妊娠とは無関係の場合もあろうる母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児 母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児及び新生児 胎盤、胎帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児 胎盤、胎帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児 胎盤又は母乳を介して有害な影響を受けた胎児及び新生児 胎児発育遅延<成長遅滞>及び胎児栄養失調 妊娠期間短縮及び低出生体重に関連する障害。他に分類されないもの 遅延妊娠及び高出生体重に関連する障害 出産損傷による頭蓋内裂傷<laceration>及び出血 中枢神経系のその他の出産損傷 頭皮の出産損傷 骨格の出産損傷 その他の出産損傷 子宮内低酸素症 出生時仮死 新生児の呼吸弱<促>迫 先天性肺炎 新生児吸引症候群 周産期に発生した間質性気腫及び関連病態 周産期に発生した肺出血 周産期に発生した慢性呼吸器疾患 周産期に発生したその他の呼吸器病 周産期に発生した心血管障害 先天性ウイルス性疾患 新生児の細菌性敗血症 その他の先天性感染症及び寄生虫病 軽度出血を伴う又は伴わない新生児の肺炎 周産期に特異的なその他の感染症 胎児失血 新生児の肺出血 胎児及び新生児の頭蓋内外傷性出血 胎児及び新生児の出血性疾患 その他の新生児出血 胎児及び新生児の溶血性疾患 溶血性疾患による胎児水腫 核黄疸 その他の多量の溶血による新生児黄疸 早産に関連する新生児黄疸 濃縮胆汁症候群 その他及び詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸 母乳の抱合抑制因子による新生児黄疸 その他の明示された原因による新生児黄疸 新生児黄疸、詳細不明 胎児及び新生児の播種性血管内凝固	D66 D67 P008 P018 P028 P038 P048 P058 P078 P088 P108 P118 P128 P138 P158 P208 P218 P228 P238 P248 P258 P268 P278 P288 P298 P358 P368 P378 P388 P398 P508 P518 P528 P53 P548 P558 P568 P578 P588 P590 P591 P592 P593 P598 P599 P60			出生時体重	手術なし	99 99 97 97 99 99	手術なし 手術あり 手術なし										1 4 1 1 4 9 4 9 3 8 3 8 2 7 1 2 1 1			血漿交換療法 人工呼吸 一酸化窒素吸入療法 かつパリビズマブあり 肺サーファクタントあり かつパリビズマブあり 一酸化窒素吸入療法 肺サーファクタント パリビズマブ 中心静脈注射 人工呼吸	J039 J0458 J045-28 J045				
14	0010	妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害	胎児及び新生児 胎盤、胎帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児 胎盤、胎帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児 胎盤又は母乳を介して有害な影響を受けた胎児及び新生児 胎児発育遅延<成長遅滞>及び胎児栄養失調 妊娠期間短縮及び低出生体重に関連する障害。他に分類されないもの 遅延妊娠及び高出生体重に関連する障害 出産損傷による頭蓋内裂傷<laceration>及び出血 中枢神経系のその他の出産損傷 頭皮の出産損傷 骨格の出産損傷 その他の出産損傷 子宮内低酸素症 出生時仮死 新生児の呼吸弱<促>迫 先天性肺炎 新生児吸引症候群 周産期に発生した間質性気腫及び関連病態 周産期に発生した肺出血 周産期に発生した慢性呼吸器疾患 周産期に発生したその他の呼吸器病 周産期に発生した心血管障害 先天性ウイルス性疾患 新生児の細菌性敗血症 その他の先天性感染症及び寄生虫病 軽度出血を伴う又は伴わない新生児の肺炎 周産期に特異的なその他の感染症 胎児失血 新生児の肺出血 胎児及び新生児の頭蓋内外傷性出血 胎児及び新生児の出血性疾患 その他の新生児出血 胎児及び新生児の溶血性疾患 溶血性疾患による胎児水腫 核黄疸 その他の多量の溶血による新生児黄疸 早産に関連する新生児黄疸 濃縮胆汁症候群 その他及び詳細不明の肝細胞傷害による新生児黄疸 母乳の抱合抑制因子による新生児黄疸 その他の明示された原因による新生児黄疸 新生児黄疸、詳細不明 胎児及び新生児の播種性血管内凝固	P008 P018 P028 P038 P048 P058 P078 P088 P108 P118 P128 P138 P158 P208 P218 P228 P238 P248 P258 P268 P278 P288 P298 P358 P368 P378 P388 P398 P508 P518 P528 P53 P548 P558 P568 P578 P588 P590 P591 P592 P593 P598 P599 P60			出生時体重	手術なし	99 99 97 97 99 99	手術なし 手術あり 手術なし										4 9 4 9 3 8 3 8 2 7 1 2 1 1			一酸化窒素吸入療法 かつパリビズマブあり 肺サーファクタントあり かつパリビズマブあり 一酸化窒素吸入療法 肺サーファクタント パリビズマブ 中心静脈注射 人工呼吸	J045-28 J045				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			その他の周産期の血液障害 胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 カルシウム及びマグネシウム代謝の一過性新生児障害 その他の一過性新生児内分泌障害 その他の一過性新生児電解質障害及び代謝障害 のうく囊>胎線維症における胎便<メコニウム>イレウス 新生児のその他の腸閉塞 胎児及び新生児のえく瘻>死性肺炎 周産期の腸穿孔 その他の新生児腹膜炎 母体血液のえんく嚙>下による新生児吐血及びメレナ 新生児非感染性下痢症 その他の明示された周産期の消化器系障害 周産期の消化器系障害、詳細不明 新生児低体温 新生児のその他の体温調節機能障害 胎児及び新生児に特異的な外皮のその他の病態 新生児のけいれん<痙攣> 新生児の脳のその他の機能障害 新生児の哺乳上の問題 胎児及び新生児に投与された薬物による反応及び中毒 新生児の筋緊張障害 原因不明の胎児死亡 周産期に発生したその他の病態	P61\$ P70\$ P71\$ P72\$ P74\$ P75 P76\$ P77 P780 P781 P782 P783 P788 P789 P80\$ P81\$ P83\$ P80 P81\$ P82\$ P83 P84\$ P85 P86\$																						
14	0070	頭蓋、顔面骨の先天異常	顔面非対称 顔面圧縮<圧迫顔面> 長頭(症) 斜頭(蓋)(症) 頭蓋、顔面及び顎のその他の先天性(性)変形 頭蓋及び顔面骨のその他の先天奇形 先天奇形候群、主として顔貌異常を伴うもの	Q670 Q671 Q672 Q673 Q674 Q75\$ Q670						手術なし その他の手術あり 上顎骨形成術 単純な場合等 02 02 上顎骨形成術 複雑な場合及び2次的再建の場合 02 02 上顎骨形成術 骨移動を伴う場合 02 02 下顎骨形成術 おとがい形成の場合 02 02 下顎骨形成術 短縮又は伸長の場合 02 02 下顎骨形成術 再建の場合 02 02 下顎骨形成術 骨移動を伴う場合 02 02 下顎骨延長術 02 02 顎関節形成術 02 03 骨腫瘍切除術 眼窩縁形成手術(骨移植によるもの) 01 01 頭蓋骨形成手術 頭蓋骨のみもの等 01 01 頭蓋骨形成手術 硬膜形成を伴うもの 01 01 頭蓋骨形成手術 骨移動を伴うもの	99 99 手術なし 97 97 K4431 K4432 K4433 K4441 K4442 K4443 K4444 K444-2\$ K445 K052\$ K237 K1801 K1802 K1803		1 1 分層植皮術 1 1 全層植皮術 1 1 皮弁作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 1 1 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 1 1 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 1 1 複合組織移植術 1 1 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 1 1 粘膜移植術 1 1 粘膜弁手術 1 1 骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K013\$ K013-2\$ K015\$ K016 K0172 K019 K020 K021\$ K021-2\$ K059\$	1 1	人工呼吸	J045\$									
14	0080	脳、脊髄の先天異常	無脳症及び類似先天奇形 脳嚢 小頭症 先天性水頭症 脳のその他の先天奇形 二分脊椎<脊椎披<破>裂> 脊髄のその他の先天奇形 神経系のその他の先天奇形 潜在性二分脊椎<脊椎披<破>裂>	Q00\$ Q01\$ Q02 Q03\$ Q04\$ Q05\$ Q06\$ Q07\$ Q760						手術なし 手術あり 脊髄腫瘍摘出術 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除 穿頭脳室ドレーナージ術 減圧開頭術 モヤリ奇形、脊髄空洞症の場合 後頭蓋窩減圧術 水頭症手術 脊髄披裂手術 97 97	99 99 手術なし K191\$ K1425 K145 K1491 K149-2 K174\$ K136\$ その他のKコード	1 2 皮弁作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 1 2 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 1 2 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 1 2 複合組織移植術 1 2 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 1 2 組織拡張器による再建手術(一連につき) 1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 1 1 分層植皮術 1 1 全層植皮術	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K0222 K059\$ K013\$ K013-2\$	1 5 1 1	リハビリテーション 人工呼吸	J045\$	1 2 てんかん 010230									
14	0090	先天性鼻涙管閉塞	涙管の先天(性)狭窄	Q105						99 99 手術なし 97 01 先天性鼻涙管閉塞開放術 97 01 涙嚢摘出術 97 01 涙嚢鼻腔吻合術 97 02 涙管チューブ挿入術 97 97	K201 K203 K204 K202\$ その他のKコード													0 0 初回 0 0 片側 1 1 再手術 1 1 両側		
14	0100	眼の先天異常	先天(性)眼瞼外反(症) 先天(性)眼瞼内反(症) 眼瞼のその他の先天奇形 涙器の欠損及び無発生 涙器のその他の先天奇形 眼窩の先天奇形 無眼球(症)、小眼球(症)及び巨大眼球(症)	Q101 Q102 Q103 Q104 Q106 Q107 Q11\$						99 99 手術なし 97 01 眼瞼内反症手術 97 02 涙嚢鼻腔吻合術 97 02 涙小管形成手術 97 02 眼瞼外反症手術 97 02 結膜囊形成手術 97 02 眼窩縁形成手術(骨移植によるもの)	K217\$ K204 K206 K218 K223\$ K237	1 2 皮弁作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 1 2 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 1 2 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 1 2 複合組織移植術 1 2 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 1 2 粘膜移植術 1 2 粘膜弁手術	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K021\$ K021-2\$					0 0 片側 1 1 両側								

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			膝及び下腿の組織えく壊>死を伴う凍傷 足首及び足の組織えく壊>死を伴う凍傷 その他及び部位不明の組織えく壊>死を伴う凍傷 多部位の表在性凍傷 多部位の組織えく壊>死を伴う凍傷 頭部及び顔部の詳細不明の凍傷 胸部<剖>、腹部、下背部及び骨盤部の詳細不明の凍傷 上肢の詳細不明の凍傷 下肢の詳細不明の凍傷 多部位の詳細不明の凍傷 詳細不明の凍傷、部位不明 雷撃の作用 振動の作用 電流の作用	T347 T348 T349 T350 T351 T352 T353 T354 T355 T356 T357 T750 T752 T754																						
16	1020	体温異常	熱及び光線の作用 低体温(症) 低温のその他の作用	T673 T68 T695							99	99	手術なし				1	3	人工腎臓 其他の場合	J0384	1	1	肺炎等	040080		
			中心静脈注射 人工呼吸	G005 J0455							97	97	手術あり				1	2	中心静脈注射	G005	1	1	腎臓又は尿路の感染症	110310		
16	1030	気圧による損傷	気圧又は水圧の作用	T705							99	99	手術なし			1	1	高気圧酸素治療	J0275							
			人工呼吸	J0455							97	97	手術あり				1	3	人工腎臓 其他の場合	J0384						
16	1040	損傷の続発性、後遺症	頭部損傷の続発・後遺症 頸部及び体幹の表在損傷及び開放創の続発・後遺症 背髄損傷の続発・後遺症 胸腔内臓器損傷の続発・後遺症 腹腔内及び骨盤臓器の損傷の続発・後遺症 頸部又は体幹の他の明示された損傷の続発・後遺症 頸部及び体幹の詳細不明の損傷の続発・後遺症 上肢の開放創の続発・後遺症 上肢の脱臼、捻挫及びストレインの続発・後遺症 上肢の神経損傷の続発・後遺症 上肢の筋及び腱の損傷の続発・後遺症 上肢の挫減損傷及び外傷性切断の続発・後遺症 上肢の他の明示された損傷の続発・後遺症 上肢の詳細不明の損傷の続発・後遺症 下肢の開放創の続発・後遺症 下肢の脱臼、捻挫及びストレインの続発・後遺症 下肢の神経損傷の続発・後遺症 下肢の筋及び腱の損傷の続発・後遺症 下肢の挫減損傷及び外傷性切断の続発・後遺症 下肢の他の明示された損傷の続発・後遺症 下肢の詳細不明の損傷の続発・後遺症 多部位及び部位不明の損傷の続発・後遺症 熱傷、腐食及び凍傷の続発・後遺症 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒の続発・後遺症 薬用を主としない物質の毒作用の続発・後遺症 外因のその他及び詳細不明の作用の続発・後遺症	T905 T910 T913 T914 T915 T918 T919 T920 T923 T924 T925 T926 T928 T929 T930 T933 T934 T935 T936 T938 T939 T945 T955 T96 T97 T985									99	99	手術なし				1	3	人工腎臓 其他の場合	J0384				
			中心静脈注射 人工呼吸	G005 J0455							97	97	手術あり				1	2	中心静脈注射	G005						
16	1060	詳細不明の損傷等	体幹の表在損傷、部位不明 体幹の開放創、部位不明 体幹の詳細不明の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン 背髄損傷、部位不明 体幹の詳細不明の神経、背髄神経根及び神経そう<囊>の損傷 体幹の詳細不明の筋及び腱の損傷 体幹の他の明示された損傷、部位不明 体幹の詳細不明の損傷、部位不明 上肢の骨折、部位不明 上肢の表在損傷、部位不明 上肢の詳細不明の損傷、部位不明 下肢の骨折、部位不明 下肢の表在損傷、部位不明 下肢の開放創、部位不明	T090 T091 T092 T093 T094 T095 T098 T099 T105 T110 T119 T128 T130 T131																						
			手術なし 手術あり								99	99	手術なし				1	3	人工腎臓 其他の場合	J0384						

診断分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			その他及び詳細不明の物質の毒作用 薬物及び薬剤の詳細不明の有害作用	T658 T887																					
17	0010	アルコール依存症候群	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、依存症候群 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、残遺性及び選発性の精神病性障害	F102 F107						99 99 97 97		手術なし 手術あり											0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり	
17	0020	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、急性中毒 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、有害な使用 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、離脱状態 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、せん妄を伴う離脱状態 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、精神病性障害 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、健忘症候群 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、その他の精神及び行動の障害 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、詳細不明の精神及び行動の障害 アヘン類使用による精神及び行動の障害 大麻類使用による精神及び行動の障害 鎮静薬又は催眠薬使用による精神及び行動の障害 コカイン使用による精神及び行動の障害 カフェインを含むその他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障害 幻覚薬使用による精神及び行動の障害 たばこ使用<喫煙>による精神及び行動の障害 揮発性溶剤使用による精神及び行動の障害 多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F100 F101 F103 F104 F105 F106 F108 F109 F111 F125 F135 F145 F155 F165 F175 F185 F195				0 0 1 1	GAF40以上 GAF40未満		99 99 97 97		手術なし 手術あり		1 1	SPECT		E101	1 5 1 5 1 2 1 1			気分[感情]障害	170040		
17	0030	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症 統合失調症型障害 持続性妄想性障害 急性一過性精神病性障害 感応性妄想性障害 統合失調感情障害 その他の非器質性精神病性障害 詳細不明の非器質性精神病	F205 F21 F225 F235 F24 F255 F28 F29				0 0 1 1	GAF40以上 GAF40未満		99 99 97 97		手術なし 手術あり		1 1	SPECT		E101	1 5 1 5 1 2 1 1						
17	0040	気分[感情]障害	躁病エピソード 双極性感情障害<躁うつ病> うつ病エピソード 反復性うつ病性障害 持続性気分[感情]障害 その他の気分[感情]障害 詳細不明の気分[感情]障害	F305 F315 F325 F335 F345 F385 F39				0 0 1 1	GAF40以上 GAF40未満		99 99 97 97		手術なし 手術あり		1 1	SPECT		E101	1 5 1 5 1 2 1 1						
17	0050	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	恐怖症性不安障害 その他の不安障害 強迫性障害<強迫神経症> 重度ストレスへの反応及び適応障害 解離性[転換性]障害 身体表現性障害 その他の神経症性障害	F405 F415 F425 F435 F445 F455 F485				0 0 1 1	GAF40以上 GAF40未満		99 99 97 97		手術なし 手術あり		1 1	SPECT		E101	1 5 1 5 1 2 1 1						
17	0060	その他の精神及び行動の障害	器質性健忘症候群、アルコールその他の精神作用物質によらないもの せん妄、アルコールその他の精神作用物質によらないもの 脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害 脳の疾患、損傷及び機能不全による損傷及び行動の障害 詳細不明の器質性又は症状性精神障害 非定型神経性無食欲症 非定型神経性大食症 その他の心理的障害に関連した過食 その他の心理的障害に関連した嘔吐 その他の摂食障害 摂食障害、詳細不明 非器質性睡眠障害 性機能不全、器質性障害又は疾病によらないもの	F04 F055 F065 F075 F09 F501 F503 F504 F505 F508 F509 F515 F525				0 0 1 1	GAF40以上 GAF40未満		99 99 97 97		手術なし 手術あり		1 1	SPECT		E101	1 5 1 5 1 2 1 1						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			産じょく<産>に関連した精神及び行動の障害、他に分類されないもの 他に分類される障害又は疾病に関連する心理的又は行動的要因 依存を生じない物質の乱用 生理的障害及び身体的要因に関連した詳細不明の行動症候群 特定的人格障害 混合性及びその他の人格障害 持続的人格変化、脳損傷及び脳疾患によらないもの 習慣及び衝動の障害 性同一性障害 性嗜好の障害 性発達及び方向づけに関連する心理及び行動の障害 その他の成人の人格及び行動の障害 詳細不明の成人の人格及び行動の障害 軽度知的障害<精神遅滞> 中等度知的障害<精神遅滞> 重度知的障害<精神遅滞> 最重度知的障害<精神遅滞> その他の知的障害<精神遅滞> 詳細不明の知的障害<精神遅滞> 会話及び言語の特異的発達障害 学習能力の特異的発達障害 運動機能の特異的発達障害 混合性特異的発達障害 広汎性発達障害 その他の心理的発達障害 詳細不明の心理的発達障害 多動性障害 行為障害 行爲及び情緒の混合性障害 小児<児童>期に特異的に発症する情緒障害 小児<児童>期及び青年期に特異的に発症する社会的機能の障害 チック障害 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害 精神障害、詳細不明	F538 F54 F55 F59 F60S F61 F62S F63S F64S F65S F66S F68S F69 F70S F71S F72S F73S F78S F79S F80S F81B F82 F83 F84S F88 F89 F90S F91S F92S F93S F94S F95S F98S F99																							
18	0010	敗血症	サルモネラ敗血症 リスネリア敗血症 ウォーターハウス-フリーデリクセン Waterhouse-Friderichsen>症候 慢性髄膜炎菌血症 髄膜炎菌性心疾患 連鎖球菌性敗血症 その他の敗血症 カンジダ性敗血症 播種性コクシオイデス症 カプスラツム播種性ヒストプラズマ症 播種性プラズミセス症 播種性バロコクシオイデス症 播種性スピロトリコーシス 播種性ムーコル<ムコール>症	A021 A327 A391 A393 A39S A40S A41S B377 B387 B393 B407 B417 B427 B464				00 0 1歳以上 01 1 1歳未満			99 99 手術なし 97 97 手術あり						3 5 吸着式血液浄化法 J041 3 4 持続緩徐式血液濾過 J038-2 2 3 人工腎臓 その他の J0384 場合 2 2 中心静脈注射 G005 2 1 人工呼吸 J045S 1 9 ガンマグロブリン										
18	0020	性感染症	先天梅毒 早期梅毒 晩期梅毒 その他及び詳細不明の梅毒 淋菌感染症 クラミジア性リンパ肉芽腫(性病性) 下部尿路性器のクラミジア感染症 骨盤臓器及びその他の尿路生殖器のクラミジア感染症 肛門及び直腸のクラミジア感染症 咽頭のクラミジア感染症 その他の部位の性的伝播性クラミジア感染症 軟性下疳 そけい<鼠径>(部)肉芽腫 トリコモナス症 肛門性ヘルペスウイルス[単純ヘルペス]感染症 主として性的伝播様式をとるその他の明示された感染症 性的伝播様式をとる詳細不明の感染 非性病性梅毒 フランケンア<yaws> ピンタ<pinta>[カラト<carate>]	A50S A51S A52S A53S A54S A55 A560 A561 A563 A564 A568 A57 A58 A59S A60S A638 A64 A65 A66S A67S							99 99 手術なし 97 97 手術あり							1 3 人工腎臓 その他の J0384 場合 1 2 中心静脈注射 G005 1 1 人工呼吸 J045S									
18	0030	その他の感染症(真菌を除く)	急性アメーバ赤痢 慢性腸アメーバ症 アメーバ性非赤痢性大腸炎	A060 A061 A062							99 99 手術なし 97 97 手術あり						1 3 人工腎臓 その他の J0384 場合 1 2 中心静脈注射 G005 1 1 人工呼吸 J045S		1 1 2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	10007x							

